
令和3年度
男女共同参画に関するアンケート調査

報告書

令和4（2022）年3月

廿日市市 自治振興部 人権・男女共同参画推進課

目 次

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査期間	1
(4) 回収結果	1
(5) 報告書の見方について	1
2 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 未既婚等	3
(4) 家族構成	4
(5) 同居家族	5
(6) 居住地域	6
(7) 勤務地	7
(8) 職業	8
3 男女共同参画に関する知識について	10
(1) 用語の意味について	10
(2) 「男女共同参画」という言葉について	13
4 調査結果	16
(1) 男女の役割分担と平等意識について	16
(2) 家庭生活について	30
(3) 仕事・職場について	60
(4) 地域活動について	85
(5) ドメスティック・バイオレンスについて	91
(6) パートナーシップ宣誓制度について	109
(7) 男女共同参画の取組について	112
5 自由意見	116
資料 調査票	119

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、令和元年に策定した「第2次廿日市市男女共同参画プラン 後期実施計画」の中間見直しの参考とするため、男女共同参画に関する意識や実態、問題点や意見等を把握することを目的として実施した。

(2) 調査対象

市内に在住する満18歳以上の男女各1,000人（住民基本台帳から無作為抽出）

(3) 調査期間

令和4（2022）年1月7日（金）～1月21日（金）

(4) 回収結果

配布数	2,000件
有効回収数	875件
有効回収率	42.9%

(5) 報告書の見方について

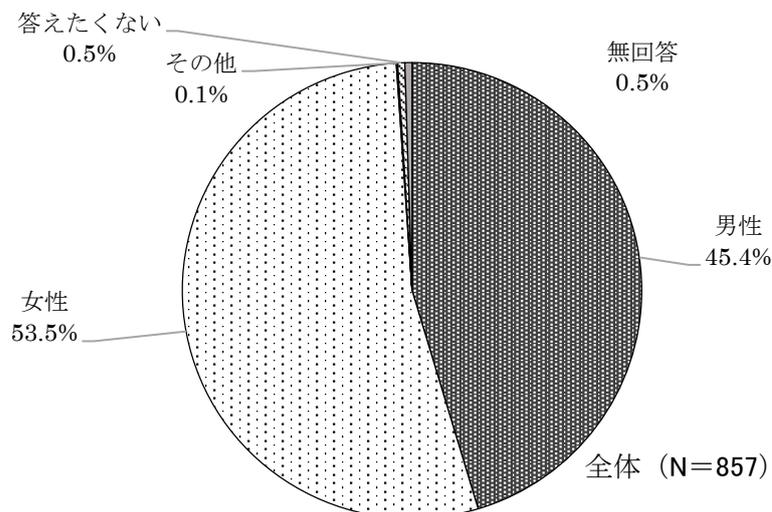
- ① 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- ② 2つ以上の回答を可能とした（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- ③ 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- ④ 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- ⑤ 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- ⑥ この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

2 回答者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(自認する性別をお答えください。)(○は1つ)

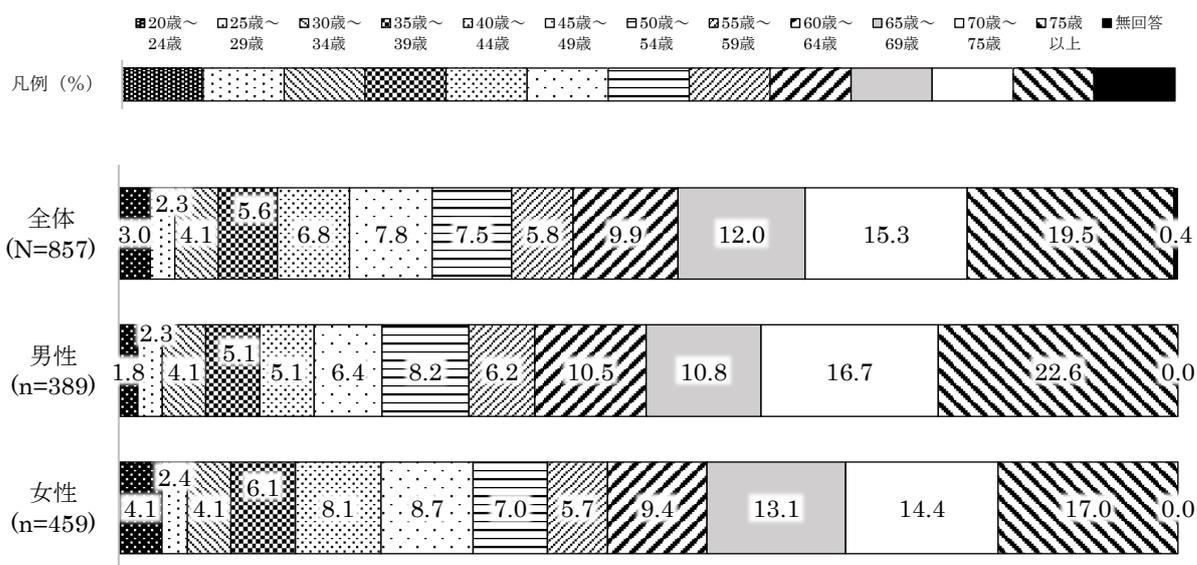
回答者の性別構成比は、「男性」が45.4%、「女性」が53.5%と、女性の割合が男性を上回っている。



(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

年齢別構成は、「75歳以上」の割合が19.5%と最も高く、次いで「70～75歳」(15.3%)、「55～59歳」(12.0%)の順となっている。

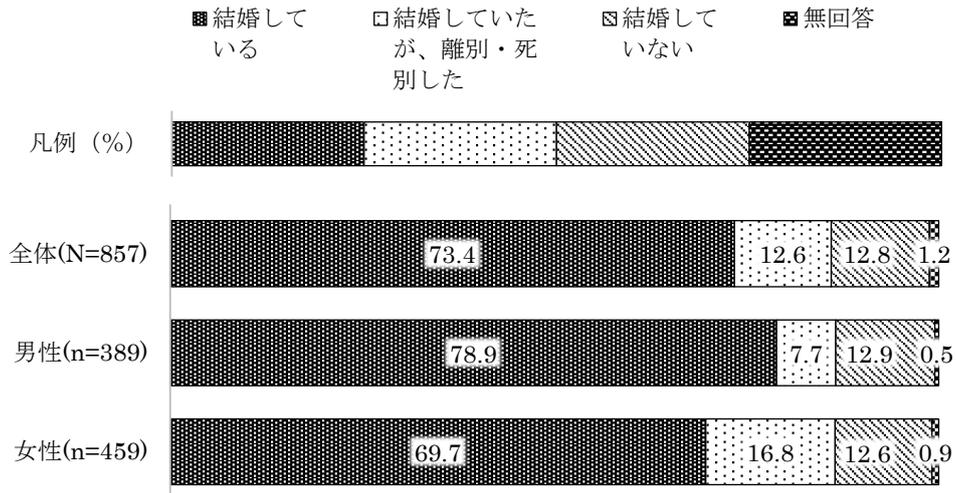


(3) 未既婚等

問3 あなたは結婚をしていますか。(事実婚・パートナーを含む。)(〇は1つ)

未既婚別では、「結婚している」の割合が73.4%、「結婚していない」が12.8%、「結婚していたが、離別・死別した」が12.6%の順となっている。

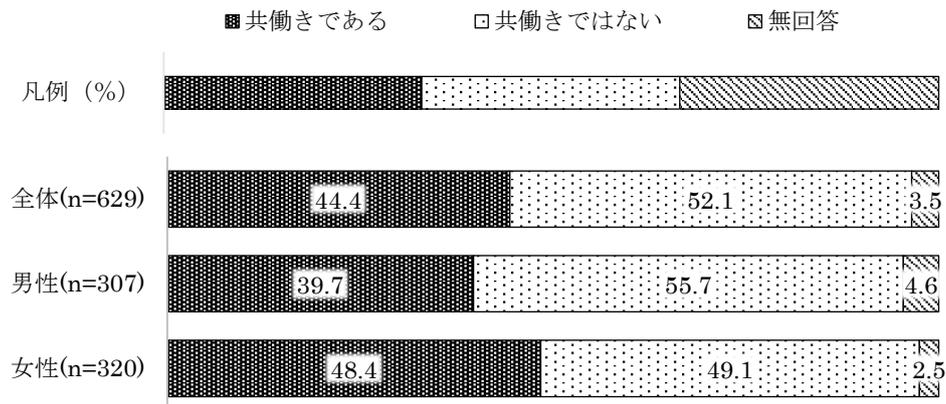
性別では、「結婚している」の割合は、男性78.9%、女性69.7%と男性が高くなっているが、「結婚していたが、離別・死別した」の割合は、女性16.8%、男性7.7%と女性が高くなっている。



問4 【問3で「1」と答えた方のみにおたずねします。】

あなたと配偶者(パートナー)は、共働き(パート・アルバイト等を含む)ですか。

既婚者の中で、「共働きである」の割合は全体では44.4%となっており、男性は39.7%、女性は48.4%となっている。

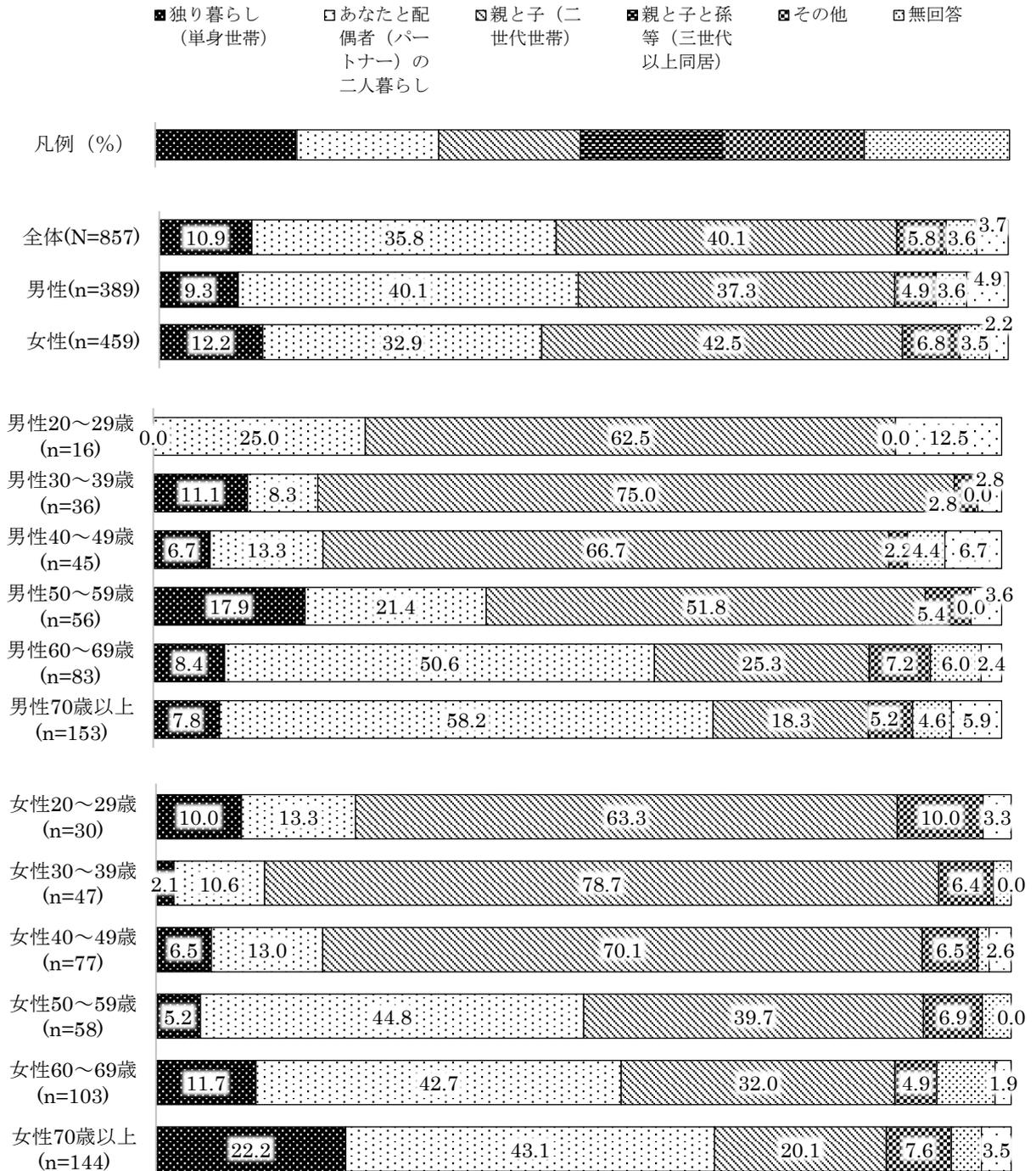


(4) 家族構成

問5 あなたの同居家族の構成をお答えください。(〇は1つ)

同居家族については、「親と子(二世世代世帯)」が40.1%と最も高くなっており、次いで「あなたと配偶者(パートナー)の二人暮らし」(35.8%)、「独り暮らし(単身世帯)」(10.9%)の順となっている。

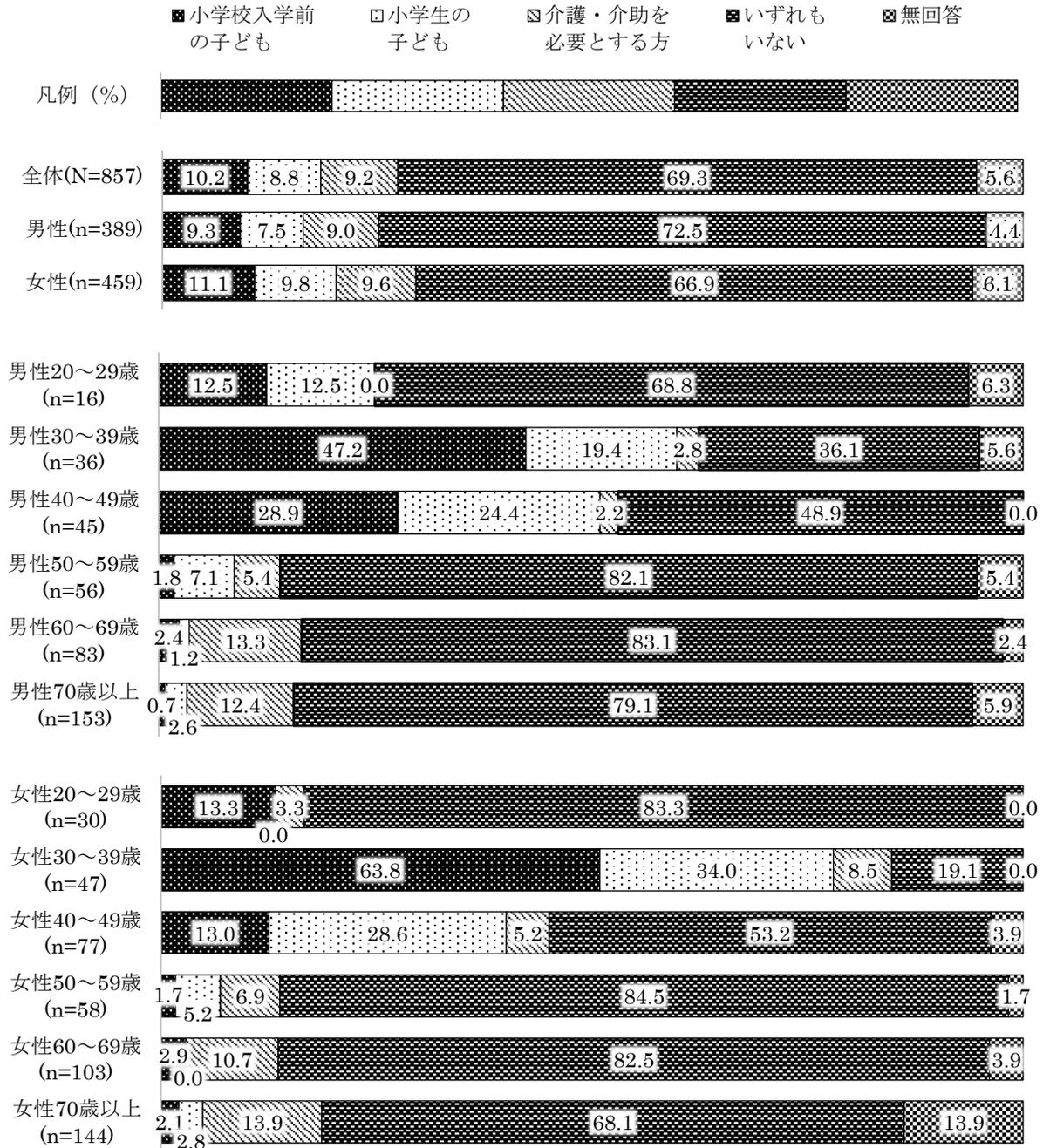
性・年齢別では50~59歳で、男性は「親と子(二世世代世帯)」が51.8%、「あなたと配偶者(パートナー)の二人暮らし」が21.4%となっているのに比べ、女性では「あなたと配偶者(パートナー)の二人暮らし」が44.8%、「親と子(二世世代世帯)」が39.7%となっている。



(5) 同居家族

問6 あなたの同居家族の中に、次の方（あなた自身を含む）はいますか。
 (〇はいくつでも)

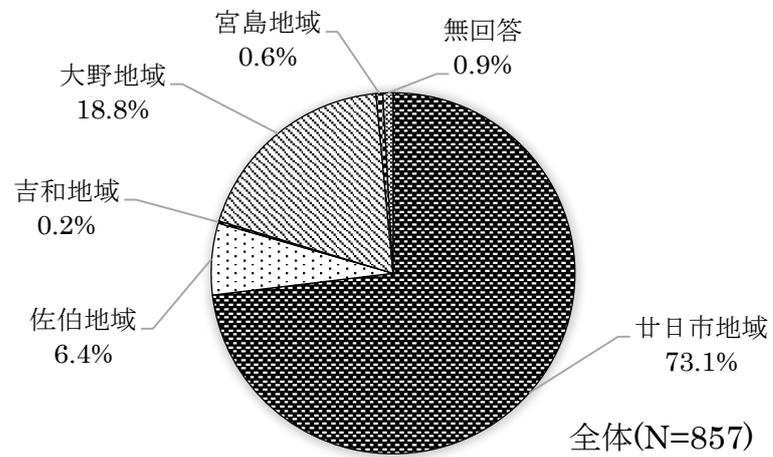
同居家族について、全体では「いずれもない」と回答した割合が69.3%と最も高くなっており、次いで「小学校入学前の子ども」(10.2%)、「介護・介助を必要とする方」(9.2%)、「小学生の子ども」(8.8%)の順となっている。



(6) 居住地

問7 あなたのお住まいの地域をお答えください。(〇は1つ)

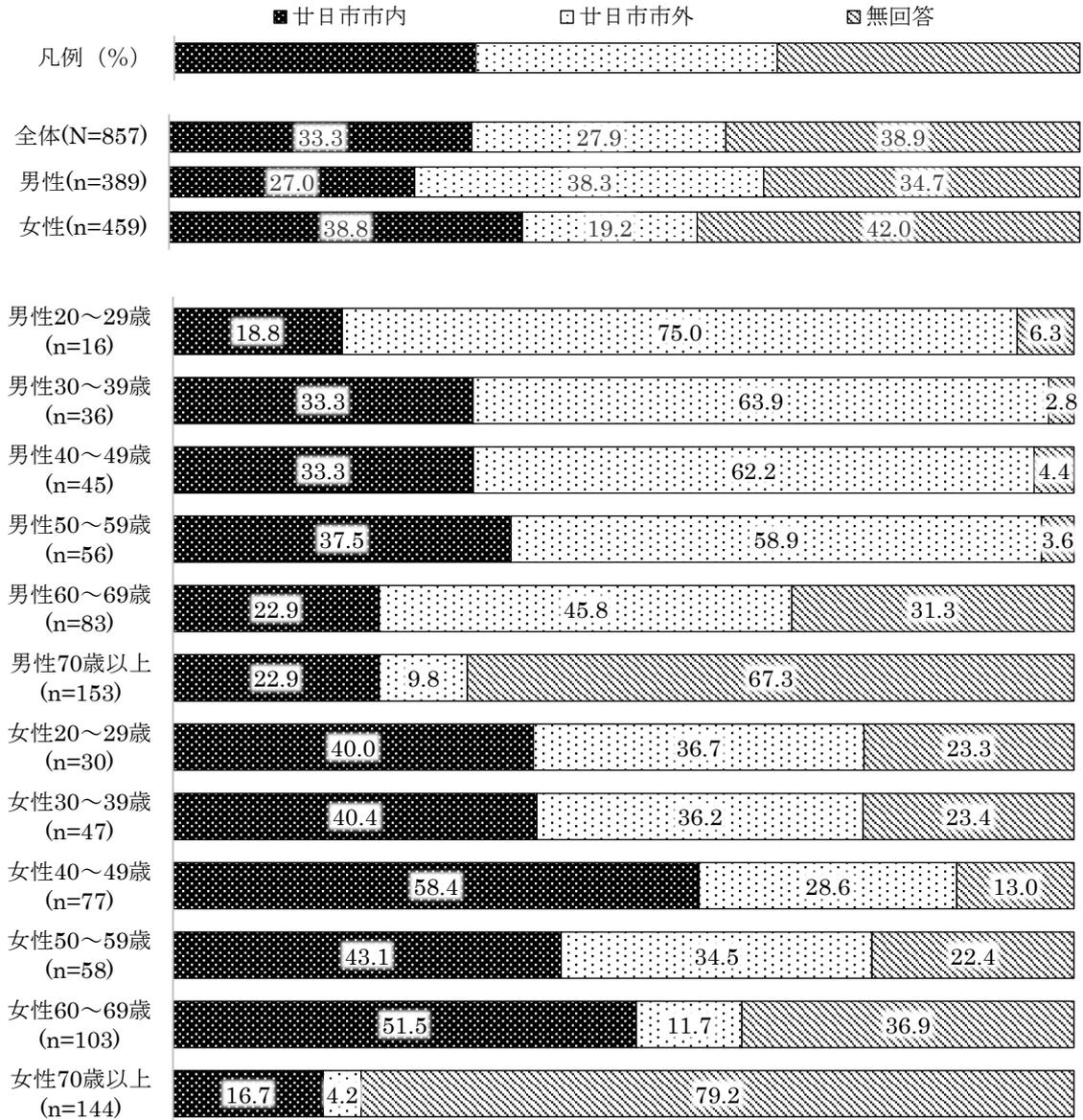
居住地について、全体では「廿日市地域」が73.1%と最も高く、次いで「大野地域」(18.8%)、「佐伯地域」(6.4%)、「宮島地域」(0.6%)、「吉和地域」(0.2%)の順となっている。



(7) 勤務地

問8 あなたの職場は廿日市市内ですか。(〇は1つ)

勤務地について、全体では「廿日市市内」が33.3%、「廿日市市外」が27.9%となっている。
 性別では、男性は「廿日市市外」が38.3%、「廿日市市内」が27.0%の順となっているのに比べ、
 女性は「廿日市市内」が38.8%、「廿日市市外」が19.2%の順となっている。
 性・年齢別では、男性では20～59歳で「廿日市市外」の割合が50%以上となっており、女性では
 20～69歳で「廿日市市内」の割合が40%以上となっている。

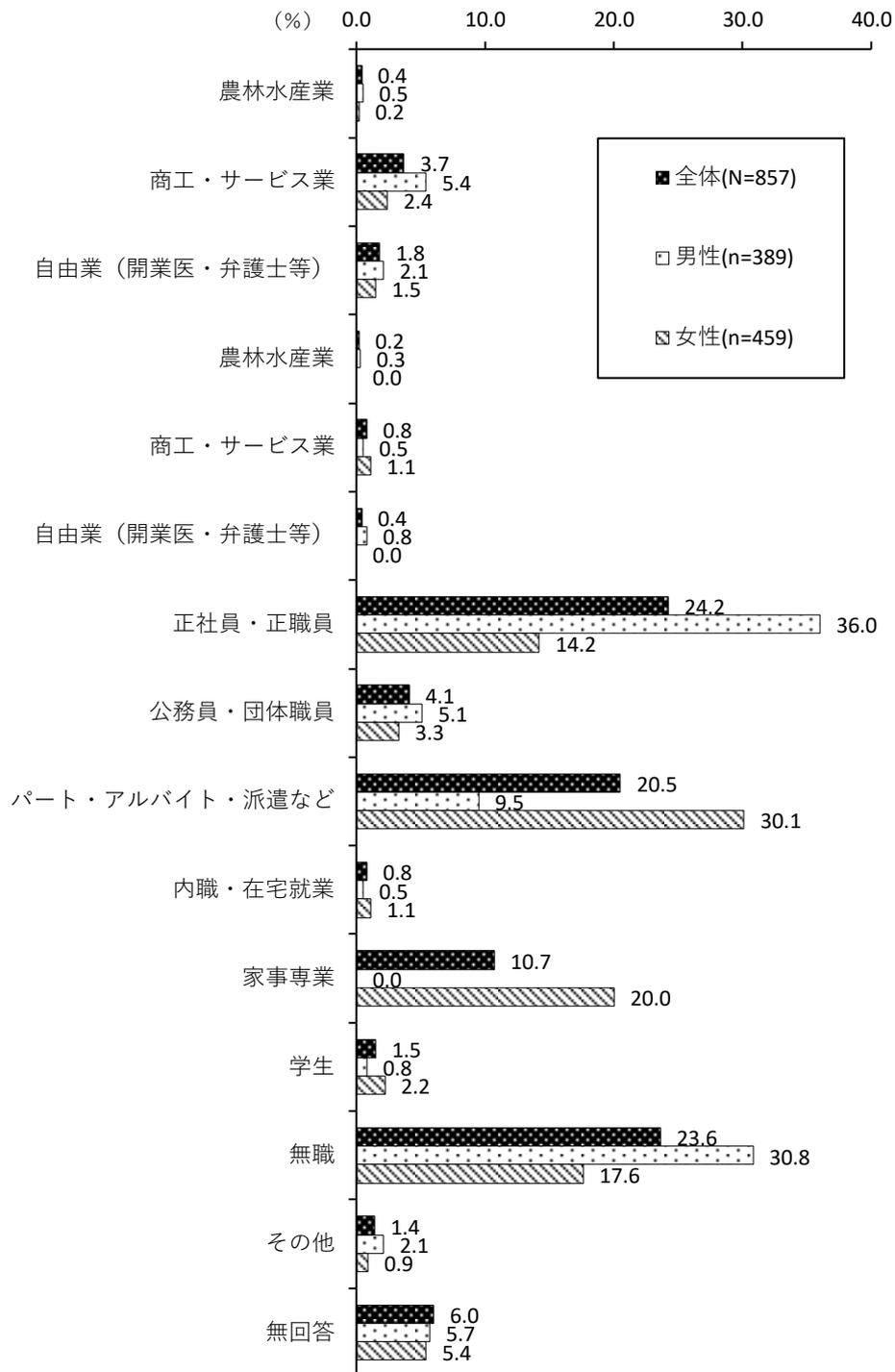


(8) 職業

問9 あなたの職業をお答えください。(〇は1つ)

職業について、全体では「正社員・正職員」が24.2%で最も高く、次いで「無職」(23.6%)、「パート・アルバイト・派遣など」(20.5%)、「家事専業」(10.7%)の順になっている。

性別では、男性は「正社員・正職員」が36.0%で最も高く、次いで「無職」(30.8%)となっているが、女性では「パート・アルバイト・派遣など」が30.1%と最も高く、次いで「家事専業」(20.0%)となっている。



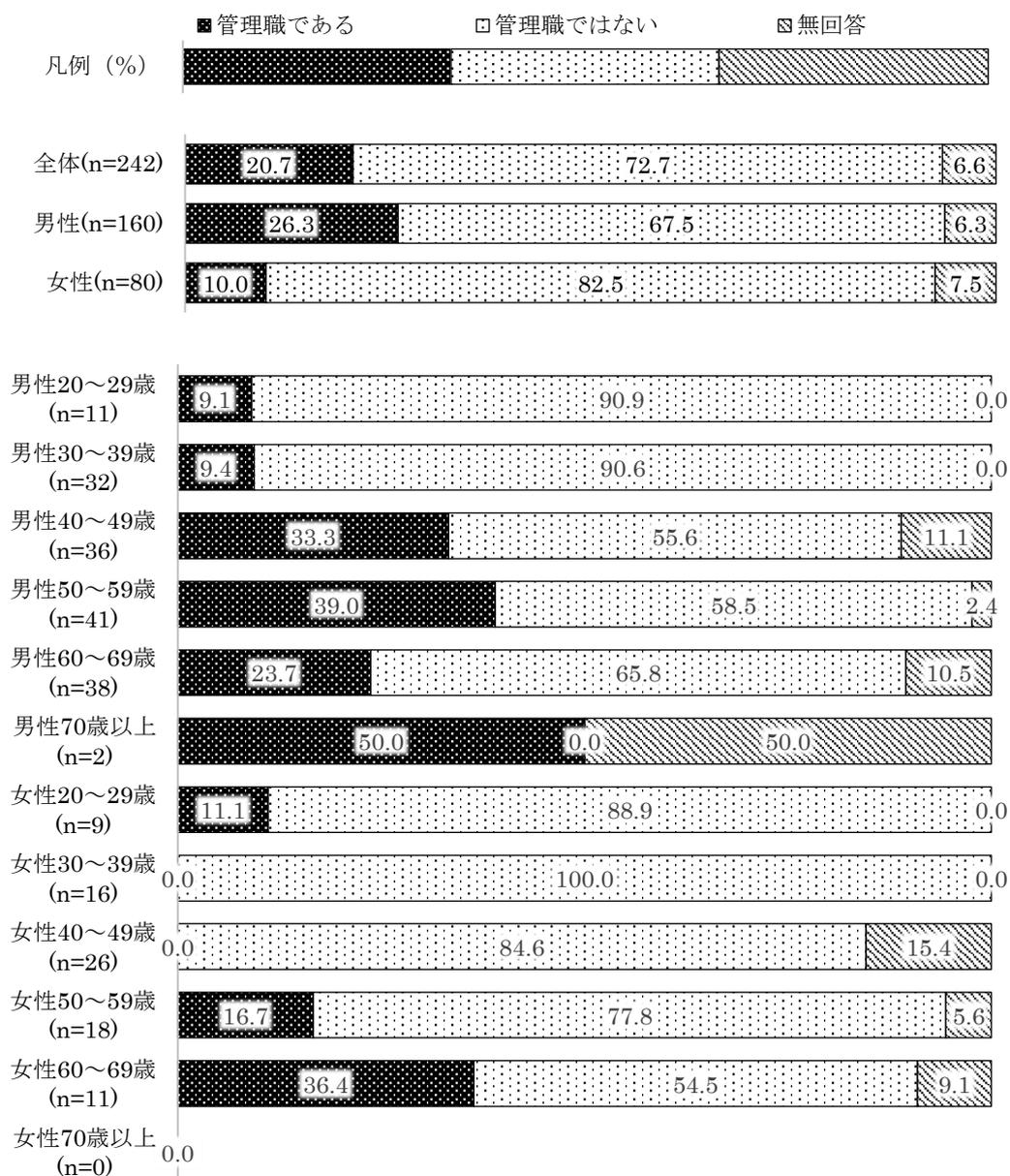
問9付問 【問9で「7」「8」と答えた方のみにおたずねします。】

あなたは管理職ですか。

管理職であるかどうかについて、全体では「管理職である」が20.7%、「管理職ではない」が72.7%となっている。

性別では、男性は「管理職である」が26.3%、「管理職でない」が67.5%、女性では「管理職である」が10.0%、「管理職でない」が82.5%となっている。

性・年齢別では、男性の40歳以上で「管理職である」と回答した割合が高くなっており、女性では60～69歳で「管理職である」が他の年齢層より高くなっている。また、女性の20～29歳で「管理職である」と回答した割合が11.1%（1名）となっている。



3 男女共同参画に関する知識について

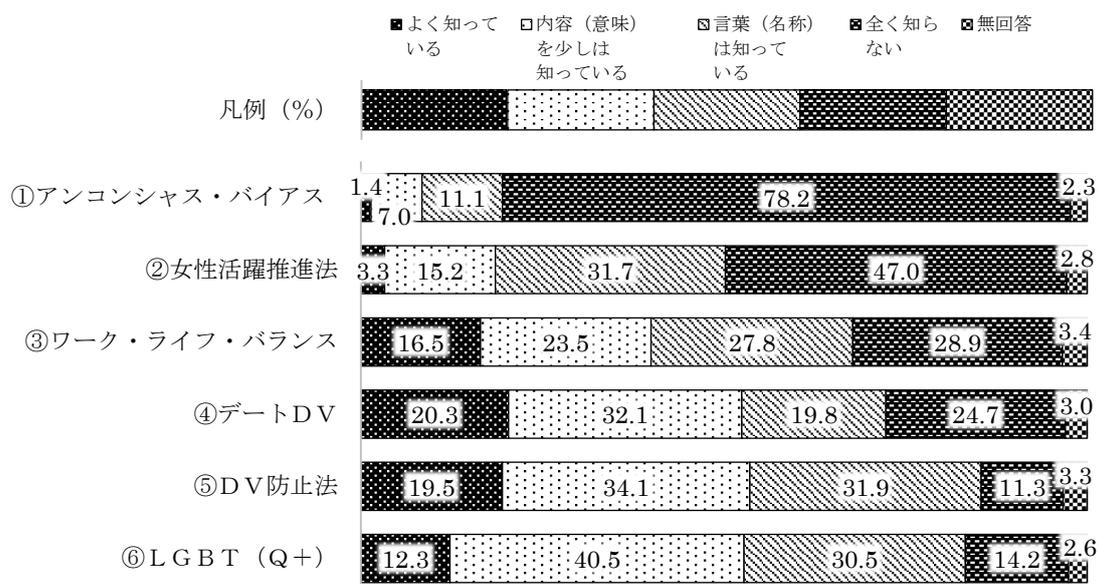
(1) 用語の意味について

問 10 あなたは、次にあげる用語の意味を知っていますか。(〇は1つずつ)

用語の意味について、「よく知っている」「内容(意味)を少しは知っている」「言葉(名称)は知っている」を合計した「知っている」の割合は、「⑤DV防止法」が85.5%と最も高くなっており、次いで「⑥LGBT(Q+)」(83.3%)、「④デートDV」(72.2%)、「③ワーク・ライフ・バランス」(67.8%)、「②女性活躍推進法」(50.2%)、「①アンコンシャス・バイアス」(19.5%)の順となっている。

「全く知らない」の割合は、「①アンコンシャス・バイアス」が78.2%と最も高くなっており、次いで「②女性活躍推進法」(47.0%)、「③ワーク・ライフ・バランス」(28.9%)、「④デートDV」(24.7%)、「⑥LGBT(Q+)」(14.2%)、「⑤DV防止法」(11.3%)の順となっている。

性別・年齢別で「全く知らない」の割合が高いのは、「①アンコンシャス・バイアス」が女性の30～39歳で97.9%、「②女性活躍推進法」が女性の30～39歳で57.4%、50～59歳で58.6%、「③ワーク・ライフ・バランス」が男性の70歳以上で41.2%、「④デートDV」が男性の70歳以上で37.9%、「⑥LGBT(Q+)」が男性の70歳以上で26.1%、「⑤DV防止法」が男性の70歳以上で20.9%となっている。



①アンコンシャス・バイアス

	サンプル数	よく知っている	知っている(意味)を少しは	言葉(名称)は知って	全く知らない	無回答
全体	100.0 857	3.3 28	15.2 130	31.7 272	47.0 403	2.8 24
性別						
男性	100.0 389	4.9 19	19.8 77	36.2 141	38.0 148	1.0 4
女性	100.0 459	2.0 9	11.3 52	28.1 129	54.9 252	3.7 17
性・年齢別						
男性20～29歳	100.0 16	6.3 1	25.0 4	56.3 9	12.5 2	0.0 0
男性30～39歳	100.0 36	11.1 4	16.7 6	41.7 15	30.6 11	0.0 0
男性40～49歳	100.0 45	6.7 3	15.6 7	46.7 21	31.1 14	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	1.8 1	26.8 15	35.7 20	35.7 20	0.0 0
男性60～69歳	100.0 83	7.2 6	25.3 21	32.5 27	34.9 29	0.0 0
男性70歳以上	100.0 153	2.6 4	15.7 24	32.0 49	47.1 72	2.6 4
女性20～29歳	100.0 30	3.3 1	26.7 8	33.3 10	33.3 10	3.3 1
女性30～39歳	100.0 47	0.0 0	8.5 4	34.0 16	57.4 27	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	2.6 2	11.7 9	31.2 24	53.2 41	1.3 1
女性50～59歳	100.0 58	5.2 3	6.9 4	29.3 17	58.6 34	0.0 0
女性60～69歳	100.0 103	1.9 2	14.6 15	26.2 27	54.4 56	2.9 3
女性70歳以上	100.0 144	0.7 1	8.3 12	24.3 35	58.3 84	8.3 12

②女性活躍推進法

	サンプル数	よく知っている	知っている(意味)を少しは	言葉(名称)は知って	全く知らない	無回答
全体	100.0 857	1.4 12	7.0 60	11.1 95	78.2 670	2.3 20
性別						
男性	100.0 389	1.5 6	9.8 38	12.3 48	75.3 293	1.0 4
女性	100.0 459	1.3 6	4.8 22	10.0 46	81.0 372	2.8 13
性・年齢別						
男性20～29歳	100.0 16	0.0 0	0.0 0	31.3 5	62.5 10	6.3 1
男性30～39歳	100.0 36	2.8 1	11.1 4	8.3 3	77.8 28	0.0 0
男性40～49歳	100.0 45	0.0 0	17.8 8	8.9 4	73.3 33	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	1.8 1	16.1 9	16.1 9	66.1 37	0.0 0
男性60～69歳	100.0 83	2.4 2	9.6 8	15.7 13	72.3 60	0.0 0
男性70歳以上	100.0 153	1.3 2	5.9 9	9.2 14	81.7 125	2.0 3
女性20～29歳	100.0 30	3.3 1	3.3 1	10.0 3	80.0 24	3.3 1
女性30～39歳	100.0 47	0.0 0	0.0 0	2.1 1	97.9 46	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	1.3 1	5.2 4	11.7 9	81.8 63	0.0 0
女性50～59歳	100.0 58	1.7 1	10.3 6	10.3 6	77.6 45	0.0 0
女性60～69歳	100.0 103	1.0 1	3.9 4	13.6 14	80.6 83	1.0 1
女性70歳以上	100.0 144	1.4 2	4.9 7	9.0 13	77.1 111	7.6 11

注:各クロス集計(年齢別など)において、最も高い割合の箇所を網掛けしている。
また、太枠は各クロス集計において、全体値より10%以上高い割合の箇所を示している。

③ワーク・ライフ・バランス

	サンプル数	よく知っている	知っている(意味)を少しは	言葉(名称)は知って	全く知らない	無回答
全体	100.0 857	16.5 141	23.5 201	27.8 238	28.9 248	3.4 29
性別						
男性	100.0 389	18.3 71	22.9 89	28.3 110	29.0 113	1.5 6
女性	100.0 459	15.3 70	24.0 110	27.5 126	29.0 133	4.4 20
性・年齢別						
男性20～29歳	100.0 16	37.5 6	31.3 5	18.8 3	12.5 2	0.0 0
男性30～39歳	100.0 36	27.8 10	22.2 8	27.8 10	22.2 8	0.0 0
男性40～49歳	100.0 45	28.9 13	26.7 12	17.8 8	26.7 12	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	23.2 13	23.2 13	28.6 16	23.2 13	1.8 1
男性60～69歳	100.0 83	18.1 15	28.9 24	34.9 29	18.1 15	0.0 0
男性70歳以上	100.0 153	9.2 14	17.6 27	28.8 44	41.2 63	3.3 5
女性20～29歳	100.0 30	43.3 13	16.7 5	20.0 6	16.7 5	3.3 1
女性30～39歳	100.0 47	25.5 12	19.1 9	27.7 13	27.7 13	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	14.3 11	36.4 28	27.3 21	19.5 15	2.6 2
女性50～59歳	100.0 58	19.0 11	27.6 16	17.2 10	36.2 21	0.0 0
女性60～69歳	100.0 103	12.6 13	24.3 25	32.0 33	26.2 27	4.9 5
女性70歳以上	100.0 144	6.9 10	18.8 27	29.9 43	36.1 52	8.3 12

④デートDV

	サンプル数	よく知っている	知っている(意味)を少しは	言葉(名称)は知って	全く知らない	無回答
全体	100.0 857	20.3 174	32.1 275	19.8 170	24.7 212	3.0 26
性別						
男性	100.0 389	17.5 68	29.0 113	22.6 88	29.3 114	1.5 6
女性	100.0 459	23.1 106	34.2 157	17.6 81	21.4 98	3.7 17
性・年齢別						
男性20～29歳	100.0 16	43.8 7	37.5 6	6.3 1	12.5 2	0.0 0
男性30～39歳	100.0 36	19.4 7	22.2 8	25.0 9	33.3 12	0.0 0
男性40～49歳	100.0 45	22.2 10	33.3 15	15.6 7	28.9 13	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	19.6 11	32.1 18	26.8 15	21.4 12	0.0 0
男性60～69歳	100.0 83	15.7 13	41.0 34	22.9 19	20.5 17	0.0 0
男性70歳以上	100.0 153	13.1 20	20.9 32	24.2 37	37.9 58	3.9 6
女性20～29歳	100.0 30	43.3 13	16.7 5	30.0 9	6.7 2	3.3 1
女性30～39歳	100.0 47	19.1 9	40.4 19	17.0 8	23.4 11	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	28.6 22	41.6 32	10.4 8	19.5 15	0.0 0
女性50～59歳	100.0 58	25.9 15	46.6 27	13.8 8	12.1 7	1.7 1
女性60～69歳	100.0 103	25.2 26	39.8 41	19.4 20	13.6 14	1.9 2
女性70歳以上	100.0 144	14.6 21	22.9 33	19.4 28	34.0 49	9.0 13

⑤DV防止法

	サンプル数	よく知っている	内容(意味)を少し知っている	言葉(名称)は知っている	全く知らない	無回答
全体	100.0 857	19.5 167	34.1 292	31.9 273	11.3 97	3.3 28
性別						
男性	100.0 389	17.7 69	33.7 131	32.6 127	13.1 51	2.8 11
女性	100.0 459	21.4 98	34.2 157	31.4 144	10.0 46	3.1 14
性・年齢別						
男性20～29歳	100.0 16	25.0 4	25.0 4	37.5 6	12.5 2	0.0 0
男性30～39歳	100.0 36	19.4 7	36.1 13	36.1 13	8.3 3	0.0 0
男性40～49歳	100.0 45	20.0 9	35.6 16	31.1 14	13.3 6	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	23.2 13	33.9 19	37.5 21	5.4 3	0.0 0
男性60～69歳	100.0 83	18.1 15	43.4 36	30.1 25	6.0 5	2.4 2
男性70歳以上	100.0 153	13.7 21	28.1 43	31.4 48	20.9 32	5.9 9
女性20～29歳	100.0 30	23.3 7	20.0 6	40.0 12	13.3 4	3.3 1
女性30～39歳	100.0 47	12.8 6	34.0 16	40.4 19	12.8 6	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	23.4 18	41.6 32	26.0 20	7.8 6	1.3 1
女性50～59歳	100.0 58	27.6 16	43.1 25	24.1 14	5.2 3	0.0 0
女性60～69歳	100.0 103	22.3 23	43.7 45	26.2 27	5.8 6	1.9 2
女性70歳以上	100.0 144	19.4 28	22.9 33	36.1 52	14.6 21	6.9 10

⑥LGBT (Q+)

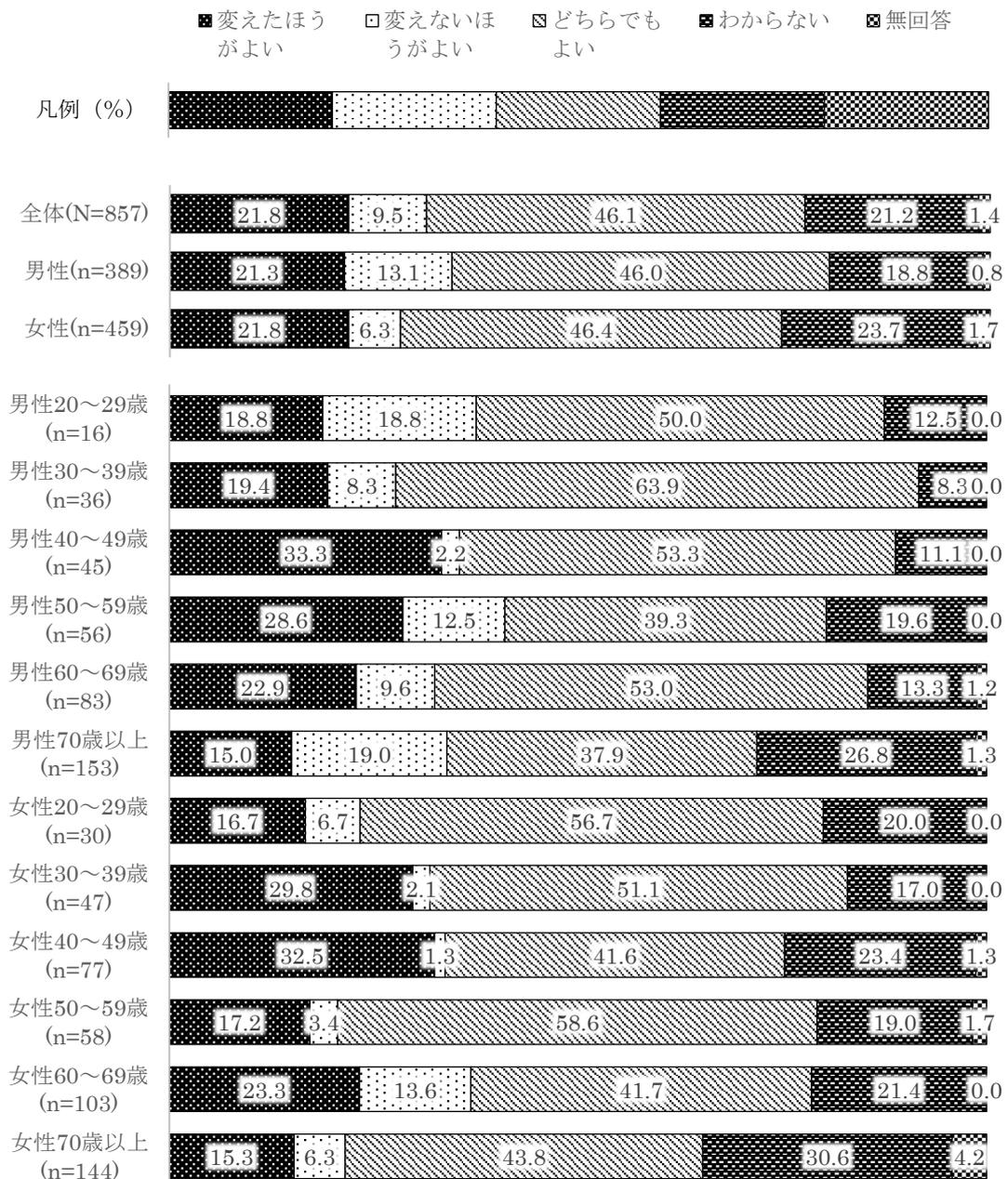
	サンプル数	よく知っている	内容(意味)を少し知っている	言葉(名称)は知っている	全く知らない	無回答
全体	100.0 857	12.3 105	40.5 347	30.5 261	14.2 122	2.6 22
性別						
男性	100.0 389	11.3 44	39.1 152	30.3 118	17.5 68	1.8 7
女性	100.0 459	13.3 61	41.4 190	30.9 142	11.8 54	2.6 12
性・年齢別						
男性20～29歳	100.0 16	25.0 4	31.3 5	31.3 5	12.5 2	0.0 0
男性30～39歳	100.0 36	16.7 6	52.8 19	22.2 8	8.3 3	0.0 0
男性40～49歳	100.0 45	11.1 5	46.7 21	33.3 15	8.9 4	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	19.6 11	42.9 24	28.6 16	8.9 5	0.0 0
男性60～69歳	100.0 83	10.8 9	39.8 33	36.1 30	13.3 11	0.0 0
男性70歳以上	100.0 153	5.9 9	32.7 50	28.8 44	28.1 43	4.6 7
女性20～29歳	100.0 30	30.0 9	43.3 13	16.7 5	10.0 3	0.0 0
女性30～39歳	100.0 47	17.0 8	46.8 22	25.5 12	10.6 5	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	15.6 12	50.6 39	26.0 20	7.8 6	0.0 0
女性50～59歳	100.0 58	19.0 11	32.8 19	43.1 25	5.2 3	0.0 0
女性60～69歳	100.0 103	8.7 9	47.6 49	31.1 32	10.7 11	1.9 2
女性70歳以上	100.0 144	8.3 12	33.3 48	33.3 48	18.1 26	6.9 10

(2) 「男女共同参画」という言葉について

問 11 「男女共同参画」という言葉を変えたほうがよいと思いますか。(〇はひとつ)

「男女共同参画」という言葉について、全体では、「どちらでもよい」の割合が46.1%と最も高くなっており、「変えたほうがよい」(21.8%)と「変えないほうがよい」(9.5%)を大きく上回っている。

性・年齢別では、「どちらでもよい」の割合は、男性30～39歳(63.9%)、女性20～29歳(56.7%)、女性50～59歳(58.6%)で他の年齢層より高くなっている。また、「変えたほうがよい」の割合は、男性40～49歳(33.3%)、女性40～49歳(32.5%)で他の年齢層より高くなっている。

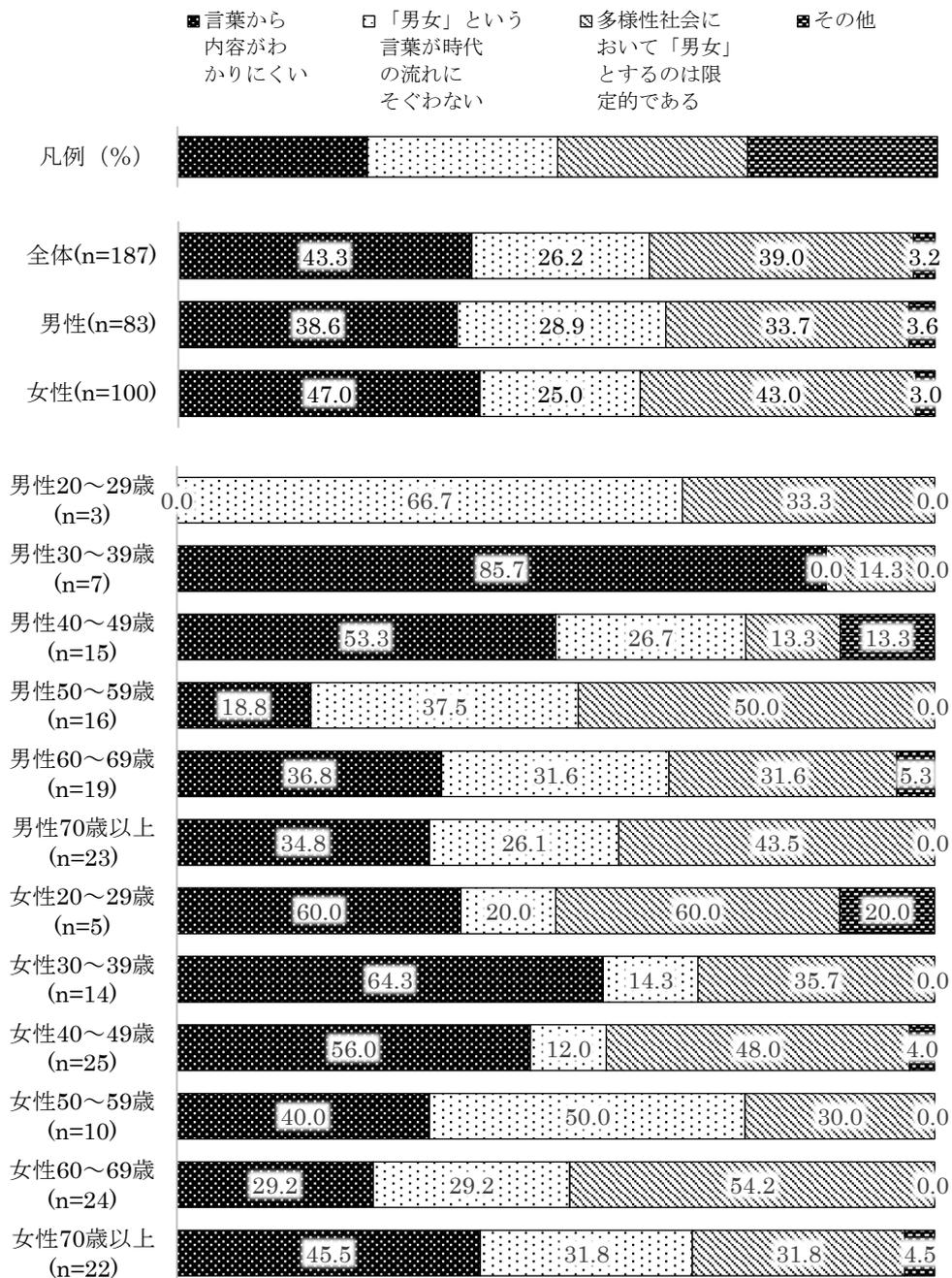


問 12 【問 11 で「1」と答えた方のみにおたずねします。】

「男女共同参画」という言葉を変えたほうがよいと思う理由をおたずねします。

「男女共同参画」という言葉を「変えたほうがよい」理由について、全体では「言葉から内容がわかりにくい」の割合が43.3%と最も高く、次いで「多様性社会において『男女』とするのは限定的である」(39.0%)、『男女』という言葉が時代の流れにそぐわない(26.2%)の順となっている。

性・年齢別では、「言葉から内容がわかりにくい」の割合が高いのは、男性の30～49歳、女性の20～49歳となっている。『男女』という言葉が時代の流れにそぐわないの割合が高いのは、男性の20～29歳及び50～59歳、女性の50～59歳となっている。「多様性社会において『男女』とするのは限定的である」の割合が高いのは、男性の50～59歳、女性の20～29歳及び60～69歳となっている。



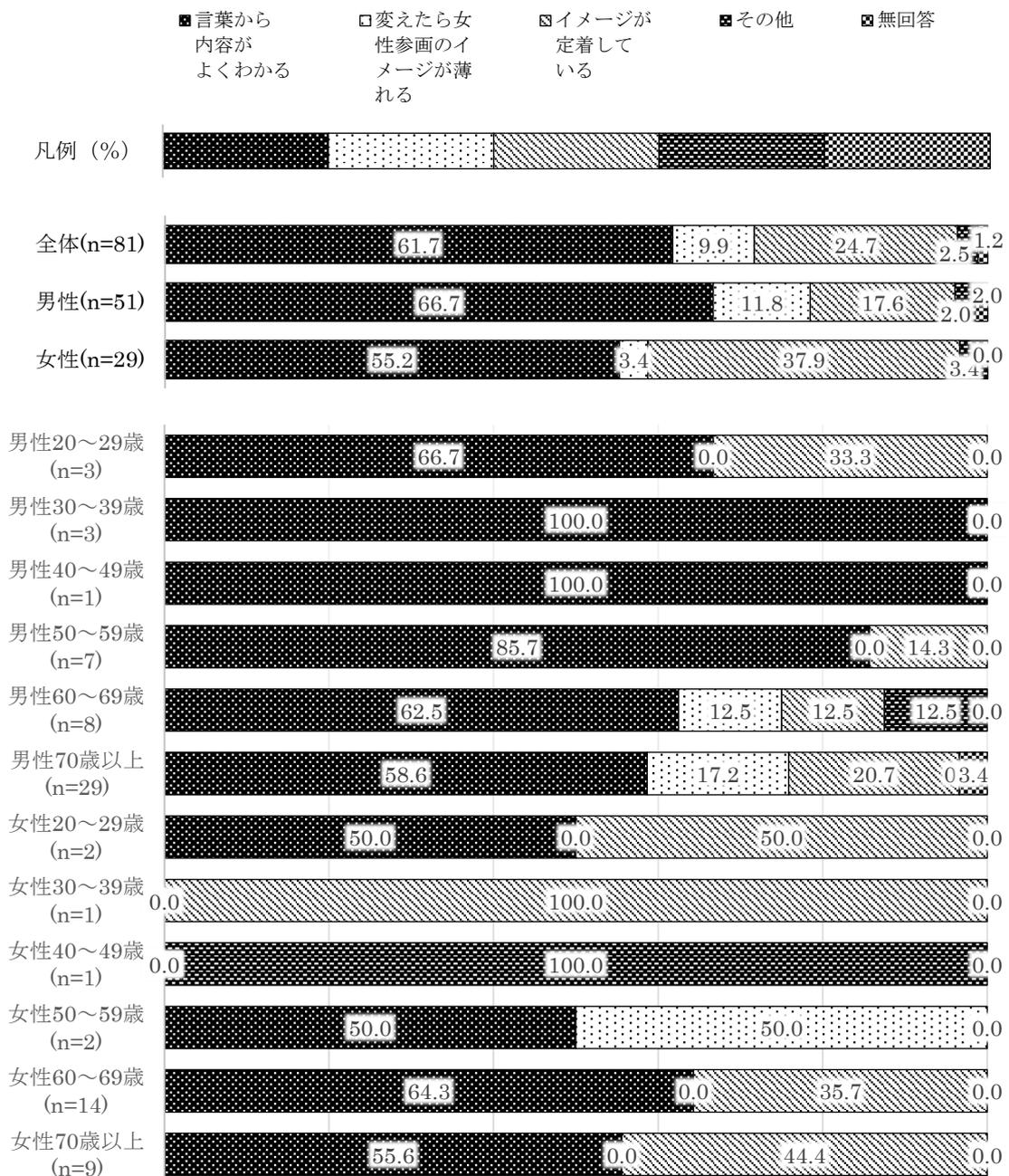
問 13 【問 11 で「2」と答えた方のみにおたずねします。】

「男女共同参画」という言葉を変えないほうがよいと思う理由をおたずねします。

「男女共同参画」という言葉を「変えないほうがよい」理由について、全体では「言葉から内容がよくわかる」の割合が61.7%と最も高く、次いで「イメージが定着している」(24.7%)、「変えたら女性参画のイメージが薄れる」(9.9%)の順となっている。

性別では、女性で「イメージが定着している」の割合が37.9%と高くなっている。

性・年齢別では、男性の30～59歳で「言葉から内容がよくわかる」の割合が高くなっており、女性の20～39歳及び60歳以上で「イメージが定着している」の割合が高くなっている。



4 調査結果

(1) 男女の役割分担と平等意識について

問 14 あなたは、次の考え方について、どのように思いますか。(〇は1つずつ)

「①夫(男)は外で働き、妻(女)は家庭を守るのが望ましい(男は仕事、女は家庭(家事・育児など)という考え方)」について、全体では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した「そう思う(合計)」の割合は30.0%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合計した「そう思わない(合計)」の割合は67.7%となっている。

性別・年齢別では、男性の70歳以上で「そう思う(合計)」の割合が45.8%と他の年齢層より高くなっている。一方、「そう思わない(合計)」の割合は、男性20～29歳で87.5%、女性20～29歳で86.7%、女性60～69歳で78.6%と他の年齢層より高くなっている。

	サンプル数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	無回答
全体	100.0	4.6	25.4	19.6	48.1	2.3
	857	39	218	168	412	20
性別						
男性	100.0	6.2	29.8	21.1	40.6	2.3
	389	24	116	82	158	9
女性	100.0	3.3	22.0	18.5	54.0	2.2
	459	15	101	85	248	10
性・年齢別						
男性20～29歳	100.0	6.3	6.3	25.0	62.5	0.0
	16	1	1	4	10	0
男性30～39歳	100.0	0.0	36.1	22.2	41.7	0.0
	36	0	13	8	15	0
男性40～49歳	100.0	4.4	24.4	22.2	48.9	0.0
	45	2	11	10	22	0
男性50～59歳	100.0	3.6	21.4	26.8	48.2	0.0
	56	2	12	15	27	0
男性60～69歳	100.0	3.6	30.1	25.3	39.8	1.2
	83	3	25	21	33	1
男性70歳以上	100.0	10.5	35.3	15.7	33.3	5.2
	153	16	54	24	51	8
女性20～29歳	100.0	3.3	10.0	10.0	76.7	0.0
	30	1	3	3	23	0
女性30～39歳	100.0	0.0	27.7	21.3	51.1	0.0
	47	0	13	10	24	0
女性40～49歳	100.0	0.0	20.8	22.1	55.8	1.3
	77	0	16	17	43	1
女性50～59歳	100.0	3.4	19.0	17.2	60.3	0.0
	58	2	11	10	35	0
女性60～69歳	100.0	2.9	17.5	23.3	55.3	1.0
	103	3	18	24	57	1
女性70歳以上	100.0	6.3	27.8	14.6	45.8	5.6
	144	9	40	21	66	8

「②「男は男らしく、女は女らしく」という価値観や考え方」について、全体では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した「そう思う(合計)」の割合は36.8%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合計した「そう思わない(合計)」の割合は60.2%となっている。

性別・年齢別では、「そう思う(合計)」の割合が男性の70歳以上で高くなっている。「そう思わない(合計)」の割合は、男性の20～29歳及び40～49歳、女性の20～69歳で高くなっている。

	サンプル数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	無回答
全体	100.0	7.4	29.4	23.7	36.5	3.0
	857	63	252	203	313	26
性別						
男性	100.0	12.3	32.9	22.9	28.8	3.1
	389	48	128	89	112	12
女性	100.0	3.3	26.8	24.4	42.9	2.6
	459	15	123	112	197	12
性・年齢別						
男性20～29歳	100.0	6.3	12.5	37.5	43.8	0.0
	16	1	2	6	7	0
男性30～39歳	100.0	2.8	38.9	27.8	30.6	0.0
	36	1	14	10	11	0
男性40～49歳	100.0	6.7	26.7	28.9	37.8	0.0
	45	3	12	13	17	0
男性50～59歳	100.0	8.9	32.1	30.4	28.6	0.0
	56	5	18	17	16	0
男性60～69歳	100.0	12.0	33.7	18.1	34.9	1.2
	83	10	28	15	29	1
男性70歳以上	100.0	18.3	35.3	18.3	20.9	7.2
	153	28	54	28	32	11
女性20～29歳	100.0	0.0	10.0	23.3	66.7	0.0
	30	0	3	7	20	0
女性30～39歳	100.0	0.0	29.8	29.8	40.4	0.0
	47	0	14	14	19	0
女性40～49歳	100.0	1.3	16.9	27.3	53.2	1.3
	77	1	13	21	41	1
女性50～59歳	100.0	5.2	24.1	27.6	43.1	0.0
	58	3	14	16	25	0
女性60～69歳	100.0	1.9	26.2	25.2	45.6	1.0
	103	2	27	26	47	1
女性70歳以上	100.0	6.3	36.1	19.4	31.3	6.9
	144	9	52	28	45	10

「③知的能力は、男女の差より個人差の方が大きい」について、全体では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した「そう思う（合計）」の割合は87.6%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合計した「そう思わない（合計）」の割合は9.8%となっている。

性別・年齢別でも、全ての年齢層で「そう思う（合計）」の割合が80%以上となっている。

	サンプル数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体	100.0 857	57.8 495	29.8 255	3.3 28	6.5 56	
性別						
男性	100.0 389	56.3 219	28.5 111	2.8 11	9.3 36	
女性	100.0 459	59.5 273	30.7 141	3.7 17	3.9 18	
性・年齢別						
男性20～29歳	100.0 16	56.3 9	37.5 6	0.0 0	6.3 1	
男性30～39歳	100.0 36	58.3 21	33.3 12	5.6 2	2.8 1	
男性40～49歳	100.0 45	66.7 30	20.0 9	6.7 3	6.7 3	
男性50～59歳	100.0 56	64.3 36	26.8 15	0.0 0	8.9 5	
男性60～69歳	100.0 83	62.7 52	20.5 17	2.4 2	13.3 11	
男性70歳以上	100.0 153	46.4 71	34.0 52	2.6 4	9.8 15	
女性20～29歳	100.0 30	66.7 20	26.7 8	0.0 0	6.7 2	
女性30～39歳	100.0 47	53.2 25	34.0 16	6.4 3	4.3 2	
女性40～49歳	100.0 77	67.5 52	27.3 21	2.6 2	1.3 1	
女性50～59歳	100.0 58	69.0 40	24.1 14	1.7 1	3.4 2	
女性60～69歳	100.0 103	51.5 53	37.9 39	3.9 4	5.8 6	
女性70歳以上	100.0 144	57.6 83	29.9 43	4.9 7	3.5 5	

「④体力を使う仕事以外は、男女に大きな能力の差はない」について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した「そう思う（合計）」の割合は72.4%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合計した「そう思わない（合計）」の割合は25.5%となっている。

性別・年齢別では、男性の30～49歳、女性の20～39歳で「そう思わない（合計）」の割合が高くなっている。

	サンプル数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体	100.0 857	37.0 317	35.4 303	17.3 148	8.2 70	2.2 19
性別						
男性	100.0 389	40.1 156	32.9 128	16.7 65	8.2 32	2.1 8
女性	100.0 459	34.6 159	37.7 173	17.6 81	8.1 37	2.0 9
性・年齢別						
男性20～29歳	100.0 16	31.3 5	37.5 6	12.5 2	18.8 3	0.0 0
男性30～39歳	100.0 36	27.8 10	33.3 12	30.6 11	8.3 3	0.0 0
男性40～49歳	100.0 45	26.7 12	35.6 16	24.4 11	13.3 6	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	30.4 17	37.5 21	25.0 14	7.1 4	0.0 0
男性60～69歳	100.0 83	49.4 41	26.5 22	15.7 13	7.2 6	1.2 1
男性70歳以上	100.0 153	46.4 71	33.3 51	9.2 14	6.5 10	4.6 7
女性20～29歳	100.0 30	30.0 9	30.0 9	23.3 7	16.7 5	0.0 0
女性30～39歳	100.0 47	17.0 8	38.3 18	34.0 16	10.6 5	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	32.5 25	41.6 32	18.2 14	6.5 5	1.3 1
女性50～59歳	100.0 58	39.7 23	31.0 18	22.4 13	5.2 3	1.7 1
女性60～69歳	100.0 103	38.8 40	37.9 39	12.6 13	10.7 11	0.0 0
女性70歳以上	100.0 144	37.5 54	39.6 57	12.5 18	5.6 8	4.9 7

「⑤男性は女性より多く収入を得る必要がある」について、全体では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した「そう思う（合計）」の割合は31.0%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合計した「そう思わない（合計）」の割合は66.6%となっている。

性別・年齢別では、男性の40～49歳、女性の20～29歳で「そう思わない（合計）」の割合が高くなっている。

	サンプル数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体	100.0 857	7.4 63	23.6 202	23.8 204	42.8 367	2.5 21
性別						
男性	100.0 389	8.0 31	22.9 89	24.4 95	41.9 163	2.8 11
女性	100.0 459	7.0 32	24.4 112	23.1 106	43.6 200	2.0 9
性・年齢別						
男性20～29歳	100.0 16	0.0 0	25.0 4	25.0 4	50.0 8	0.0 0
男性30～39歳	100.0 36	2.8 1	25.0 9	22.2 8	50.0 18	0.0 0
男性40～49歳	100.0 45	2.2 1	20.0 9	28.9 13	48.9 22	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	5.4 3	23.2 13	28.6 16	42.9 24	0.0 0
男性60～69歳	100.0 83	6.0 5	24.1 20	21.7 18	47.0 39	1.2 1
男性70歳以上	100.0 153	13.7 21	22.2 34	23.5 36	34.0 52	6.5 10
女性20～29歳	100.0 30	3.3 1	10.0 3	26.7 8	60.0 18	0.0 0
女性30～39歳	100.0 47	6.4 3	19.1 9	29.8 14	42.6 20	2.1 1
女性40～49歳	100.0 77	6.5 5	22.1 17	26.0 20	44.2 34	1.3 1
女性50～59歳	100.0 58	1.7 1	29.3 17	19.0 11	50.0 29	0.0 0
女性60～69歳	100.0 103	1.9 2	27.2 28	22.3 23	47.6 49	1.0 1
女性70歳以上	100.0 144	13.9 20	26.4 38	20.8 30	34.7 50	4.2 6

「⑥男性の方が論理的である」について、全体では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した「そう思う（合計）」の割合は34.2%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合計した「そう思わない（合計）」の割合は63.3%となっている。

性別・年齢別では、女性の20～29歳で「そう思わない（合計）」の割合が高くなっている。

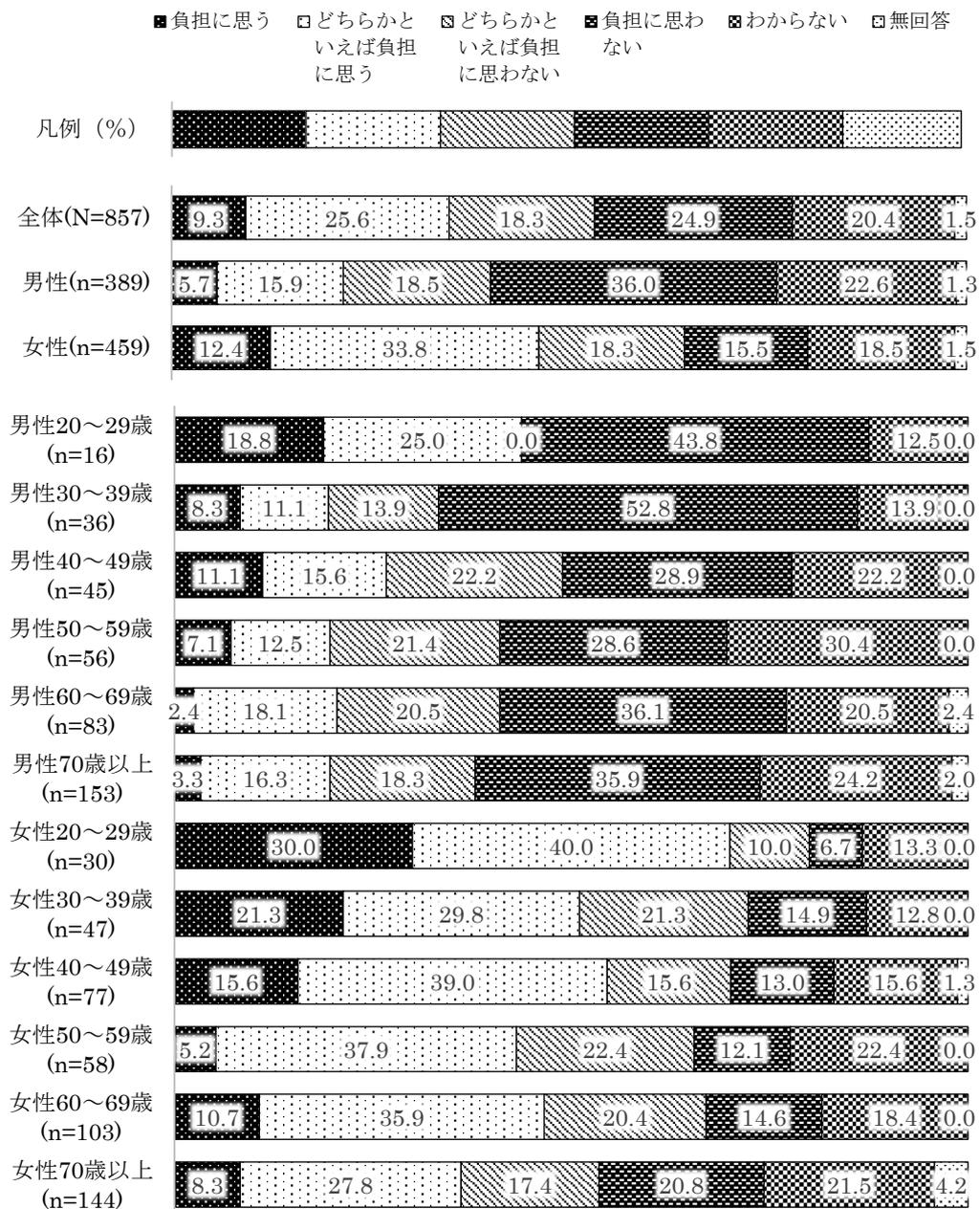
	サンプル数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体	100.0 857	6.9 59	27.3 234	23.0 197	40.3 345	2.6 22
性別						
男性	100.0 389	6.4 25	26.0 101	22.6 88	41.9 163	3.1 12
女性	100.0 459	7.4 34	28.5 131	23.5 108	38.6 177	2.0 9
性・年齢別						
男性20～29歳	100.0 16	6.3 1	31.3 5	25.0 4	37.5 6	0.0 0
男性30～39歳	100.0 36	13.9 5	25.0 9	22.2 8	38.9 14	0.0 0
男性40～49歳	100.0 45	6.7 3	26.7 12	17.8 8	48.9 22	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	5.4 3	30.4 17	23.2 13	41.1 23	0.0 0
男性60～69歳	100.0 83	2.4 2	24.1 20	22.9 19	49.4 41	1.2 1
男性70歳以上	100.0 153	7.2 11	24.8 38	23.5 36	37.3 57	7.2 11
女性20～29歳	100.0 30	10.0 3	10.0 3	16.7 5	63.3 19	0.0 0
女性30～39歳	100.0 47	8.5 4	25.5 12	31.9 15	31.9 15	2.1 1
女性40～49歳	100.0 77	9.1 7	29.9 23	24.7 19	35.1 27	1.3 1
女性50～59歳	100.0 58	8.6 5	34.5 20	24.1 14	32.8 19	0.0 0
女性60～69歳	100.0 103	4.9 5	31.1 32	21.4 22	41.7 43	1.0 1
女性70歳以上	100.0 144	6.9 10	28.5 41	22.9 33	37.5 54	4.2 6

問 15 あなたは、問 14 のような「男女の固定的な考え方」についてどう思いますか。
(〇は1つ)

「男女の固定的な考え方」について、全体では「負担に思う」と「どちらかといえば負担に思う」を合計した「負担に思う(合計)」の割合(34.9%)より、「負担に思わない」と「どちらかといえば負担に思わない」を合計した「負担に思わない(合計)」の割合(43.2%)が高くなっている。

性別では、「負担に思う(合計)」の割合について、男性は21.6%、女性は46.2%と女性の割合が圧倒的に高くなっているが、「負担に思わない(合計)」の割合については、男性は54.5%、女性は33.8%と男性の割合が高くなっている。

性・年齢別では、男性では全ての年齢において「負担に思わない」の割合が最も高くなっているのに対して、女性では全ての年齢において「どちらかといえば負担に思う」の割合が最も高くなっている。



問 16 あなたは、次の分野で、男女は平等になっていると思いますか。①から⑧までの項目について、それぞれお答えください。(〇は1つずつ)

「①家庭生活では」について、全体では「女性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合計した「女性が優遇されている(合計)」の割合は9.7%、「男性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合計した「男性が優遇されている(合計)」の割合は51.9%となっている。

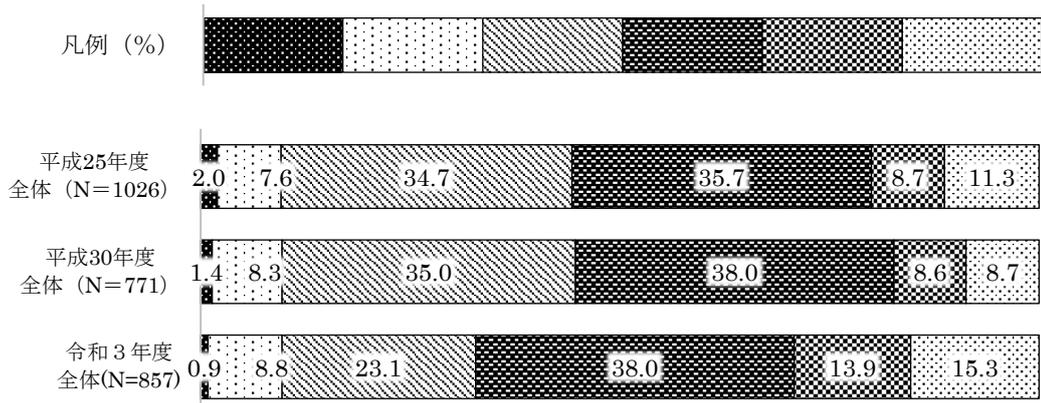
性別では、「女性が優遇されている(合計)」の割合は男性10.1%、女性9.4%、「男性が優遇されている(合計)」の割合は男性42.4%、女性59.9%となっている。

年齢別では、男性については20～29歳では女性が優遇されている(合計)と「男性が優遇されている(合計)」は25.0%と同率になっているが、年齢が上がるにつれて「女性が優遇されている(合計)」の割合が低くなっており、一方「男性が優遇されている(合計)」の割合は年齢が上がるにつれて高くなっている。女性については全ての年齢層で「男性が優遇されている(合計)」が5割を超えている。

	サンプル数	女性の方がとても優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば男性が優遇されている	男性の方がとても優遇されている	わからない	無回答
全体	1000 857	0.9 8	8.8 75	23.1 198	38.0 326	13.9 119	12.6 108	2.7 23
性別								
男性	1000 389	0.8 3	9.3 36	31.9 124	36.5 142	5.9 23	13.6 53	2.1 8
女性	1000 459	1.1 5	8.3 38	15.7 72	39.2 180	20.7 95	12.0 55	3.1 14
性・年齢別								
男性20～29歳	1000 16	0.0 0	25.0 4	25.0 4	25.0 4	0.0 0	18.8 3	6.3 1
男性30～39歳	1000 36	2.8 1	16.7 6	33.3 12	19.4 7	8.3 3	16.7 6	2.8 1
男性40～49歳	1000 45	2.2 1	15.6 7	28.9 13	26.7 12	8.9 4	17.8 8	0.0 0
男性50～59歳	1000 56	0.0 0	8.9 5	30.4 17	33.8 19	7.1 4	19.6 11	0.0 0
男性60～69歳	1000 83	0.0 0	7.2 4	36.1 30	36.1 30	7.2 6	12.0 10	1.2 1
男性70歳以上	1000 153	0.7 1	5.2 3	31.4 18	46.8 27	3.9 2	9.8 6	3.3 5
女性20～29歳	1000 30	3.3 3	23.3 23	13.3 13	33.3 33	13.3 13	13.3 13	0.0 0
女性30～39歳	1000 47	0.0 0	10.6 5	21.3 10	27.7 13	23.4 11	17.0 8	0.0 0
女性40～49歳	1000 77	2.6 2	6.5 5	15.6 12	35.1 27	20.8 16	16.9 13	2.6 2
女性50～59歳	1000 58	0.0 0	8.6 5	13.8 8	43.1 25	25.9 15	6.9 4	1.7 1
女性60～69歳	1000 103	1.9 2	2.9 3	15.5 16	41.7 43	28.2 29	7.8 8	1.9 2
女性70歳以上	1000 144	0.0 0	9.0 13	15.3 22	43.1 62	13.9 20	12.5 18	6.3 9

【時系列比較】

- 女性の方がとても優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性が優遇されている
- ▧ 平等になっている
- ▩ どちらかといえば男性が優遇されている
- 男性の方がとても優遇されている
- わからない
- 無回答



「②自治会やPTAなどの地域活動の場では」について、全体では「女性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合計した「女性が優遇されている(合計)」の割合は9.1%、「男性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合計した「男性が優遇されている(合計)」の割合は35.2%となっている。

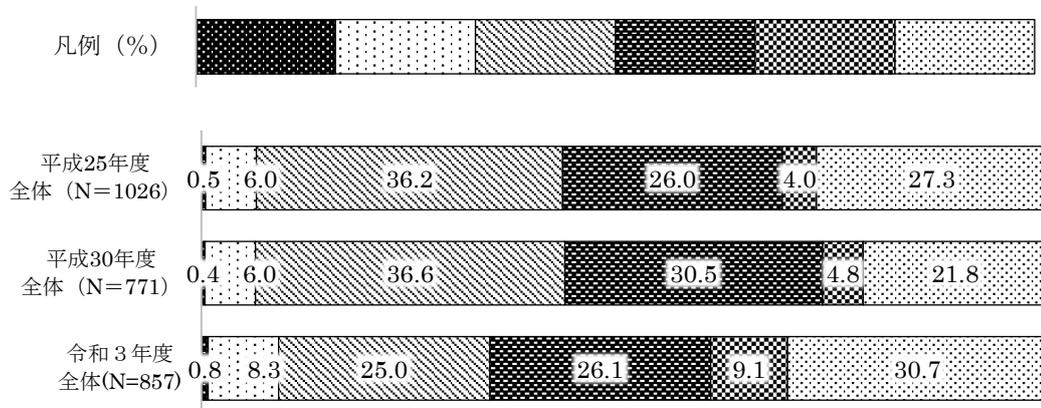
性別では、「女性が優遇されている(合計)」の割合は男性10.6%、女性8.0%、「男性が優遇されている(合計)」の割合は男性29.1%、女性40.3%となっている。

年齢別では、男性については20～39歳では「女性が優遇されている(合計)」の割合が「男性が優遇されている(合計)」の割合より高くなっているが、40歳以上では「男性が優遇されている(合計)」の割合が高くなっている。女性については全ての年齢層で「男性が優遇されている(合計)」の割合が「女性が優遇されている(合計)」の割合より高くなっている。

	サンプル数	女性の方がとても優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば男性が優遇されている	男性の方がとても優遇されている	わからない	無回答
全体	100.0 857	0.8	8.3	25.0	26.1	9.1	27.4	3.3
性別								
男性	100.0 389	1.3	9.3	31.1	24.2	4.9	27.0	2.3
女性	100.0 459	0.4	7.6	20.0	27.7	12.6	27.7	3.9
性・年齢別								
男性20～29歳	100.0 16	6.3	18.8	31.3	6.3	0.0	37.5	0.0
男性30～39歳	100.0 36	1	7	8	5	1	6	0
男性40～49歳	100.0 45	0.0	8.9	26.7	20.0	4.4	40.0	0.0
男性50～59歳	100.0 56	1.8	8.9	21.4	23.2	8.9	33.9	1.8
男性60～69歳	100.0 83	1.2	12.0	30.1	25.3	6.0	24.1	1.2
男性70歳以上	100.0 153	0.7	4.6	38.6	29.4	3.9	18.3	4.6
女性20～29歳	100.0 30	0.0	16.7	10.0	10.0	10.0	53.3	0.0
女性30～39歳	100.0 47	0.0	5	3	3	16	7	0
女性40～49歳	100.0 77	0.0	5.2	16.9	23.4	24.7	28.6	1.3
女性50～59歳	100.0 58	0.0	6.9	19.0	24.1	15.5	34.5	0.0
女性60～69歳	100.0 103	1.0	7.8	24.3	36.9	8.7	15.5	5.8
女性70歳以上	100.0 144	0.0	6.3	22.2	29.2	9.0	25.7	7.6

【時系列比較】

- 女性の方がとても優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- ▨ 平等になっている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- 男性の方がとても優遇されている
- 無回答



③職場(仕事の間)では、全体では「女性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合計した「女性が優遇されている(合計)」の割合は7.7%、「男性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合計した「男性が優遇されている(合計)」の割合は51.7%となっている。

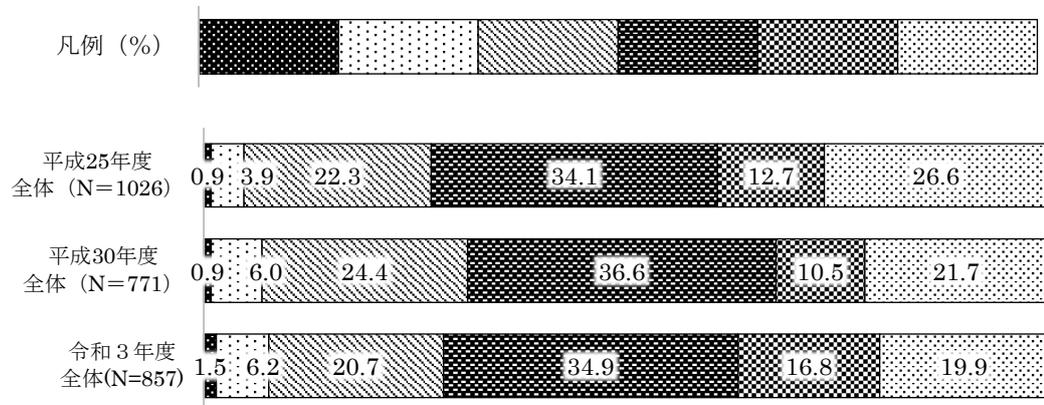
性別では、「女性が優遇されている(合計)」の割合は男性8.4%、女性7.0%、「男性が優遇されている(合計)」の割合は男性50.7%、女性52.5%となっている。

年齢別では、男性の20~29歳で「女性が優遇されている(合計)」の割合が「男性が優遇されている(合計)」の割合より高くなっているが、その他の年齢層では女性も含めて「男性が優遇されている(合計)」の割合が高くなっている。

	サンプル数	女性の方がとても優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば男性が優遇されている	男性の方がとても優遇されている	わからない	無回答
全体	100.0 857	1.5 13	6.2 53	20.7 177	34.9 299	16.8 144	16.3 140	3.6 31
性別								
男性	100.0 389	1.5 6	6.9 27	23.4 91	36.0 140	14.7 57	14.9 58	2.6 10
女性	100.0 459	1.3 6	5.7 26	18.3 84	34.0 156	18.5 85	17.9 82	4.4 20
性・年齢別								
男性20~29歳	100.0 16	0.0 0	31.3 5	25.0 4	18.8 3	0.0 0	25.0 4	0.0 0
男性30~39歳	100.0 36	5.6 2	11.1 4	30.6 11	30.6 11	11.1 4	11.1 4	0.0 0
男性40~49歳	100.0 45	2.2 1	11.1 5	33.3 15	31.1 14	13.3 6	8.9 4	0.0 0
男性50~59歳	100.0 56	1.8 1	7.1 4	21.4 12	42.9 24	16.1 9	10.7 6	0.0 0
男性60~69歳	100.0 83	1.2 1	4.8 4	20.5 17	37.3 31	15.7 13	18.1 15	2.4 2
男性70歳以上	100.0 153	0.7 1	3.3 5	20.9 32	37.3 57	16.3 25	16.3 25	5.2 8
女性20~29歳	100.0 30	0.0 0	13.3 4	23.3 7	33.3 10	13.3 4	16.7 5	0.0 0
女性30~39歳	100.0 47	2.1 1	8.5 4	19.1 9	38.3 18	19.1 9	12.8 6	0.0 0
女性40~49歳	100.0 77	5.2 4	10.4 8	26.0 20	24.7 19	15.6 12	15.6 12	2.6 2
女性50~59歳	100.0 58	0.0 0	5.2 3	29.3 17	31.0 18	19.0 11	15.5 9	0.0 0
女性60~69歳	100.0 103	0.0 0	4.9 5	17.5 18	49.5 51	20.4 21	5.8 6	1.9 2
女性70歳以上	100.0 144	0.7 1	1.4 2	9.0 13	27.8 40	19.4 28	30.6 44	11.1 16

【時系列比較】

- 女性の方がとても優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性が優遇されている
- ▩ 平等になっている
- ▧ どちらかといえば男性が優遇されている
- 男性の方がとても優遇されている
- わからない
- 無回答



「④学校教育の場では」について、全体では「平等になっている」の割合が39.3%と最も高くなっているが、「男性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合計した「男性が優遇されている（合計）」の割合は17.9%となっている。

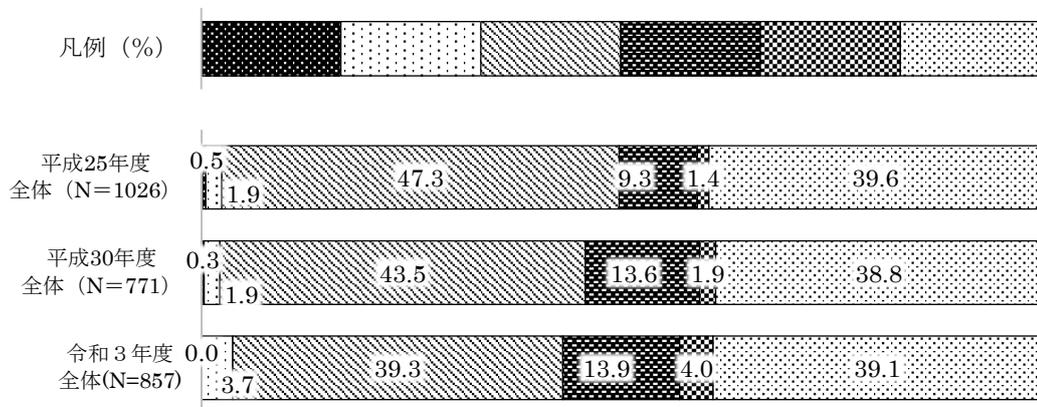
性別では、「男性が優遇されている（合計）」の割合が、男性では12.6%となっているが、女性では22.0%となっている。

年齢別では、男性の30～39歳で「女性が優遇されている（合計）」の割合が「男性が優遇されている（合計）」の割合より高くなっているが、女性の60歳以上では「男性が優遇されている（合計）」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

	サンプル数	女性の方がとても優遇されている	どちらかといえば女性	平等になっている	どちらかといえば男性	男性の方がとても優遇されている	わからない	無回答
全体	857	0.0	3.7	39.3	13.9	4.0	35.2	3.9
性別								
男性	389	0.0	2.2	16.5	4.1	8	140	13
女性	459	0.0	10	170	75	26	159	19
性・年齢別								
男性20～29歳	16	0.0	1	7	1	0	7	0
男性30～39歳	36	0.0	4	14	0	1	17	0
男性40～49歳	45	0.0	2	21	3	0	19	0
男性50～59歳	56	0.0	4	22	3	2	25	0
男性60～69歳	83	0.0	5	36	10	1	28	3
男性70歳以上	153	0.0	6	65	24	4	44	10
女性20～29歳	30	0.0	1	12	5	0	12	0
女性30～39歳	47	0.0	2	20	7	3	15	0
女性40～49歳	77	0.0	2	33	7	2	32	1
女性50～59歳	58	0.0	1	21	7	3	25	1
女性60～69歳	103	0.0	1	39	29	8	23	3
女性70歳以上	144	0.0	3	45	20	10	52	14

【時系列比較】

- 女性の方がとても優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性
- ▩ 平等になっている
- どちらかといえば男性
- ▨ 男性の方がとても優遇されている
- ▩ わからない・無回答

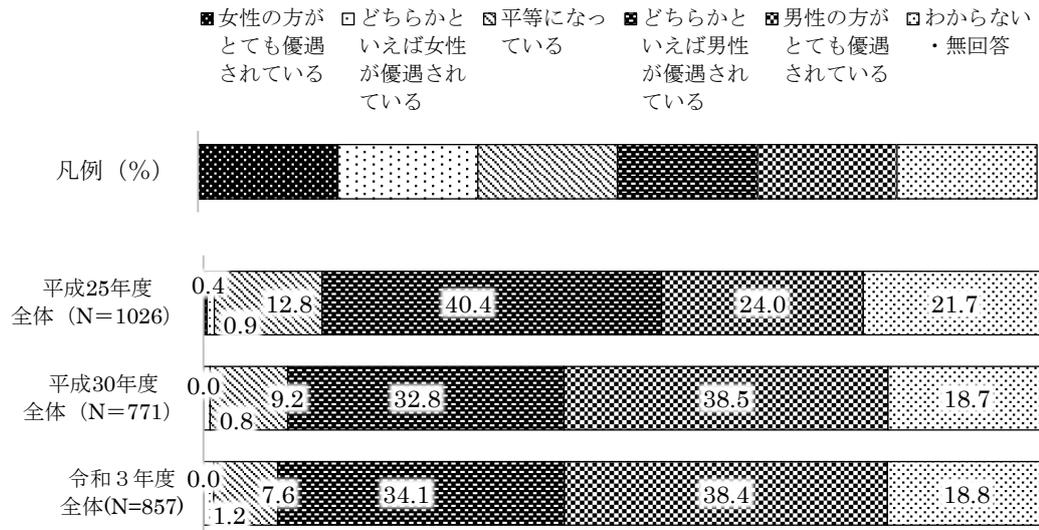


「⑤政治の場では」について、全体では「男性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合計した「男性が優遇されている(合計)」の割合は72.5%となっており、「女性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合計した「女性が優遇されている(合計)」の割合(1.2%)に比べて、圧倒的に高くなっている。

性別及び性・年齢別でも、同様の結果となっているが、特に女性では全ての年齢層で「男性が優遇されている(合計)」の割合が75%以上となっている。

	サンプル数	女性の方がとても優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば男性が優遇されている	男性の方がとても優遇されている	わからない	無回答
全体	857	0.0	1.2	7.6	34.1	38.4	16.0	2.8
性別								
男性	389	0.0	1.5	11.1	35.2	33.7	16.5	2.1
女性	459	0.0	0.9	4.8	32.9	42.5	15.7	3.3
性・年齢別								
男性20~29歳	16	0.0	0.0	12.5	43.8	25.0	18.8	0.0
男性30~39歳	36	0.0	1.1	2.2	17.1	10.0	6.0	0.0
男性40~49歳	45	0.0	2.2	8.9	33.3	31.1	24.4	0.0
男性50~59歳	56	0.0	1.8	3.6	35.7	39.3	17.9	1.8
男性60~69歳	83	0.0	0.0	7.2	41.0	41.0	9.6	1.2
男性70歳以上	153	0.0	3.3	27.1	28.8	30.7	17.0	3.9
女性20~29歳	30	0.0	0.0	6.7	33.3	50.0	10.0	0.0
女性30~39歳	47	0.0	2.1	2.1	34.0	44.7	17.0	0.0
女性40~49歳	77	0.0	3.9	3.9	24.7	53.2	13.0	1.3
女性50~59歳	58	0.0	0.0	0.0	32.8	44.8	20.7	1.7
女性60~69歳	103	0.0	0.0	4.9	34.0	47.6	13.6	0.0
女性70歳以上	144	0.0	0.0	7.6	36.1	29.9	17.4	9.0

【時系列比較】



「⑥法律や制度の上では」について、全体では「女性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合計した「女性が優遇されている（合計）」の割合は4.9%、「男性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合計した「男性が優遇されている（合計）」の割合は42.0%となっている。

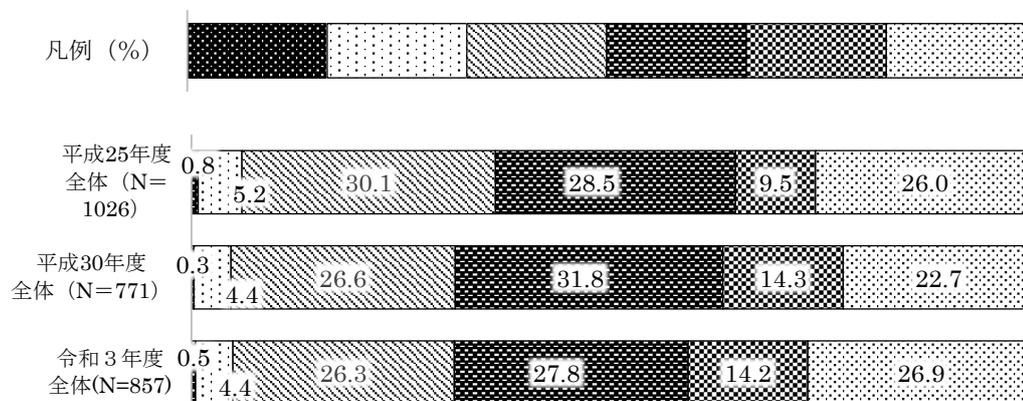
性別では、「女性が優遇されている（合計）」の割合は男性7.0%、女性3.3%、「男性が優遇されている（合計）」の割合は男性34.5%、女性48.2%となっている。

年齢別では、男性の20～29歳では「女性が優遇されている（合計）」の割合が31.3%となっており、「男性が優遇されている（合計）」の割合（25.1%）より高くなっているが、他の年齢層では「男性が優遇されている（合計）」の割合が「女性が優遇されている（合計）」の割合より高くなっている。

	サンプル数	女性の方がとても優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば男性が優遇されている	男性の方がとても優遇されている	わからない	無回答
全体	100.0 857	0.5 4	4.4 38	26.3 225	27.8 238	14.2 122	23.7 203	3.2 27
性別								
男性	100.0 389	0.3 1	6.7 26	34.4 134	26.5 103	8.0 31	21.1 82	3.1 12
女性	100.0 459	0.7 3	2.6 12	19.6 90	29.0 133	19.2 88	25.9 119	3.1 14
性・年齢別								
男性20～29歳	100.0 16	0.0 0	31.3 5	12.5 2	18.8 3	6.3 1	31.3 5	0.0 0
男性30～39歳	100.0 36	0.0 0	13.9 5	22.2 8	16.7 6	11.1 4	33.3 12	2.8 1
男性40～49歳	100.0 45	2.2 1	6.7 3	33.3 15	24.4 11	2.2 1	31.1 14	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	0.0 0	10.7 6	30.4 17	32.1 18	5.4 3	21.4 12	0.0 0
男性60～69歳	100.0 83	0.0 0	1.2 1	34.9 29	33.7 28	12.0 10	16.9 14	1.2 1
男性70歳以上	100.0 153	0.0 0	3.9 6	41.2 63	24.2 37	7.8 12	16.3 25	6.5 10
女性20～29歳	100.0 30	3.3 1	6.7 2	23.3 7	23.3 7	10.0 3	33.3 10	0.0 0
女性30～39歳	100.0 47	2.1 1	10.6 5	17.0 8	21.3 10	21.3 10	27.7 13	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	0.0 0	2.6 2	10.4 8	28.6 22	23.4 18	33.8 26	1.3 1
女性50～59歳	100.0 58	0.0 0	0.0 0	15.5 9	31.0 18	20.7 12	31.0 18	1.7 1
女性60～69歳	100.0 103	1.0 1	1.9 2	20.4 21	36.9 38	18.4 19	20.4 21	1.0 1
女性70歳以上	100.0 144	0.0 0	0.7 1	25.7 37	26.4 38	18.1 26	21.5 31	7.6 11

【時系列比較】

- 女性の方がとても優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- ▨ 平等になっている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- ▨ 男性の方がとても優遇されている
- わからない・無回答



「⑦社会通念・慣習・しきたりなどでは」について、全体では「女性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合計した「女性が優遇されている（合計）」の割合は1.6%、「男性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合計した「男性が優遇されている（合計）」の割合は71.5%となっている。

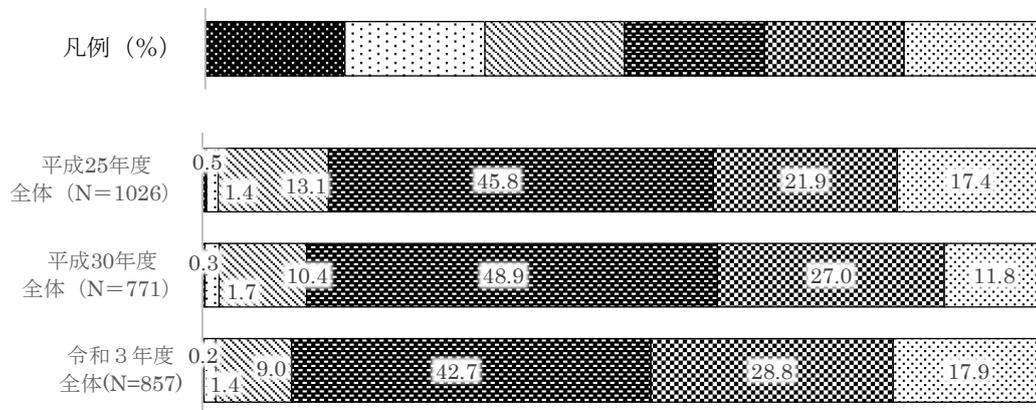
性別では、「女性が優遇されている（合計）」の割合は男性3.1%、女性0.4%、「男性が優遇されている（合計）」の割合は男性69.2%、女性73.6%となっている。

年齢別では、女性の40歳以上で「女性が優遇されている（合計）」の割合がゼロとなっている。

	サンプル数	女性の方がとても優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば男性が優遇されている	男性の方がとても優遇されている	わからない	無回答
全体	100.0 857	0.2 2	1.4 12	9.0 77	42.7 366	28.8 247	15.2 130	2.7 23
性別								
男性	100.0 389	0.5 2	2.6 10	12.3 48	46.8 182	22.4 87	13.9 54	1.5 6
女性	100.0 469	0.0 0	0.4 2	6.3 29	39.4 181	34.2 157	16.1 74	3.5 16
性・年齢別								
男性20~29歳	100.0 16	0.0 0	12.5 2	6.3 1	31.3 5	25.0 4	25.0 4	0.0 0
男性30~39歳	100.0 36	0.0 0	2.8 1	13.9 5	30.6 11	27.8 10	25.0 9	0.0 0
男性40~49歳	100.0 45	0.0 0	4.4 2	2.2 1	48.9 22	20.0 9	24.4 11	0.0 0
男性50~59歳	100.0 56	0.0 0	1.8 1	10.7 6	10.7 23	41.1 18	32.1 8	14.3 0
男性60~69歳	100.0 83	0.0 0	1.2 1	13.3 11	55.4 46	20.5 17	8.4 7	1.2 1
男性70歳以上	100.0 153	1.3 2	2.0 3	15.7 24	49.0 75	19.0 29	9.8 15	3.3 5
女性20~29歳	100.0 30	0.0 0	3.3 1	16.7 5	26.7 8	33.3 10	20.0 6	0.0 0
女性30~39歳	100.0 47	0.0 0	2.1 1	6.4 3	40.4 19	23.4 11	27.7 13	0.0 0
女性40~49歳	100.0 77	0.0 0	0.0 0	5.2 4	26.0 20	48.1 37	18.2 14	2.6 2
女性50~59歳	100.0 58	0.0 0	0.0 0	5.2 3	43.1 25	39.7 23	10.3 6	1.7 1
女性60~69歳	100.0 103	0.0 0	0.0 0	0.0 0	53.4 55	35.9 37	7.8 8	2.9 3
女性70歳以上	100.0 144	0.0 0	0.0 0	9.7 14	37.5 54	27.1 39	18.8 27	6.9 10

【時系列比較】

- 女性の方がとても優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- ▨ 平等になっている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- 男性の方がとても優遇されている
- わからない・無回答



「⑧社会全体では」について、全体では「女性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている（合計）」の割合は3.2%、「男性の方がとても優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている（合計）」を合計した「男性が優遇されている（合計）」の割合は66.6%となっている。

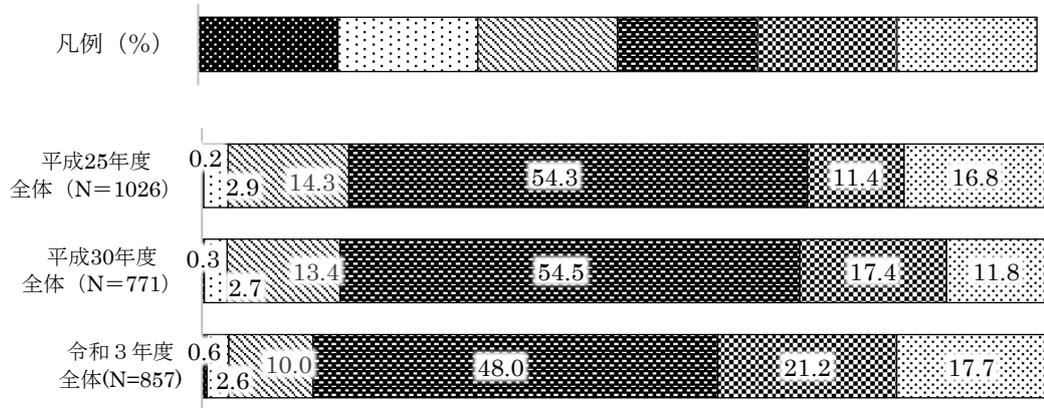
性別では、「女性が優遇されている（合計）」の割合は男性 3.9%、女性 2.6%、「男性が優遇されている（合計）」の割合は男性 66.6%、女性 71.5%となっている。

年齢別では、全ての年齢層で「男性が優遇されている（合計）」の割合が「女性が優遇されている（合計）」の割合より圧倒的に高くなっている。

	サンプル数	女性の方がとても優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば男性が優遇されている	男性の方がとても優遇されている	わからない	無回答
全体	100.0 857	0.6	2.6	10.0	48.0	21.2	15.2	2.5
性別								
男性	100.0 389	1.3	2.6	14.1	49.9	16.7	13.9	1.5
女性	100.0 459	0.0	2.6	6.8	46.4	25.1	16.1	3.1
性・年齢別								
男性20～29歳	100.0 16	12.5	6.3	12.5	31.3	18.8	18.8	0.0
男性30～39歳	100.0 36	2.8	2.8	19.4	38.9	16.7	19.4	0.0
男性40～49歳	100.0 45	0.0	4.4	11.1	46.7	13.3	24.4	0.0
男性50～59歳	100.0 56	1.8	1.8	7.1	50.0	19.6	19.6	0.0
男性60～69歳	100.0 83	0.0	2.4	13.3	59.0	16.9	7.2	1.2
男性70歳以上	100.0 153	0.7	2.0	17.0	50.3	16.3	10.5	3.3
女性20～29歳	100.0 30	0.0	3.3	13.3	30.0	23.3	23.3	0.0
女性30～39歳	100.0 47	0.0	8.5	12.8	44.7	19.1	14.9	0.0
女性40～49歳	100.0 77	0.0	2.6	5.2	44.2	27.3	18.2	2.6
女性50～59歳	100.0 58	0.0	1.7	1.7	53.4	31.0	12.1	0.0
女性60～69歳	100.0 103	0.0	0.0	4.9	55.3	28.2	9.7	1.9
女性70歳以上	100.0 144	0.0	1.4	7.6	42.4	21.5	20.1	6.9

【時系列比較】

- 女性の方がとても優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- ▨ 平等になっている
- ▩ どちらかといえば男性が優遇されている
- 男性の方がとても優遇されている
- わからない・無回答



問 17 あなたは、子どもの育て方についてどのように思いますか。(〇は1つずつ)

「①男女とも経済的自立ができるように育てる」について、全体では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した「そう思う(合計)」の割合は90.5%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合計した「そう思わない(合計)」の割合は2.8%となっている。

性別では、「そう思う(合計)」の割合は、男性89.5%、女性92.2%、「そう思わない(合計)」の割合は、男性3.1%、女性2.7%となっている。

年齢別では、女性の20～29歳で「そう思う(合計)」の割合は100%となっている。

	サンプル数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体	100.0	58.9	31.6	1.9	0.9	3.7	2.9
	857	505	271	16	8	32	25
性別							
男性	100.0	56.3	33.2	1.8	1.3	4.9	2.6
	389	219	129	7	5	19	10
女性	100.0	61.9	30.3	2.0	0.7	2.2	3.1
	459	284	139	9	3	10	14
性・年齢別							
男性20～29歳	100.0	62.5	31.3	6.3	0.0	0.0	0.0
	16	10	5	1	0	0	0
男性30～39歳	100.0	69.4	25.0	0.0	0.0	5.6	0.0
	36	25	9	0	0	2	0
男性40～49歳	100.0	66.7	26.7	0.0	2.2	4.4	0.0
	45	30	12	0	1	2	0
男性50～59歳	100.0	51.8	37.5	1.8	1.8	5.4	1.8
	56	29	21	1	1	3	1
男性60～69歳	100.0	59.0	28.9	3.6	0.0	4.8	3.6
	83	49	24	3	0	4	3
男性70歳以上	100.0	49.7	37.9	1.3	2.0	5.2	3.9
	153	76	58	2	3	8	6
女性20～29歳	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	30	25	5	0	0	0	0
女性30～39歳	100.0	66.0	27.7	0.0	0.0	6.4	0.0
	47	31	13	0	0	3	0
女性40～49歳	100.0	68.8	27.3	1.3	0.0	1.3	1.3
	77	53	21	1	0	1	1
女性50～59歳	100.0	60.3	34.5	0.0	0.0	5.2	0.0
	58	35	20	0	0	3	0
女性60～69歳	100.0	62.1	31.1	4.9	1.0	0.0	1.0
	103	64	32	5	1	0	1
女性70歳以上	100.0	52.8	33.3	2.1	1.4	2.1	8.3
	144	76	48	3	2	3	12

「②男女とも家事ができるように育てる」について、全体では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した「そう思う(合計)」の割合は87.2%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合計した「そう思わない(合計)」の割合は7.1%となっている。

性別では、「そう思う(合計)」の割合は、男性83.5%、女性90.4%、「そう思わない(合計)」の割合は、男性9.0%、女性5.4%となっている。

年齢別では、男性及び女性の20～29歳で「そう思う(合計)」の割合が100%となっている。

	サンプル数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体	100.0	45.9	41.3	5.3	1.8	3.0	2.8
	857	393	354	45	15	26	24
性別							
男性	100.0	36.5	47.0	6.7	2.3	4.6	2.8
	389	142	183	26	9	18	11
女性	100.0	54.0	36.4	4.1	1.3	1.5	2.6
	459	248	167	19	6	7	12
性・年齢別							
男性20～29歳	100.0	56.3	43.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	16	9	7	0	0	0	0
男性30～39歳	100.0	58.3	30.6	2.8	0.0	8.3	0.0
	36	21	11	1	0	3	0
男性40～49歳	100.0	62.2	28.9	2.2	4.4	2.2	0.0
	45	28	13	1	2	1	0
男性50～59歳	100.0	35.7	48.2	8.9	1.8	3.6	1.8
	56	20	27	5	1	2	1
男性60～69歳	100.0	26.5	59.0	7.2	0.0	3.6	3.6
	83	22	49	6	0	3	3
男性70歳以上	100.0	27.5	49.7	8.5	3.9	5.9	4.6
	153	42	76	13	6	9	7
女性20～29歳	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	30	20	10	0	0	0	0
女性30～39歳	100.0	66.0	25.5	2.1	0.0	6.4	0.0
	47	31	12	1	0	3	0
女性40～49歳	100.0	63.6	31.2	1.3	1.3	1.3	1.3
	77	49	24	1	1	1	1
女性50～59歳	100.0	63.8	31.0	3.4	0.0	1.7	0.0
	58	37	18	2	0	1	0
女性60～69歳	100.0	51.5	44.7	2.9	1.0	0.0	0.0
	103	53	46	3	1	0	0
女性70歳以上	100.0	40.3	39.6	8.3	2.8	1.4	7.6
	144	58	57	12	4	2	11

「③男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる」について、全体では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した「そう思う（合計）」の割合は46.7%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合計した「そう思わない（合計）」の割合は44.6%となっている。

性別では、「そう思う（合計）」の割合は、男性56.3%、女性39.1%、「そう思わない（合計）」の割合は男性35.0%、女性52.7%となっている。

年齢別では、「そう思わない（合計）」の割合が、男性の20～29歳では75.1%、女性の20～29歳では70.0%となっており、他の年齢層とは逆の結果となっている。

	サンプル数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体	100.0 857	12.6 108	34.1 292	16.2 139	28.4 243	6.0 51	2.8 24
性別							
男性	100.0 389	18.0 70	38.3 149	13.4 52	21.6 84	6.4 25	2.3 9
女性	100.0 459	8.3 38	30.9 142	18.7 86	34.0 156	5.0 23	3.1 14
性・年齢別							
男性20～29歳	100.0 16	6.3 1	18.8 3	18.8 3	56.3 9	0.0 0	0.0 0
男性30～39歳	100.0 36	13.9 5	30.6 11	11.1 4	22.2 8	22.2 8	0.0 0
男性40～49歳	100.0 45	11.1 5	42.2 19	22.2 10	20.0 9	4.4 2	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	16.1 9	32.1 18	19.6 11	23.2 13	7.1 4	1.8 1
男性60～69歳	100.0 83	19.3 16	41.0 34	12.0 10	21.7 18	3.6 3	2.4 2
男性70歳以上	100.0 153	22.2 34	41.8 64	9.2 14	17.6 27	5.2 8	3.9 8
女性20～29歳	100.0 30	6.7 2	16.7 5	16.7 5	53.3 16	6.7 2	0.0 0
女性30～39歳	100.0 47	2.1 1	38.3 18	12.8 6	40.4 19	6.4 3	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	5.2 4	29.9 23	23.4 18	32.5 25	7.8 6	1.3 1
女性50～59歳	100.0 58	3.4 2	36.2 21	22.4 13	31.0 18	6.9 4	0.0 0
女性60～69歳	100.0 103	6.8 7	25.2 26	26.2 27	38.8 40	2.9 3	0.0 0
女性70歳以上	100.0 144	15.3 22	34.0 49	11.8 17	26.4 38	3.5 5	9.0 13

「④性別に関わらず子どもの個性を大切に育てる」について、全体では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した「そう思う（合計）」の割合は93.3%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合計した「そう思わない（合計）」の割合は2.5%となっている。

性別では、「そう思う（合計）」の割合は、男性91.7%、女性94.8%、「そう思わない（合計）」の割合は、男性3.9%、女性1.3%となっている。

年齢別では、「そう思う（合計）」の割合が、男性及び女性の20～29歳で100%となっている。

	サンプル数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体	100.0 857	64.9 556	28.4 243	1.8 15	0.7 6	2.2 19	2.1 18
性別							
男性	100.0 389	59.6 232	32.1 125	2.6 10	1.3 5	2.3 9	2.1 8
女性	100.0 459	69.7 320	25.1 115	1.1 5	0.2 1	2.0 9	2.0 9
性・年齢別							
男性20～29歳	100.0 16	75.0 12	25.0 4	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
男性30～39歳	100.0 36	72.2 26	22.2 8	2.8 1	0.0 0	2.8 1	0.0 0
男性40～49歳	100.0 45	62.2 28	31.1 14	4.4 2	0.0 0	2.2 1	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	57.1 32	33.9 19	3.6 2	0.0 0	3.6 2	1.8 1
男性60～69歳	100.0 83	63.9 53	31.3 26	0.0 0	2.4 2	1.2 1	1.2 1
男性70歳以上	100.0 153	52.9 81	35.3 54	3.3 5	2.0 3	2.6 4	3.9 6
女性20～29歳	100.0 30	90.0 27	10.0 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
女性30～39歳	100.0 47	68.1 32	27.7 13	0.0 0	0.0 0	4.3 2	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	74.0 57	19.5 15	1.3 1	0.0 0	3.9 3	1.3 1
女性50～59歳	100.0 58	74.1 43	20.7 12	1.7 1	0.0 0	3.4 2	0.0 0
女性60～69歳	100.0 103	67.0 69	31.1 32	1.9 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0
女性70歳以上	100.0 144	63.9 92	27.8 40	0.7 1	0.7 1	1.4 2	5.6 8

(2) 家庭生活について

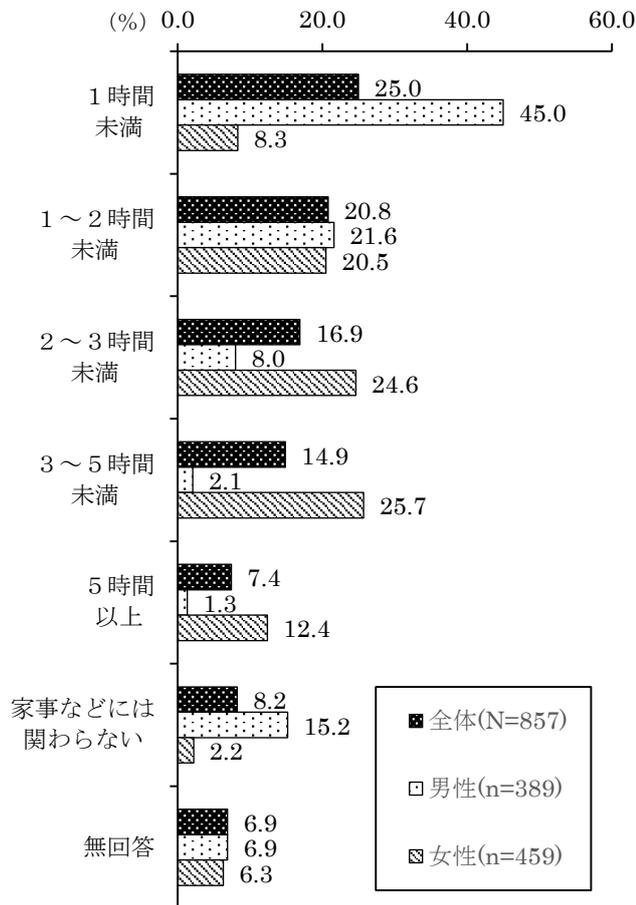
問 18 あなたが家事（食事のしたくや掃除、洗濯など）、育児（子どもの食事・入浴の世話や送迎など）、介護（夫婦の親族の日常生活の世話など）に費やす時間の合計は、1日あたりどのくらいですか。（〇は1つずつ）

「①-1（平日）家事に費やす時間」について、全体では「1時間未満」と回答した割合が25.0%で最も高く、次いで「1～2時間未満」（20.8%）、「2～3時間未満」（16.9%）、「3～5時間未満」（14.9%）、「家事などには関わらない」（8.2%）、「5時間以上」（7.4%）の順となっている。

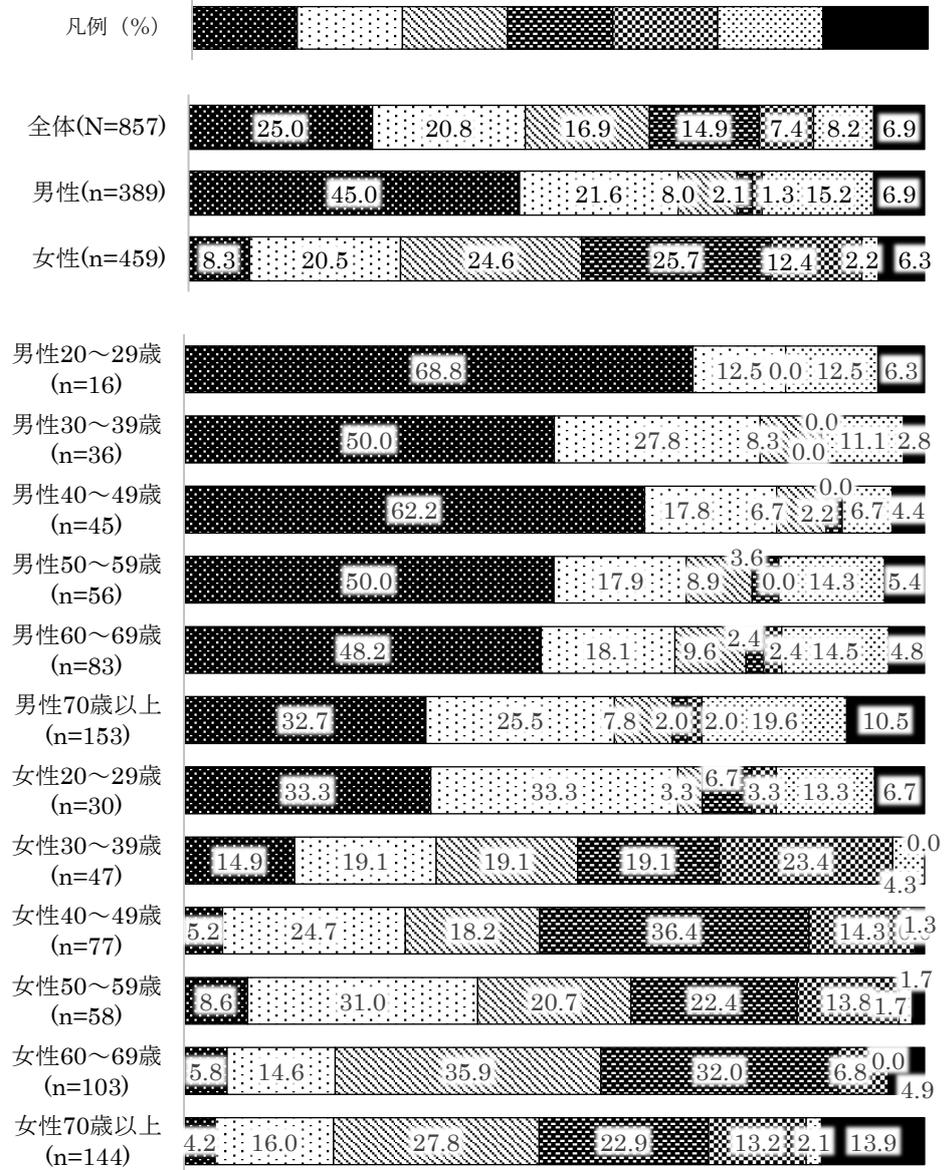
性別では、男性は「1時間未満」の割合が45.0%で最も高くなっており、女性は「3～5時間未満」の割合が25.7%で最も高くなっている。

性・年齢別では、男性は20～69歳までで「1時間未満」の割合が高く、女性は20～29歳では「1時間未満」と「1～2時間未満」、30～39歳では「5時間以上」。40～49歳では「3～5時間未満」、50～59歳では「1～2時間未満」、60～69歳では「2～3時間未満」と「3～5時間未満」、70歳以上では「2～3時間未満」の割合が高くなっている。

また、男性の70歳以上では「家事などには関わらない」の割合が19.6%となっており、他の年齢層に比べて高くなっている。



■ 1時間未満 □ 1～2時間未満 ▨ 2～3時間未満 ▩ 3～5時間未満 ▪ 5時間以上 □ 家事などには関わらない ■ 無回答

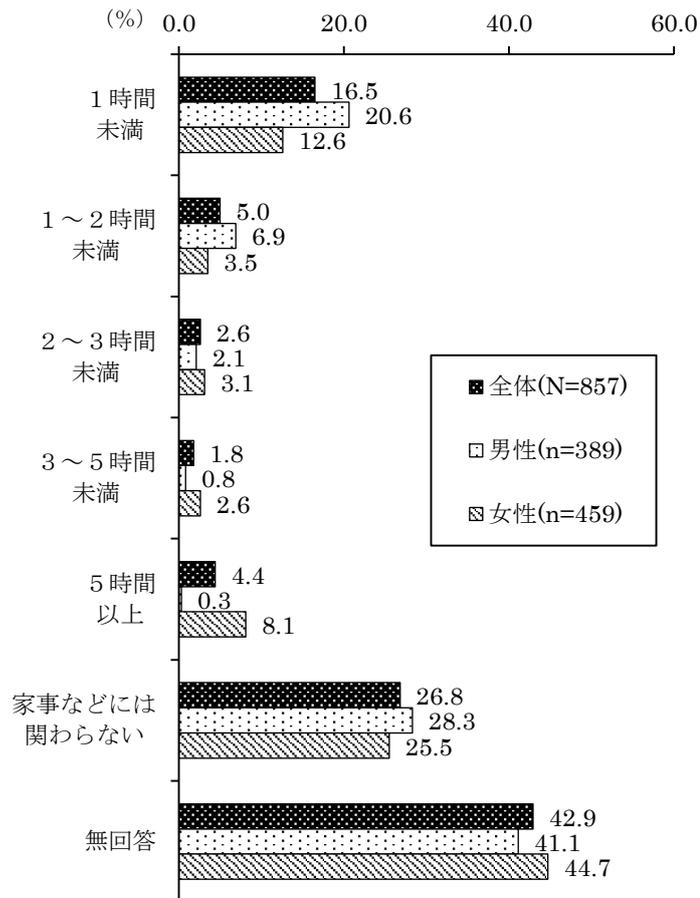


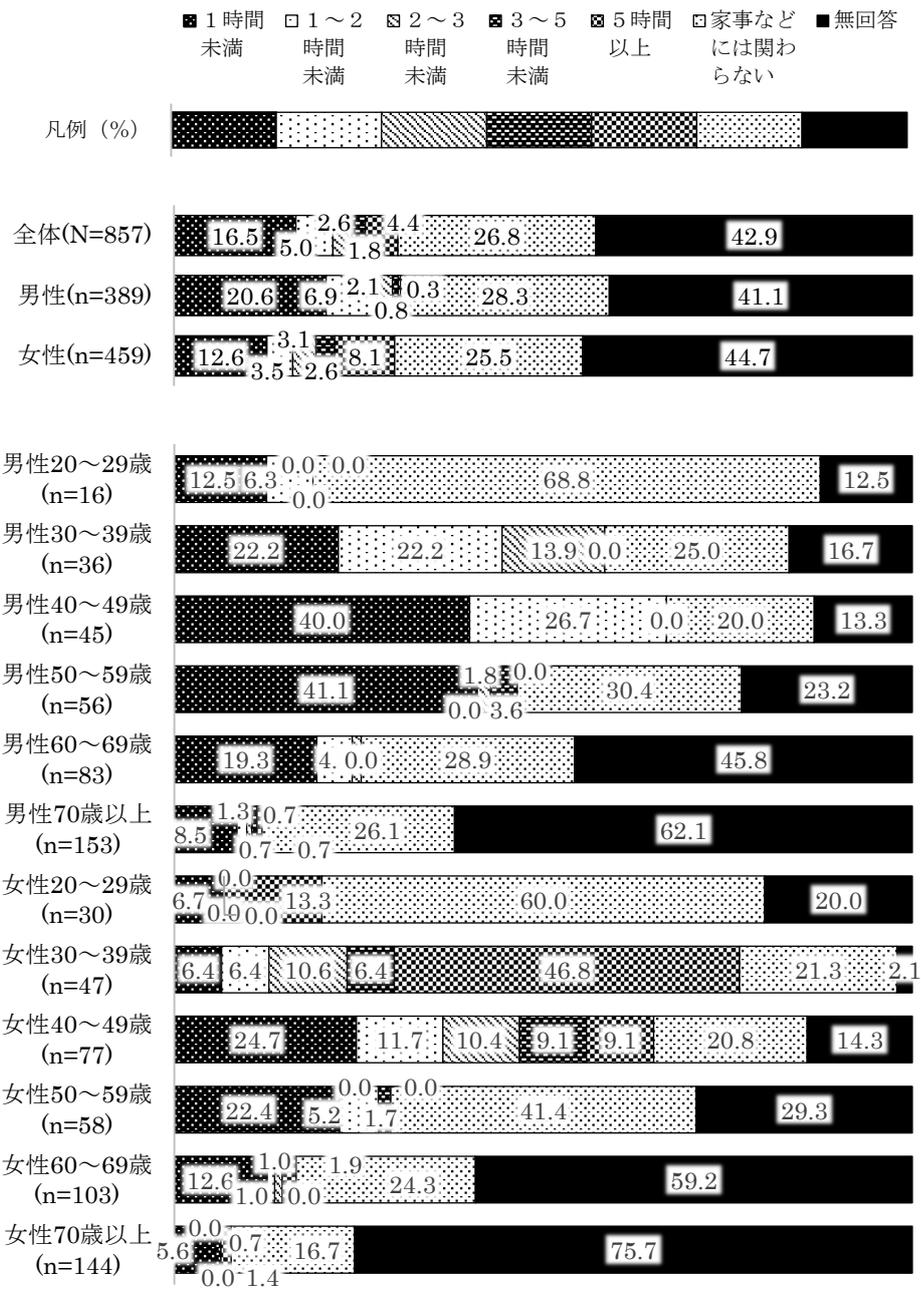
①-2 (平日) 育児に費やす時間について、全体では「家事などには関わらない」と回答した割合が26.8%と最も高くなっており、次いで「1～2時間未満」(5.0%)、「5時間以上」(4.4%)、「2～3時間未満」(2.6%)、「3～5時間未満」(1.8%)の順となっている。

性別では、男性及び女性で「家事などには関わらない」の割合が最も高くなっている。

性・年齢別では、男性の20～29歳の「家事などには関わらない」(68.8%)、30～39歳の「1～2時間未満」(22.2%)、「2～3時間未満」(13.9%)、40～49歳の「1～2時間未満」(40.0%)、「2～3時間未満」(26.7%)、50～59歳の「1時間未満」(41.1%)の割合が高くなっている。

女性では、20～29歳の「家事などには関わらない」(60.0%)、30～39歳の「5時間以上」(46.8%)、50～59歳の「家事などには関わらない」(41.4%)の割合が高くなっている。

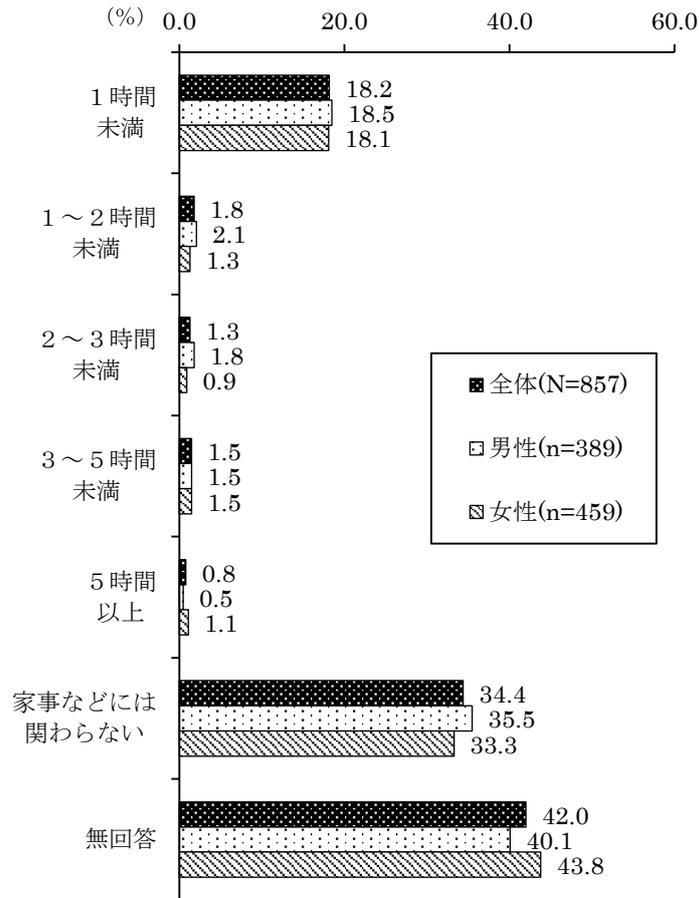


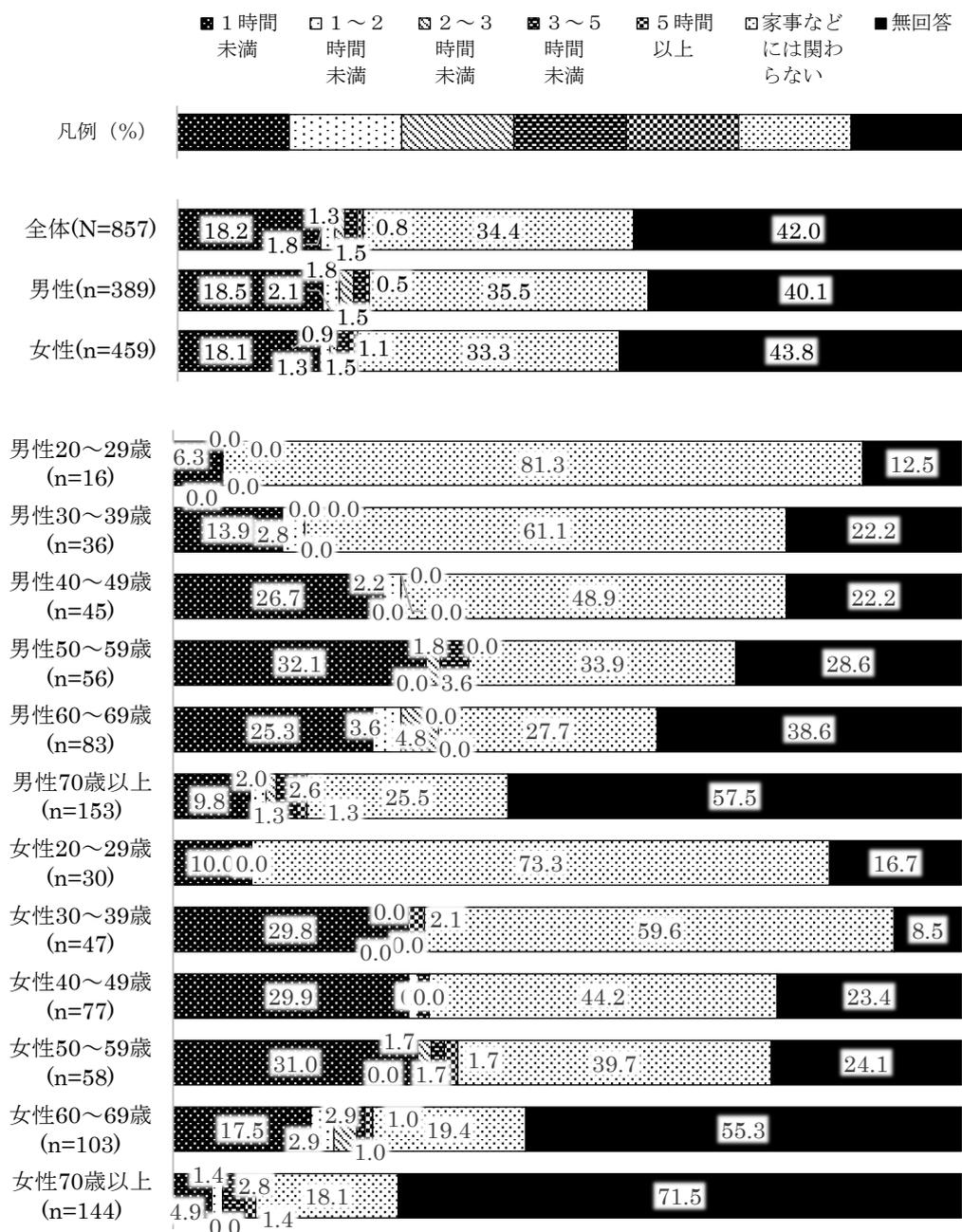


①-3 (平日) 介護に費やす時間」について、全体では「家事などには関わらない」と回答した割合が34.4%と最も高くなっており、次いで・「1時間未満」(18.2%)、「1～2時間未満」(1.8%)、「3～5時間未満」(1.5%)、「2～3時間未満」(1.3%)、「5時間以上」(0.8%)の順となっている。

性別では、男性及び女性で「家事などには関わらない」の割合が最も高くなっており、次いで「1時間未満」の割合が男性18.5%、女性18.1%となっている。

性・年齢別では、男性は50～59歳で「1時間未満」(32.1%)、女性は30～39歳で「1時間未満」(29.8%)、40～49歳で「1時間未満」(29.9%)、50～59歳で「1時間未満」(31.0%)の割合が高くなっている。

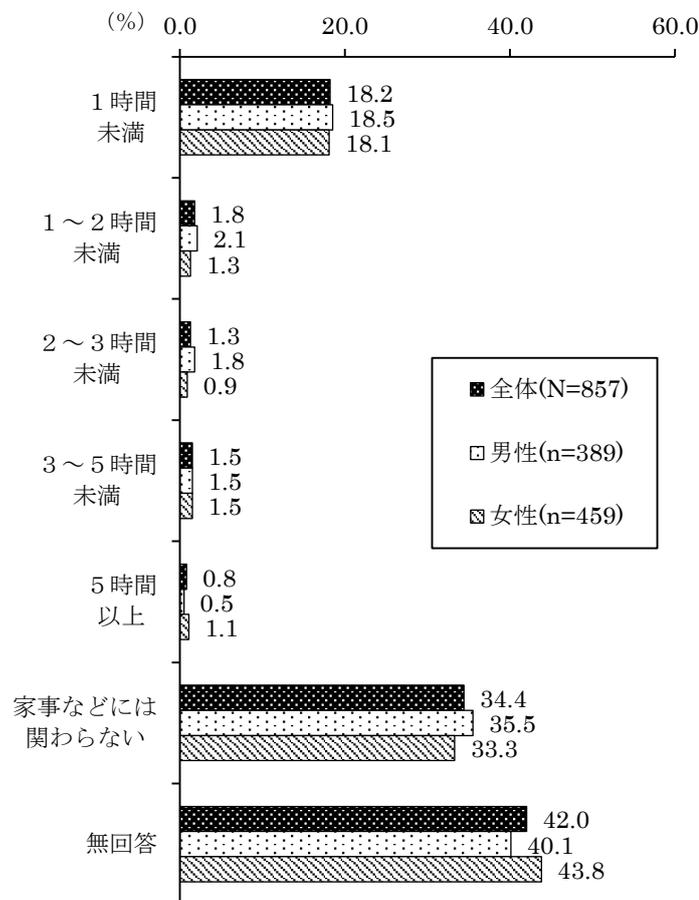




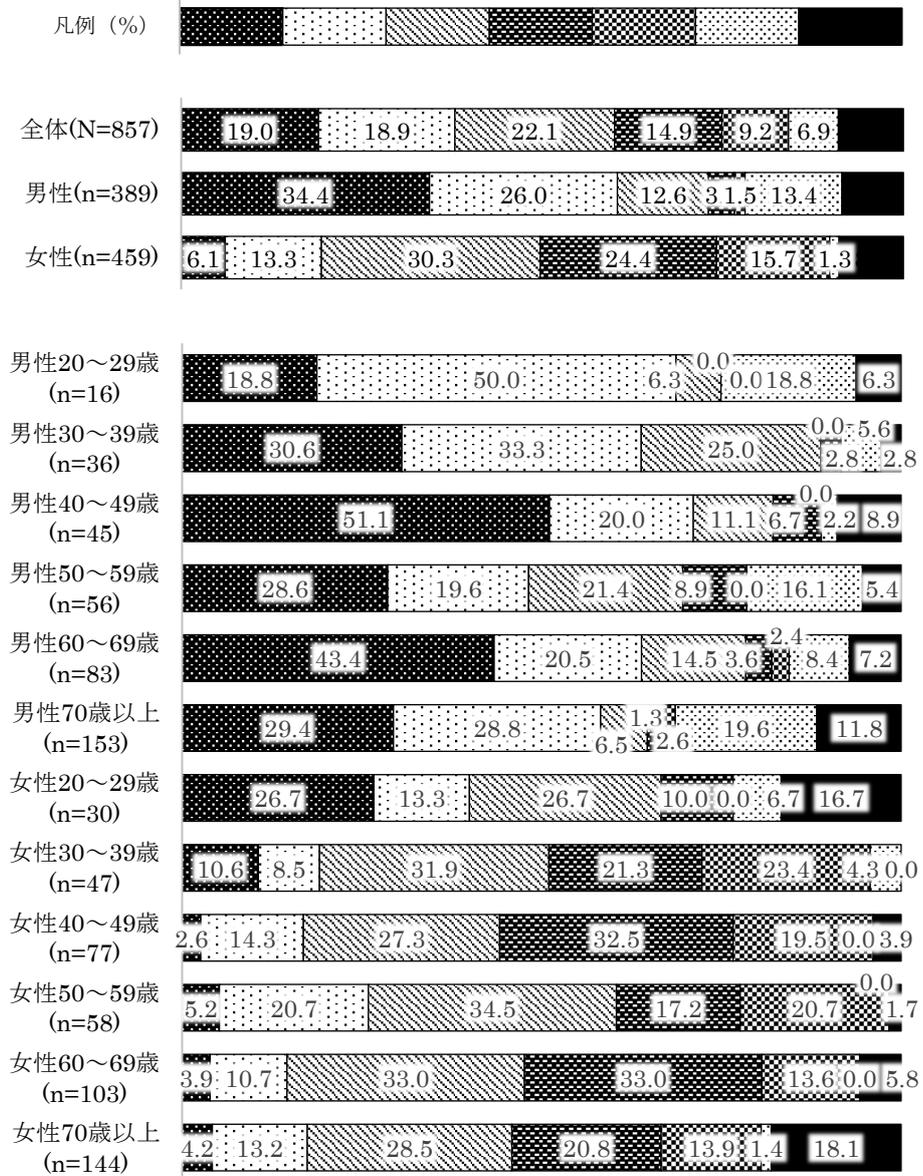
「②-1 (休日) 家事に費やす時間」について、全体では「2～3時間未満」と回答した割合が22.1%と最も高くなっており、次いで「1時間未満」(19.0%)、「1～2時間未満」(18.9%)、「3～5時間未満」(14.9%)、「5時間以上」(9.2%)、「家事などには関わらない」(6.9%)の順となっている。

性別では、男性は「1時間未満」(34.4%)の割合が最も高くなっており、女性は「2～3時間未満」(30.3%)の割合が最も高くなっている。

性・年齢別では、男性は20～29歳の「1～2時間未満」(50.0%)、30～39歳の「1時間未満」(30.6%)、「1～2時間未満」(33.3%)、40～49歳の「1時間未満」(51.1%)、60～69歳の「1時間未満」(43.4%)、70歳以上の「1時間未満」(29.4%)の割合が高くなっている。女性は30～39歳の「5時間以上」(23.4%)、40～49歳の「3～5時間未満」(32.5%)、「5時間以上」(19.5%)、50～59歳の「2～3時間未満」(34.5%)、「5時間以上」(20.7%)、60～69歳の「2～3時間未満」(33.0%)、「3～5時間未満」(33.0%)の割合が高くなっている。



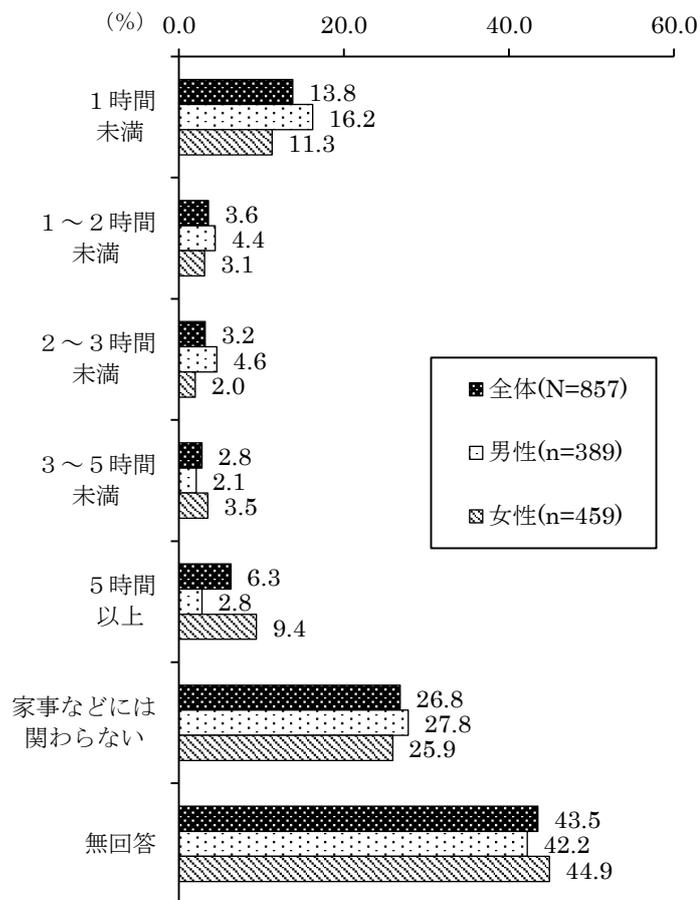
■ 1時間未満 □ 1～2時間未満 ▨ 2～3時間未満 ▩ 3～5時間未満 ▤ 5時間以上 □ 家事などには関わらない ■ 無回答



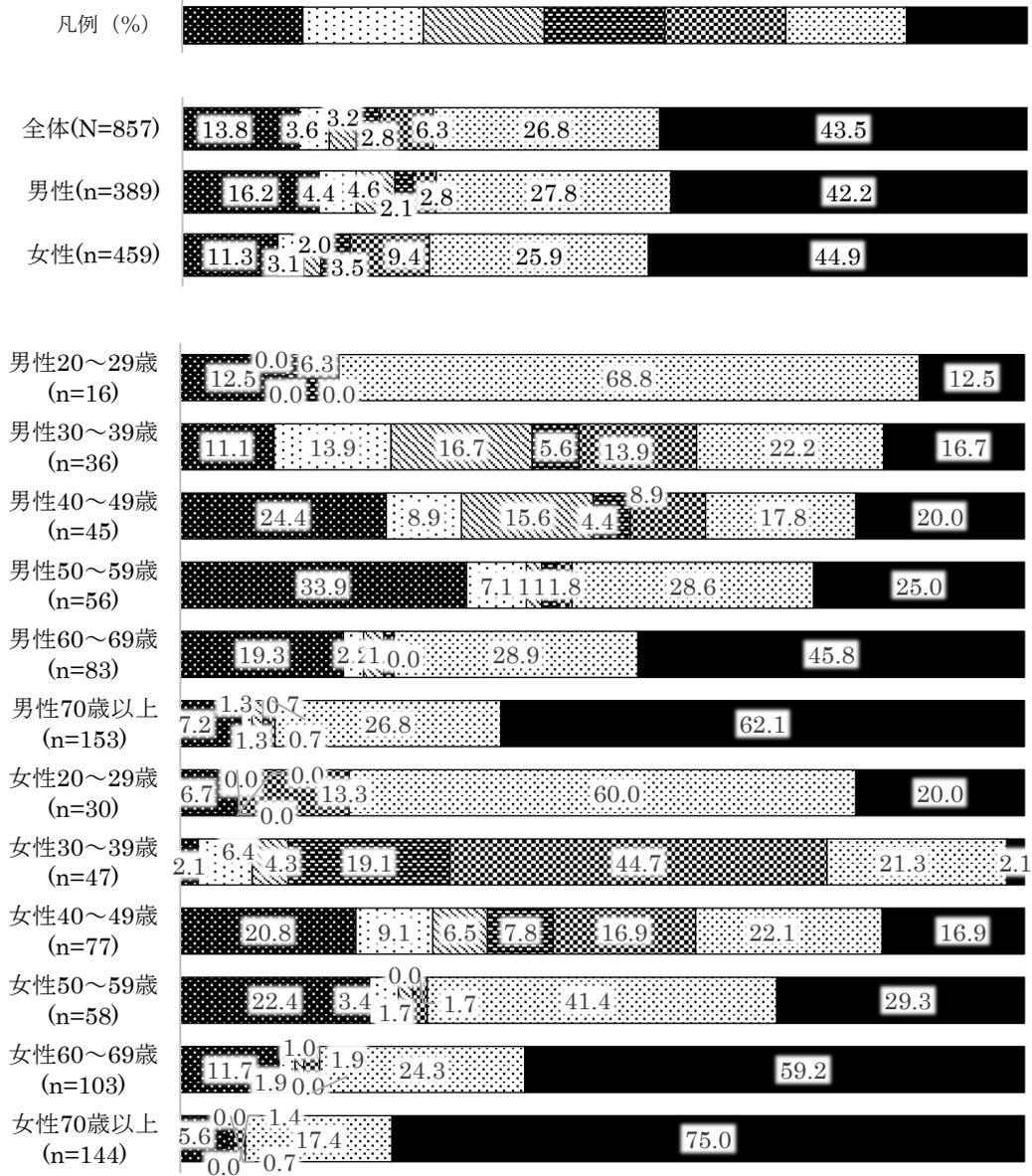
「②-2 (休日) 育児に費やす時間」について、全体では「家事などには関わらない」と回答した割合が26.8%と最も高くなっており、次いで「1時間未満」(13.8%)、「5時間以上」(6.3%)、「1～2時間未満」(3.6%)、「2～3時間未満」(3.2%)、「3～5時間未満」(2.8%)の順となっている。

性別では、男性及び女性で「家事などには関わらない」の割合が最も高くなっている。

性・年齢別では、「家事などには関わらない」と回答した割合が、男性の20～29歳では68.8%、女性の20～29歳では60.0%、女性の50～59歳では41.4%と非常に高くなっている。また男性では、30～39歳の「1～2時間未満」(13.9%)、「2～3時間未満」(16.7%)、40～49歳の「1時間未満」(24.4%)、「2～3時間未満」(15.6%)、50～59歳の「1時間未満」(33.9%)の割合が高くなっている。女性では、30～39歳の「3～5時間未満」(19.1%)、「5時間以上」(44.7%)、40～49歳の「5時間以上」(41.4%)の割合が高くなっている。



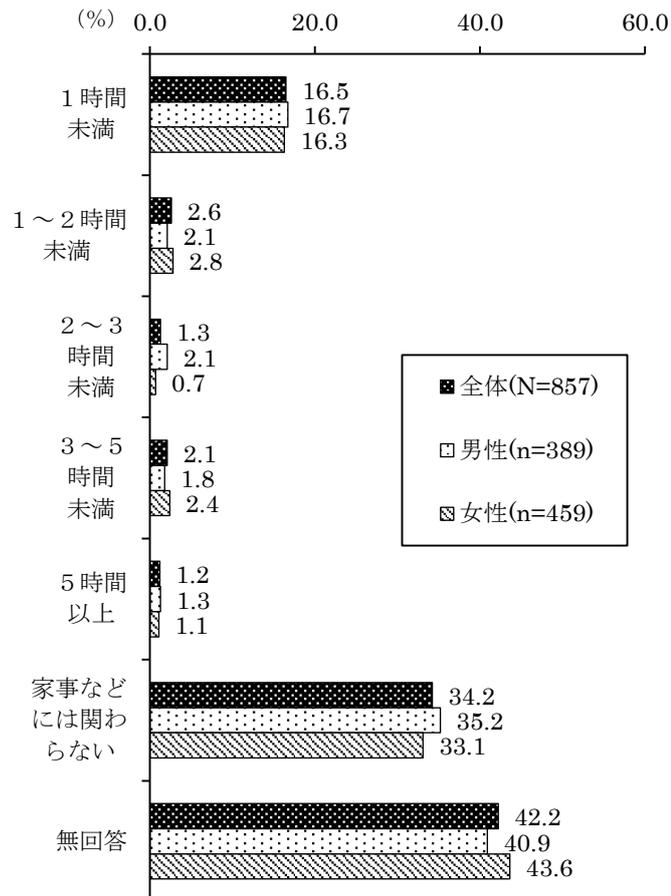
■ 1時間未満 □ 1～2時間未満 ▨ 2～3時間未満 ▩ 3～5時間未満 ▪ 5時間以上 □ 家事などには関わらない ■ 無回答



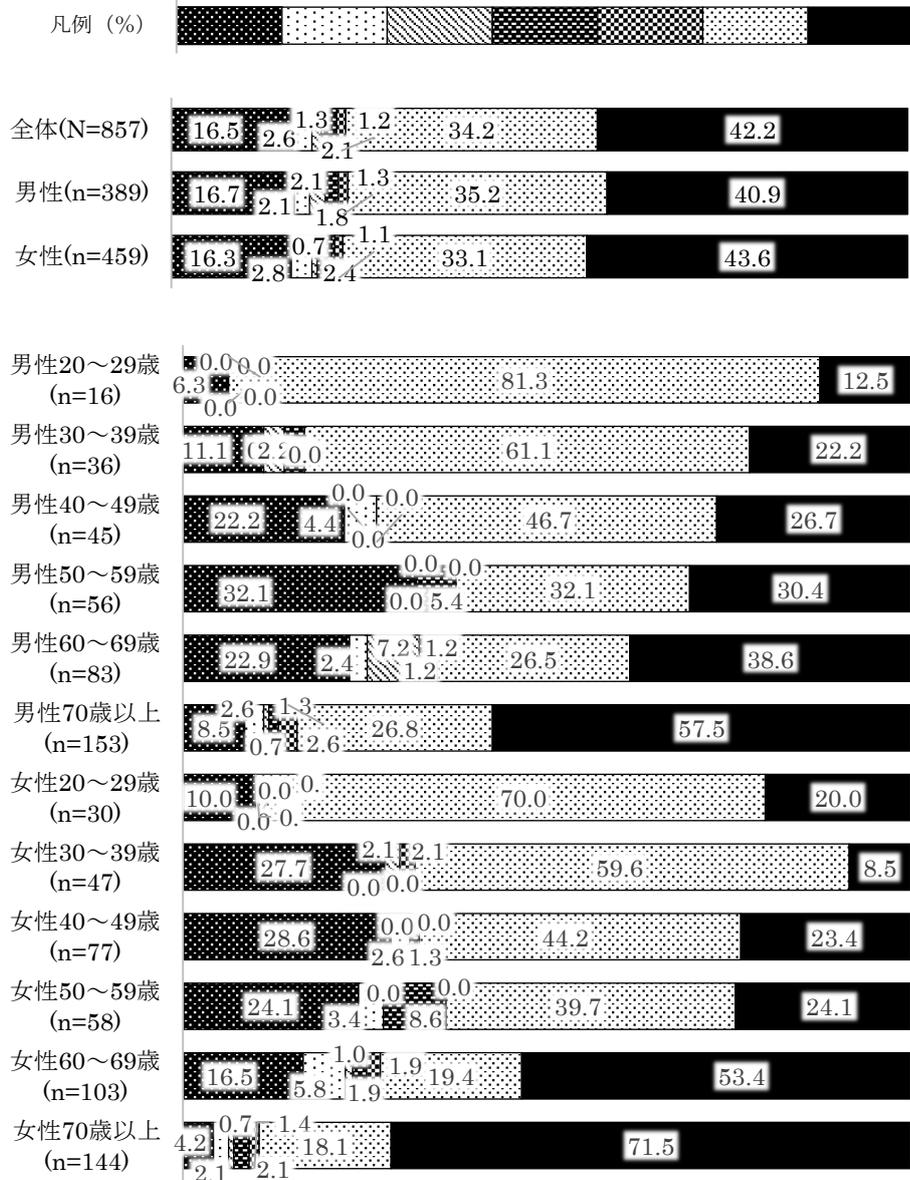
「②-3 (休日) 介護に費やす時間」について、全体では「家事などにはかかわらない」と回答した割合が34.2%と最も高くなっており、次いで「1時間未満」(16.5%)、「1～2時間未満」(2.6%)、「3～5時間未満」(2.1%)、「2～3時間未満」(1.3%)、「5時間以上」(1.2%)の順となっている。

性別では、男性及び女性で「家事などにはかかわらない」の割合が最も高くなっている。

性・年齢別では、男性及び女性の20～49歳で「家事などにはかかわらない」の割合が全体に比べて非常に高くなっている。このほか、男性では、50～59歳の「1時間未満」(32.1%)、女性の30～39歳の「1時間未満」(27.7%)、40～49歳の「1時間未満」(28.6%)の割合が高くなっている。



■ 1時間未満 □ 1～2時間未満 ▨ 2～3時間未満 ▩ 3～5時間未満 ▪ 5時間以上 ▫ 家事などには関わらない ■ 無回答



問 19 あなたの家庭では、次にあげる家庭内の仕事を主にどなたがおこなっていますか。(〇は1つずつ)

【家事分担】

「①生活費を得る」について、全体では「主に夫の役割である」と回答した割合が 46.0%と最も高くなっており、次いで「妻と夫でほぼ半々である」(16.2%)、「家族全員で分担している」(7.9%)、「特に決まっていない」(7.0%)、「主に妻の役割である」(3.9%)の順となっている。

性別では、男性及び女性で「主に夫の役割である」の割合が最も高くなっている。

性・年齢別では、男性は20～29歳の「家族全員で分担している」(31.3%)、40～49歳の「主に夫の役割である」(60.0%)、60～69歳の「主に夫の役割である」(61.4%)の割合が高くなっている。女性では、30～39歳の「主に夫の役割である」(61.7%)、40～49歳の「主に夫の役割である」(59.7%)の割合が高くなっている。

	サンプル数	主に妻の役割である	主に夫の役割である	妻と夫でほぼ半々である	家族全員で分担している	特に決まっていない	その他	無回答
全体	100.0 857	3.9 33	46.0 394	16.2 139	7.9 68	7.0 60	9.3 80	9.7 83
性別								
男性	100.0 389	2.3 9	50.1 195	17.0 66	9.0 35	6.9 27	6.4 25	8.2 32
女性	100.0 459	5.2 24	43.1 198	15.7 72	6.5 30	7.0 32	12.0 55	10.5 48
性・年齢別								
男性20～29歳	100.0 16	0.0 0	31.3 5	18.8 3	31.3 5	6.3 1	6.3 1	6.3 1
男性30～39歳	100.0 36	0.0 0	55.6 20	16.7 6	11.1 4	2.8 1	8.3 3	5.6 2
男性40～49歳	100.0 45	2.2 1	60.0 27	17.8 8	6.7 3	2.2 1	8.9 4	2.2 1
男性50～59歳	100.0 56	1.8 1	50.0 28	21.4 12	5.4 3	7.1 4	5.4 3	8.9 5
男性60～69歳	100.0 83	3.6 3	61.4 51	13.3 11	7.2 6	4.8 4	6.0 5	3.6 3
男性70歳以上	100.0 153	2.6 4	41.8 64	17.0 26	9.2 14	10.5 16	5.9 9	13.1 20
女性20～29歳	100.0 30	13.3 4	33.3 10	10.0 3	6.7 2	6.7 2	20.0 6	10.0 3
女性30～39歳	100.0 47	2.1 1	61.7 29	17.0 8	6.4 3	4.3 2	4.3 2	6.5 2
女性40～49歳	100.0 77	3.9 3	59.7 46	11.7 9	5.2 4	6.5 5	6.5 5	5.2 4
女性50～59歳	100.0 58	6.9 4	44.8 26	24.1 14	12.1 7	1.7 1	8.6 5	1.7 1
女性60～69歳	100.0 103	6.8 7	45.6 47	20.4 21	7.8 8	3.9 4	6.8 7	8.7 9
女性70歳以上	100.0 144	3.5 5	27.8 40	11.8 17	4.2 6	12.5 18	20.8 30	19.4 28

「②日常の家事(食事のしたく・掃除・洗濯など)」について、全体では「主に妻の役割である」と回答した割合が 61.3%と最も高くなっており、次いで「妻と夫でほぼ半々である」(9.5%)、「家族全員で分担している」(5.7%)、「特に決まっていない」(4.9%)、「主に夫の役割である」(2.9%)の順となっている。

性別では、男性及び女性で「主に妻の役割である」の割合が最も高くなっているが、「主に夫の役割である」の割合をみると男性が5.9%であるのに比べて女性は0.4%となっている。

性・年齢別では、男性の20～29歳の「家族全員で分担している」(18.8%)、女性の30～39歳の「主に妻の役割である」(78.7%)、女性の60～69歳の「主に妻の役割である」(72.8%)の割合が高くなっている。また、女性の20～59歳では「主に夫の役割である」の割合はゼロとなっている。

	サンプル数	主に妻の役割である	主に夫の役割である	妻と夫でほぼ半々である	家族全員で分担している	特に決まっていない	その他	無回答
全体	100.0 857	61.3 525	2.9 25	9.5 81	5.7 49	4.9 42	7.5 64	8.3 71
性別								
男性	100.0 389	59.6 232	5.9 23	10.3 40	6.4 25	5.7 22	5.4 21	6.7 26
女性	100.0 459	63.4 291	0.4 2	8.7 40	5.2 24	3.9 18	9.2 42	9.2 42
性・年齢別								
男性20～29歳	100.0 16	37.5 6	12.5 2	12.5 2	18.8 3	6.3 1	6.3 1	6.3 1
男性30～39歳	100.0 36	52.8 19	2.8 1	19.4 7	2.8 1	5.6 2	11.1 4	5.6 2
男性40～49歳	100.0 45	64.4 29	2.2 1	8.9 4	8.9 4	0.0 0	13.3 6	2.2 1
男性50～59歳	100.0 56	42.9 24	10.7 6	16.1 9	5.4 3	8.9 5	7.1 4	8.9 5
男性60～69歳	100.0 83	69.9 58	3.6 3	8.4 7	3.6 3	6.0 5	6.0 5	2.4 2
男性70歳以上	100.0 153	62.7 96	6.5 10	7.2 11	7.2 11	5.9 9	0.7 1	9.8 15
女性20～29歳	100.0 30	43.3 13	0.0 0	13.3 4	10.0 3	3.3 1	20.0 6	10.0 3
女性30～39歳	100.0 47	78.7 37	0.0 0	8.5 4	2.1 1	2.1 1	4.3 2	4.3 2
女性40～49歳	100.0 77	64.9 50	0.0 0	6.5 5	7.8 6	3.9 3	10.4 8	6.5 5
女性50～59歳	100.0 58	63.8 37	0.0 0	12.1 7	5.2 3	3.4 2	13.8 8	1.7 1
女性60～69歳	100.0 103	72.8 75	1.0 1	6.8 7	4.9 5	1.0 1	4.9 5	8.7 9
女性70歳以上	100.0 144	54.9 79	0.7 1	9.0 13	4.2 6	6.9 10	9.0 13	15.3 22

「③日常の家計の管理」について、全体では「主に妻の役割である」と回答した割合が 52.3%と最も高くなっており、次いで「主に夫の役割である」(11.9%)、「妻と夫でほぼ半々である」(10.2%)、「特に決まっていない」(6.5%)、「家族全員で分担している」(2.6%)の順となっている。

性別では、男性及び女性で「主に妻の役割である」の割合が最も高くなっている。

性・年齢別では、男性の 20～29 歳「特に決まっていない」(18.8%)、70 歳以上の「主に夫の役割である」(22.9%) の割合が高くなっている。

	サンプル数	主に妻の役割である	主に夫の役割である	妻と夫でほぼ半々である	家族全員で分担している	特に決まっていない	その他	無回答
全体	1000	52.3	11.9	10.2	2.6	6.5	7.4	9.2
	857	448	102	87	22	56	63	79
性別								
男性	100.0	51.2	15.4	10.0	3.6	7.7	4.9	7.2
	389	199	60	39	14	30	19	28
女性	100.0	53.6	9.2	10.5	1.7	5.2	9.4	10.5
	459	246	42	48	8	24	43	48
性・年齢別								
男性20～29歳	100.0	43.8	12.5	6.3	6.3	18.8	6.3	6.3
	16	7	2	1	1	3	1	1
男性30～39歳	100.0	36.1	13.9	16.7	2.8	13.9	8.3	8.3
	36	13	5	6	1	5	3	3
男性40～49歳	100.0	51.1	8.9	20.0	2.2	2.2	13.3	2.2
	45	23	4	9	1	1	6	1
男性50～59歳	100.0	50.0	8.9	8.9	3.6	12.5	7.1	8.9
	56	28	5	5	2	7	4	5
男性60～69歳	100.0	61.4	10.8	12.0	3.6	3.6	4.8	3.6
	83	51	9	10	3	3	4	3
男性70歳以上	100.0	50.3	22.9	5.2	3.9	7.2	0.7	9.8
	153	77	35	8	6	11	1	15
女性20～29歳	100.0	43.3	6.7	0.0	0.0	13.3	23.3	13.3
	30	13	2	0	0	4	7	4
女性30～39歳	100.0	57.4	2.1	17.0	0.0	12.8	6.4	4.3
	47	27	1	8	0	6	3	2
女性40～49歳	100.0	58.4	10.4	6.5	1.3	7.8	9.1	6.5
	77	45	8	5	1	6	7	5
女性50～59歳	100.0	56.9	5.2	17.2	3.4	0.0	13.8	3.4
	58	33	3	10	2	0	8	2
女性60～69歳	100.0	56.3	10.7	13.6	1.9	1.9	4.9	10.7
	103	58	11	14	2	2	5	11
女性70歳以上	100.0	48.6	11.8	7.6	2.1	4.2	9.0	16.7
	144	70	17	11	3	6	13	24

「④家族の介護や看護」について、全体では「主に妻の役割である」と回答した割合が 24.6%と最も高くなっており、次いで「特に決まっていない」(20.4%)、「妻と夫でほぼ半々である」(6.1%)、「家族全員で分担している」(3.6%)、「主に夫の役割である」(2.5%)の順となっている。

性別では、男性は「特に決まっていない」(25.7%)の割合が最も高くなっているが、女性で「主に妻の役割である」(29.6%) の割合が最も高くなっている。

「主に妻の役割である」の割合では、男性は女性より 10%以上低くなっている。

性・年齢別では、男性の 20～59 歳で「特に決まっていない」の割合が高くなっている。女性では、20～29 歳の「特に決まっていない」(43.3%)、30～39 歳の「主に妻の役割である」(42.6%)、「特に決まっていない」(31.9%)、40～49 歳の「主に妻の役割である」(39.0%)、60～69 歳の「主に妻の役割である」(35.9%) の割合が高くなっている。

	サンプル数	主に妻の役割である	主に夫の役割である	妻と夫でほぼ半々である	家族全員で分担している	特に決まっていない	その他	無回答
全体	100.0	24.6	2.5	6.1	3.6	20.4	16.9	25.9
	857	211	21	52	31	175	145	222
性別								
男性	100.0	18.8	4.4	10.0	3.6	25.7	15.2	22.4
	389	73	17	39	14	100	59	87
女性	100.0	29.6	0.9	2.6	3.7	15.9	18.5	28.8
	459	136	4	12	17	73	85	132
性・年齢別								
男性20～29歳	100.0	25.0	6.3	0.0	0.0	50.0	12.5	6.3
	16	4	1	0	0	8	2	1
男性30～39歳	100.0	13.9	0.0	13.9	2.8	44.4	11.1	13.9
	36	5	0	5	1	16	4	5
男性40～49歳	100.0	22.2	2.2	6.7	2.2	40.0	20.0	6.7
	45	10	1	3	1	18	9	3
男性50～59歳	100.0	23.2	3.6	10.7	1.8	30.4	14.3	16.1
	56	13	2	6	1	17	8	9
男性60～69歳	100.0	19.3	6.0	15.7	6.0	18.1	15.7	19.3
	83	16	5	13	5	15	13	16
男性70歳以上	100.0	16.3	5.2	7.8	3.9	17.0	15.0	34.6
	153	25	8	12	6	26	23	53
女性20～29歳	100.0	16.7	0.0	3.3	0.0	43.3	16.7	20.0
	30	5	0	1	0	13	5	6
女性30～39歳	100.0	42.6	0.0	2.1	2.1	31.9	12.8	8.5
	47	20	0	1	1	15	6	4
女性40～49歳	100.0	39.0	0.0	3.9	2.6	20.8	20.8	13.0
	77	30	0	3	2	16	16	10
女性50～59歳	100.0	24.1	3.4	3.4	6.9	19.0	24.1	19.0
	58	14	2	2	4	11	14	11
女性60～69歳	100.0	35.9	1.0	4.9	4.9	6.8	15.5	31.1
	103	37	1	5	5	7	16	32
女性70歳以上	100.0	20.8	0.7	0.0	3.5	7.6	19.4	47.9
	144	30	1	0	5	11	28	69

「⑤子育て（育児・しつけなど）」について、全体では「主に妻の役割である」と回答した割合が25.1%と最も高くなっており、次いで「特に決まっていない」（13.0%）、「妻と夫でほぼ半々である」（11.8%）、「家族全員で分担している」（3.4%）、「主に夫の役割である」（0.4%）の順となっている。

性別では、男性及び女性で「主に妻の役割である」の割合が最も高くなっているが、「特に決まっていない」の割合は男性が17.5%となっているのに比べ女性は8.7%、「妻と夫でほぼ半々である」の割合は男性が14.4%となっているのに比べ女性は9.6%となっており、男女差が大きくなっている。

性・年齢別では、男性の20～29歳、女性の30～39歳、女性の40～49歳で「主に妻の役割である」の割合が高くなっており、男性の30～49歳では「妻と夫でほぼ半々である」、男性の50～59歳及び女性の20～29歳では「特に決まっていない」の割合が高くなっている。

	サンプル数	主に妻の役割である	主に夫の役割である	妻と夫でほぼ半々である	家族全員で分担している	特に決まっていない	その他	無回答
全体	1000	25.1	0.4	11.8	3.4	13.0	17.4	29.1
性別	857	21.5	3	10.1	2.9	11.1	14.9	24.9
男性	1000	18.5	0.5	14.4	4.1	17.5	16.7	28.3
女性	1000	31.2	0.2	9.6	2.8	8.7	17.9	29.6
性・年齢別	459	14.3	1	4.4	1.3	4.0	8.2	13.6
男性20～29歳	1000	37.5	6.3	6.3	0.0	31.3	12.5	6.3
男性30～39歳	1000	25.0	0.0	25.0	8.3	16.7	13.9	11.1
男性40～49歳	1000	24.4	0.0	26.7	6.7	17.8	17.8	6.7
男性50～59歳	1000	17.9	1.8	19.6	5.4	23.2	12.5	19.6
男性60～69歳	1000	18.1	0.0	14.5	2.4	20.5	15.7	28.9
男性70歳以上	1000	13.7	0.0	7.2	3.3	12.4	19.6	43.8
女性20～29歳	1000	23.3	0.0	6.7	3.3	30.0	20.0	16.7
女性30～39歳	1000	53.2	0.0	19.1	4.3	12.8	6.4	4.3
女性40～49歳	1000	49.4	1.3	13.0	5.2	9.1	13.0	9.1
女性50～59歳	1000	25.9	0.0	15.5	0.0	8.6	31.0	19.0
女性60～69歳	1000	33.0	0.0	8.7	2.9	5.8	15.5	34.0
女性70歳以上	1000	16.7	0.0	3.5	2.1	4.9	20.1	52.8

「⑥自治会など地域活動への参加」について、全体では「主に妻の役割である」と回答した割合が28.8%と最も高くなっており、次いで「主に夫の役割である」（19.6%）、「特に決まっていない」（16.5%）、「妻と夫でほぼ半々である」（13.4%）、「家族全員で分担している」（2.7%）の順となっている。

性別では、男性は「主に夫の役割である」（26.2%）の割合が最も高くなっているが、女性は「主に妻の役割である」（35.1%）が最も高くなっている。また、「主に夫の役割である」の女性の割合は14.4%となっているが、「主に妻の役割である」の男性の割合は21.9%となっており、男女差が大きくなっている。

性・年齢別では、男性の20～39歳、女性の20～29歳では「特に決まっていない」の割合が高くなっている。男性及び女性の30～39歳では、男女共に「妻と夫でほぼ半々である」の割合が高くなっている。男性の60歳以上では「主に夫の役割である」の割合が高くなっているが、女性の40～49歳、60～69歳では「主に妻の役割である」の割合が高くなっている。特に、男女の60～69歳において、男性では「主に夫の役割である」の割合が高くなっているのに対して、女性では「主に妻の役割である」の割合が高くなっており、男女差が顕著になっている。

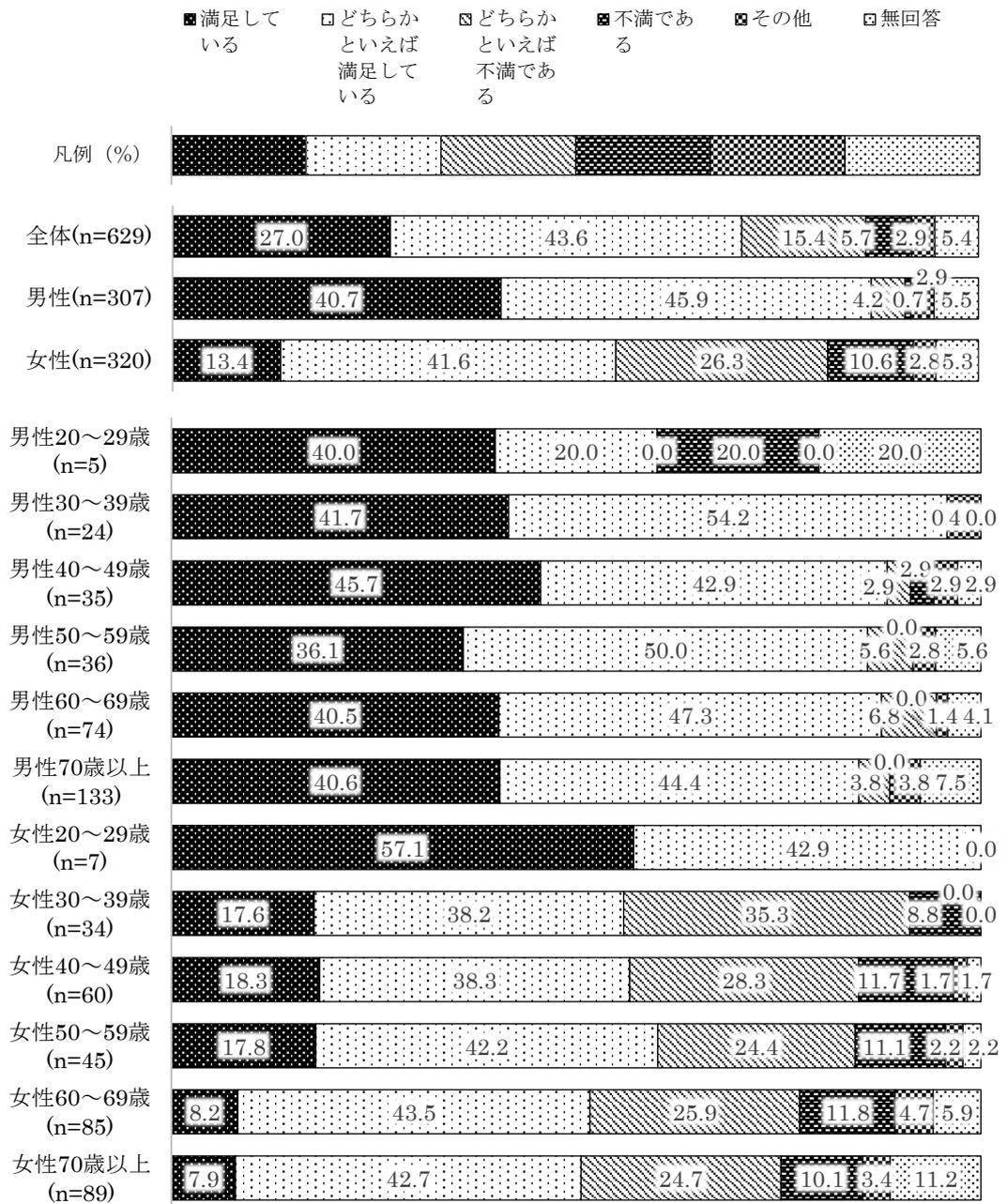
	サンプル数	主に妻の役割である	主に夫の役割である	妻と夫でほぼ半々である	家族全員で分担している	特に決まっていない	その他	無回答
全体	1000	28.8	19.6	13.4	2.7	16.5	8.5	10.5
性別	857	24.7	16.8	11.5	2.3	14.1	7.3	9.0
男性	1000	21.9	26.2	14.4	3.9	19.8	6.4	7.5
女性	1000	35.1	14.4	12.6	1.7	13.3	10.2	12.6
性・年齢別	459	16.1	6.6	5.8	0.8	6.1	4.7	5.8
男性20～29歳	1000	12.5	18.8	0.0	12.5	37.5	12.5	6.3
男性30～39歳	1000	8.3	16.7	25.0	2.8	36.1	5.6	5.6
男性40～49歳	1000	35.6	15.6	20.0	4.4	6.7	15.6	2.2
男性50～59歳	1000	23.2	19.6	14.3	7.1	19.6	7.1	8.9
男性60～69歳	1000	13	11	8	4	11	4	5
男性70歳以上	1000	17.6	32.0	13.1	3.3	20.3	2.0	11.8
女性20～29歳	1000	16.7	10.0	3.3	3.3	30.0	20.0	16.7
女性30～39歳	1000	36.2	8.5	23.4	0.0	21.3	6.4	4.3
女性40～49歳	1000	44.2	11.7	7.8	2.6	15.6	11.7	6.5
女性50～59歳	1000	37.9	17.2	10.3	5.2	8.6	13.8	6.9
女性60～69歳	1000	40.3	13.6	16.5	1.9	9.7	3.9	13.6
女性70歳以上	1000	28.5	18.1	11.8	0.0	10.4	11.8	19.4

問20 【配偶者・パートナーのいる方のみにおたずねします。】

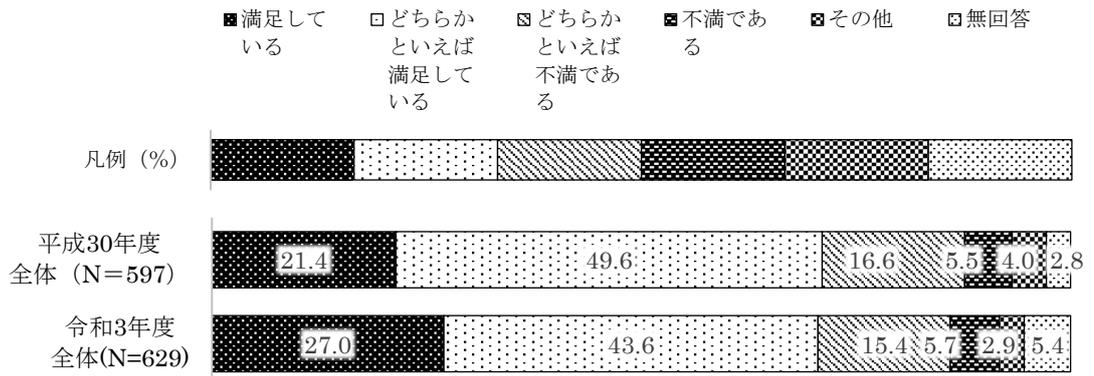
あなたは、家庭での家事・育児・介護の分担の満足度をどのように感じていますか。(〇は1つ)

「家庭での家事・育児・介護の分担の満足度」について、全体では「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合計した「満足している(合計)」の割合は70.6%、「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合計した「不満である(合計)」の割合は21.1%となっている。

性別では、「満足している(合計)」の割合は、男性の86.6%に対して女性は55.0%となっており、「不満である(合計)」の割合は、男性の30歳以上で「満足している(合計)」の割合が85%以上となっているが、女性の30歳以上では「不満である(合計)」の割合が34%以上となっている。



【経時系列比較】

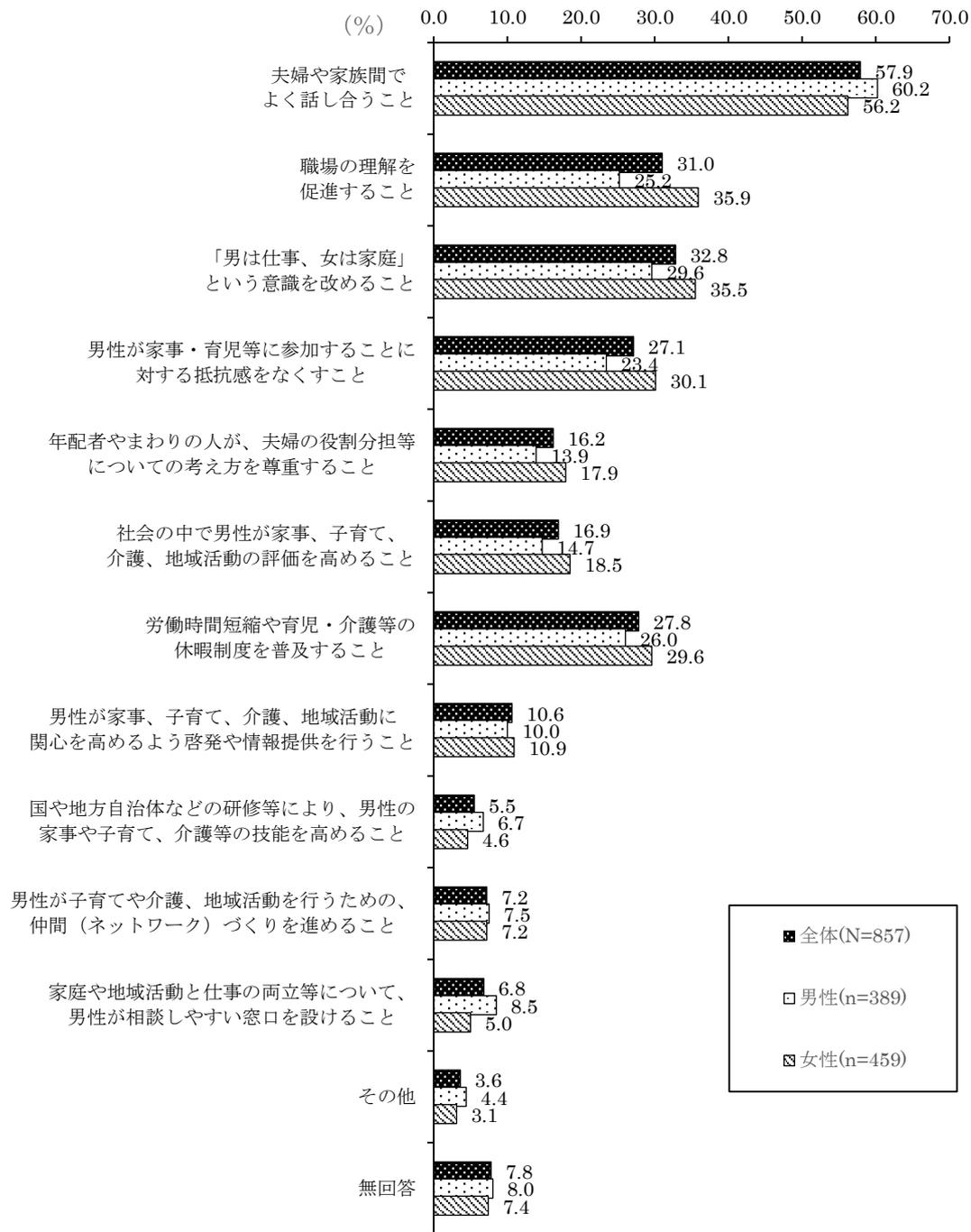


問21 今後、男性が女性と共に家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「今後、男性が女性と共に家事、子育て等に積極的に参加していくために必要なこと」について、全体では「夫婦や家族間でよく話し合うこと」と回答した割合が57.9%と最も高く、次いで『男は仕事、女は家庭』という意識を改めること(32.8%)、「職場の理解を促進すること」(31.0%)、「労働時間短縮や育児・介護等の休暇制度を普及すること」(27.8%)、「男性が家事・育児等に参加することに対する抵抗感をなくすこと」(27.1%)、「社会の中で男性が家事、子育て、介護、地域活動の評価を高めること」(16.9%)、「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての考え方を尊重すること」(16.2%)、「男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心が高めるよう啓発や情報提供を行うこと」(10.6%)、「男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間(ネットワーク)づくりを進めること」(7.2%)、「家庭や地域活動と仕事の両立等について、男性が相談しやすい窓口を設けること」(6.8%)、「国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること」(5.5%)の順となっている。

性別では、男性及び女性で「夫婦や家族間でよく話し合うこと」と回答した割合が最も高くなっている。

性・年齢別では、男性の30～39歳、女性の20～39歳で「職場の理解を促進すること」の割合が高くなっている。このほか女性では、20～39歳で「労働時間短縮や育児・介護等の休暇制度を普及すること」の割合が高くなっている。



	サンプル数	夫婦や家族間でよく話し合うこと	職場の理解を促進すること	一男は仕事、女は家庭」という意識を改めること	男性が家事・育児等に参加することを拒否すること	男性が家事・育児等に重なること	年配者やまわりの人について、役割分担等を考えること	地域活動の評価を高めること	社会の中で、男性が家事・子育て、介護、地域活動の役割を担うこと	介護等の時間短縮や育児・労働等の負担軽減を促すこと	報奨金や地域活動に関する啓発や情報提供を行うこと	男性が家事・子育て、介護、地域活動に関する啓発や情報提供を行うこと	国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること	地域活動を行うためのネットワーキングを進めること	男性が子育てや介護、地域活動を行うためのネットワーキングを進めること	家庭や地域活動と仕事を両立しやすい窓口を設けること	その他	無回答
全体	100.0 857	57.9 496	31.0 266	32.8 281	27.1 232	16.2 139	16.9 145	27.8 238	10.6 91	5.5 47	7.2 62	6.8 58	3.6 31	7.8 67				
性別																		
男性	100.0 389	60.2 234	25.2 98	29.6 115	23.4 91	13.9 54	14.7 57	26.0 101	10.0 39	6.7 26	7.5 29	8.5 33	4.4 17	8.0 31				
女性	100.0 459	56.2 258	35.9 165	35.5 163	30.1 138	17.9 82	18.5 85	29.6 136	10.9 50	4.6 21	7.2 33	5.0 23	3.1 14	7.4 34				
性・年齢別																		
男性20～29歳	100.0 16	37.5 6	31.3 5	18.8 3	31.3 5	18.8 3	18.8 3	31.3 5	0.0 0	0.0 0	0.0 0	6.3 1	6.3 1	18.8 3				
男性30～39歳	100.0 36	44.4 16	52.8 19	25.0 9	30.6 11	8.3 3	22.2 8	36.1 13	5.6 2	0.0 0	8.3 3	8.3 3	0.0 0	5.6 2				
男性40～49歳	100.0 45	57.8 26	37.8 17	31.1 14	15.6 7	13.3 6	6.7 3	31.1 14	6.7 3	2.2 1	2.2 1	4.4 2	13.3 6	6.7 3				
男性50～59歳	100.0 56	50.0 28	35.7 20	37.5 21	21.4 12	10.7 6	19.6 11	23.2 13	8.9 5	7.1 4	10.7 6	5.4 3	3.6 2	8.9 5				
男性60～69歳	100.0 83	67.5 56	22.9 19	30.1 25	25.3 21	12.0 10	15.7 13	25.3 21	15.7 13	4.8 4	13.3 11	10.8 9	4.8 4	3.6 3				
男性70歳以上	100.0 153	66.7 102	11.8 18	28.1 43	22.9 35	17.0 26	12.4 19	22.9 35	10.5 16	11.1 17	5.2 8	9.8 15	2.6 4	9.8 15				
女性20～29歳	100.0 30	70.0 21	53.3 16	30.0 9	30.0 9	6.7 2	10.0 3	56.7 17	3.3 1	3.3 1	0.0 0	3.3 1	3.3 1	3.3 1				
女性30～39歳	100.0 47	55.3 26	63.8 30	25.5 12	31.9 15	21.3 10	25.5 12	44.7 21	6.4 3	10.6 5	6.4 3	2.1 1	4.3 2	0.0 0				
女性40～49歳	100.0 77	50.6 39	40.3 31	37.7 29	40.3 31	23.4 18	20.8 16	35.1 27	6.5 5	7.8 6	6.5 5	5.2 4	6.5 5	2.6 2				
女性50～59歳	100.0 58	51.7 30	29.3 17	31.0 18	34.5 20	20.7 12	24.1 14	25.9 15	13.8 8	1.7 1	6.9 4	3.4 2	8.6 5	6.9 4				
女性60～69歳	100.0 103	58.3 60	34.0 35	43.7 45	35.9 37	16.5 17	22.3 23	21.4 22	12.6 13	4.9 5	9.7 10	7.8 8	1.0 1	4.9 5				
女性70歳以上	100.0 144	56.9 82	25.0 36	34.7 50	18.1 26	16.0 23	11.8 17	23.6 34	13.9 20	2.1 3	7.6 11	4.9 7	0.0 0	15.3 22				

問 22 新型コロナウイルス感染症の拡大による、あなたの生活への影響について、次にあげる項目それぞれについてお答えください。(〇は1つずつ)

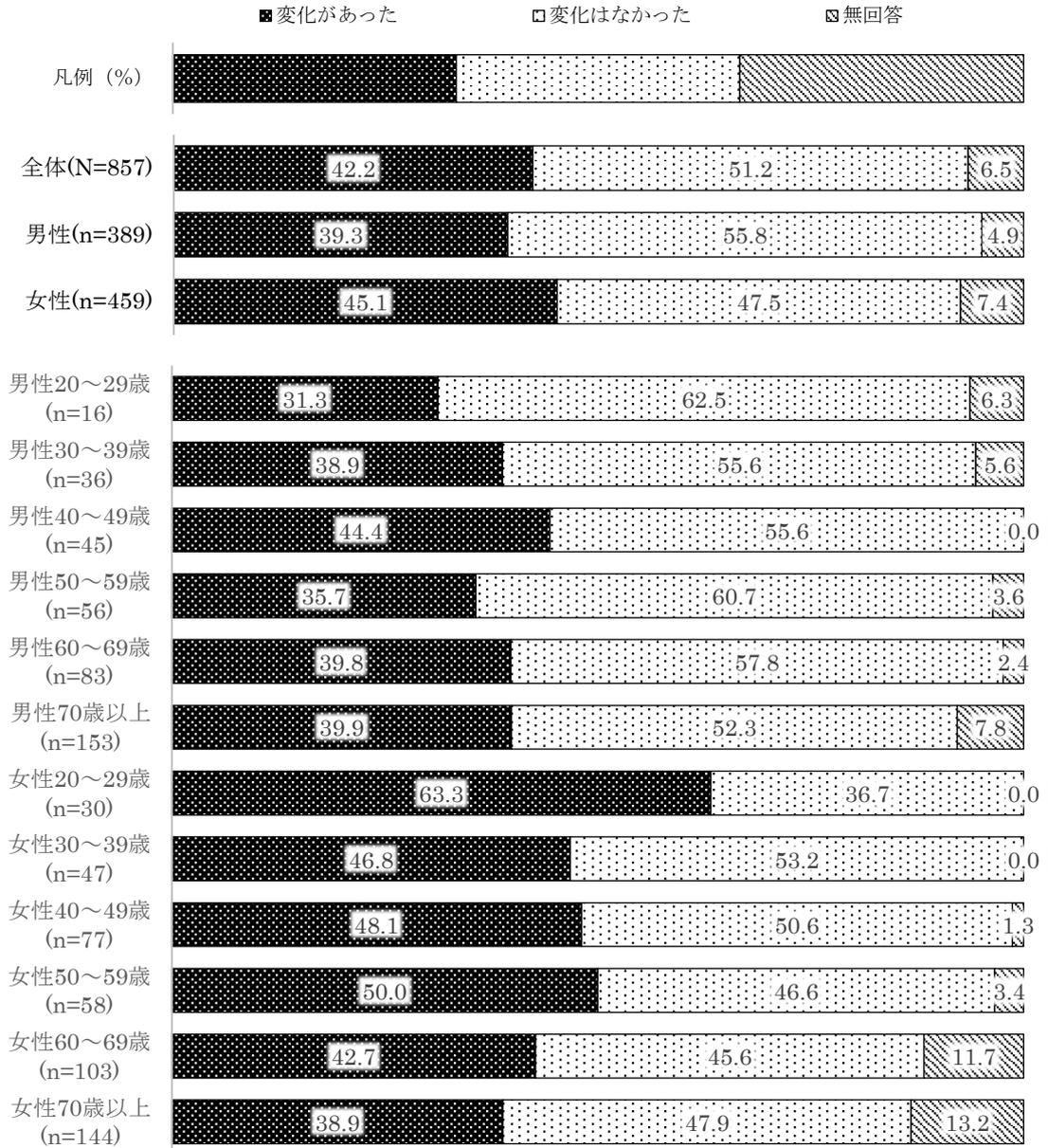
【新型コロナウイルス感染症拡大の影響】

「①メンタルヘルス」について、全体では「変化はなかった」の割合が51.2%、「変化があった」の割合が42.2%となっている。

性別では、男女ともに「変化はなかった」の割合が高くなっているが、女性では「変化はなかった」(47.5%)と「変化があった」(45.1%)の割合の差が小さくなっている。

性・年齢別では、女性の20～29歳、50～59歳で「変化があった」の割合が「変化がなかった」の割合より高くなっている。

	サンプル数	変化があった	変化はなかった	無回答
全体	100.0 857	42.2 362	51.2 439	6.5 56
性別				
男性	100.0 389	39.3 153	55.8 217	4.9 19
女性	100.0 459	45.1 207	47.5 218	7.4 34
性・年齢別				
男性20～29歳	100.0 16	31.3 5	62.5 10	6.3 1
男性30～39歳	100.0 36	38.9 14	55.6 20	5.6 2
男性40～49歳	100.0 45	44.4 20	55.6 25	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	35.7 20	60.7 34	3.6 2
男性60～69歳	100.0 83	39.8 33	57.8 48	2.4 2
男性70歳以上	100.0 153	39.9 61	52.3 80	7.8 12
女性20～29歳	100.0 30	63.3 19	36.7 11	0.0 0
女性30～39歳	100.0 47	46.8 22	53.2 25	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	48.1 37	50.6 39	1.3 1
女性50～59歳	100.0 58	50.0 29	46.6 27	3.4 2
女性60～69歳	100.0 103	42.7 44	45.6 47	11.7 12
女性70歳以上	100.0 144	38.9 56	47.9 69	13.2 19

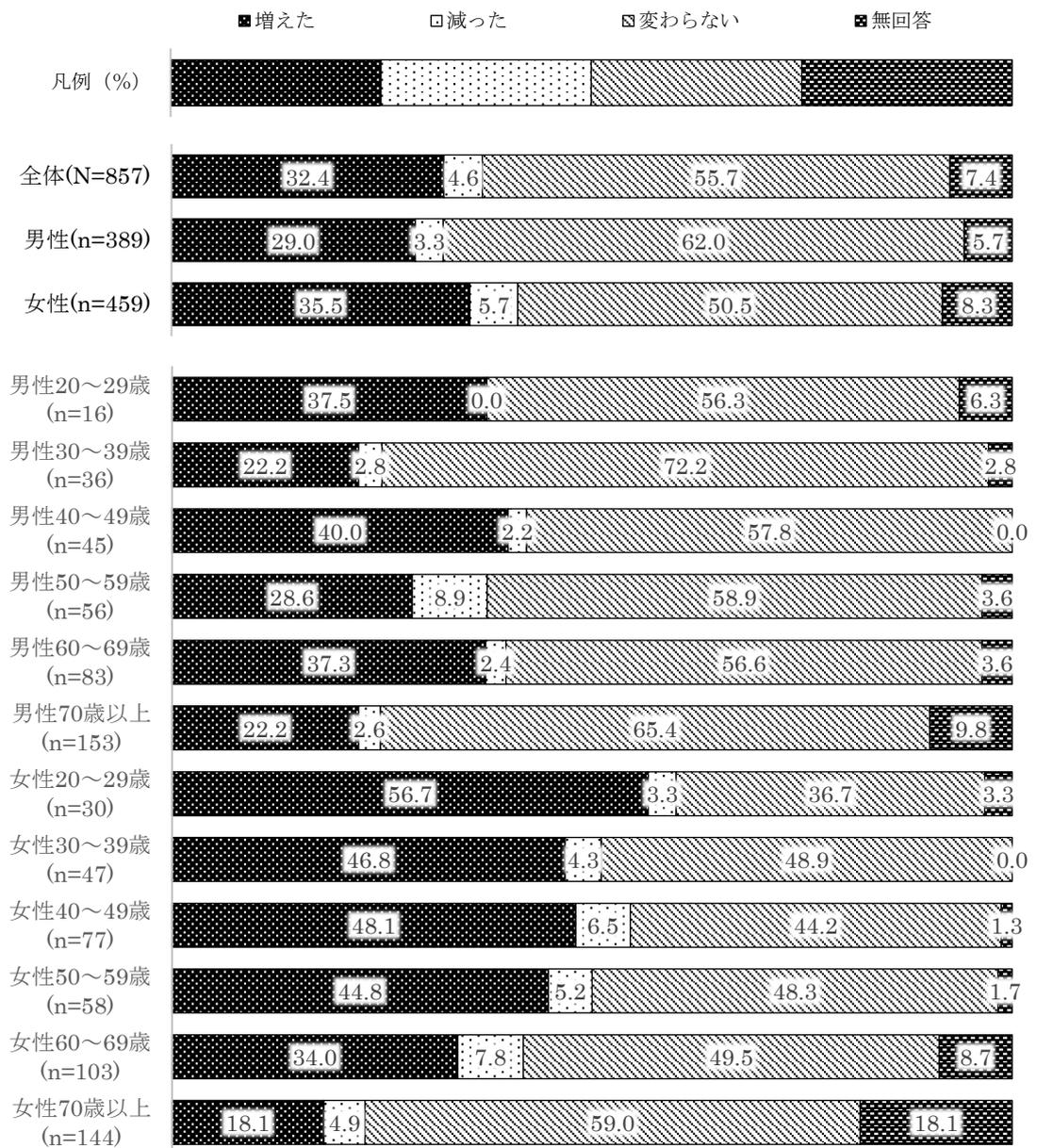


「②家族と過ごす時間」について、全体では「変わらない」の割合が55.7%と最も高くなっており、次いで「増えた」(32.4%)、「減った」(4.6%)の順となっている。

性別では、男女ともに「変わらない」の割合が最も高くなっている。

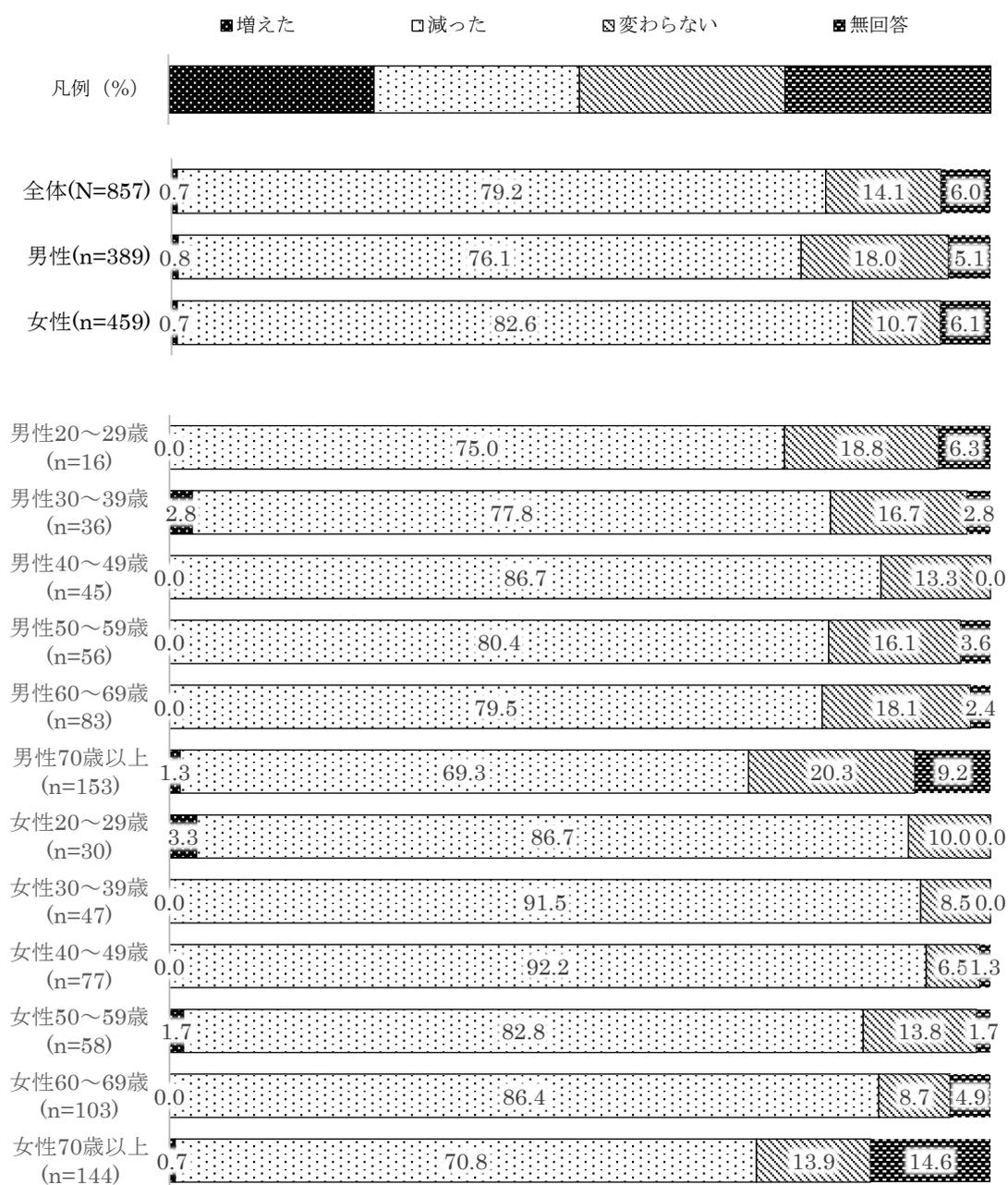
性・年齢別では、男性は全ての年齢層で「変わらない」の割合が高くなっているが、特に30～39歳で高くなっている。女性は、20～59歳で「増えた」の割合が高くなっている。

	サンプル数	増えた	減った	変わらない	無回答
全体	100.0 857	32.4 278	4.6 39	55.7 477	7.4 63
性別					
男性	100.0 389	29.0 113	3.3 13	62.0 241	5.7 22
女性	100.0 459	35.5 163	5.7 26	50.5 232	8.3 38
性・年齢別					
男性20～29歳	100.0 16	37.5 6	0.0 0	56.3 9	6.3 1
男性30～39歳	100.0 36	22.2 8	2.8 1	72.2 26	2.8 1
男性40～49歳	100.0 45	40.0 18	2.2 1	57.8 26	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	28.6 16	8.9 5	58.9 33	3.6 2
男性60～69歳	100.0 83	37.3 31	2.4 2	56.6 47	3.6 3
男性70歳以上	100.0 153	22.2 34	2.6 4	65.4 100	9.8 15
女性20～29歳	100.0 30	56.7 17	3.3 1	36.7 11	3.3 1
女性30～39歳	100.0 47	46.8 22	4.3 2	48.9 23	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	48.1 37	6.5 5	44.2 34	1.3 1
女性50～59歳	100.0 58	44.8 26	5.2 3	48.3 28	1.7 1
女性60～69歳	100.0 103	34.0 35	7.8 8	49.5 51	8.7 9
女性70歳以上	100.0 144	18.1 26	4.9 7	59.0 85	18.1 26



「③外出する頻度」について、全体では「減った」の割合が79.2%と最も高くなっている。
 性別では、男女ともに「減った」の割合が最も高くなっている。
 性・年齢別では、全ての年齢層で「減った」の割合が最も高くなっているが、女性の30～49歳では特に高くなっている。

	サンプル数	増えた	減った	変わらない	無回答
全体	100.0 857	0.7 6	79.2 679	14.1 121	6.0 51
性別					
男性	100.0 389	0.8 3	76.1 296	18.0 70	5.1 20
女性	100.0 459	0.7 3	82.6 379	10.7 49	6.1 28
性・年齢別					
男性20～29歳	100.0 16	0.0 0	75.0 12	18.8 3	6.3 1
男性30～39歳	100.0 36	2.8 1	77.8 28	16.7 6	2.8 1
男性40～49歳	100.0 45	0.0 0	86.7 39	13.3 6	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	0.0 0	80.4 45	16.1 9	3.6 2
男性60～69歳	100.0 83	0.0 0	79.5 66	18.1 15	2.4 2
男性70歳以上	100.0 153	1.3 2	69.3 106	20.3 31	9.2 14
女性20～29歳	100.0 30	3.3 1	86.7 26	10.0 3	0.0 0
女性30～39歳	100.0 47	0.0 0	91.5 43	8.5 4	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	0.0 0	92.2 71	6.5 5	1.3 1
女性50～59歳	100.0 58	1.7 1	82.8 48	13.8 8	1.7 1
女性60～69歳	100.0 103	0.0 0	86.4 89	8.7 9	4.9 5
女性70歳以上	100.0 144	0.7 1	70.8 102	13.9 20	14.6 21

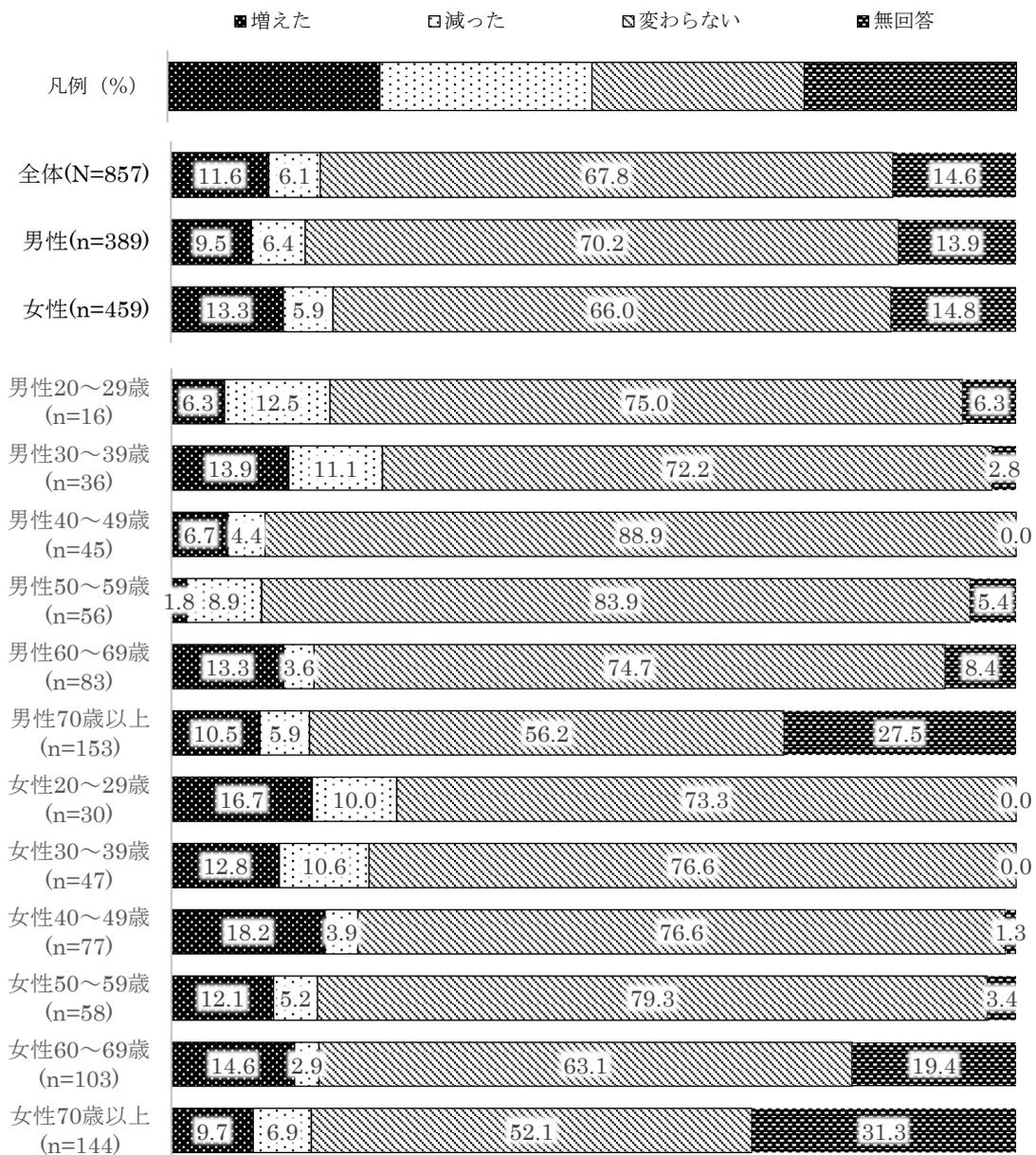


「④SNSなどでの交流頻度」については、全体では「変わらない」の割合が67.8%と最も高くなっている。

性別では、男女ともに「変わらない」の割合が最も高くなっている。

性・年齢別では、全ての年齢層で「変わらない」の割合が最も高くなっているが、男性の40～59歳、女性の50～59歳では特に高くなっている。

	サンプル数	増えた	減った	変わらない	無回答
全体	100.0 857	11.6 99	6.1 52	67.8 581	14.6 125
性別					
男性	100.0 389	9.5 37	6.4 25	70.2 273	13.9 54
女性	100.0 459	13.3 61	5.9 27	66.0 303	14.8 68
性・年齢別					
男性20～29歳	100.0 16	6.3 1	12.5 2	75.0 12	6.3 1
男性30～39歳	100.0 36	13.9 5	11.1 4	72.2 26	2.8 1
男性40～49歳	100.0 45	6.7 3	4.4 2	88.9 40	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	1.8 1	8.9 5	83.9 47	5.4 3
男性60～69歳	100.0 83	13.3 11	3.6 3	74.7 62	8.4 7
男性70歳以上	100.0 153	10.5 16	5.9 9	56.2 86	27.5 42
女性20～29歳	100.0 30	16.7 5	10.0 3	73.3 22	0.0 0
女性30～39歳	100.0 47	12.8 6	10.6 5	76.6 36	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	18.2 14	3.9 3	76.6 59	1.3 1
女性50～59歳	100.0 58	12.1 7	5.2 3	79.3 46	3.4 2
女性60～69歳	100.0 103	14.6 15	2.9 3	63.1 65	19.4 20
女性70歳以上	100.0 144	9.7 14	6.9 10	52.1 75	31.3 45

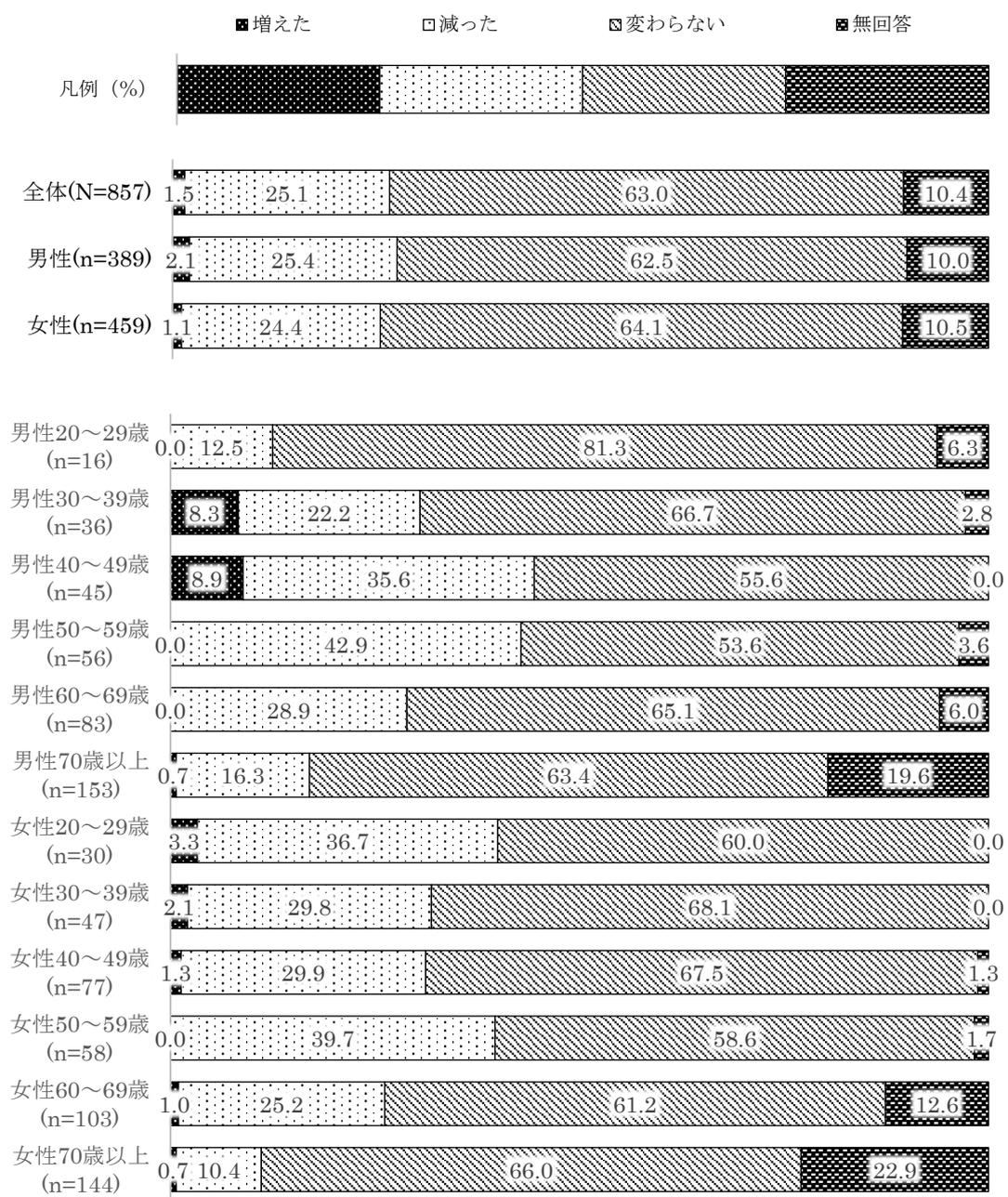


「⑤収入（給料・ボーナスなど）」について、全体では「変わらない」の割合が 63.0%と最も高くなっている。

性別では、男女ともに「変わらない」の割合が最も高くなっている。

性・年齢別では、全ての年齢層で「変わらない」の割合が最も高くなっているが、男性の20～29歳では特に高くなっている。また、男性の40～59歳、女性の20～29歳、50～59歳では「減った」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

	サンプル数	増えた	減った	変わらない	無回答
全体	100.0 857	1.5 13	25.1 215	63.0 540	10.4 89
性別					
男性	100.0 389	2.1 8	25.4 99	62.5 243	10.0 39
女性	100.0 459	1.1 5	24.4 112	64.1 294	10.5 48
性・年齢別					
男性20～29歳	100.0 16	0.0 0	12.5 2	81.3 13	6.3 1
男性30～39歳	100.0 36	8.3 3	22.2 8	66.7 24	2.8 1
男性40～49歳	100.0 45	8.9 4	35.6 16	55.6 25	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	0.0 0	42.9 24	53.6 30	3.6 2
男性60～69歳	100.0 83	0.0 0	28.9 24	65.1 54	6.0 5
男性70歳以上	100.0 153	0.7 1	16.3 25	63.4 97	19.6 30
女性20～29歳	100.0 30	3.3 1	36.7 11	60.0 18	0.0 0
女性30～39歳	100.0 47	2.1 1	29.8 14	68.1 32	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	1.3 1	29.9 23	67.5 52	1.3 1
女性50～59歳	100.0 58	0.0 0	39.7 23	58.6 34	1.7 1
女性60～69歳	100.0 103	1.0 1	25.2 26	61.2 63	12.6 13
女性70歳以上	100.0 144	0.7 1	10.4 15	66.0 95	22.9 33



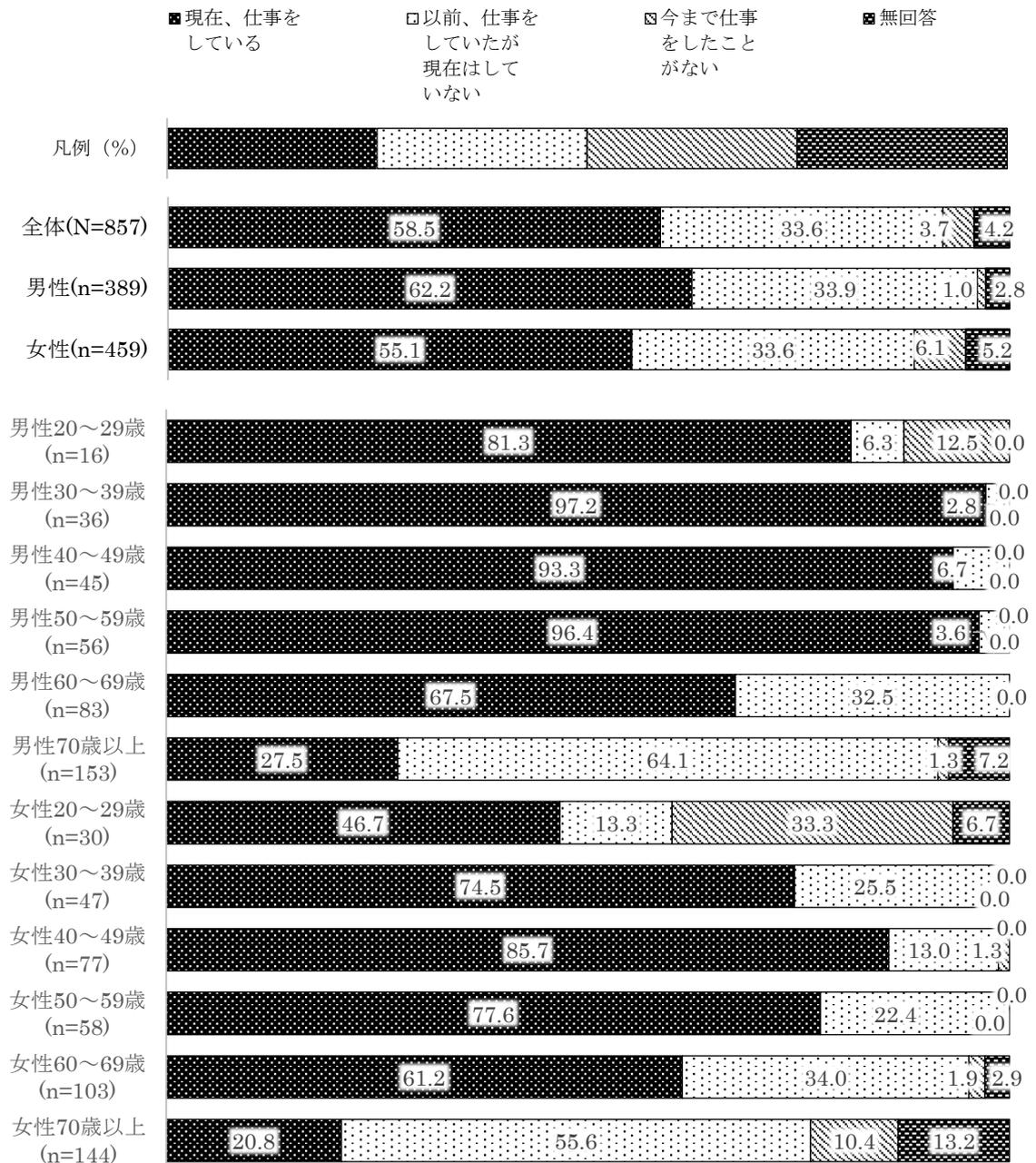
(3) 仕事・職場について

問23 あなたは現在、収入を得る仕事をしていますか。(学生のアルバイトは除く)
 ※病気や出産・育児、家族の介護などで一時休業している場合も、仕事をしていることに含みます。(〇は1つ)

「収入を得る就労」について、全体では「現在、仕事をしている」の割合が58.5%と最も高くなっており、次いで「以前、仕事をしていたが現在はしていない」(33.6%)、「今まで仕事をしたことがない」(3.7%)となっている。

性別では、男女ともに「現在、仕事をしている」の割合が最も高くなっている。

性・年齢別では、男性の20～59歳まで、女性の30～59歳までにおいて「現在、仕事をしている」の割合が非常に高くなっている。また、女性の20～29歳では「今まで仕事をしたことがない」、男性の70歳以上及び女性の70歳以上では「以前、仕事をしていたが現在はしていない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



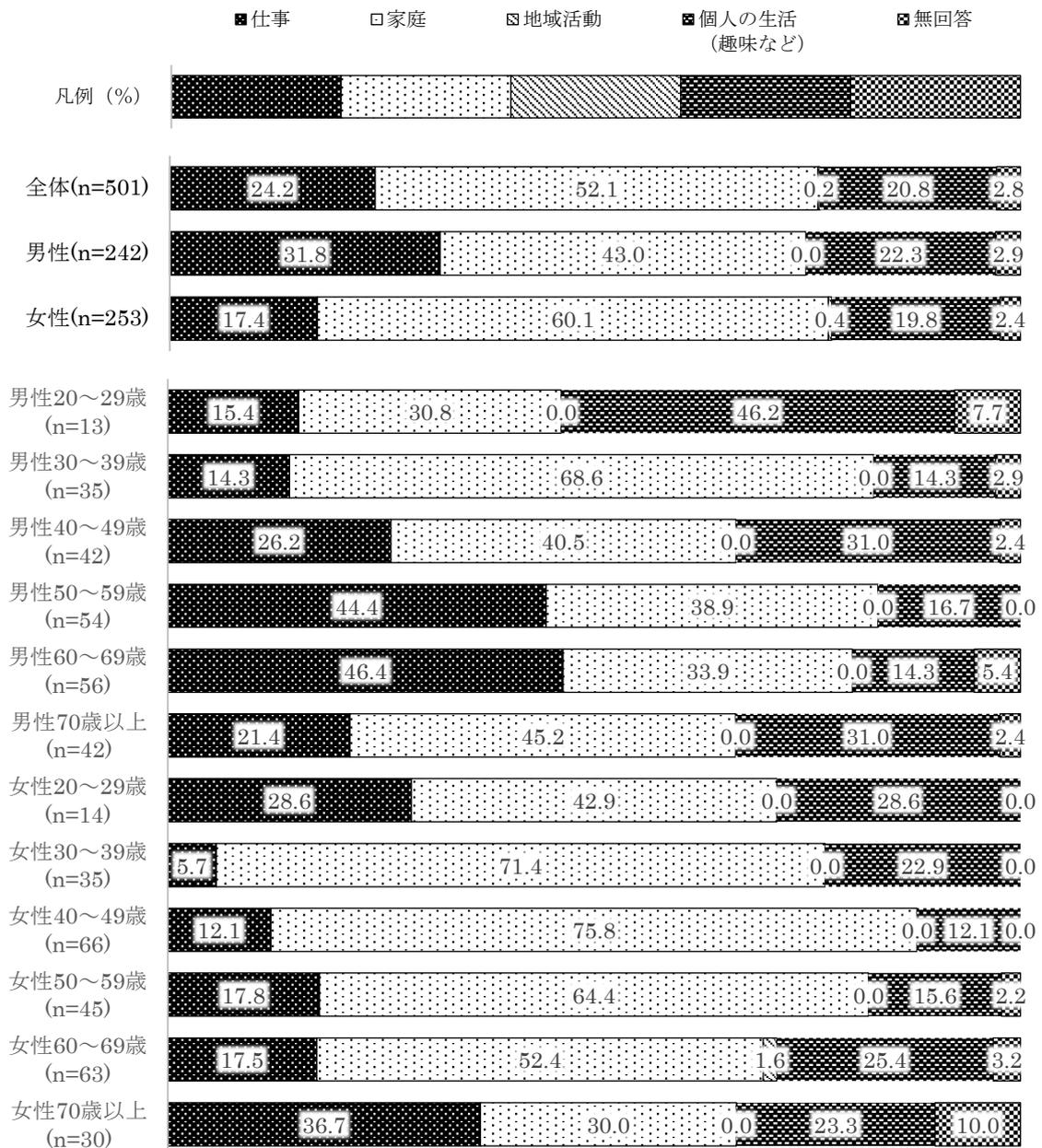
問24 【問23で「1」と答えた方のみにおたずねします。】

あなたは生活する上で、何を優先したいですか。(〇は1つ)

「生活する上で優先したいこと」について、全体では「家庭」と回答した割合が52.1%と最も高くなっており、次いで「仕事」(24.2%)、「個人の生活(趣味など)」(20.8%)、「地域活動」(0.2%)の順となっている。

性別では、女性において「個人の生活(趣味など)」(19.8%)の割合が「仕事」(17.4%)の割合をわずかに上回っている。

性・年齢別では、男性は20～29歳で「個人の生活(趣味など)」、30～49歳で「家庭」、50～69歳で「仕事」、70歳以上で「家庭」の割合が高くなっている。一方、女性は20～69歳で「家庭」の割合が最も高くなっているが、70歳以上では「仕事」の割合が最も高くなっている。



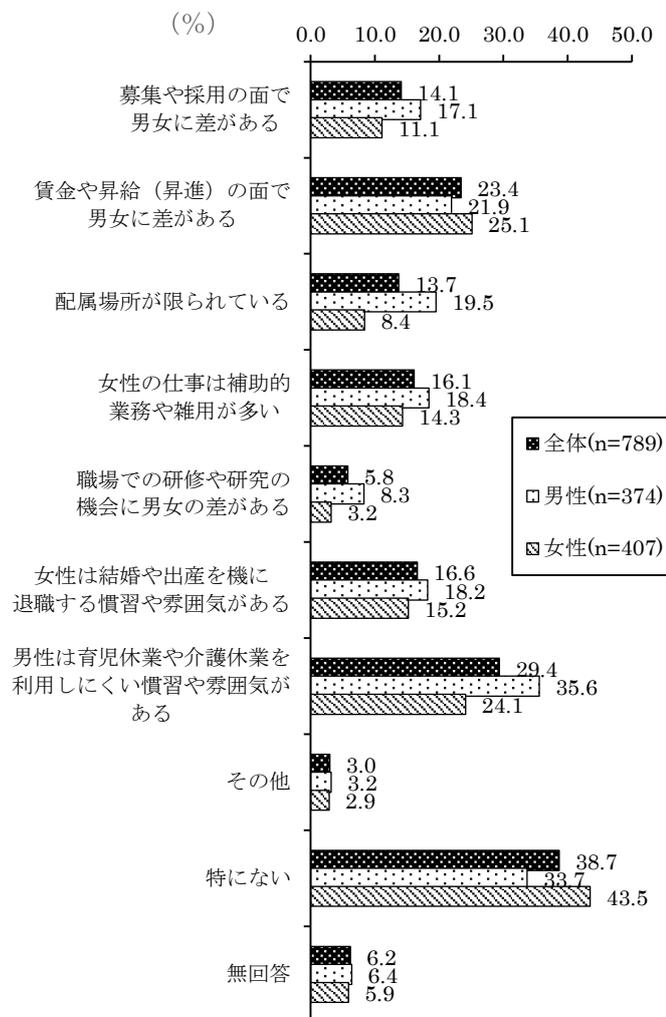
問25 【問23で「1～2」と答えた方のみにおたずねします。】

あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、次のような男女間の格差がありますか（又は、ありましたか）。（〇はいくつでも）

「職場での男女格差」について、全体では「男性は育児休業や介護休業を利用しにくい慣習や雰囲気がある」と回答した割合が29.4%と最も高くなっており、次いで「賃金や昇給（昇進）の面で男女に差がある」（23.4%）、「女性は結婚や出産を機に退職する慣習や雰囲気がある」（16.6%）、「女性の仕事は補助的業務や雑用が多い」（16.1%）、「募集や採用の面で男女に差がある」（14.1%）、「配属場所が限られている」（13.7%）、「職場での研修や研究の機会に男女の差がある」（5.8%）の順となっている。

性別では、男性は「男性は育児休業や介護休業を利用しにくい慣習や雰囲気がある」（35.6%）が最も高くなっているが、女性は「賃金や昇給（昇進）の面で男女に差がある」（25.1%）が最も高くなっている。

性・年齢別では、男性の70歳以上及び女性の50歳以上で「賃金や昇給（昇進）の面で男女に差がある」が最も高くなっている。



	サンプル数	募集や採用の面に男女に差がある	賃金や昇給（昇進）の面で男女に差がある	配属場所が限られている	女性の仕事は補助的業務や雑用が多い	職場での研修や研究の機会に男女の差がある	気がある 女性に退職する慣習や出産を機	習や雰囲気がある 男性は育児休業や介護	その他	特になし	無回答
全体	100.0 789	14.1 111	23.4 185	13.7 108	16.1 127	5.8 46	16.6 131	29.4 232	3.0 24	38.7 305	6.2 49
性別											
男性	100.0 374	17.1 64	21.9 82	19.5 73	18.4 69	8.3 31	18.2 68	35.6 133	3.2 12	33.7 126	6.4 24
女性	100.0 407	11.1 45	25.1 102	8.4 34	14.3 58	3.2 13	15.2 62	24.1 98	2.9 12	43.5 177	5.9 24
性・年齢別											
男性20～29歳	100.0 14	7.1 1	7.1 1	14.3 2	7.1 1	14.3 2	7.1 1	50.0 7	0.0 0	28.6 4	7.1 1
男性30～39歳	100.0 36	13.9 5	11.1 4	27.8 10	25.0 9	5.6 2	5.6 2	50.0 18	0.0 0	27.8 10	2.8 1
男性40～49歳	100.0 45	15.6 7	4.4 2	17.8 8	11.1 5	2.2 1	13.3 6	40.0 18	6.7 3	31.1 14	8.9 4
男性50～59歳	100.0 56	19.6 11	19.6 11	12.5 7	23.2 13	5.4 3	26.8 15	37.5 21	0.0 0	30.4 17	10.7 6
男性60～69歳	100.0 83	15.7 13	27.7 23	16.9 14	13.3 11	4.8 4	14.5 12	37.3 31	1.2 1	33.7 28	4.8 4
男性70歳以上	100.0 140	19.3 27	29.3 41	22.9 32	21.4 30	13.6 19	22.9 32	27.1 38	5.7 8	37.9 53	5.7 8
女性20～29歳	100.0 18	11.1 2	11.1 2	0.0 0	5.6 1	0.0 0	22.2 4	33.3 6	0.0 0	44.4 8	5.6 1
女性30～39歳	100.0 47	14.9 7	21.3 10	10.6 5	17.0 8	8.5 4	14.9 7	31.9 15	4.3 2	46.8 22	2.1 1
女性40～49歳	100.0 76	3.9 3	13.2 10	1.3 1	15.8 12	0.0 0	11.8 9	21.1 16	3.9 3	51.3 39	3.9 3
女性50～59歳	100.0 58	8.6 5	32.8 19	8.6 5	6.9 4	3.4 2	8.6 5	24.1 14	5.2 3	43.1 25	1.7 1
女性60～69歳	100.0 98	12.2 12	23.5 23	6.1 6	10.2 10	1.0 1	15.3 15	22.4 22	0.0 0	50.0 49	4.1 4
女性70歳以上	100.0 110	14.5 16	34.5 38	15.5 17	20.9 23	5.5 6	20.0 22	22.7 25	3.6 4	30.9 34	12.7 14

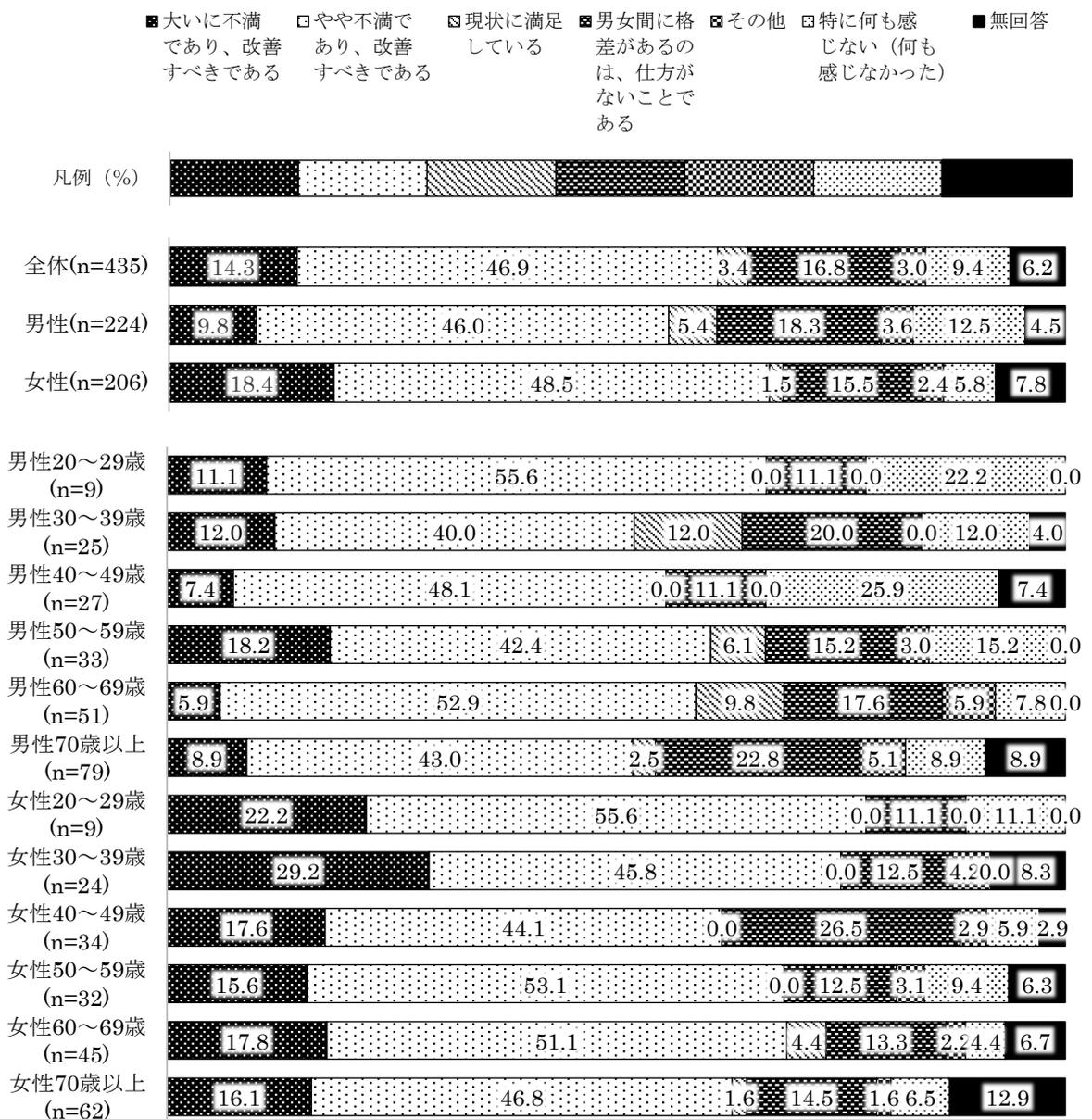
問26 【問25で「1～8」と答えた方のみにおたずねします。】

あなたは、そのような男女間の格差があることに対して、どのように思いますか。
(〇は1つ)

「職場の男女格差に対する評価」について、全体では「やや不満であり、改善すべきである」と回答した割合が46.9%と最も高くなっており、次いで「男女間に格差があるのは、仕方がないことである」(16.8%)、「大いに不満であり、改善すべきである」(14.3%)、「特に何も感じない(何も感じなかった)」(9.4%)、「現状に満足している」(3.4%)の順となっている。

性別では、「大いに不満であり、改善すべきである」の割合が男性(9.8%)に比べて、女性(18.4%)の方がかなり高くなっている。

性・年齢別では、性別に関係なく全ての年齢層で「やや不満であり、改善すべきである」の割合が最も高くなっており、女性の30～39歳では「大いに不満であり、改善すべきである」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



問27 【問23で「1～2」と答えた方のみにおたずねします。】

あなたは、育児休業や介護休業を取得したことがありますか。(〇は1つずつ)

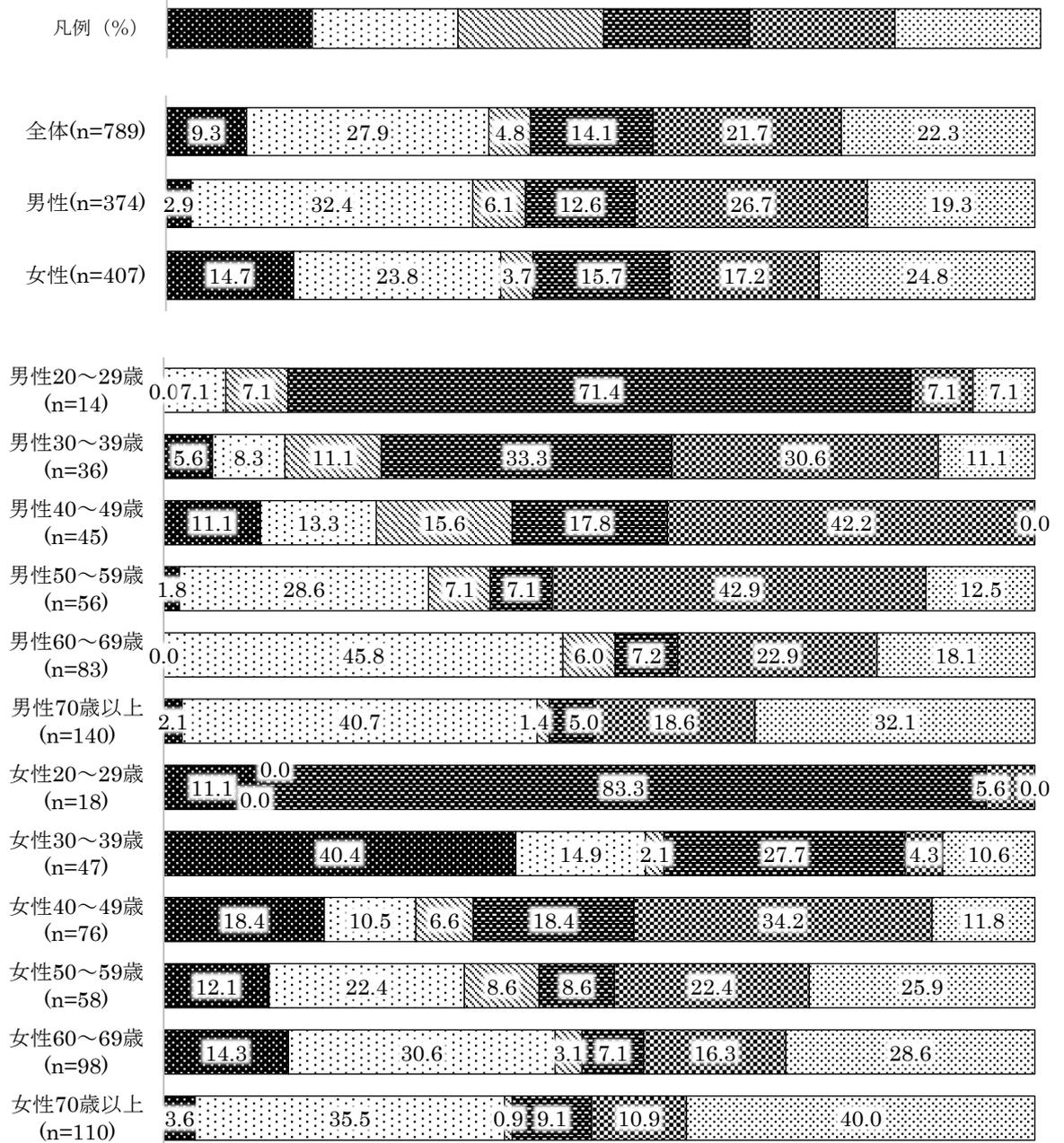
①育児休業取得状況について、全体では「制度がなかったため、取得できなかった」と回答した割合が27.9%と最も高くなっており、次いで「これまでも取得しておらず、今後も取得しようとは思わない」(21.7%)、「これまでは取得する必要がなかったが、子どもが生まれたら取得したい」(14.1%)、「取得したことがある」(9.3%)、「制度はあったが、取得できなかった」(4.8%)の順となっている。

性別では、「取得したことがある」の割合が男性(2.9%)に比べて女性(14.7%)が高くなっており、「これまでも取得しておらず、今後も取得しようとは思わない」の割合は男性(26.7%)に比べて女性(17.2%)が低くなっている。

性・年齢別では、男性の20～39歳及び女性の20～29歳では「これまでは取得する必要がなかったが、子どもが生まれたら取得したい」の割合が非常に高くなっている。

	サンプル数	取得したことがある	取得できなかったため、	制度はあったが、取得できなかった	制度がなかったため、取得できなかった	子どもが生まれたら取得したい	これまでも取得しておらず、今後も取得しようとは思わない	無回答
全体	100.0 789	9.3 73	27.9 220	4.8 38	14.1 111	21.7 171	22.3 176	
性別								
男性	100.0 374	2.9 11	32.4 121	6.1 23	12.6 47	26.7 100	19.3 72	
女性	100.0 407	14.7 60	23.8 97	3.7 15	15.7 64	17.2 70	24.8 101	
性・年齢別								
男性20～29歳	100.0 14	0.0 0	7.1 1	7.1 1	71.4 10	7.1 1	7.1 1	
男性30～39歳	100.0 36	5.6 2	8.3 3	11.1 4	33.3 12	30.6 11	11.1 4	
男性40～49歳	100.0 45	11.1 5	13.3 6	15.6 7	17.8 8	42.2 19	0.0 0	
男性50～59歳	100.0 56	1.8 1	28.6 16	7.1 4	7.1 4	42.9 24	12.5 7	
男性60～69歳	100.0 83	0.0 0	45.8 38	6.0 5	7.2 6	22.9 19	18.1 15	
男性70歳以上	100.0 140	2.1 3	40.7 57	1.4 2	5.0 7	18.6 26	32.1 45	
女性20～29歳	100.0 18	11.1 2	0.0 0	0.0 0	83.3 15	5.6 1	0.0 0	
女性30～39歳	100.0 47	40.4 19	14.9 7	2.1 1	27.7 13	4.3 2	10.6 5	
女性40～49歳	100.0 76	18.4 14	10.5 8	6.6 5	18.4 14	34.2 26	11.8 9	
女性50～59歳	100.0 58	12.1 7	22.4 13	8.6 5	8.6 5	22.4 13	25.9 15	
女性60～69歳	100.0 98	14.3 14	30.6 30	3.1 3	7.1 7	16.3 16	28.6 28	
女性70歳以上	100.0 110	3.6 4	35.5 39	0.9 1	9.1 10	10.9 12	40.0 44	

- 取得したことがある
- 制度がなかったため、取得できなかった
- ▨ 制度はあったが、取得できなかった
- これまでは取得する必要がなかったが、子どもが生まれたら取得したい
- これまでも取得しておらず、今後も取得しようとは思わない
- 無回答



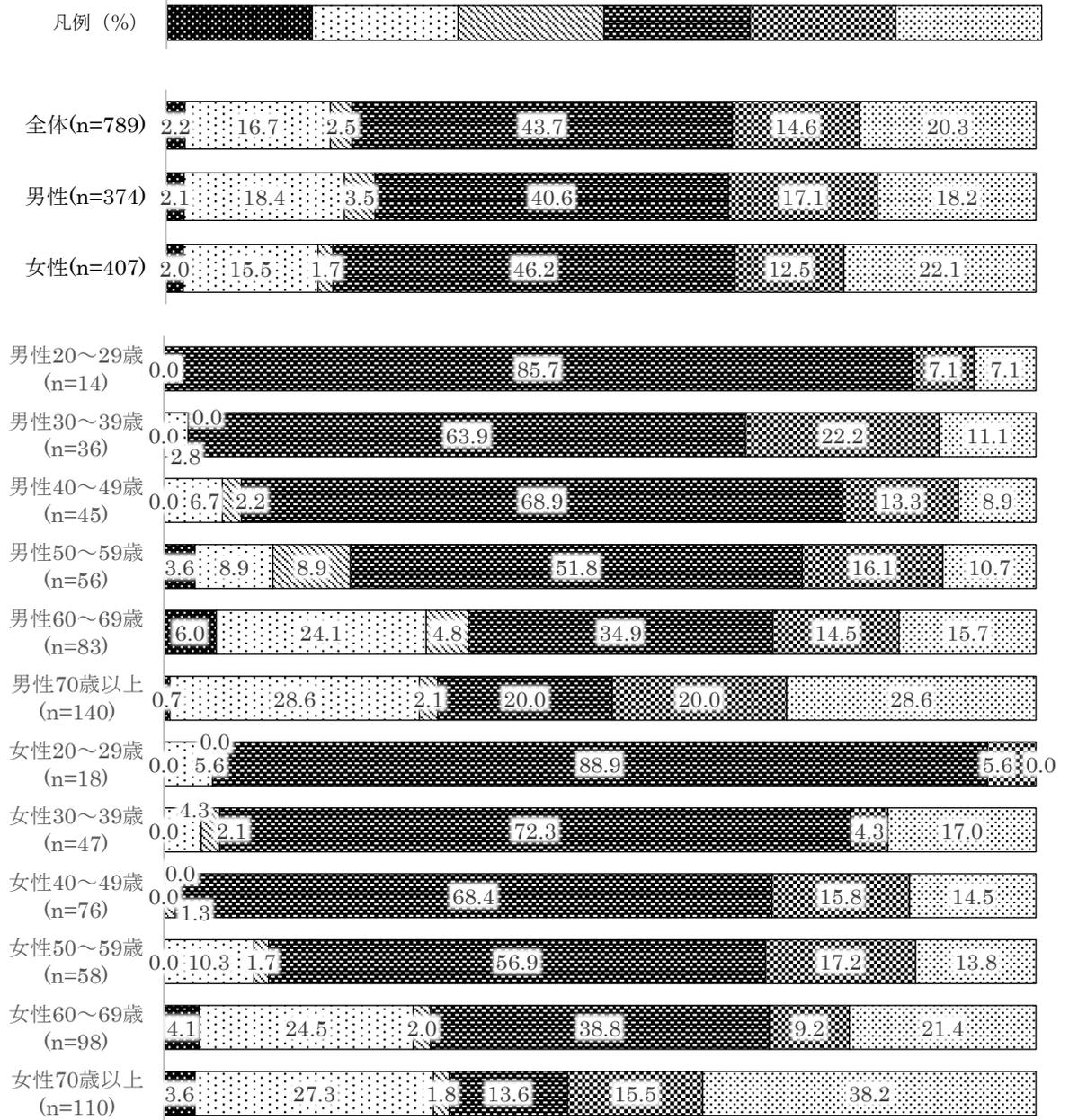
「②介護休業取得状況」について、全体では「これまでは取得する必要がなかったが、家族に介護が必要となれば取得したい」と回答した割合が43.7%と最も高くなっており、次いで「制度がなかったため、取得できなかった」(16.7%)、「これまでも取得しておらず、今後も取得しようとは思わない」(14.6%)、「制度はあったが、取得できなかった」(2.5%)、「取得したことがある」(2.2%)の順となっている。

性別では、男女ともに「制度がなかったため、取得できなかった」の割合が最も高くなっている。

性・年齢別では、男女ともに70歳以上で「制度はあったが、取得できなかった」の割合が最も高くなっている。それ以外の年齢層では「これまでは取得する必要がなかったが、家族に介護が必要となれば取得したい」の割合が最も高くなっており、特に、男性の20～49歳、女性の20～59歳では非常に高くなっている。

	サンプル数	取得したことがある	取得できなかったため、制度がなかった	制度はあったが、取得できなかった	取得したがい必要がなかったが、必要となれば取得したい	これまでも取得しておらず、今後も取得しようとは思わない	制度はあったが、取得できなかった	無回答
全体	100.0 789	2.2 17	16.7 132	2.5 20	43.7 345	14.6 115	20.3 160	
性別								
男性	100.0 374	2.1 8	18.4 69	3.5 13	40.6 152	17.1 64	18.2 68	
女性	100.0 407	2.0 8	15.5 63	1.7 7	46.2 188	12.5 51	22.1 90	
性・年齢別								
男性20～29歳	100.0 14	0.0 0	0.0 0	0.0 0	85.7 12	7.1 1	7.1 1	
男性30～39歳	100.0 36	0.0 0	2.8 1	0.0 0	63.9 23	22.2 8	11.1 4	
男性40～49歳	100.0 45	0.0 0	6.7 3	2.2 1	68.9 31	13.3 6	8.9 4	
男性50～59歳	100.0 56	3.6 2	8.9 5	8.9 5	51.8 29	16.1 9	10.7 6	
男性60～69歳	100.0 83	6.0 5	24.1 20	4.8 4	34.9 29	14.5 12	15.7 13	
男性70歳以上	100.0 140	0.7 1	28.6 40	2.1 3	20.0 28	20.0 28	28.6 40	
女性20～29歳	100.0 18	0.0 0	5.6 1	0.0 0	88.9 16	5.6 1	0.0 0	
女性30～39歳	100.0 47	0.0 0	4.3 2	2.1 1	72.3 34	4.3 2	17.0 8	
女性40～49歳	100.0 76	0.0 0	0.0 0	1.3 1	68.4 52	15.8 12	14.5 11	
女性50～59歳	100.0 58	0.0 0	10.3 6	1.7 1	56.9 33	17.2 10	13.8 8	
女性60～69歳	100.0 98	4.1 4	24.5 24	2.0 2	38.8 38	9.2 9	21.4 21	
女性70歳以上	100.0 110	3.6 4	27.3 30	1.8 2	13.6 15	15.5 17	38.2 42	

- 取得したことがある
- 制度がなかったため、取得できなかった
- ▨ 制度はあったが、取得できなかった
- これまでは取得する必要がなかったが、子どもが生まれたら取得したい
- これまでも取得しておらず、今後取得しようとは思わない
- 無回答

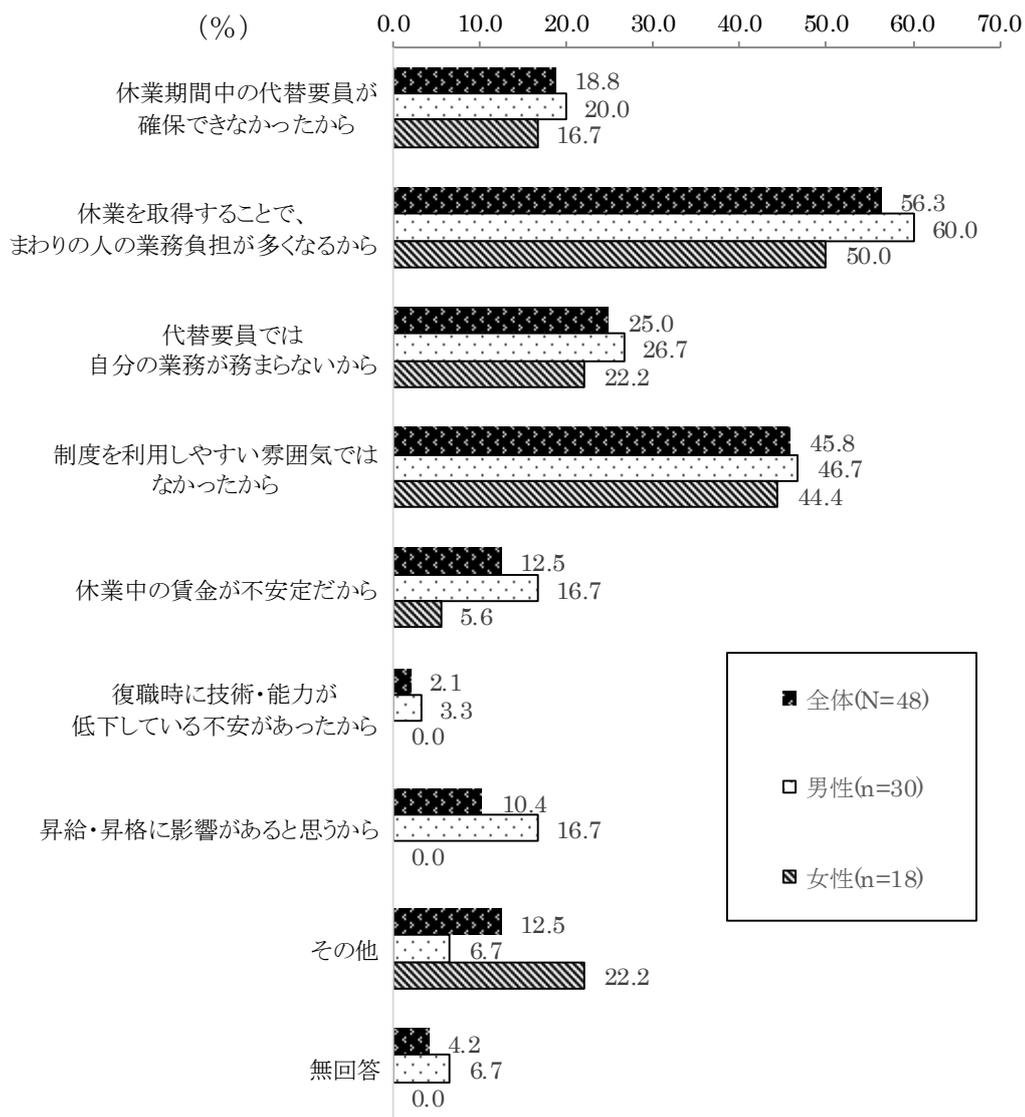


問 28 【問 27①育児休業で「3」又は②介護休業で「3」と答えた方のみにおたずねします。】

休業が、取得できなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「休業が、取得できなかった理由」について、全体では「休業を取得することで、まわりの人の業務負担が多くなるから」と回答した割合が56.3%と最も高くなっており、次いで「制度を利用しやすい雰囲気ではなかったから」(45.8%)、「制度を利用しやすい雰囲気ではなかったから」(25.0%)、「休業期間中の代替要員が確保できなかったから」(18.8%)、「休業中の賃金が不安定だから」(12.5%)、「昇給・昇格に影響があると思うから」(10.4%)、「復職時に技術・能力が低下している不安があったから」(2.1%)の順となっている。

性別でも、男女ともに「休業を取得することで、まわりの人の業務負担が多くなるから」と回答した割合が最も高くなっているが、「休業中の賃金が不安定だから」の割合は、男性が16.7%、女性が5.6%と10%以上の差がある。



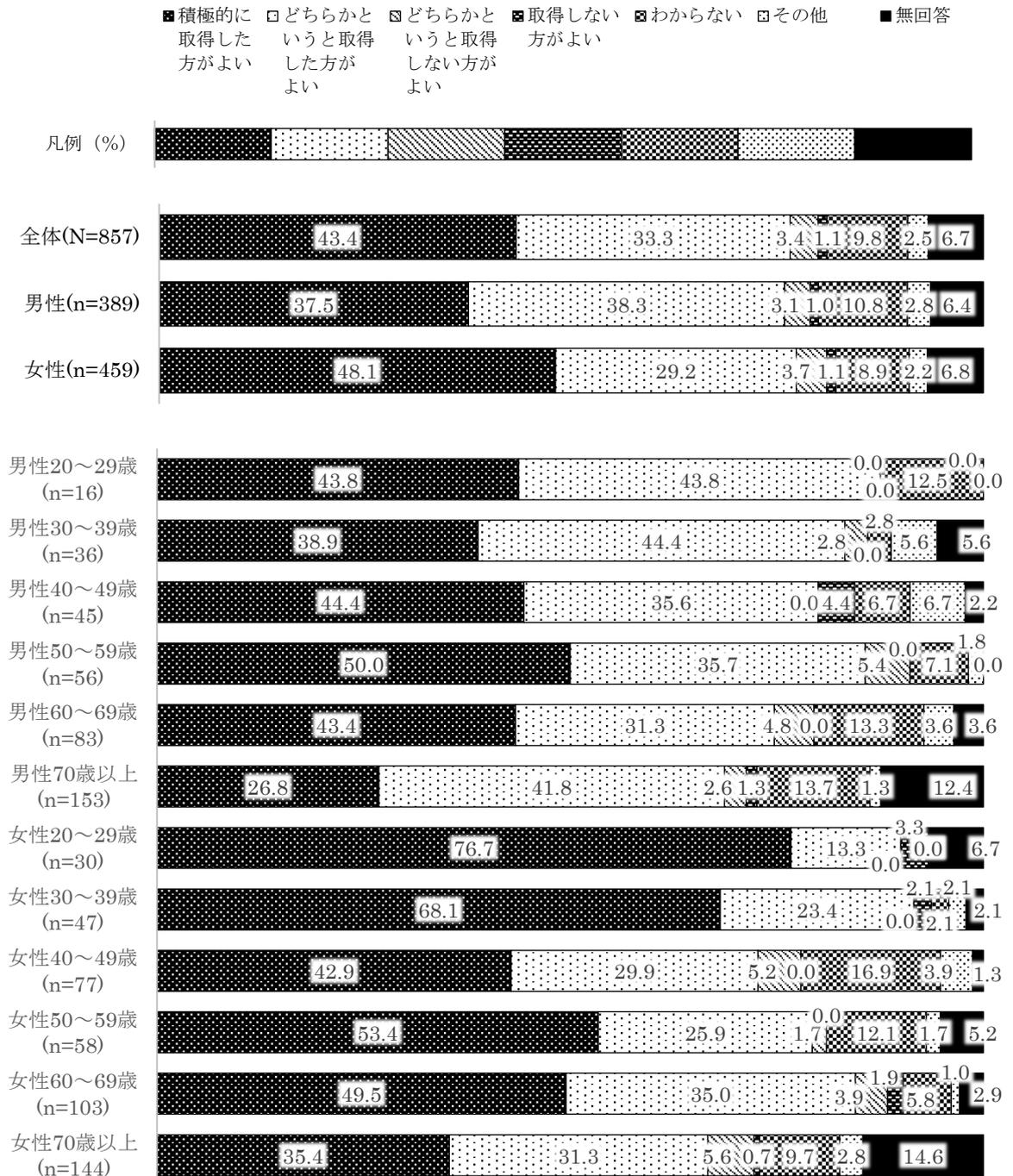
	サンプル数	らが確保できなかつたか	休業期間中の代替要員が確保できなかつたか	休業を取得すること、で、まわりの人の業務負担が多くなるから	代替要員ではないから業務が務まらないから	制度ではなかったから雰囲気ではなかったから	休業中の賃金が不安定だから	復職時に技術・能力が低下している不安があつたから	昇給・昇格に影響があると思うから	その他	無回答
全体	100.0 48	18.8 9	56.3 27	25.0 12	45.8 22	12.5 6	2.1 1	10.4 5	12.5 6	4.2 2	
性別											
男性	100.0 30	20.0 6	60.0 18	26.7 8	46.7 14	16.7 5	3.3 1	16.7 5	6.7 2	6.7 2	
女性	100.0 18	16.7 3	50.0 9	22.2 4	44.4 8	5.6 1	0.0 0	0.0 0	22.2 4	0.0 0	
性・年齢別											
男性20～29歳	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	
男性30～39歳	100.0 4	0.0 0	50.0 2	25.0 1	75.0 3	50.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	
男性40～49歳	100.0 8	50.0 4	62.5 5	50.0 4	37.5 3	0.0 0	12.5 1	12.5 1	12.5 1	12.5 1	
男性50～59歳	100.0 7	14.3 1	71.4 5	14.3 1	57.1 4	28.6 2	0.0 0	28.6 2	0.0 0	14.3 1	
男性60～69歳	100.0 6	16.7 1	50.0 3	16.7 1	0.0 0	16.7 1	0.0 0	16.7 1	16.7 1	0.0 0	
男性70歳以上	100.0 4	0.0 0	50.0 2	25.0 1	75.0 3	0.0 0	0.0 0	25.0 1	0.0 0	0.0 0	
女性20～29歳	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	
女性30～39歳	100.0 2	50.0 1	50.0 1	0.0 0	100.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	
女性40～49歳	100.0 5	0.0 0	60.0 3	20.0 1	40.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	20.0 1	0.0 0	
女性50～59歳	100.0 5	20.0 1	20.0 1	20.0 1	20.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	60.0 3	0.0 0	
女性60～69歳	100.0 4	25.0 1	75.0 3	25.0 1	50.0 2	25.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	
女性70歳以上	100.0 2	0.0 0	50.0 1	50.0 1	50.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	

問29 あなたは、男性が育児休業や介護休業を取得することについて、どう思いますか。
(〇は1つ)

「男性が育児休業や介護休業を取得すること」について、全体では「積極的に取得した方がよい」と「どちらかという取得した方がよい」を合計した「取得した方がよい(合計)」が76.7%、「どちらかという取得しない方がよい」と「取得しない方がよい」を合計した「取得しない方がよい(合計)」が4.5%となっている。

性別では、男性及び女性で「取得した方がよい(合計)」が75%以上となっている。

性・年齢別では、女性の20～39歳で「取得した方がよい(合計)」が90%以上となっている。特に女性では全ての年齢層で「積極的に取得した方がよい」の割合が最も高くなっている。

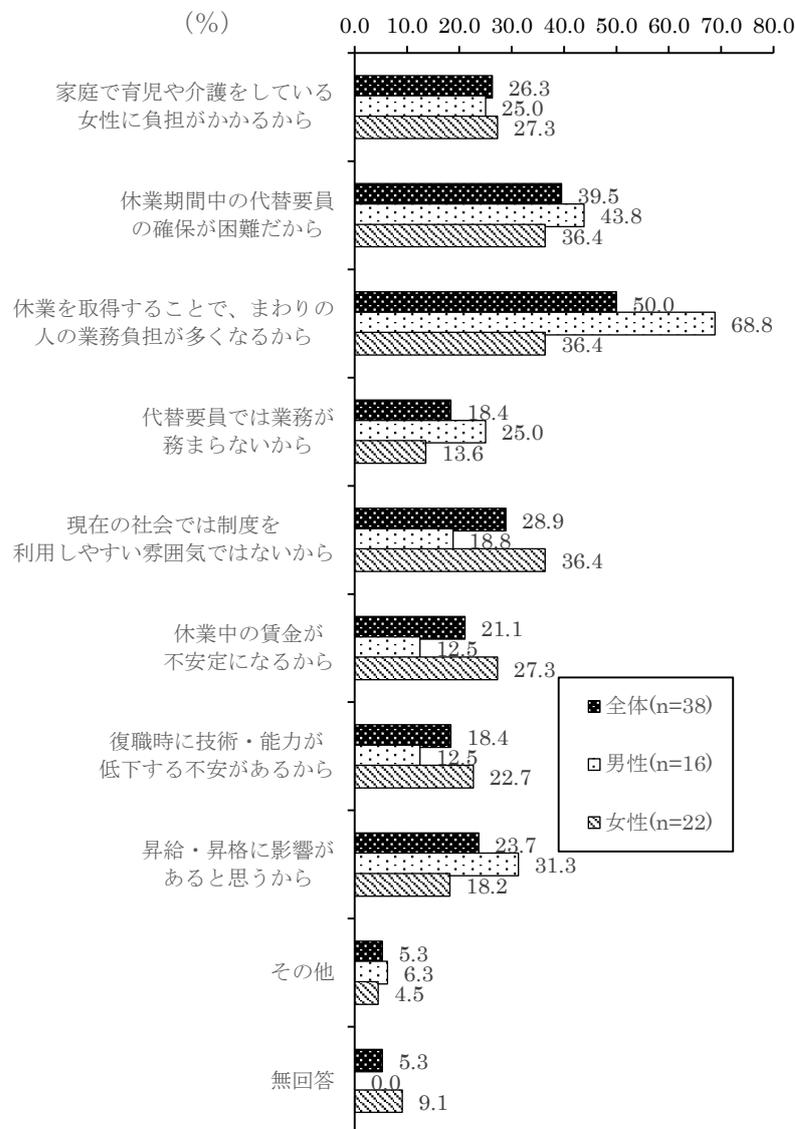


問30 【問29で「3~4」と答えた方のみにおたずねします。】

男性が、育児休業等を取得しない方がよいと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「男性が、育児休業等を取得しない方がよいと思う理由」について、全体では「休業を取得することで、まわりの人の業務負担が多くなるから」と回答した割合が50.0%と最も高くなっており、次いで「休業期間中の代替要員の確保が困難だから」(39.5%)、「現在の社会では制度を利用しやすい雰囲気ではないから」(28.9%)、「家庭で育児や介護をしている女性に負担がかかるから」(26.3%)、「休業中の賃金が不安定になるから」(21.1%)、「代替要員では業務が務まらないから」(18.4%)、「復職時に技術・能力が低下する不安があるから」(18.4%)の順となっている。

性別では、男性は「休業を取得することで、まわりの人の業務負担が多くなるから」と回答した割合が最も高くなっており、女性は「休業期間中の代替要員の確保が困難だから」、「休業を取得することで、まわりの人の業務負担が多くなるから」、「現在の社会では制度を利用しやすい雰囲気ではないから」の割合が最も高くなっている。



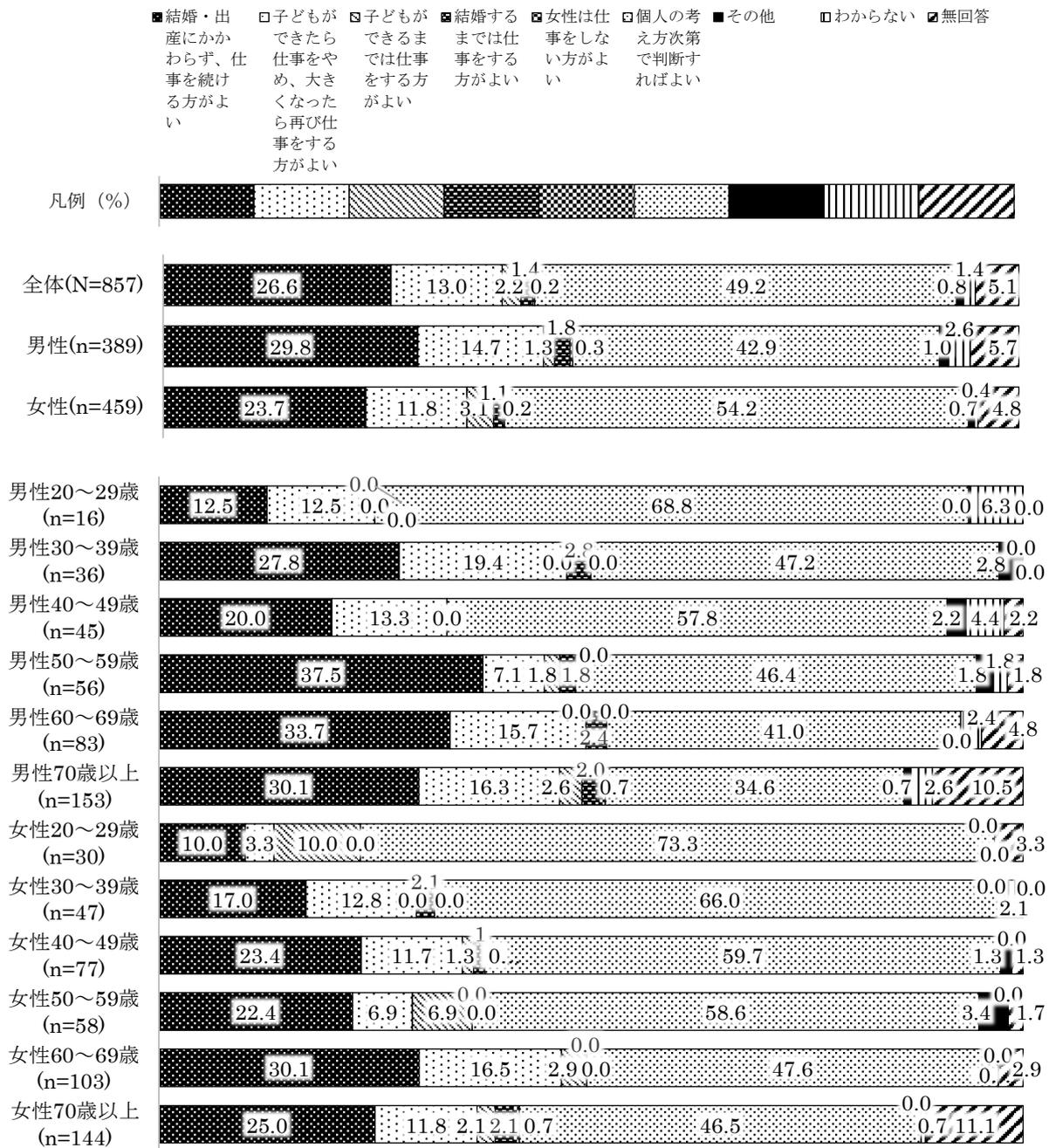
	サンプル数	家庭で育児や介護をしている女性に負担がかかるから	休業期間中の代替要員の確保が困難だから	休業を取得することで、まわりの人の業務負担が多くなるから	代替要員では業務が務まらないから	現在の社会では制度を利用しやすい雰囲気ではないから	休業中の賃金が不安定になるから	復職時に技術・能力が低下する不安があるから	昇給・昇格に影響があるとと思うから	その他	無回答
全体	100.0 38	26.3 10	39.5 15	50.0 19	18.4 7	28.9 11	21.1 8	18.4 7	23.7 9	5.3 2	5.3 2
性別											
男性	100.0 16	25.0 4	43.8 7	68.8 11	25.0 4	18.8 3	12.5 2	12.5 2	31.3 5	6.3 1	0.0 0
女性	100.0 22	27.3 6	36.4 8	36.4 8	13.6 3	36.4 8	27.3 6	22.7 5	18.2 4	4.5 1	9.1 2
性・年齢別											
男性20～29歳	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
男性30～39歳	100.0 1	0.0 0	0.0 0	100.0 1	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
男性40～49歳	100.0 2	50.0 1	100.0 2	100.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	50.0 1	0.0 0	50.0 1	0.0 0
男性50～59歳	100.0 3	33.3 1	66.7 2	100.0 3	33.3 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	66.7 2	0.0 0	0.0 0
男性60～69歳	100.0 4	0.0 0	50.0 2	75.0 3	25.0 1	50.0 2	50.0 2	25.0 1	25.0 1	0.0 0	0.0 0
男性70歳以上	100.0 6	33.3 2	16.7 1	33.3 2	16.7 1	16.7 1	0.0 0	0.0 0	33.3 2	0.0 0	0.0 0
女性20～29歳	100.0 1	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
女性30～39歳	100.0 1	0.0 0	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
女性40～49歳	100.0 4	50.0 2	75.0 3	75.0 3	25.0 1	50.0 2	50.0 2	75.0 3	25.0 1	0.0 0	0.0 0
女性50～59歳	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
女性60～69歳	100.0 6	16.7 1	33.3 2	16.7 1	0.0 0	33.3 2	16.7 1	16.7 1	0.0 0	0.0 0	16.7 1
女性70歳以上	100.0 9	22.2 2	33.3 3	33.3 3	11.1 1	33.3 3	33.3 3	11.1 1	33.3 3	11.1 1	11.1 1

問31 あなたは、一般的に女性が仕事をする事について、どのように思いますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(〇は1つ)

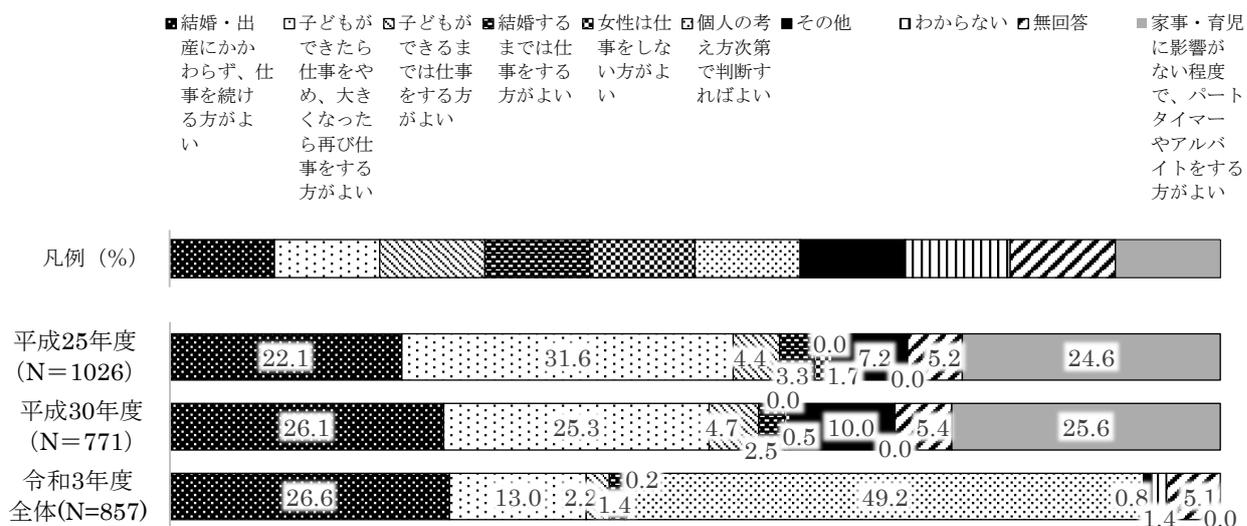
「女性が仕事をする事」について、全体、性別、性・年齢別のいずれも「個人の考え次第で判断すればよい」と回答した割合が最も高くなっている。

性別では、「個人の考え次第で判断すればよい」の割合が、男性は42.9%であるのに比べて女性は54.2%となっている。

性・年齢別では、男性の50～59歳で「結婚・出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。また、男性の20～29歳、女性の20～49歳で「個人の考え次第で判断すればよい」の割合が特に高くなっている。



【時系列比較】



※平成30年度調査の問7の選択肢を、次のように今回の調査の選択肢に読み替えて比較している。

「職業をもたない方がよい (家事専念型)」

→ 「女性は仕事をしない方がよい」

「結婚するまでは、職業をもつ方がよい (結婚退職型)」

→ 「結婚するまでは仕事をすることがよい」

「子どもができるまでは、職業をもつ方がよい (出産退職型)」

→ 「子どもができるまでは仕事をすることがよい」

「結婚・出産にかかわらず、ずっとフルタイムで職業を続ける方がよい (職業継続型)」

→ 「結婚・出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」

「子どもができれば辞め、大きくなったら再び職業をもつ方がよい (再就職型)」

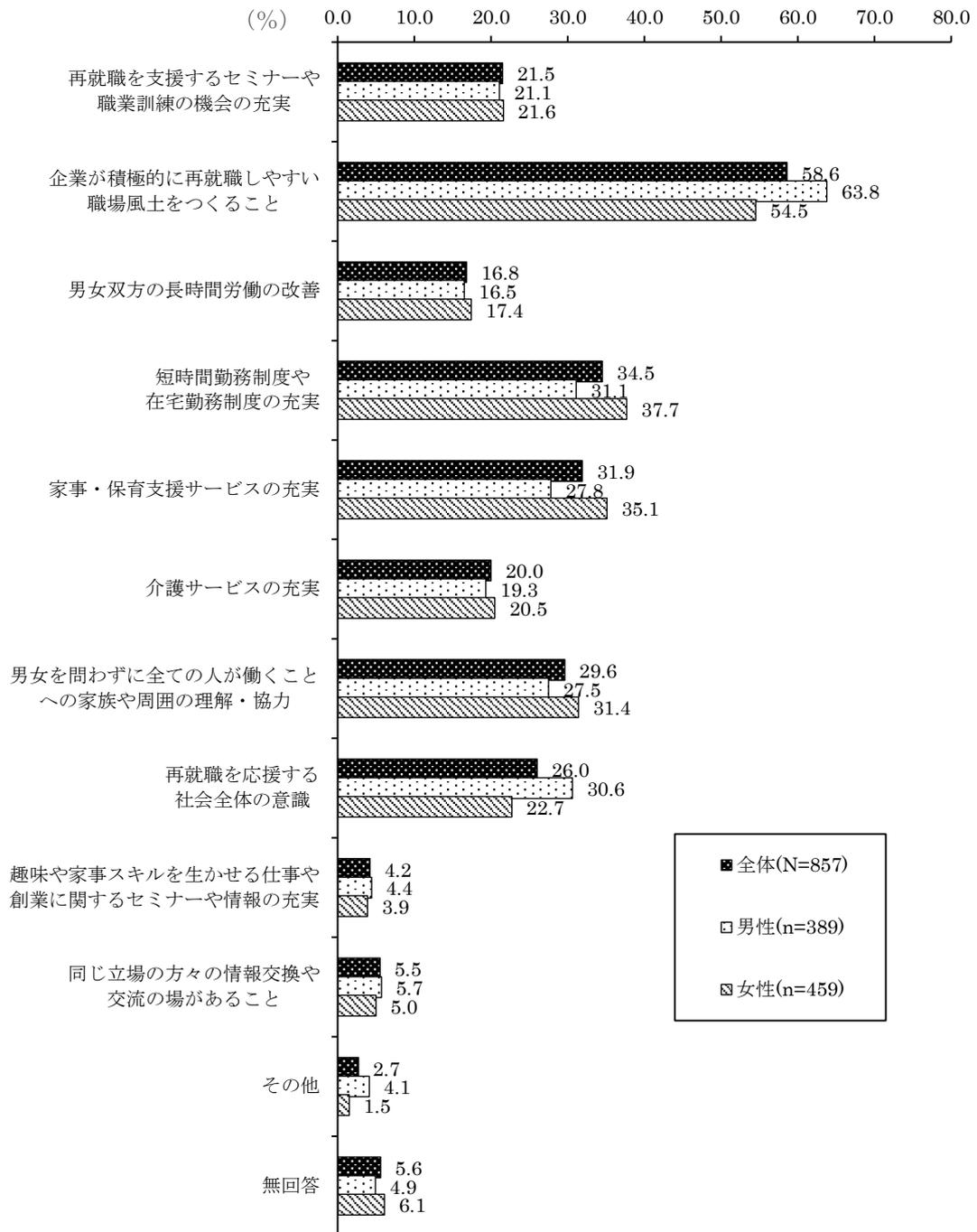
→ 「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をすることがよい」

※平成30年度調査の問7の選択肢の「家事・育児に影響がない程度で、パートタイマーやアルバイトをする方がよい (家事優先型)」は今回の調査の選択肢にないため、今回の調査と比較できていない。

問 32 男女を問わず、結婚、育児、介護などにより仕事をやめた場合、再び仕事をしやすくなるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「男女を問わず、結婚、育児、介護などでの離職後、再び仕事をしやすくなるために必要なこと」については、全体、性別において「企業が積極的に再就職しやすい職場風土をつくること」と回答した割合が最も高くなっている。

年齢別では、男性の20～29歳及び女性の30～39歳で、「短時間勤務制度や在宅勤務制度の充実」と回答した割合が最も高くなっている。



	サンプル数	再就職を支援するセミナーや職業訓練の充実	再就職を支援するセミナーや職業訓練の機会	企業が積極的に再就職しやすい職場風土をつくること	男女双方の長時間労働の改善	勤務時間の充実に在宅勤務制度や在宅勤務の充実	家事・保育支援サービスの充実	介護サービスの充実	男女を問わずに全ての人々が働くことへの家族や周囲の理解・協力	再就職を応援する社会全体の意識	充実させるセミナーや情報に関するセミナーや情報に関する	趣味や家事スキルを生活にかける仕事や創業に関するセミナーや情報に関する	交換や交流の場があること	同じ立場の方々の情報	その他	無回答
全体	100.0 857	21.5 184	58.6 502	16.8 144	34.5 296	31.9 273	20.0 171	29.6 254	26.0 223	4.2 36	5.5 47	2.7 23	5.6 48			
性別																
男性	100.0 389	21.1 82	63.8 248	16.5 64	31.1 121	27.8 108	19.3 75	27.5 107	30.6 119	4.4 17	5.7 22	4.1 16	4.9 19			
女性	100.0 459	21.6 99	54.5 250	17.4 80	37.7 173	35.1 161	20.5 94	31.4 144	22.7 104	3.9 18	5.0 23	1.5 7	6.1 28			
性・年齢別																
男性20～29歳	100.0 16	18.8 3	56.3 9	18.8 3	62.5 10	50.0 8	6.3 1	18.8 3	12.5 2	0.0 0	12.5 2	6.3 1	0.0 0			
男性30～39歳	100.0 36	13.9 5	55.6 20	22.2 8	36.1 13	25.0 9	11.1 4	33.3 12	50.0 18	0.0 0	5.6 2	2.8 1	0.0 0			
男性40～49歳	100.0 45	6.7 3	62.2 28	28.9 13	46.7 21	28.9 13	17.8 8	22.2 10	35.6 16	6.7 3	4.4 2	11.1 5	0.0 0			
男性50～59歳	100.0 56	17.9 10	67.9 38	25.0 14	23.2 13	32.1 18	35.7 20	32.1 18	25.0 14	5.4 3	3.6 2	3.6 2	0.0 0			
男性60～69歳	100.0 83	22.9 19	77.1 64	14.5 12	32.5 27	32.5 27	26.5 22	28.9 24	24.1 20	4.8 4	7.2 6	3.6 3	0.0 0			
男性70歳以上	100.0 153	27.5 42	58.2 89	9.2 14	24.2 37	21.6 33	13.1 20	26.1 40	32.0 49	4.6 7	5.2 8	2.6 4	12.4 19			
女性20～29歳	100.0 30	20.0 6	63.3 19	13.3 4	53.3 16	33.3 10	16.7 5	26.7 8	30.0 9	0.0 0	3.3 1	0.0 0	3.3 1			
女性30～39歳	100.0 47	19.1 9	51.1 24	36.2 17	68.1 32	38.3 18	6.4 3	36.2 17	14.9 7	4.3 2	4.3 2	2.1 1	0.0 0			
女性40～49歳	100.0 77	19.5 15	55.8 43	29.9 23	44.2 34	35.1 27	24.7 19	39.0 30	16.9 13	6.5 5	1.3 1	0.0 0	0.0 0			
女性50～59歳	100.0 58	19.0 11	55.2 32	10.3 6	43.1 25	43.1 25	29.3 17	22.4 13	29.3 17	5.2 3	5.2 3	1.7 1	1.7 1			
女性60～69歳	100.0 103	21.4 22	63.1 65	12.6 13	35.0 36	42.7 44	25.2 26	36.9 38	21.4 22	1.0 1	3.9 4	0.0 0	2.9 3			
女性70歳以上	100.0 144	25.0 36	46.5 67	11.8 17	20.8 30	25.7 37	16.7 24	26.4 38	25.0 36	4.9 7	8.3 12	3.5 5	16.0 23			

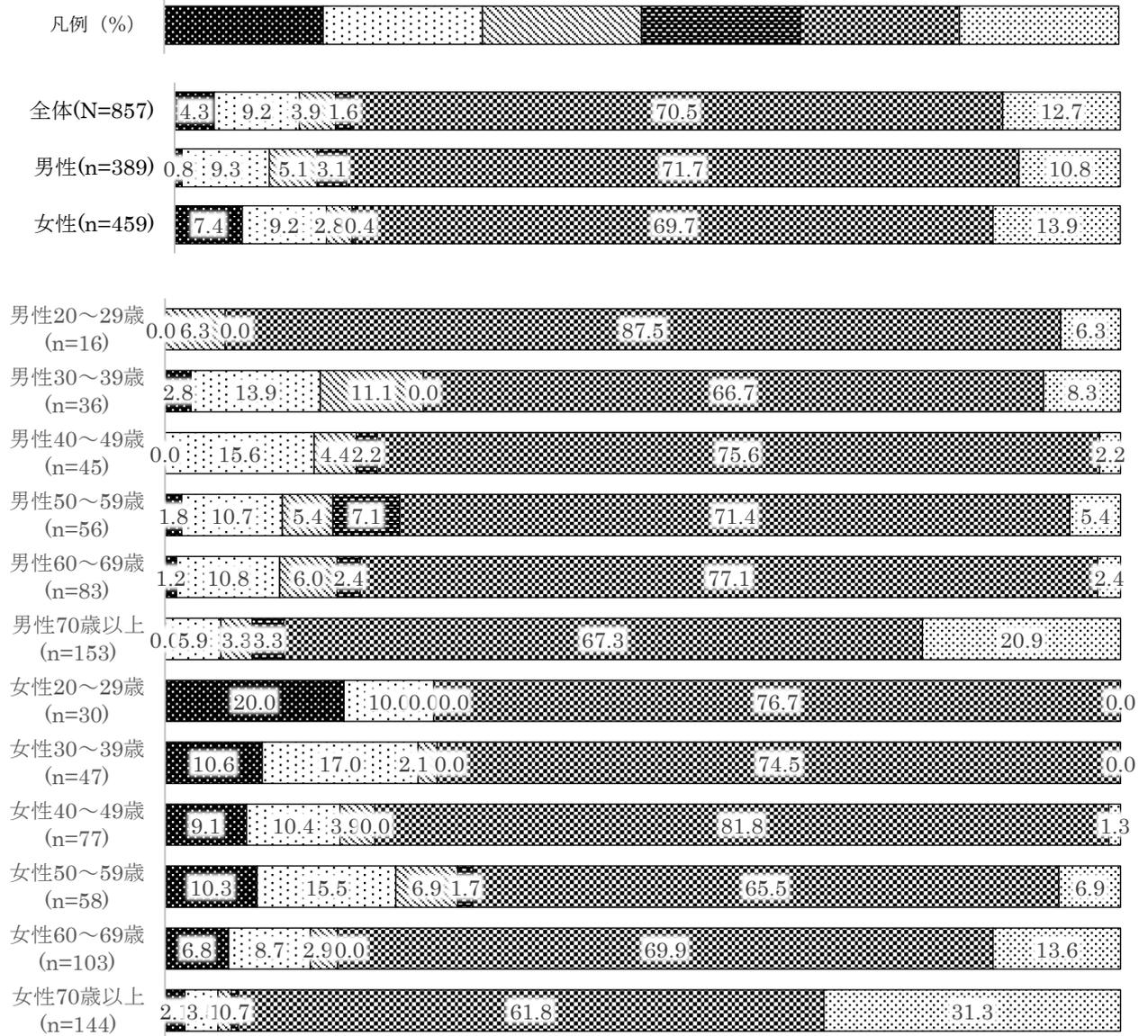
問 33 あなたは、最近3年ぐらいの間に、次の各種ハラスメント行為について経験したり、身近で見聞きしたりしたことがありますか。(〇はそれぞれいくつでも)

「①セクシュアルハラスメント(セクハラ)」については、全体では「被害を受けたり、与えたりしたことはない(見聞きしたことはない)」と回答した割合が70.5%と最も高くなっており、次いで「自分のまわりに被害を受けた人がいる」(9.2%)、「自分が被害を受けたことがある」(4.3%)、「被害について相談を受けたことがある」(3.9%)、「自分が被害を与えたことがある(与えたかもしれない)」(1.6%)の順となっている。

性別では、男女ともに「被害を受けたり、与えたりしたことはない(見聞きしたことはない)」と回答した割合が最も高くなっているが、「自分が被害を受けたことがある」の割合は、男性の0.8%に対して女性は7.4%となっている。

性・年齢別では、女性の20～29歳で「自分が被害を受けたことがある」の割合が20.0%と他の年齢層より高くなっており、「自分のまわりに被害を受けた人がいる」の割合は、男性40～49歳(15.6%)、女性30～39歳(17.0%)、女性50～59歳(15.5%)で他の年齢層より高くなっている。

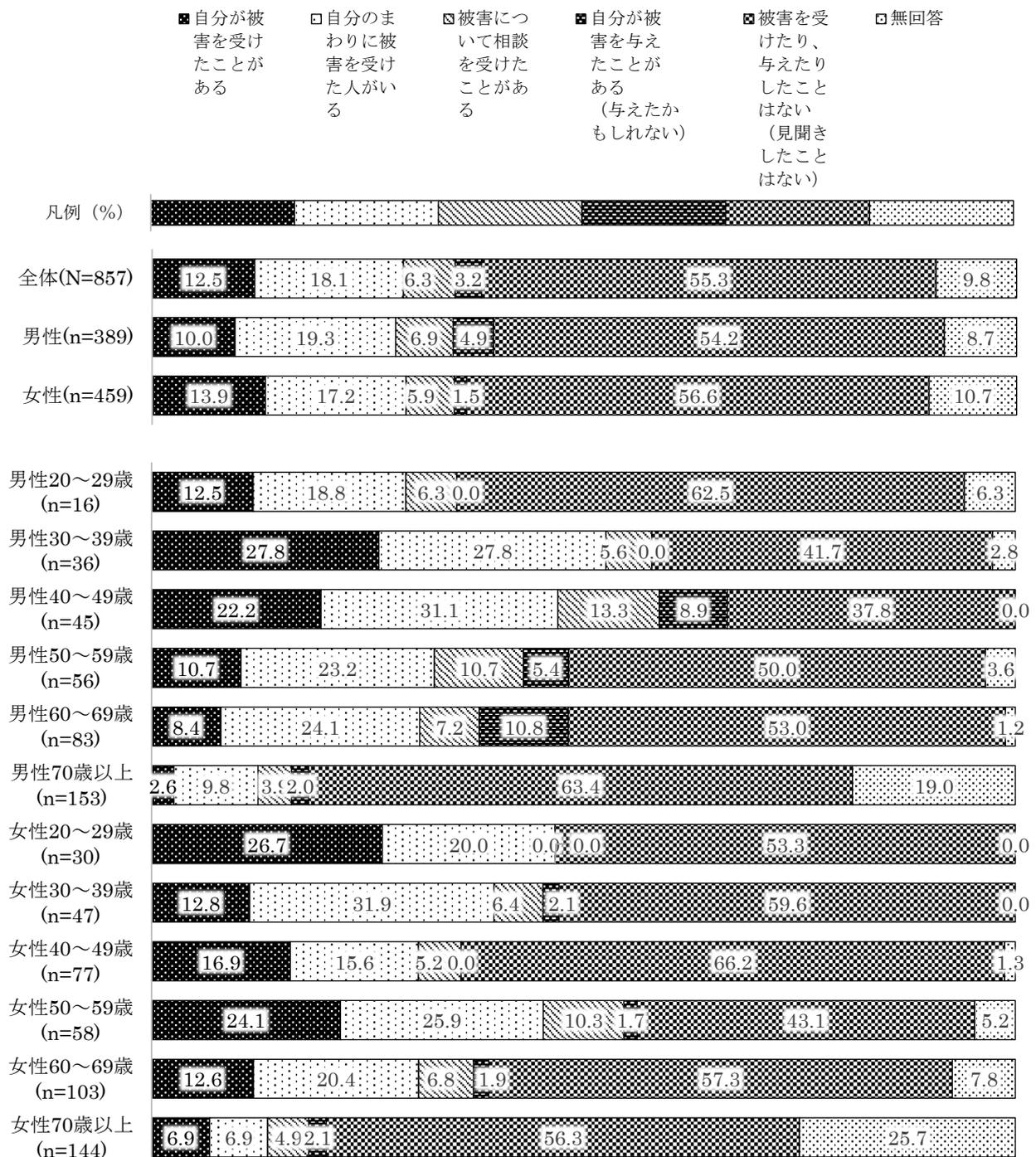
- 自分が被害を受けたことがある
- 自分の代わりに被害を受けた人がいる
- ▨ 被害について相談を受けたことがある
- 自分が被害を与えたことがある (与えたかもしれない)
- ▨ 被害を受けたり、与えたりしたことはない (見聞きしたことはない)
- 無回答



「②パワーハラスメント（パワハラ）」については、全体では「被害を受けたり、与えたりしたことはない（見聞きしたことはない）」と回答した割合が55.3%と最も高くなっており、次いで「自分のまわりに被害を受けた人がある」（18.1%）、「自分が被害を受けたことがある」（12.5%）、「被害について相談を受けたことがある」（6.3%）、「自分が被害を与えたことがある（与えたかもしれない）」の順となっている。

性別では、男女ともに「被害を受けたり、与えたりしたことはない（見聞きしたことはない）」と回答した割合が最も高くなっている。

性・年齢別では、男性の30～39歳（27.8%）、女性の20～29歳（26.7%）、女性の50～59歳（24.1%）で「自分が被害を受けたことがある」と回答した割合が、他の年齢層より高くなっている。また、「自分のまわりに被害を受けた人がある」の割合は、男性の40～49歳（31.1%）、女性の30～39歳（31.9%）で他の年齢層より高くなっている。

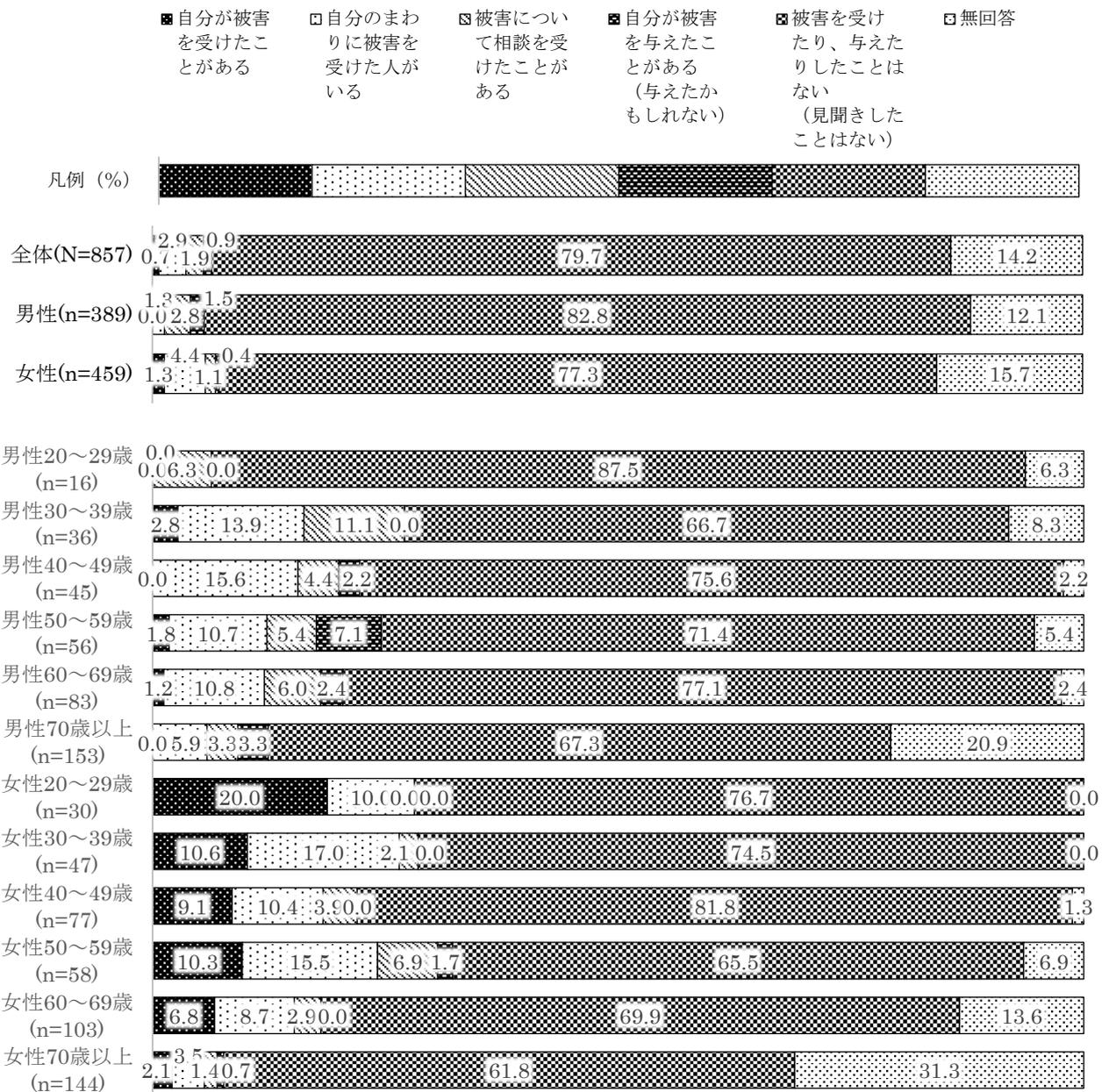


③「マタニティハラスメント（マタハラ）」について、全体では「被害を受けたり、与えたりしたことはない（見聞きしたことはない）」と回答した割合が79.7%と最も高くなっており、次いで「自分のまわりに被害を受けた人がいる」（2.9%）、「被害について相談を受けたことがある」（1.9%）、「自分が被害を与えたことがある（与えたかもしれない）」（0.9%）、「自分が被害を受けたことがある」（0.7%）の順となっている。

性別では、男女ともに「被害を受けたり、与えたりしたことはない（見聞きしたことはない）」と回答した割合が最も高くなっている。

性・年齢別では、男性の20～29歳、40～49歳、女性の20～29歳で他の年齢層より高くなっている。

性・年齢別では、女性の30～39歳で「自分のまわりに被害を受けた人がいる」の割合が他の年齢層より高くなっている。

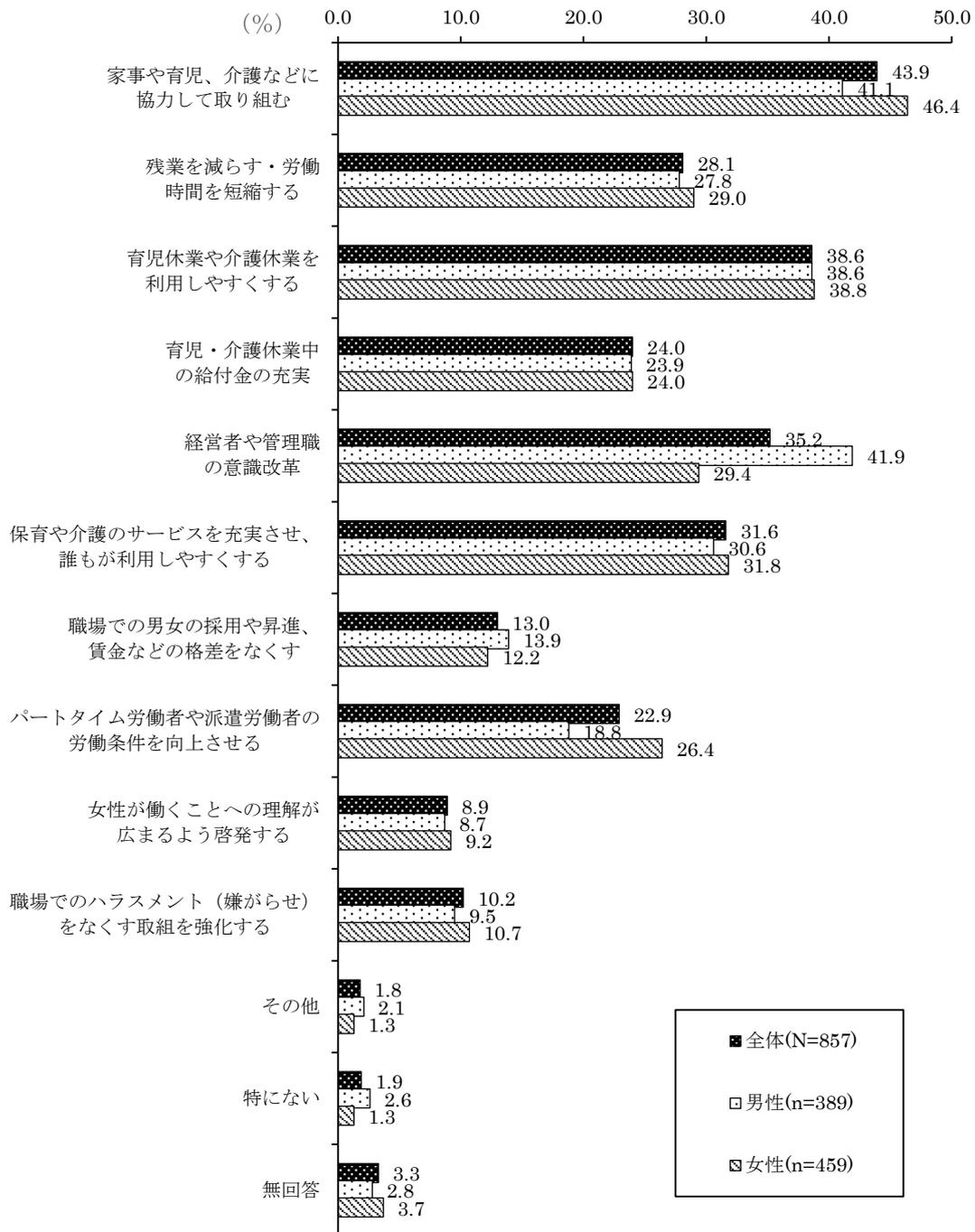


問34 あなたは、男女が共に働きやすい社会環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「男女が共に働きやすい社会環境をつくるために必要なこと」について、全体では「家事や育児、介護などに協力して取り組む」と回答した割合が43.9%と最も高くなっており、ついで「育児休業や介護休業を利用しやすくする」(38.6%)、「経営者や管理職の意識改革」(35.2%)、「保育や介護のサービスを充実させ、誰もが利用しやすくする」(31.6%)、「残業を減らす・労働時間を短縮する」(28.1%)となっている。

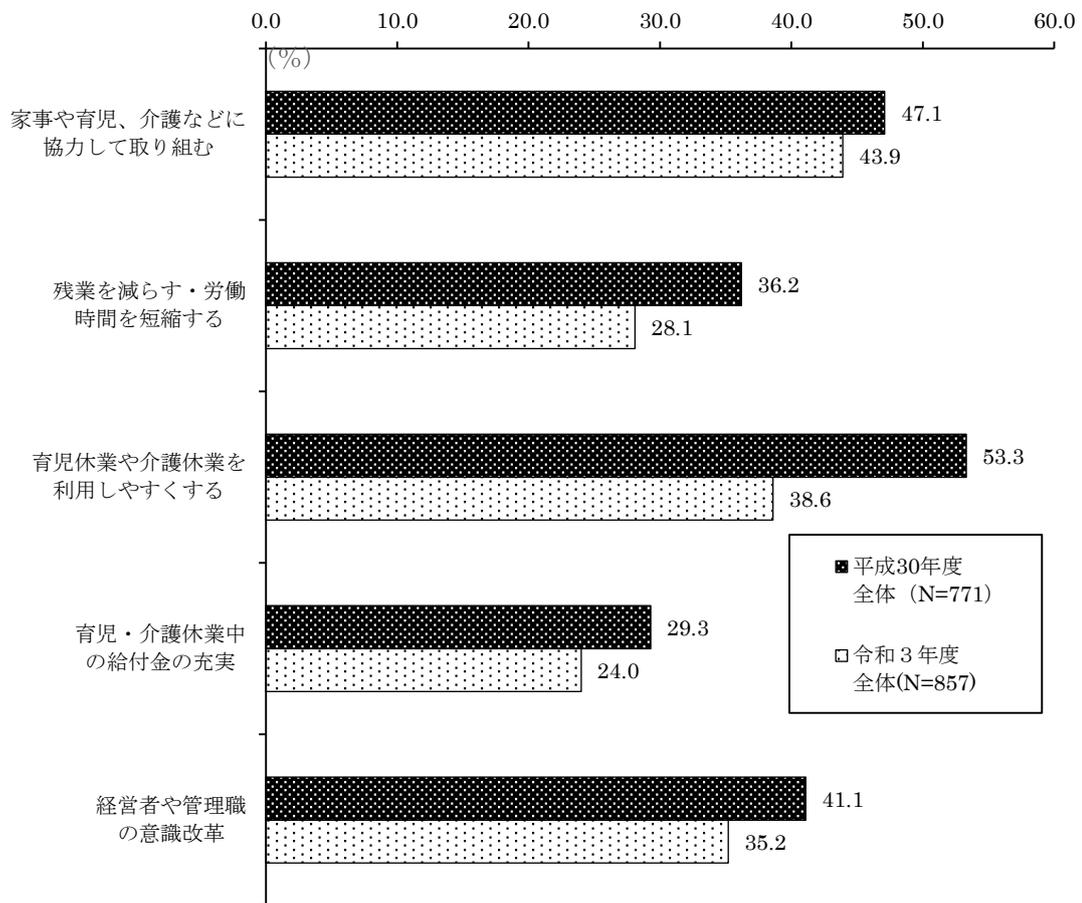
性別では、男性では「経営者や管理職の意識改革」(41.9%)が最も高くなっているが、女性では「家事や育児、介護などに協力して取り組む」が最も高くなっている。

性・年齢別では、男性の20～29歳では「育児・介護休業中の給付金の充実」(62.5%)、男性の30～39歳では「残業を減らす・労働時間を短縮する」(44.4%)が最も高くなっているが、男性の50～59歳及び男性の60～69歳では「経営者や管理職の意識改革」(各42.9%、47.0%)が最も高くなっている。女性では、20～29歳で「育児休業や介護休業を利用しやすくする」(60.0%)、「残業を減らす・労働時間を短縮する」(43.3%)、30～39歳で「残業を減らす・労働時間を短縮する」(61.7%)、「家事や育児、介護などに協力して取り組む」(57.4%)、40～49歳では「家事や育児、介護などに協力して取り組む」(45.5%)、「残業を減らす・労働時間を短縮する」(44.2%)が高くなっている。また、「職場での男女の採用や昇進、賃金などの格差をなくす」について男性の50～59歳で25.0%、女性の20～29歳で40.0%となっており他の年齢層より高くなっている。さらに、女性の60～69歳では「保育や介護のサービスを充実させ、誰もが利用しやすくする」が48.5%となっており、他の年齢層より高くなっている。



	サンプル数	家事や育児、介護などに協力して取り組む	残業を減らす・労働時間を短縮する	育児休業や介護休業を利用しやすくする	育児・介護休業中の給付金の充実	経営者や管理職の意識改革	保育や介護のサービスを充実させ、誰もが利用しやすくする	昇進、賃金などの格差をなくす	職場での男女の採用や昇進を向上させる	パートタイム労働者や派遣労働者の労働条件を向上させる	女性が働くことへの理解が広まるよう啓発する	職場でのハラスメント（嫌がらせ）をなくす	取組を強化する	その他	特になし	無回答
全体	100.0 857	43.9 376	28.1 241	38.6 331	24.0 206	35.2 302	31.6 271	13.0 111	22.9 196	8.9 76	10.2 87	1.8 15	1.9 16	3.3 28		
性別																
男性	100.0 389	41.1 160	27.8 108	38.6 150	23.9 93	41.9 163	30.6 119	13.9 54	18.8 73	8.7 34	9.5 37	2.1 8	2.6 10	2.8 11		
女性	100.0 459	46.4 213	29.0 133	38.8 178	24.0 110	29.4 135	31.8 146	12.2 56	26.4 121	9.2 42	10.7 49	1.3 6	1.3 6	3.7 17		
性・年齢別																
男性20～29歳	100.0 16	18.8 3	37.5 6	43.8 7	62.5 10	43.8 7	25.0 4	0.0 0	12.5 2	6.3 1	6.3 1	0.0 0	6.3 1	0.0 0		
男性30～39歳	100.0 36	36.1 13	44.4 16	33.3 12	30.6 11	33.3 12	19.4 7	13.9 5	16.7 6	11.1 4	8.3 3	2.8 1	0.0 0	0.0 0		
男性40～49歳	100.0 45	42.2 19	35.6 16	26.7 12	28.9 13	40.0 18	35.6 16	2.2 1	22.2 10	6.7 3	11.1 5	6.7 3	2.2 1	0.0 0		
男性50～59歳	100.0 56	39.3 22	39.3 22	41.1 23	21.4 12	42.9 24	21.4 12	25.0 14	10.7 6	7.1 4	16.1 9	0.0 0	1.8 1	1.8 1		
男性60～69歳	100.0 83	45.8 38	25.3 21	41.0 34	25.3 21	47.0 39	37.3 31	20.5 17	15.7 13	9.6 8	3.6 3	1.2 1	3.6 3	0.0 0		
男性70歳以上	100.0 153	42.5 65	17.6 27	40.5 62	17.0 26	41.2 63	32.0 49	11.1 17	23.5 36	9.2 14	10.5 16	2.0 3	2.6 4	6.5 10		
女性20～29歳	100.0 30	46.7 14	43.3 13	60.0 18	30.0 9	23.3 7	10.0 3	40.0 12	3.3 1	6.7 2	10.0 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0		
女性30～39歳	100.0 47	57.4 27	61.7 29	38.3 18	27.7 13	21.3 10	25.5 12	8.5 4	27.7 13	4.3 2	6.4 3	2.1 1	2.1 1	0.0 0		
女性40～49歳	100.0 77	45.5 35	44.2 34	31.2 24	26.0 20	37.7 29	23.4 18	6.5 5	29.9 23	3.9 3	14.3 11	2.6 2	0.0 0	0.0 0		
女性50～59歳	100.0 58	44.8 26	22.4 13	43.1 25	25.9 15	37.9 22	37.9 22	15.5 9	31.0 18	3.4 2	10.3 6	1.7 1	0.0 0	0.0 0		
女性60～69歳	100.0 103	52.4 54	23.3 24	29.1 30	25.2 26	30.1 31	48.5 50	10.7 11	33.0 34	13.6 14	8.7 9	0.0 0	0.0 0	1.9 2		
女性70歳以上	100.0 144	39.6 57	13.9 20	43.8 63	18.8 27	25.0 36	28.5 41	10.4 15	22.2 32	13.2 19	11.8 17	1.4 2	3.5 5	10.4 15		

【時系列比較】



※平成30年度調査の問15の選択肢を、次のように今回の調査の選択肢に読み替えて比較している。

「育児・介護のための休暇・休業を取りやすい職場環境」

→「育児休業や介護休業を利用しやすくする」

「家族や配偶者の家事・子育て・介護への参加・協力」

→「家事や育児、介護などに協力して取り組む」

「経営者や管理職の意識改革」

→「経営者や管理職の意識改革」

「労働時間の短縮」

→「残業を減らす・労働時間を短縮する」

「育児・介護休業中の給付金の充実」

→「育児・介護休業中の給付金の充実」

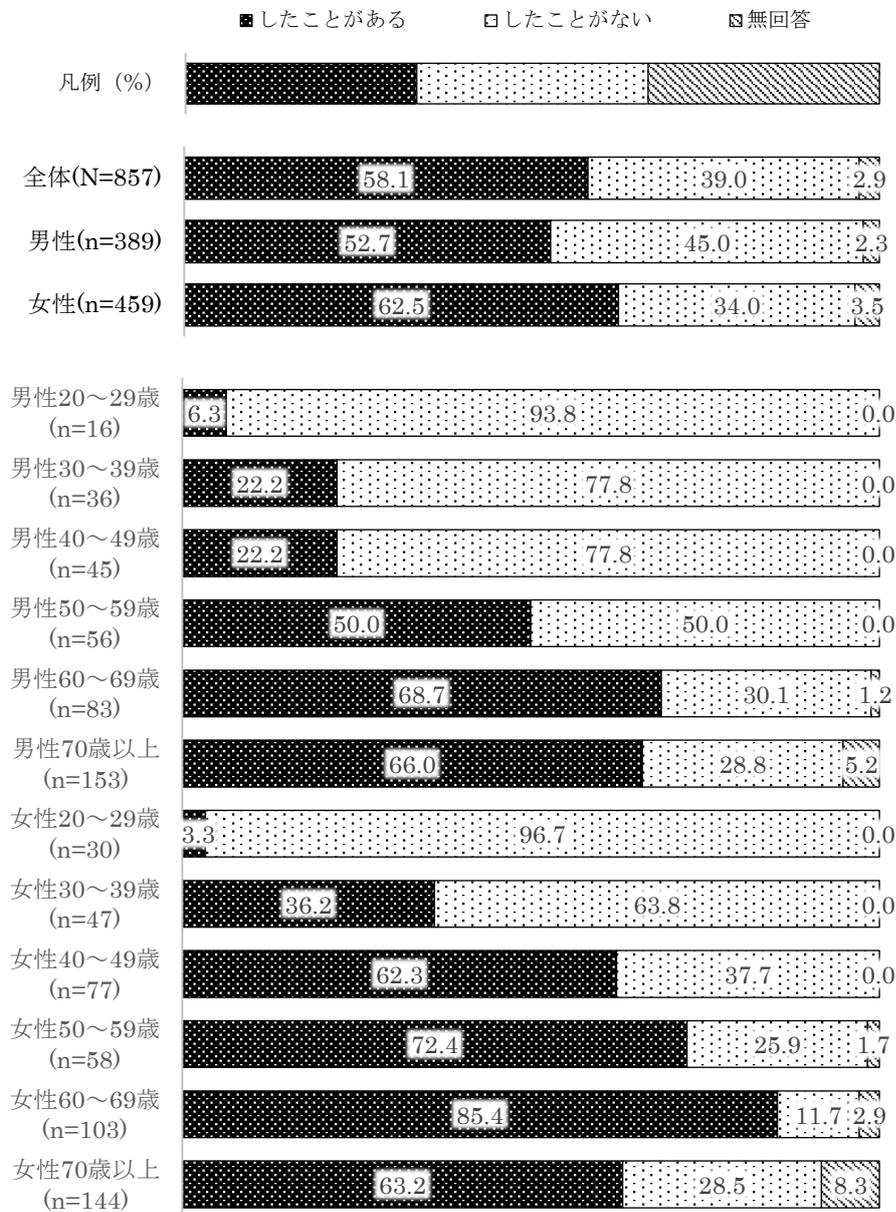
(4) 地域活動について

問35 あなたは、町内会・自治会、コミュニティ、PTA活動などの地域活動の役員をしたことがありますか。(〇は1つ)

「町内会・自治会、PTA活動などの地域活動の役員経験」について、全体では「したことがある」と回答した割合が58.1%、「したことがない」と回答した割合が39.0%となっている。

性別では、「したことがある」の割合は、男性が52.7%、女性が62.5%となっており、女性の方が高くなっている。

性・年齢別では、男性の20～49歳では7割以上が「したことがない」と回答しているが、50～59歳では同率となっており、60歳以上では6割以上が「したことがある」と回答している。女性では、20～39歳で6割以上が「したことがない」と回答しているが、40歳以上では6割以上が「したことがある」と回答している。

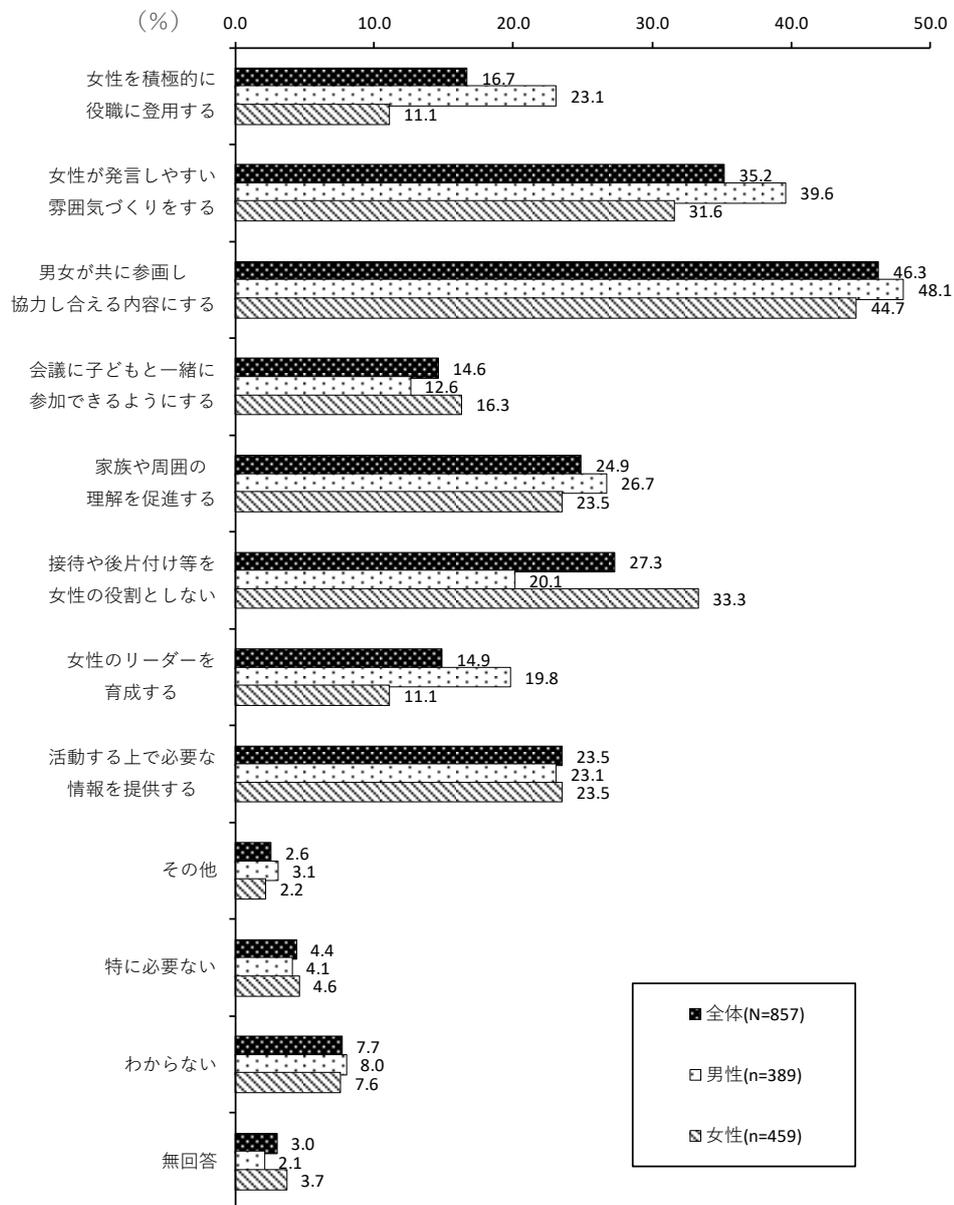


問36 女性が今後、地域活動に積極的に参加していくために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「女性が地域活動に積極的に参加していくために必要なこと」について、全体では「男女が共に参画し協力し合える内容にする」と回答した割合が46.3%と最も高くなっており、次いで「女性が発言しやすい雰囲気づくりをする」(35.2%)、「接待や後片付け等を女性の役割としない」(27.3%)、「家族や周囲の理解を促進する」(24.9%)、「活動する上で必要な情報を提供する」(23.5%)、「女性を積極的に役職に登用する」(16.7%)、「女性のリーダーを育成する」(14.9%)、「会議に子どもと一緒に参加できるようにする」(14.6%)の順となっている。

性別では、「女性を積極的に役職に登用する」の割合は、男性の23.1%に対して女性が11.1%と低くなっている。

性・年齢別では、男性の20～29歳、女性の30～39歳で「女性が発言しやすい雰囲気づくりをする」が高くなっている。また、女性の20～29歳及び50～59歳では「接待や後片付け等を女性の役割としない」の割合が非常に高くなっている。



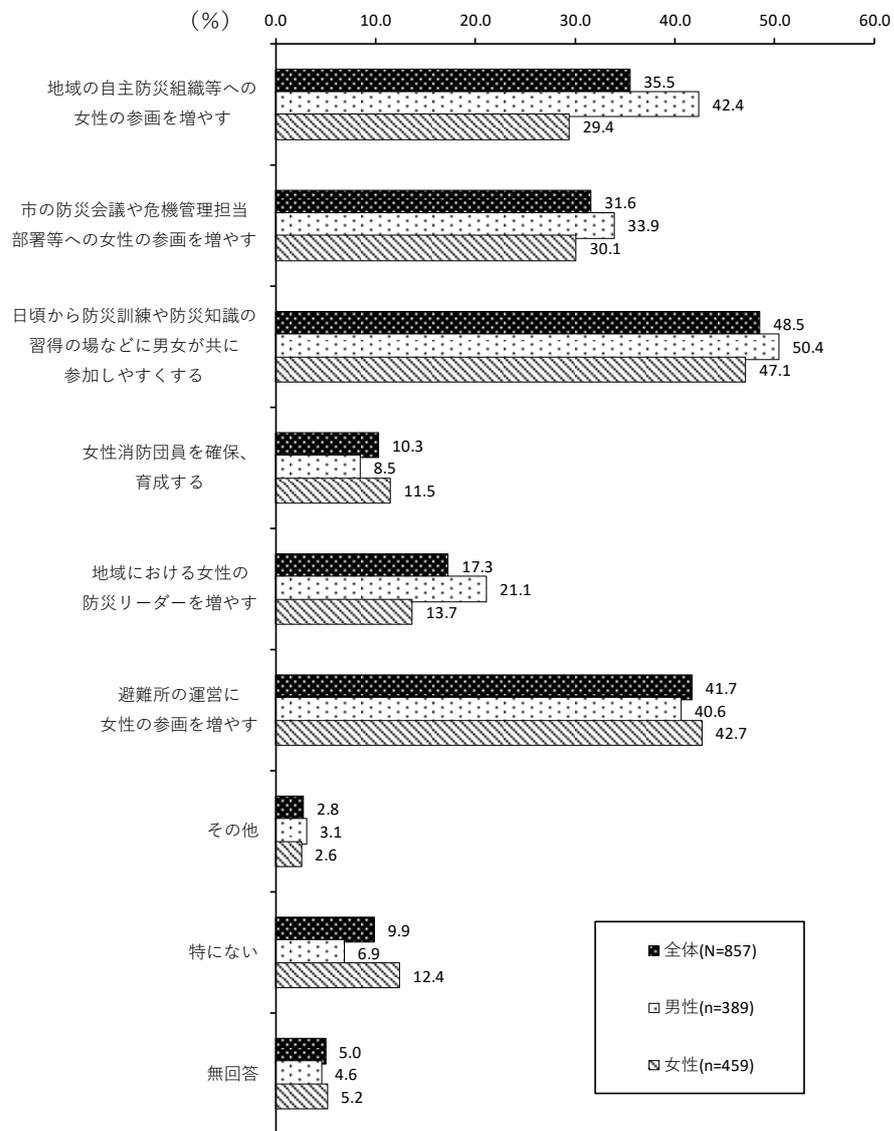
	サンプル数	女性を積極的に登用する	女性が発言しやすい雰囲気づくりをする	男女が共に参画し協力し合える内容にする	会議に子どもと一緒に参加できるようにする	家族や周囲の理解を促進する	接待や後片付け等を女性の役割としめない	女性のリーダーを育成する	活動する上で必要な情報を提供する	その他	特に必要ない	わからない	無回答
全体	100.0 857	16.7 143	35.2 302	46.3 397	14.6 125	24.9 213	27.3 234	14.9 128	23.5 201	2.6 22	4.4 38	7.7 66	3.0 26
性別													
男性	100.0 389	23.1 90	39.6 154	48.1 187	12.6 49	26.7 104	20.1 78	19.8 77	23.1 90	3.1 12	4.1 16	8.0 31	2.1 8
女性	100.0 459	11.1 51	31.6 145	44.7 205	16.3 75	23.5 108	33.3 153	11.1 51	23.5 108	2.2 10	4.6 21	7.6 35	3.7 17
性・年齢別													
男性20～29歳	100.0 16	18.8 3	37.5 6	12.5 2	18.8 3	18.8 3	25.0 4	12.5 2	18.8 3	0.0 0	18.8 3	18.8 3	0.0 0
男性30～39歳	100.0 36	19.4 7	25.0 9	33.3 12	27.8 10	16.7 6	22.2 8	25.0 9	13.9 5	5.6 2	5.6 2	2.8 1	0.0 0
男性40～49歳	100.0 45	17.8 8	28.9 13	40.0 18	22.2 10	24.4 11	24.4 11	15.6 7	22.2 10	13.3 6	2.2 1	8.9 4	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	19.6 11	42.9 24	57.1 32	10.7 6	30.4 17	17.9 10	7.1 4	23.2 13	1.8 1	0.0 0	14.3 8	1.8 1
男性60～69歳	100.0 83	21.7 18	42.2 35	55.4 46	7.2 6	33.7 28	19.3 16	20.5 17	22.9 19	3.6 3	6.0 5	7.2 6	0.0 0
男性70歳以上	100.0 153	28.1 43	43.8 67	50.3 77	9.2 14	25.5 39	19.0 29	24.8 38	26.1 40	0.0 0	3.3 5	5.9 9	4.6 7
女性20～29歳	100.0 30	13.3 4	26.7 8	46.7 14	23.3 7	23.3 7	50.0 15	16.7 5	26.7 8	0.0 0	0.0 0	13.3 4	0.0 0
女性30～39歳	100.0 47	6.4 3	36.2 17	36.2 17	36.2 17	23.4 11	34.0 16	10.6 5	6.4 3	2.1 1	6.4 3	14.9 7	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	9.1 7	31.2 24	41.6 32	23.4 18	20.8 16	32.5 25	7.8 6	15.6 12	7.8 6	5.2 4	7.8 6	0.0 0
女性50～59歳	100.0 58	5.2 3	24.1 14	37.9 22	10.3 6	17.2 10	39.7 23	12.1 7	29.3 17	3.4 2	5.2 3	12.1 7	0.0 0
女性60～69歳	100.0 103	12.6 13	36.9 38	53.4 55	14.6 15	32.0 33	31.1 32	8.7 9	33.0 34	1.0 1	4.9 5	2.9 3	1.9 2
女性70歳以上	100.0 144	14.6 21	30.6 44	45.1 65	8.3 12	21.5 31	29.2 42	13.2 19	23.6 34	0.0 0	4.2 6	5.6 8	10.4 15

問 37 防災・災害復興対策においては、避難所での着替えや授乳の問題など、男女共同参画の視点が必要とされています。今後、どのような取組を強化すべきだと思いますか。(〇は3つまで)

「防災・災害復興対策において、強化すべき取組」について、全体では「日頃から防災訓練や防災知識の習得の場などに男女が共に参加しやすくする」と回答した割合が48.5%と最も高くなっており、次いで「避難所の運営に女性の参画を増やす」(41.7%)、「地域の自主防災組織等への女性の参画を増やす」(35.5%)、「市の防災会議や危機管理担当部署等への女性の参画を増やす」(31.6%)、「地域における女性の防災リーダーを増やす」(17.3%)、「女性消防団員を確保、育成する」(10.3%)の順となっている。

性別では、「地域の自主防災組織等への女性の参画を増やす」の割合が、男性の42.4%に対して女性は29.4%となっている。

性・年齢別では、男性の40～49歳で「避難所の運営に女性の参画を増やす」(55.6%)が最も高くなっている。女性では、30～59歳で「避難所の運営に女性の参画を増やす」が最も高くなっている。また、女性の20～29歳で「女性消防団員を確保、育成する」の割合が他の年齢層より高くなっている。



	サンプル数	地域の自主防災組織等への女性の参加を増やす	市の防災会議や危機管理担当部署等への女性の参加を増やす	日頃から防災訓練や防災知識の習得の場などに男女が共に参加しやすくする	女性消防団員を確保、育成する	地域における女性の防災リーダーを増やす	避難所の運営に女性の参加を増やす	その他	特になし	無回答
全体	100.0 857	35.5 304	31.6 271	48.5 416	10.3 88	17.3 148	41.7 357	2.8 24	9.9 85	5.0 43
性別										
男性	100.0 389	42.4 165	33.9 132	50.4 196	8.5 33	21.1 82	40.6 158	3.1 12	6.9 27	4.6 18
女性	100.0 459	29.4 135	30.1 138	47.1 216	11.5 53	13.7 63	42.7 196	2.6 12	12.4 57	5.2 24
性・年齢別										
男性20～29歳	100.0 16	25.0 4	18.8 3	43.8 7	18.8 3	12.5 2	31.3 5	6.3 1	12.5 2	0.0 0
男性30～39歳	100.0 36	19.4 7	33.3 12	36.1 13	8.3 3	13.9 5	27.8 10	5.6 2	13.9 5	2.8 1
男性40～49歳	100.0 45	35.6 16	26.7 12	44.4 20	8.9 4	15.6 7	55.6 25	6.7 3	8.9 4	0.0 0
男性50～59歳	100.0 56	42.9 24	37.5 21	51.8 29	7.1 4	19.6 11	46.4 26	1.8 1	8.9 5	0.0 0
男性60～69歳	100.0 83	49.4 41	42.2 35	51.8 43	9.6 8	22.9 19	44.6 37	4.8 4	3.6 3	2.4 2
男性70歳以上	100.0 153	47.7 73	32.0 49	54.9 84	7.2 11	24.8 38	35.9 55	0.7 1	5.2 8	9.8 15
女性20～29歳	100.0 30	33.3 10	36.7 11	46.7 14	26.7 8	10.0 3	43.3 13	3.3 1	13.3 4	0.0 0
女性30～39歳	100.0 47	21.3 10	36.2 17	34.0 16	19.1 9	14.9 7	48.9 23	4.3 2	17.0 8	0.0 0
女性40～49歳	100.0 77	27.3 21	35.1 27	32.5 25	14.3 11	16.9 13	37.7 29	5.2 4	15.6 12	2.6 2
女性50～59歳	100.0 58	25.9 15	27.6 16	44.8 26	8.6 5	13.8 8	51.7 30	1.7 1	17.2 10	0.0 0
女性60～69歳	100.0 103	35.0 36	31.1 32	52.4 54	10.7 11	13.6 14	45.6 47	1.9 2	9.7 10	3.9 4
女性70歳以上	100.0 144	29.9 43	24.3 35	56.3 81	6.3 9	12.5 18	37.5 54	1.4 2	9.0 13	12.5 18

(5) ドメスティック・バイオレンスについて

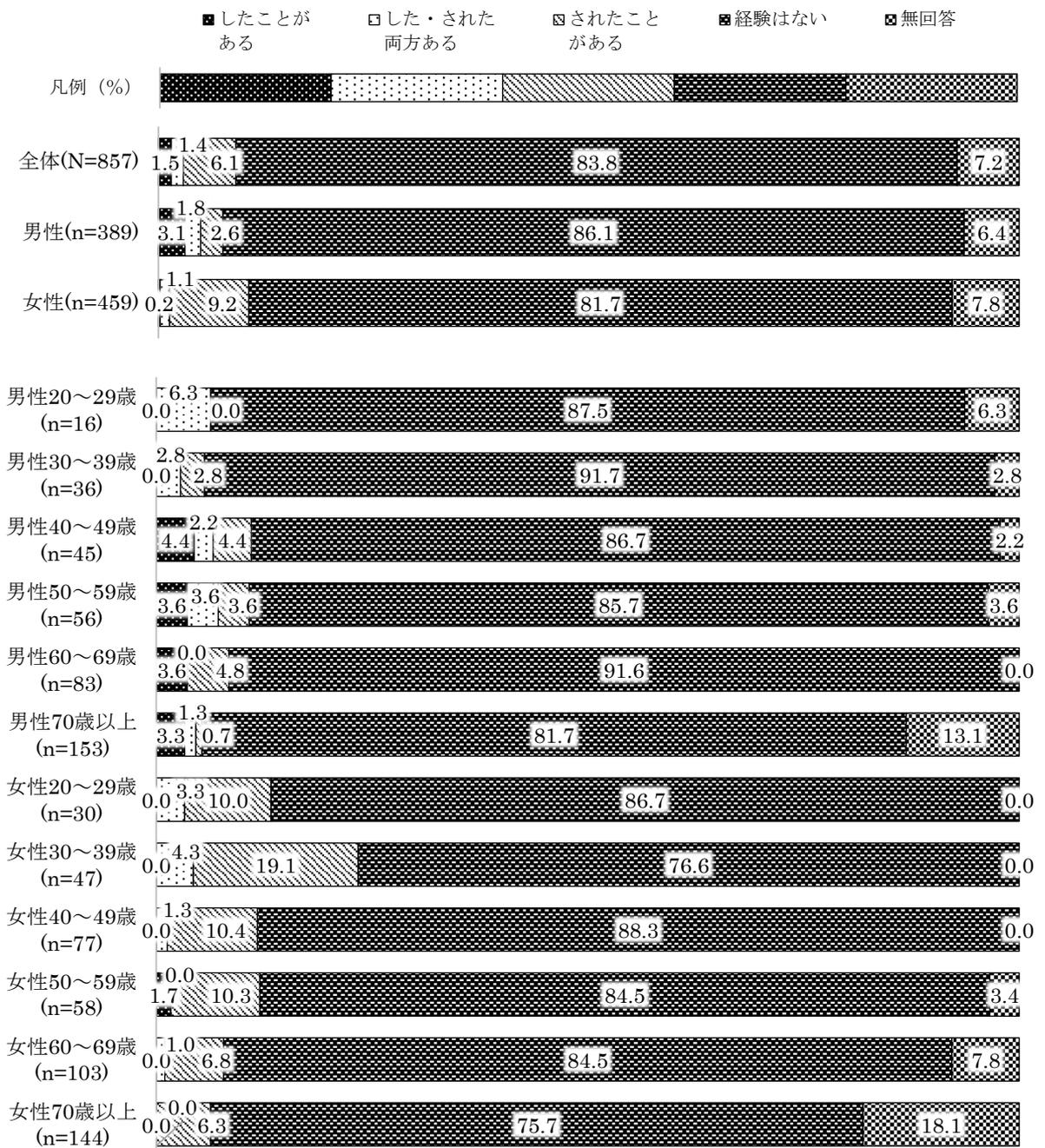
問 38 あなたは、配偶者や恋人の間で行われる、次のような行為をしたこと、されたことがありますか。(〇は1つずつ)

【配偶者や恋人間での行為】

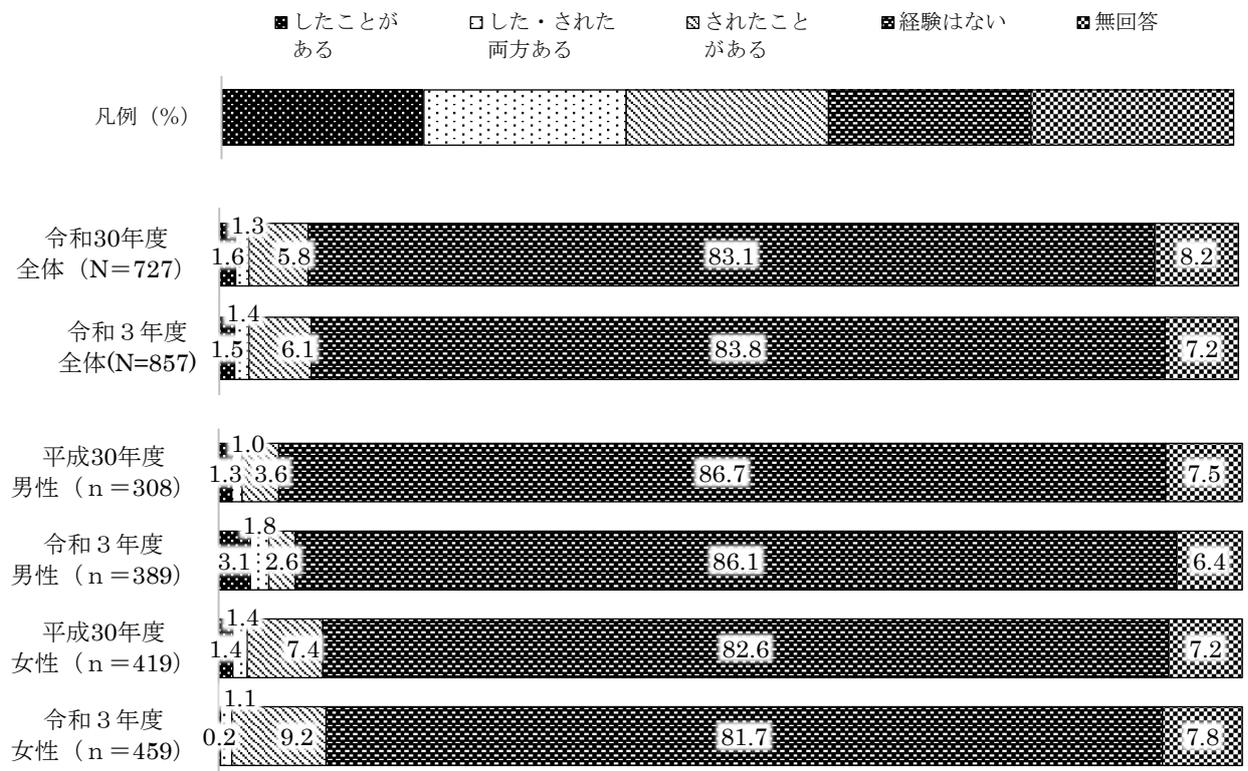
「①外出や人との付き合いを監視し又は、制限する」について、全体では「経験はない」と回答した割合が83.2%で最も高くなっており、次いで「されたことがある」(6.2%)、「したことがある」(1.9%)、「した・された両方ある」(1.6%)の順となっている。

性別では、「されたことがある」の割合は、男性の1.3%に対して女性は10.2%となっている。また、「したことがある」の割合は、男性が3.9%、女性が0.2%となっている。

性・年齢別では、「されたことがある」の割合が、女性の30～69歳で他の年齢層より高くなっている。

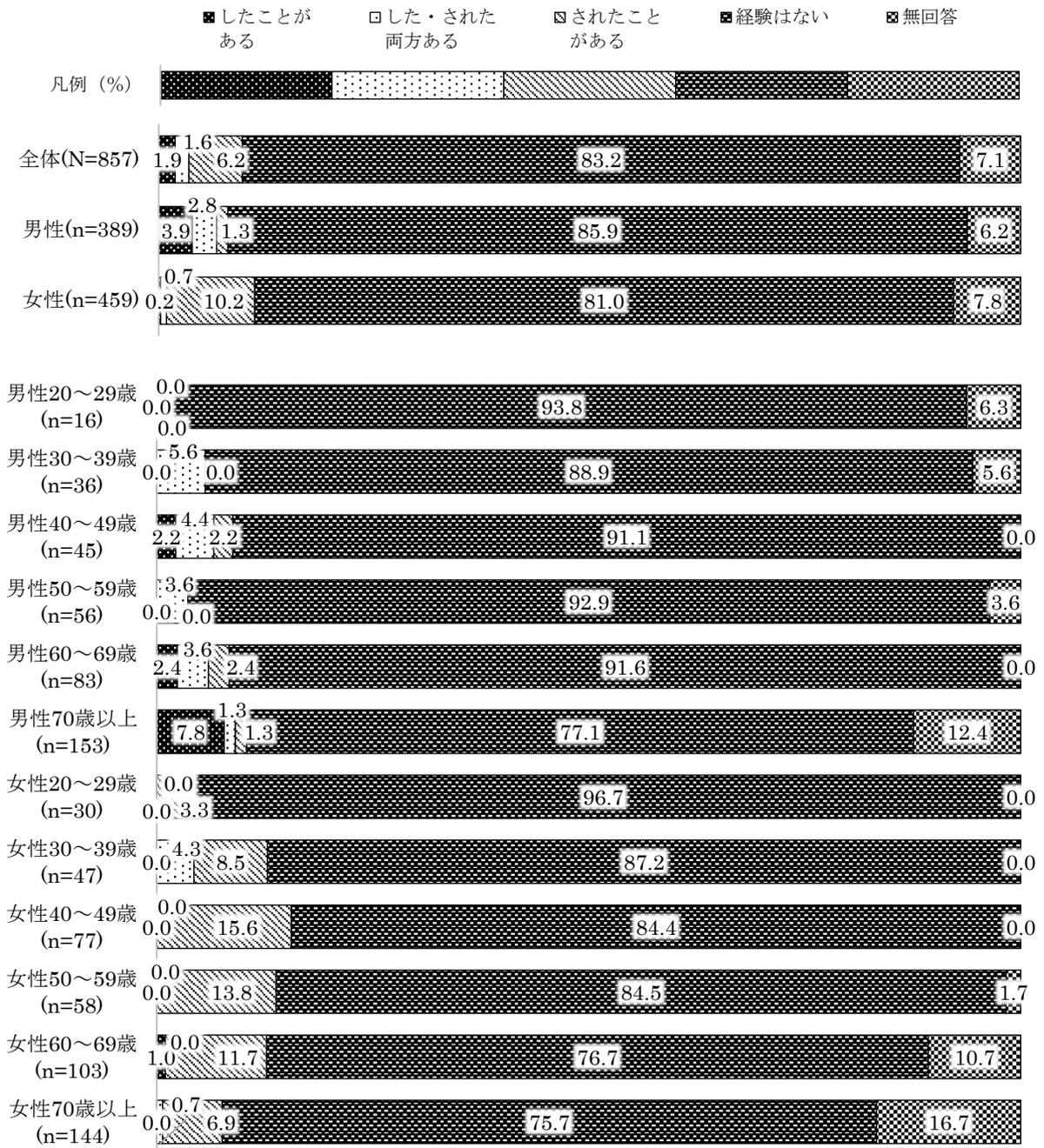


【時系列比較】

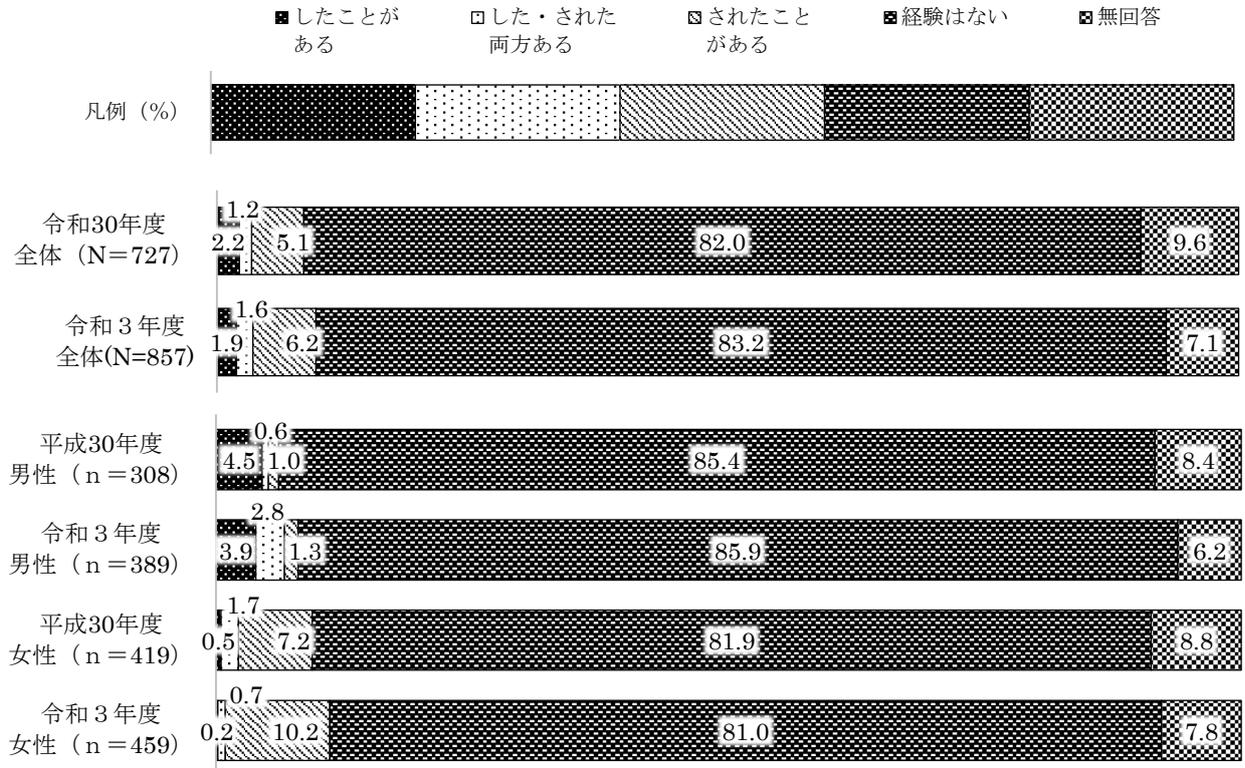


「②なぐる振りをして、おどす」について、全体では「経験はない」と回答した割合が83.2%と最も高くなっており、次いで「されたことがある」(6.2%)、「したことがある」(1.9%)「した・された両方ある」(1.6%)、の順となっている。

性別では、女性の30～69歳において「されたことがある」の割合が高くなっている。



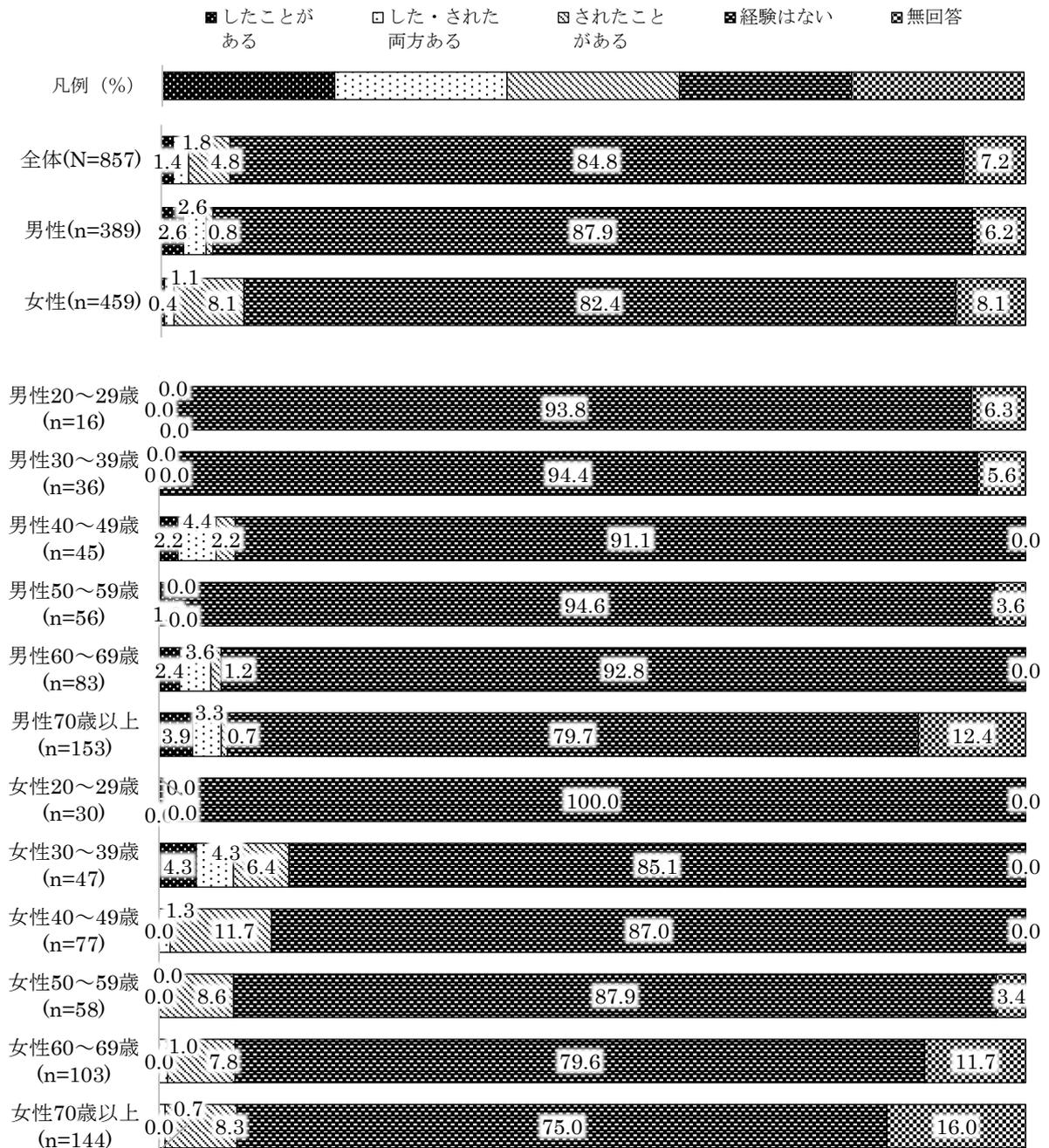
【時系列比較】



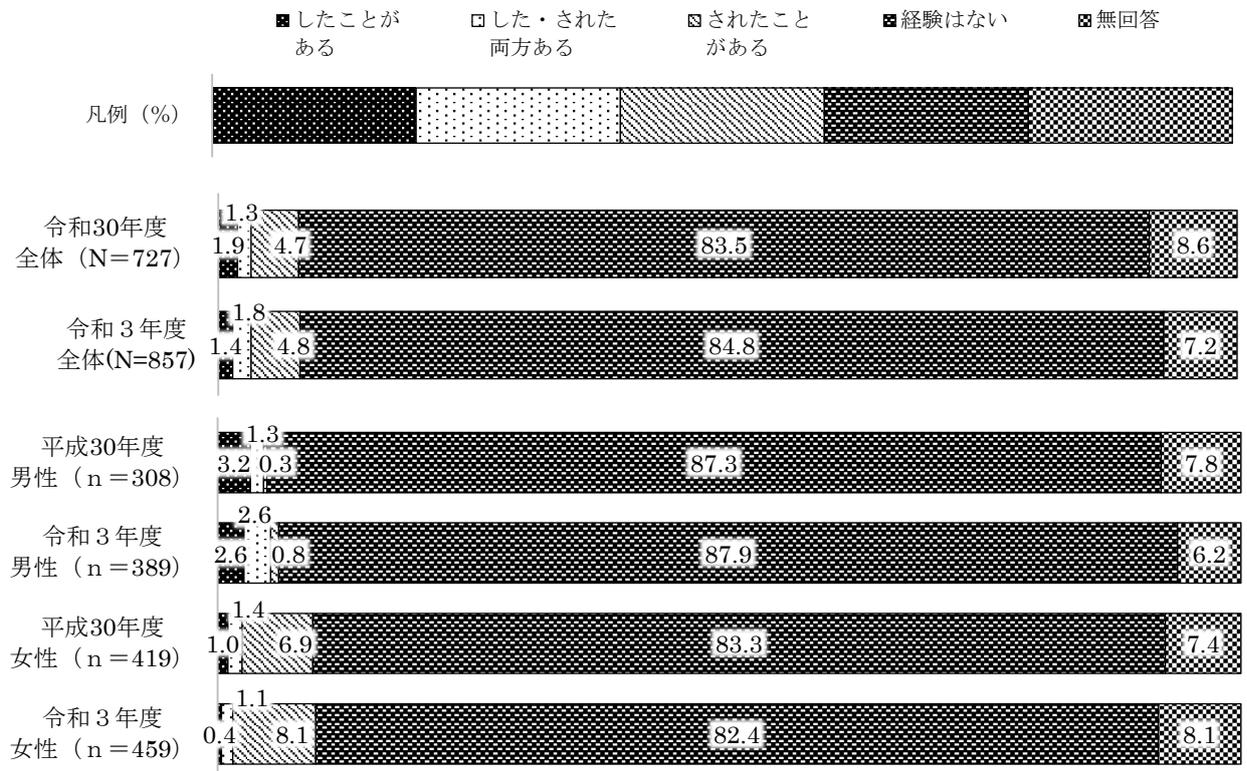
「③なぐる、蹴るなどの暴力を振るう」について、全体では「経験はない」と回答した割合が84.8%と最も高くなっており、次いで「されたことがある」(4.8%)、「した・された両方ある」(1.8%)、「したことがある」(1.4%)の順となっている。

性別では、男女ともに「経験はない」の割合が最も高くなっているが、「されたことがある」の割合は、男性の0.8%に対して女性は8.1%となっている。

性・年齢別では、女性の20～29歳で「経験はない」の割合が100%となっている。



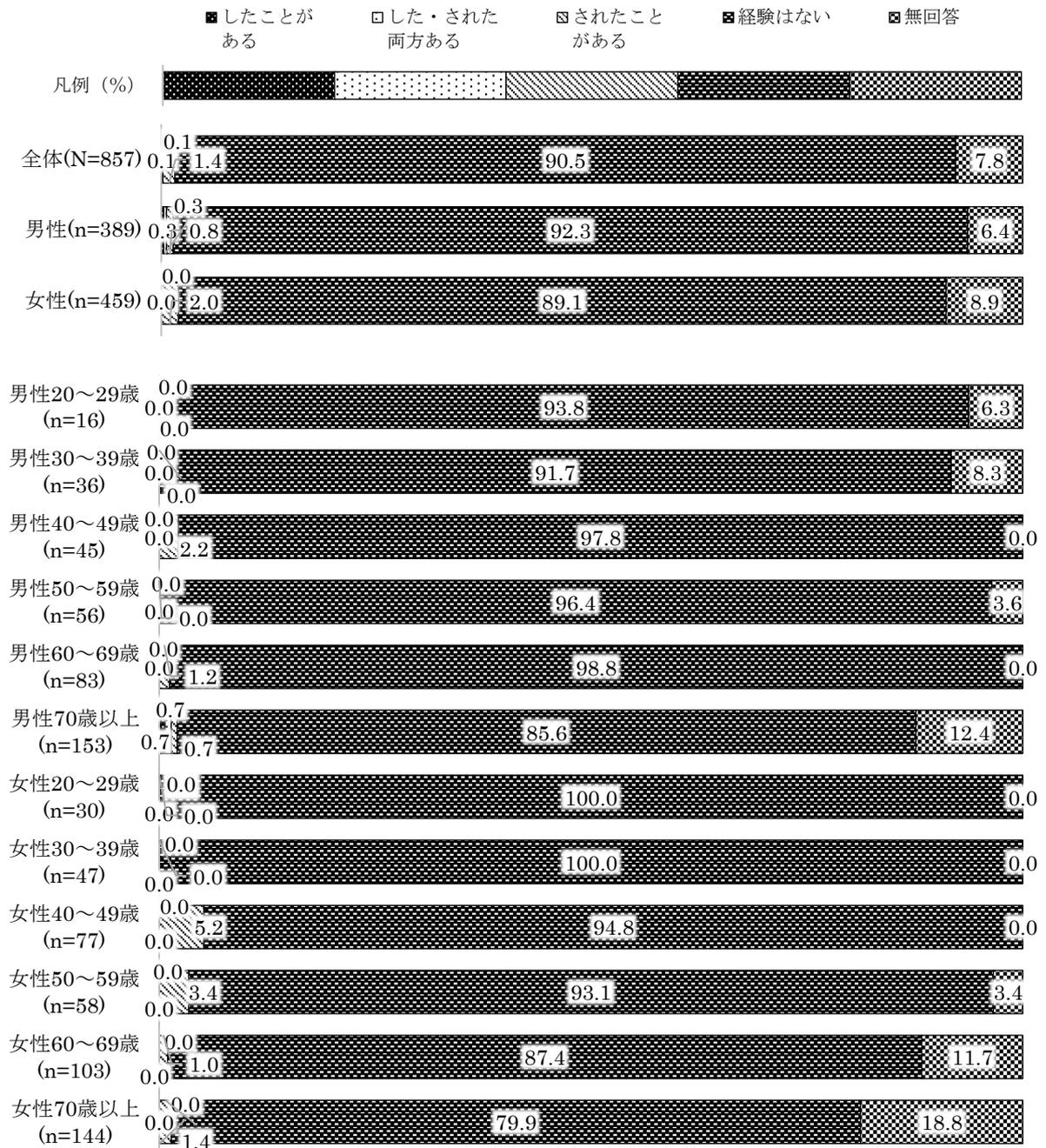
【時系列比較】



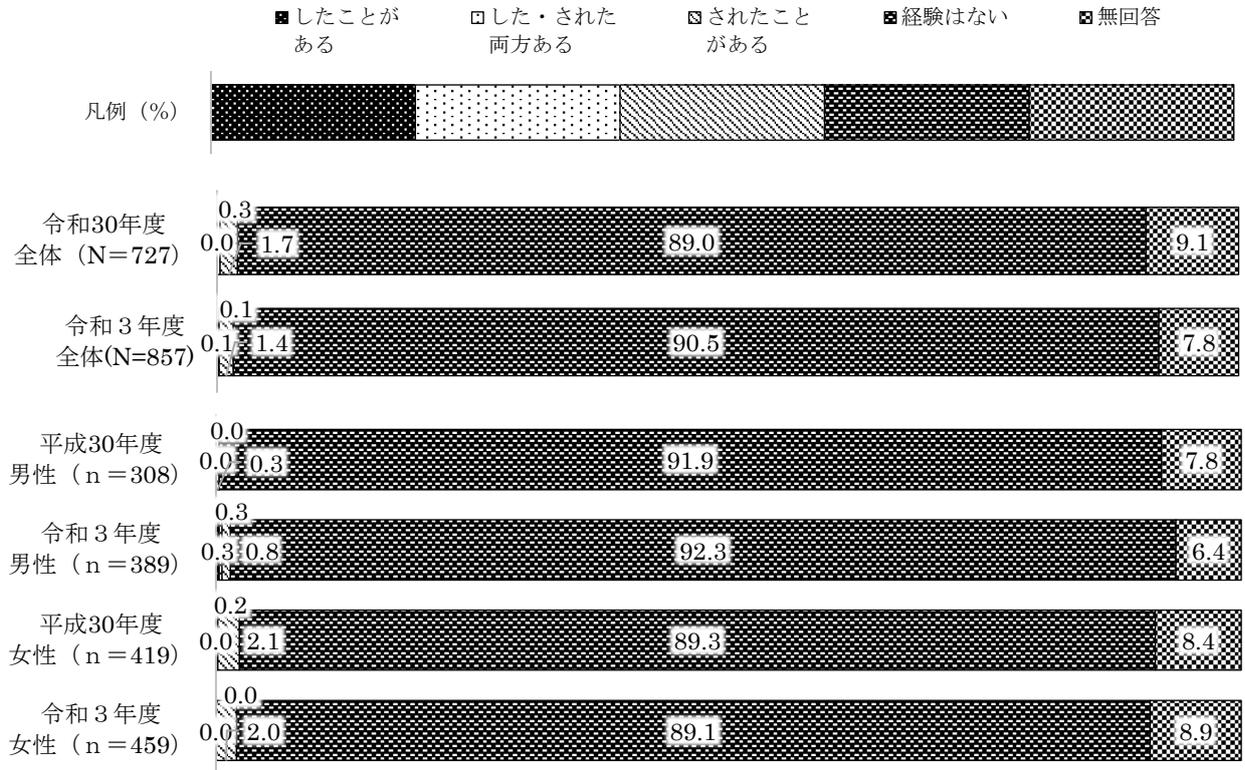
④命の危険を感じるほどの暴力を振るう」について、全体では「経験はない」と回答した割合が90.5%と最も高くなっており、次いで「されたことがある」(1.4%)、「した・された両方ある」(0.1%)、「したことがある」(1.4%)の順となっている。

性別では、男女ともに「経験はない」の割合が最も高くなっているが、「されたことがある」の割合は、男性の0.8%に対して女性は2.0%となっている。

性・年齢別では、女性の20～29歳で「経験はない」と回答した割合が100%となっている。



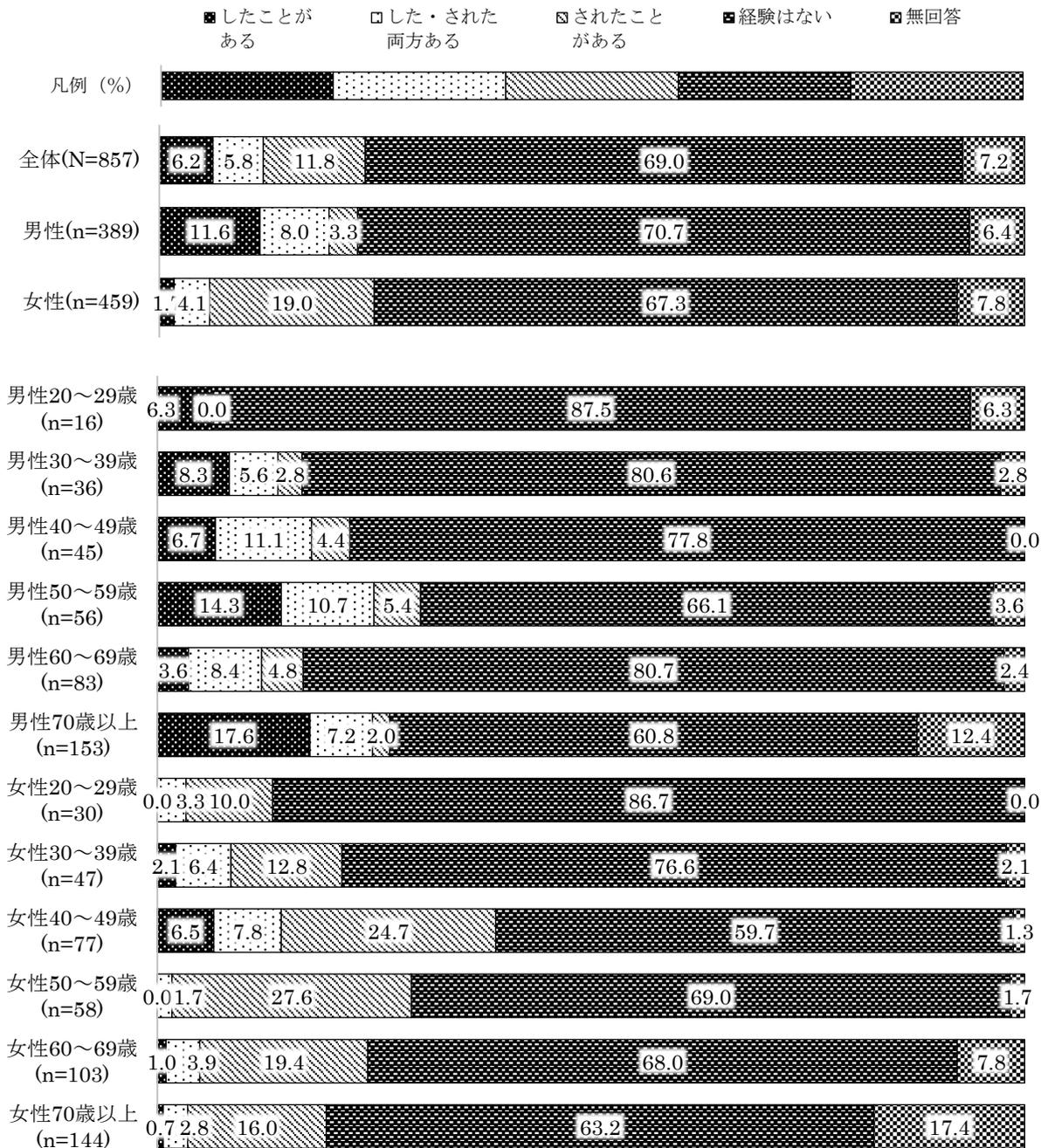
【時系列比較】



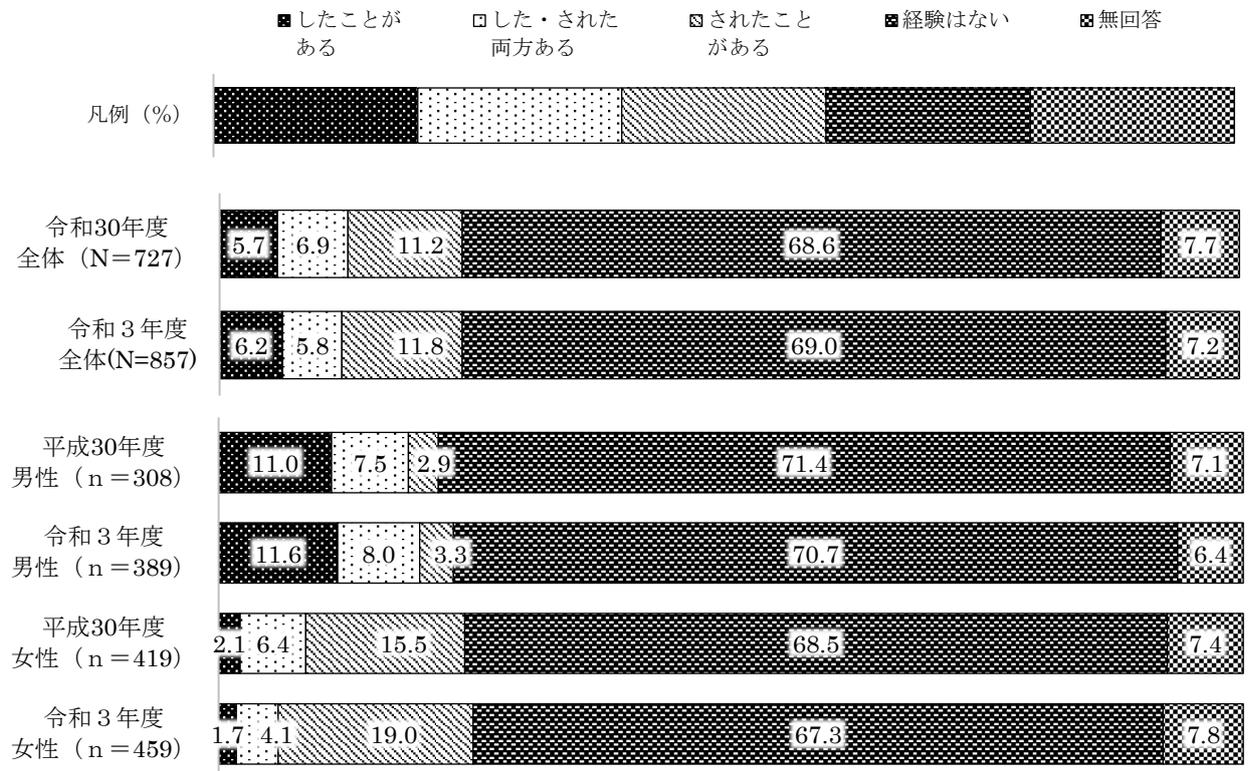
「⑤ののしる、大声でどなる」について、全体では「経験はない」と回答した割合が69.0%と最も高くなっており、次いで「されたことがある」(3.3%)、「したことがある」(6.2%)、「した・された両方ある」(5.8%)の順となっている。

性別では、「したことがある」の割合は、男性の11.6%に対して女性は1.7%、「されたことがある」の割合は、男性の3.3%に対して女性は19.0%となっている。

性・年齢別では、男性の70歳以上で「したことがある」の割合が17.6%と他の年齢層より高くなっている。女性の40～59歳では「されたことがある」の割合が他の年齢層より高くなっている。



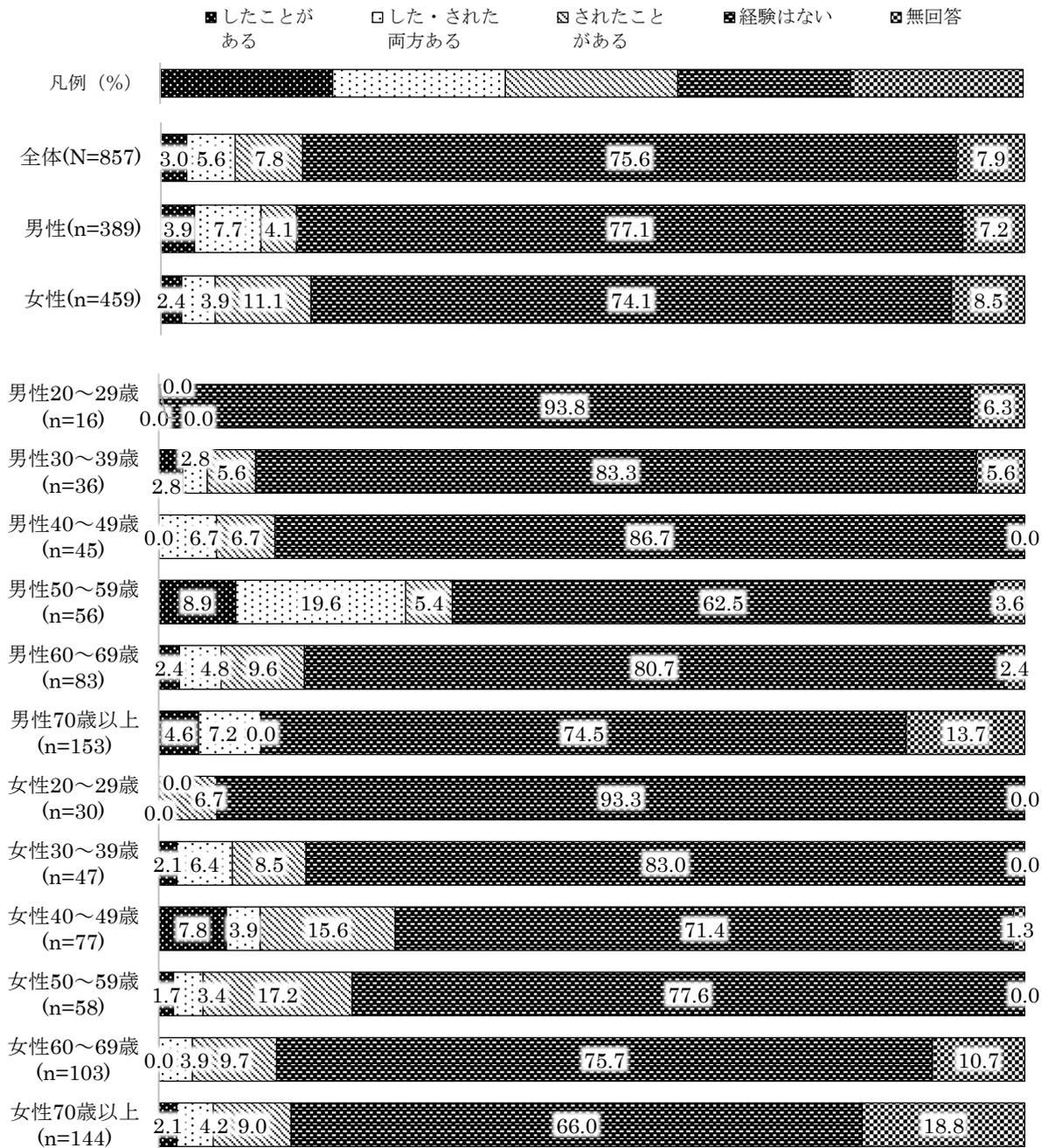
【時系列比較】



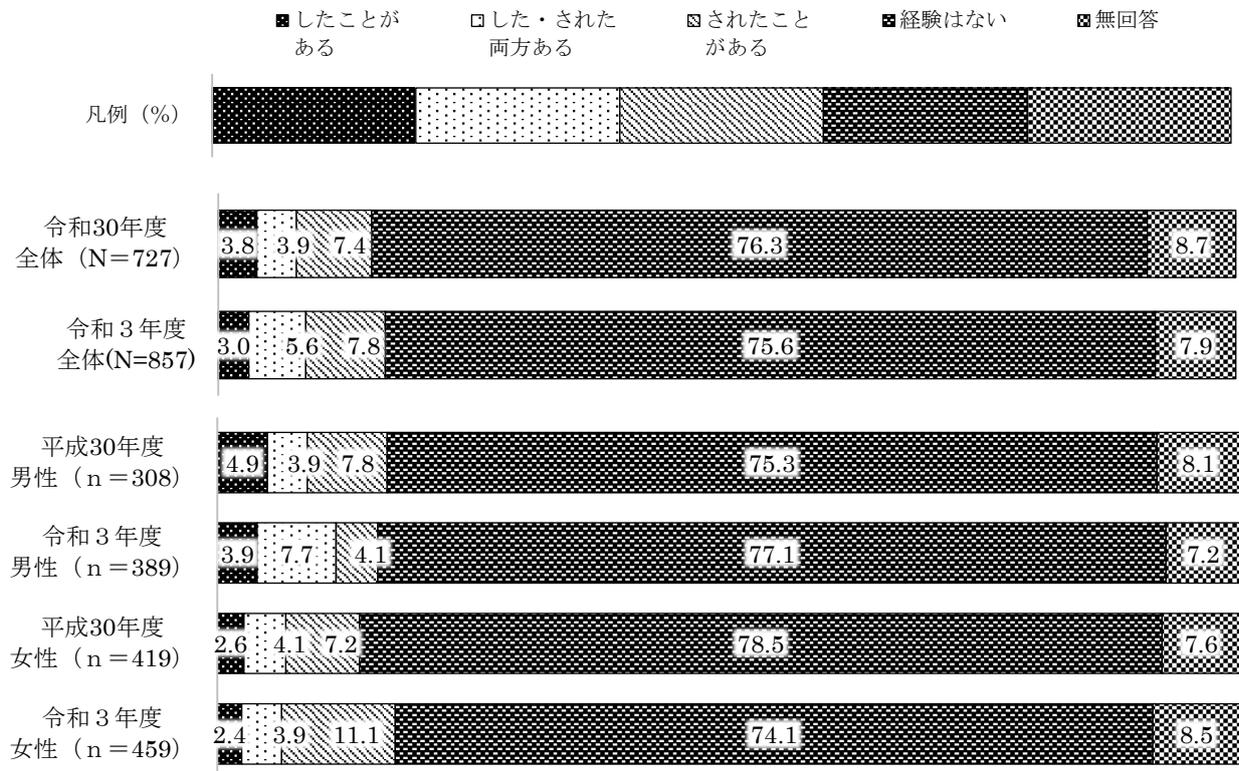
「⑥何を言っても長時間無視し続ける」について、全体では「経験はない」と回答した割合が75.6%と最も高くなっており、次いで「されたことがある」(7.8%)、「した・された両方ある」(5.6%)、「したことがある」(3.0%)の順となっている。

性別では、「されたことがある」の割合は、男性の4.1%に対して女性は11.1%となっている。

性・年齢別では、男性の50～59歳では「した・された両方ある」の割合が19.6%と他の年齢層より高くなっている。女性の40～59歳では「されたことがある」の割合が他の年齢層より高くなっている。



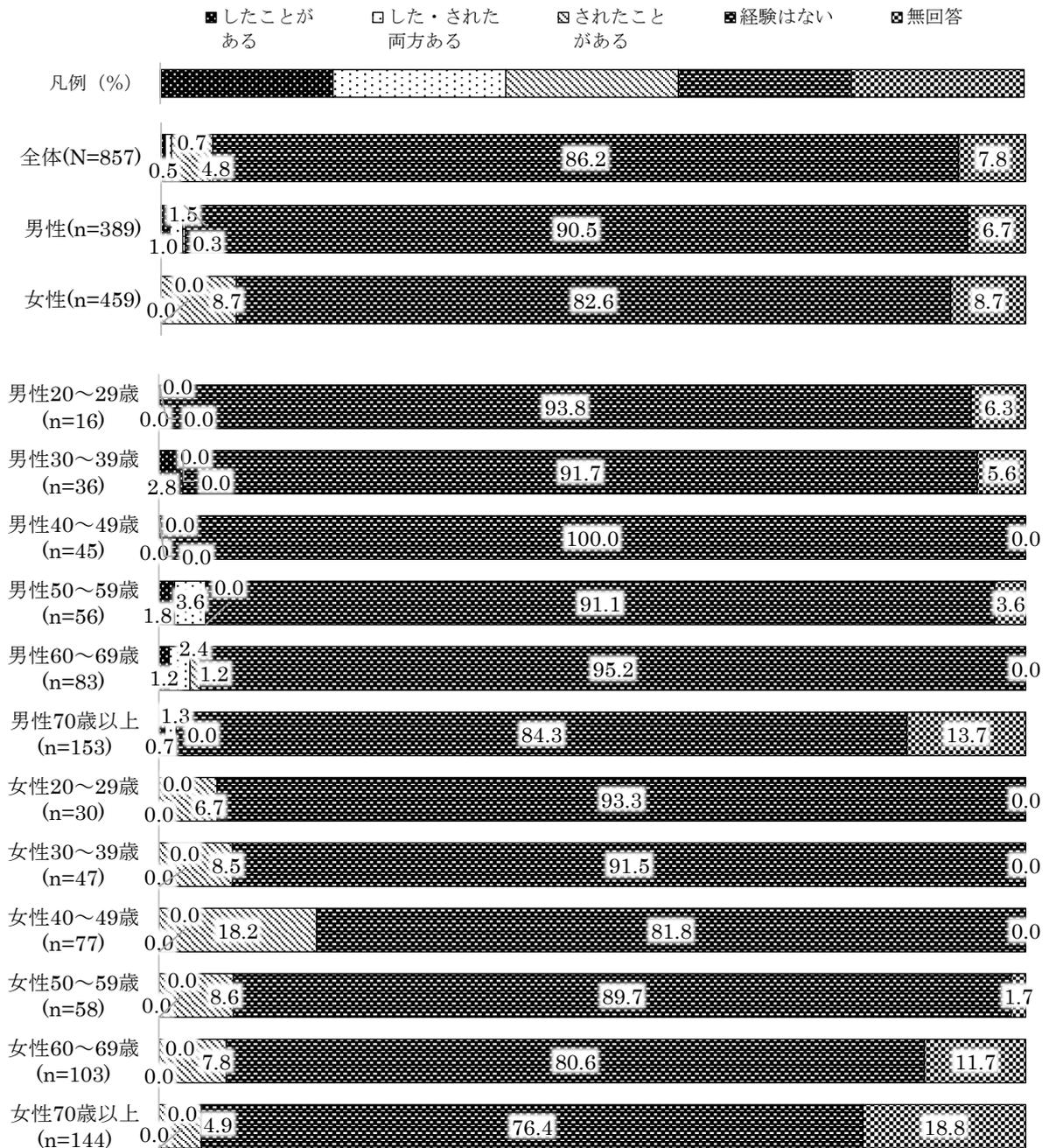
【時系列比較】



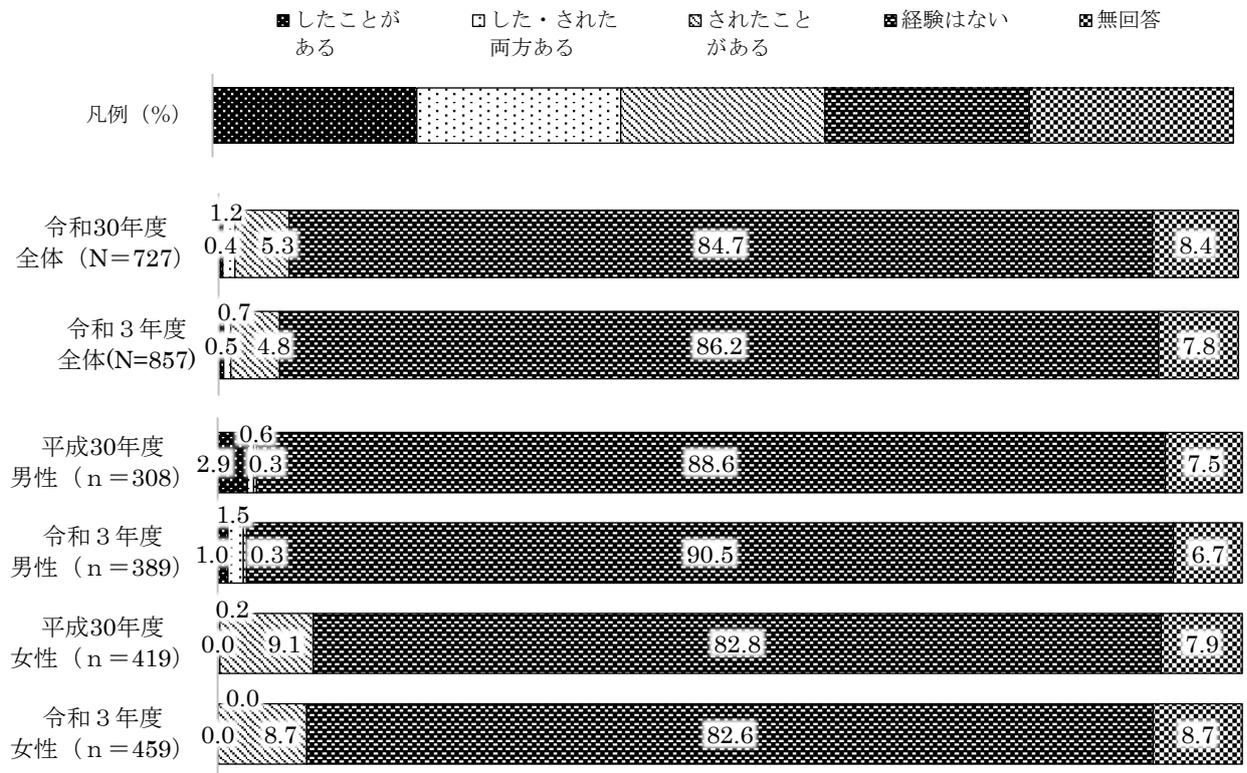
「⑦相手が嫌がっているのに、性的な行為を要求する」について、全体では「経験はない」と回答した割合が86.2%と最も高くなっており、次いで「されたことがある」(4.8%)、「した・された両方ある」(0.7%)、「したことがある」(0.5%)の順となっている。

性別では、「したことがある」の割合は、男性の1.0%に対して女性は0.0%、「されたことがある」の割合は、男性0.3%に対して女性は8.7%となっている。

性・年齢別では、男性の40～49歳は「経験はない」の割合が100.0%と他の年齢層より高くなっている。女性の40～49歳では「されたことがある」の割合が他の年齢層より非常に高くなっている。



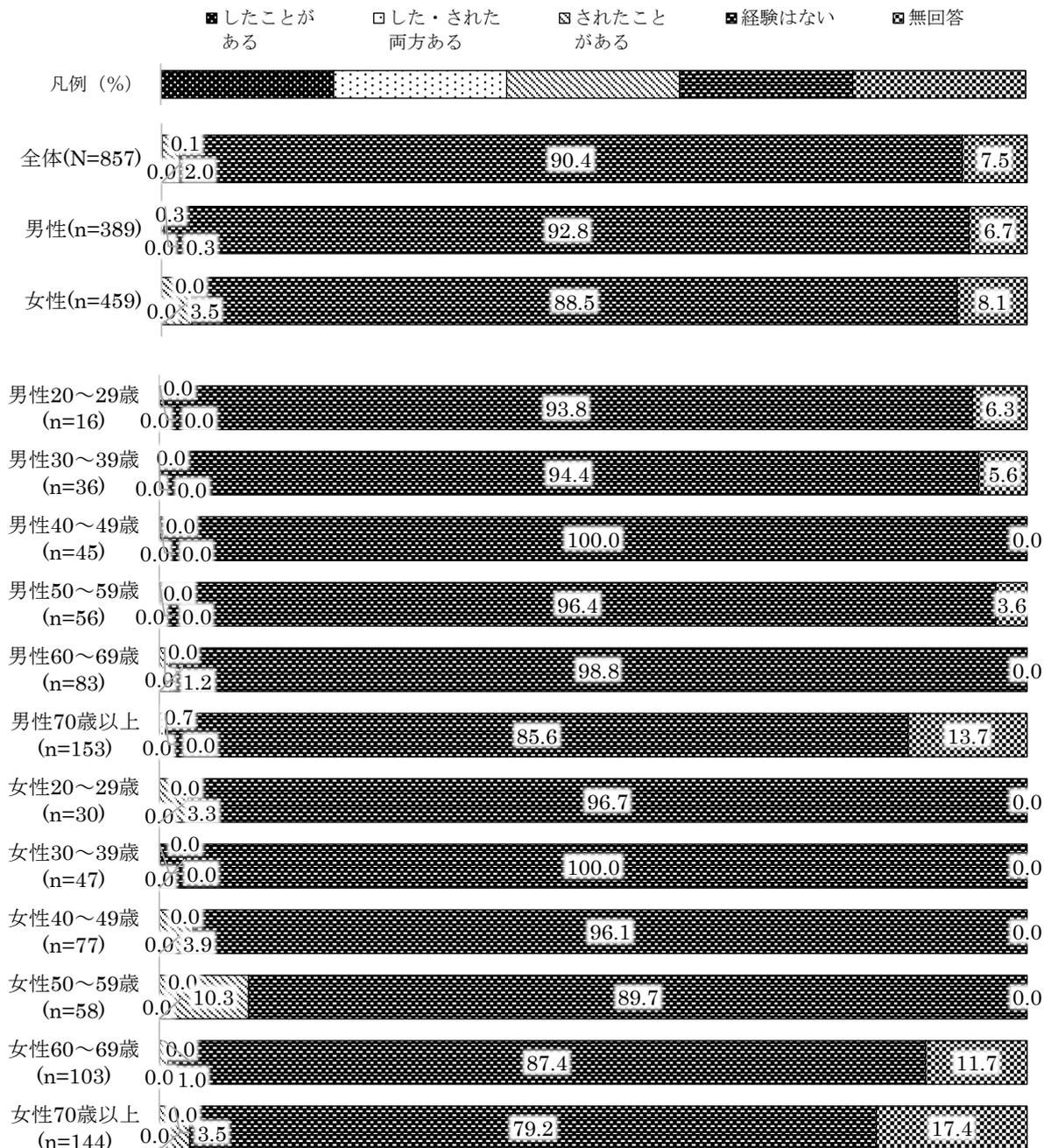
【時系列比較】



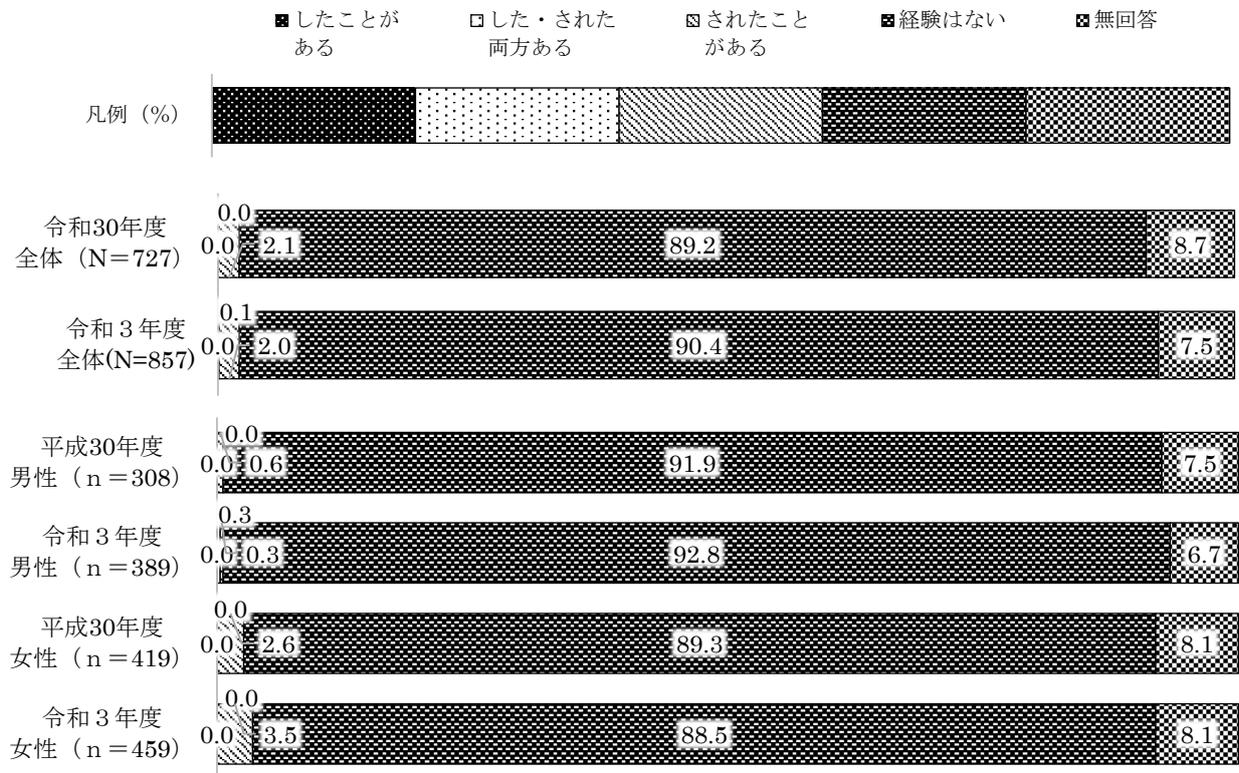
「⑧生活費を渡さない、外で働くことを妨害する」について、全体では「経験はない」と回答した割合が90.4%と最も高くなっており、次いで「されたことがある」(2.0%)、「した・された両方ある」(0.1%)、「したことがある」(0.0%)の順となっている。

性別では、「されたことがある」の割合は、男性0.3%に対して女性は3.5%となっている。

性・年齢別では、男性の40～49歳、女性の30～39歳で「経験はない」の割合が100.0%となっている。



【時系列比較】



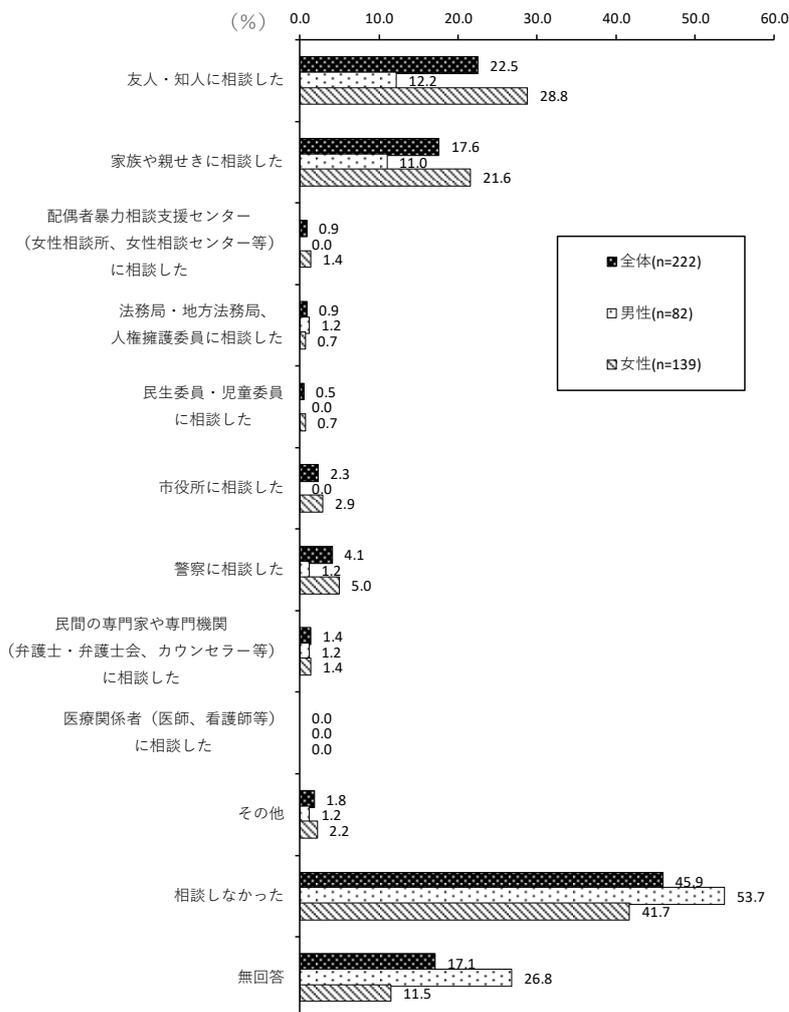
問39 【問38で「2」または「3」と答えた方のみにおたずねします。】

あなたは、被害を受けたことを、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。
(〇はいくつでも)

「被害の相談先」について、全体では「相談しなかった」と回答した割合が45.9%と最も高くなっており、次いで「友人・知人に相談した」(22.5%)、「家族や親せきに相談した」(17.6%)、「警察に相談した」(4.1%)、「市役所に相談した」(2.3%)、「民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー等)に相談した」(1.4%)、「配偶者暴力相談支援センター(女性相談所、女性相談センター等)に相談した」(0.9%)、「法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した」(0.9%)、「民生委員・児童委員に相談した」(0.5%)、「医療関係者(医師、看護師等)に相談した」(0.0%)の順となっている。

性別では、「相談しなかった」の割合は、男性の53.7%に対して女性は41.7%、「友人・知人に相談した」の割合は、男性の12.2%に対して女性は28.8%、「家族や親せきに相談した」の割合は男性の11.0%に対して女性は21.6%となっている。

性・年齢別では、男性の30～39歳で「友人・知人に相談した」(40.0%)、「家族や親せきに相談した」(40.0%)の割合が他の年齢層より高くなっている。女性では20～49歳で「友人・知人に相談した」、50～59歳で「家族や親せきに相談した」の割合が他の年齢層より高くなっている。また、女性の30～49歳では「警察に相談した」、女性の50～59歳では「市役所に相談した」の割合が他の年齢層より高くなっている。



	サンプル数	友人・知人に相談した	家族や親せきに相談した	女性相談センター等に相談した	配偶者暴力相談支援センター(女性相談所)	法務局・地方自治体・人権擁護委員に相談した	民生委員・児童委員に相談した	市役所に相談した	警察に相談した	民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー等)に相談した	民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー等)に相談した	医療関係者へ医師、看護師等に相談した	その他	相談しなかった	無回答
全体	100.0 222	22.5 50	17.6 39	0.9 2	0.9 2	0.5 1	2.3 5	4.1 9	1.4 3	0.0 0	1.8 4	45.9 102	17.1 38		
性別															
男性	100.0 82	12.2 10	11.0 9	0.0 0	1.2 1	0.0 0	0.0 0	1.2 1	1.2 1	0.0 0	1.2 1	53.7 44	26.8 22		
女性	100.0 139	28.8 40	21.6 30	1.4 2	0.7 1	0.7 1	2.9 4	5.0 7	1.4 2	0.0 0	2.2 3	41.7 58	11.5 16		
性・年齢別															
男性20~29歳	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 1	
男性30~39歳	100.0 5	40.0 2	40.0 2	0.0 0	20.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	40.0 2	0.0 0	
男性40~49歳	100.0 11	9.1 1	18.2 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	9.1 1	0.0 0	0.0 0	9.1 1	63.6 7	9.1 1		
男性50~59歳	100.0 20	25.0 5	5.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	5.0 1	0.0 0	0.0 0	40.0 8	35.0 7		
男性60~69歳	100.0 17	5.9 1	17.6 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	58.8 10	23.5 4		
男性70歳以上	100.0 28	3.6 1	3.6 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	60.7 17	32.1 9		
女性20~29歳	100.0 7	57.1 4	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	14.3 1	0.0 0	0.0 0	42.9 3	0.0 0		
女性30~39歳	100.0 16	43.8 7	31.3 5	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	12.5 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	37.5 6	6.3 1		
女性40~49歳	100.0 27	48.1 13	14.8 4	0.0 0	0.0 0	0.0 0	3.7 1	11.1 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0	37.0 10	3.7 1		
女性50~59歳	100.0 20	25.0 5	35.0 7	10.0 2	5.0 1	0.0 0	10.0 2	0.0 0	5.0 1	0.0 0	5.0 1	40.0 8	5.0 1		
女性60~69歳	100.0 31	16.1 5	22.6 7	0.0 0	0.0 0	0.0 0	3.2 1	3.2 1	0.0 0	0.0 0	3.2 1	45.2 14	16.1 5		
女性70歳以上	100.0 38	15.8 6	18.4 7	0.0 0	0.0 0	2.6 1	0.0 0	2.6 1	0.0 0	0.0 0	2.6 1	44.7 17	21.1 8		

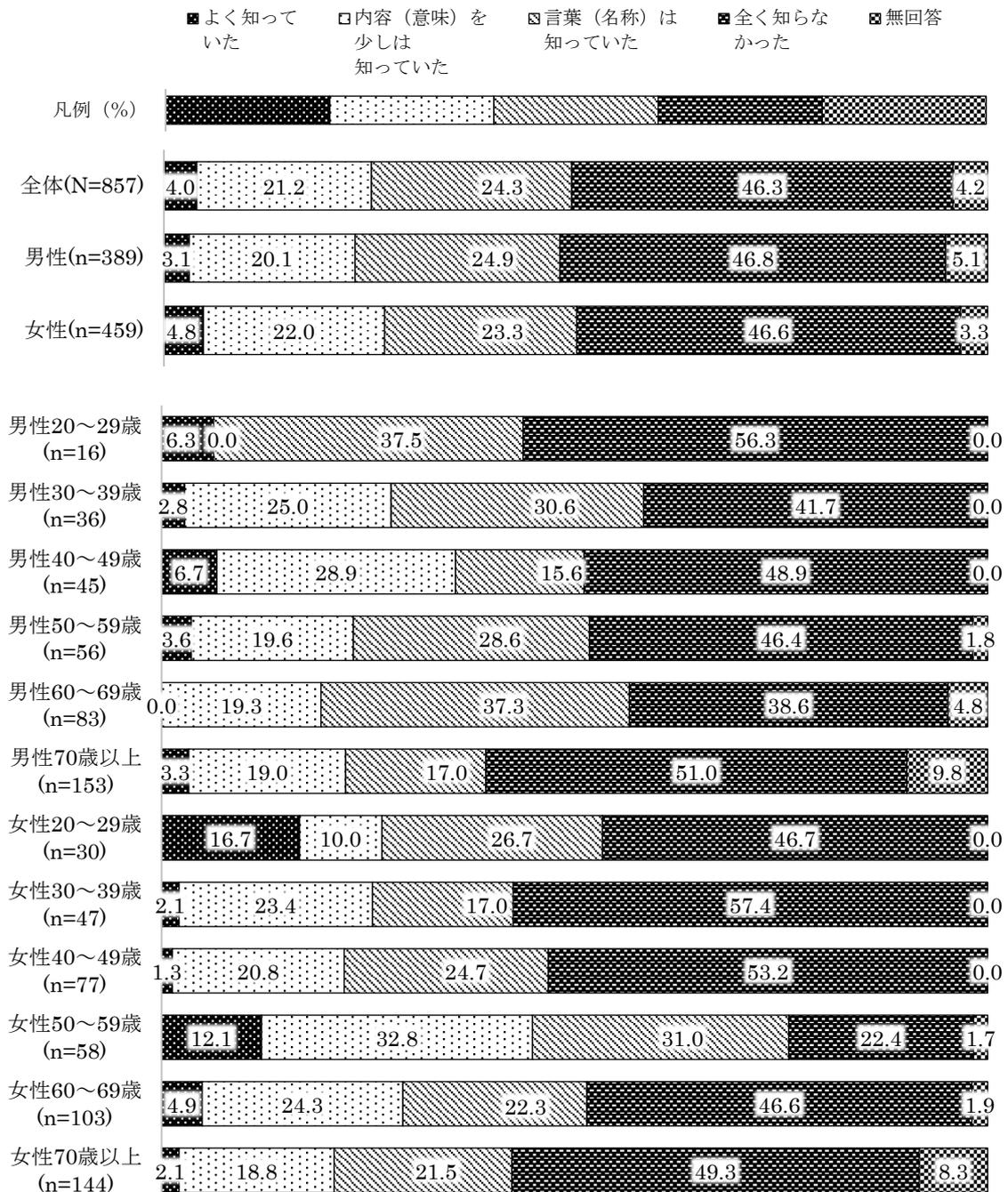
(6) パートナーシップ宣誓制度について

問40 あなたは、「パートナーシップ宣誓制度」について知っていましたか。(〇は1つ)

『パートナーシップ宣誓制度』認知状況について、全体では「全く知らなかった」と回答した割合が46.3%と最も高くなっており、次いで「言葉(名称)は知っていた」(24.3%)、「内容(意味)を少しは知っていた」(21.2%)、「よく知っていた」(4.0%)の順となっている。

性別では、全体と同様「全く知らなかった」と回答した割合が最も高くなっている。

性・年齢別では、女性の50～59歳で「内容(意味)を少しは知っていた」(32.8%)の割合が最も高くなっている。また、男性の20～29歳、女性の30～39歳で「全く知らない」、女性の20～29歳で「よく知っていた」、男性の20～29歳及び60～69歳で「言葉(名称)は知っていた」の割合が他の年齢層より高くなっている。

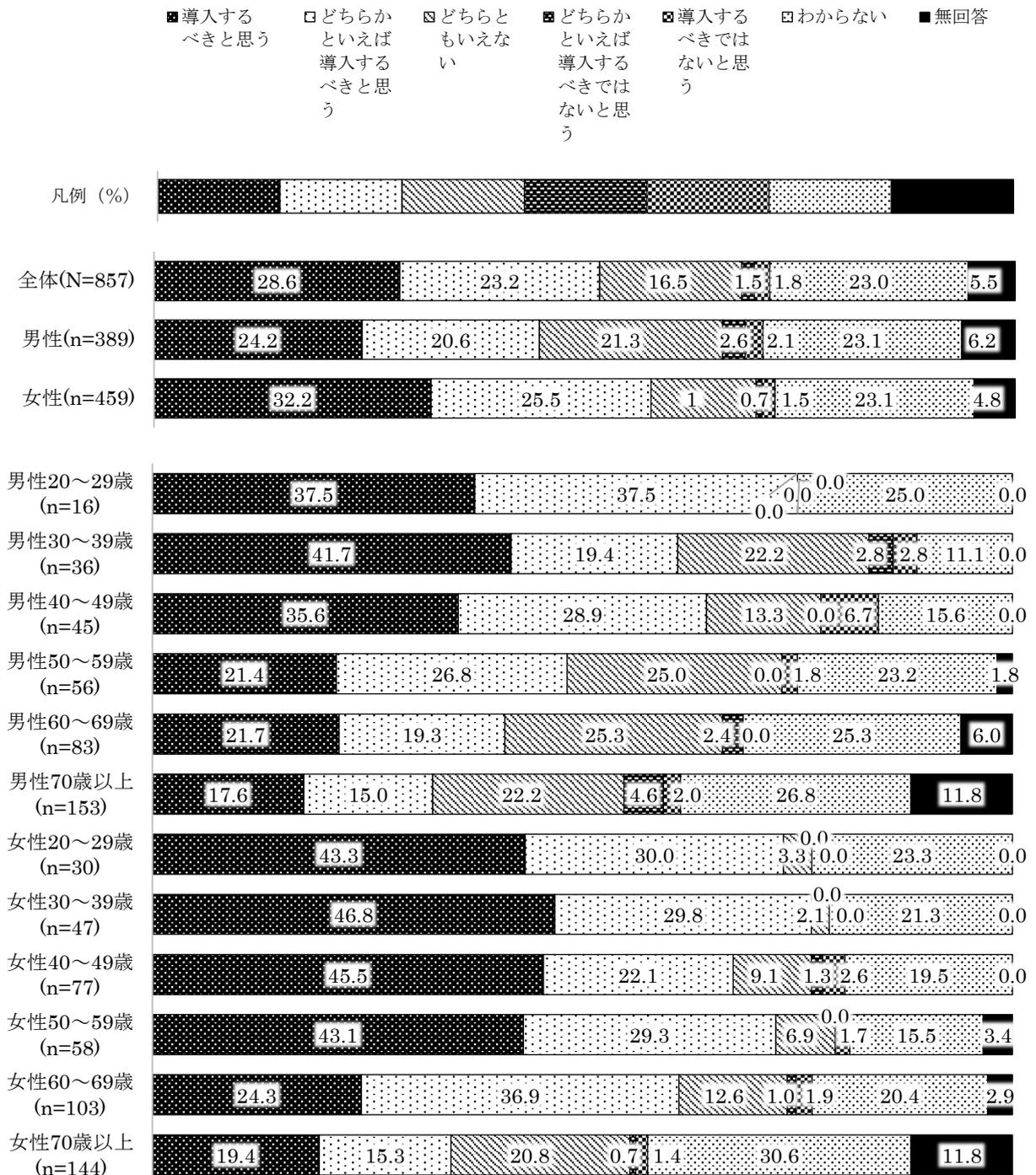


問41 あなたは、「パートナーシップ宣誓制度」を導入することについてどのように思いますか。(〇は1つ)

『パートナーシップ宣誓制度』の導入については、全体では「導入するべきと思う」と「どちらかといえば導入するべきと思う」を合計した「導入するべきと思う(合計)」の割合が51.8%、「導入するべきではないと思う」と「どちらかといえば導入するべきではないと思う」を合計した「導入するべきではないと思う(合計)」の割合は3.3%となっている。

性別では、「導入するべきと思う(合計)」の割合は、男性が44.8%、女性が61.1%、「導入するべきではないと思う(合計)」の割合は、男性が4.7%、女性が2.2%となっている。

性・年齢別では、男性の20～29歳及び40～49歳、女性の20～59歳で「導入するべきと思う(合計)」の割合が高くなっている。

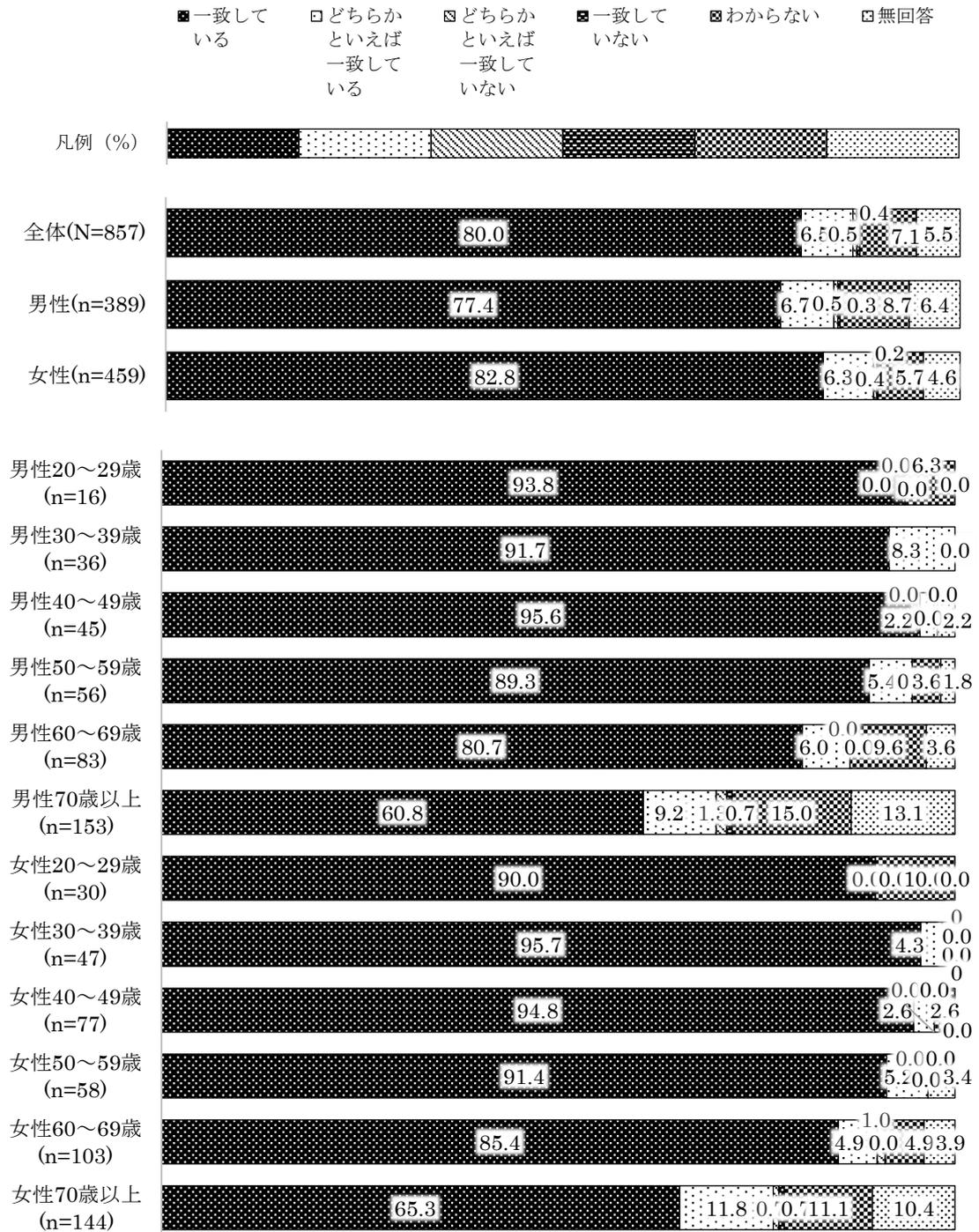


問42 あなたの心の性と身体の性についておたずねします。(〇は1つ)

「自身の性と身体の性について」は、全体では「一致している」と「どちらかといえば一致している」を合計した「一致している(合計)」の割合が86.5%、「一致していない」と「どちらかといえば一致していない」を合計した「一致していない(合計)」の割合が6.9%となっている。

性別では、「一致している(合計)」の割合は、男性が84.1%、女性が89.1%、「一致していない(合計)」の割合は、男性が0.8%、女性が0.6%となっている。

性・年齢別では、男性の20~49歳、女性の20~59歳では「一致している(合計)」の割合が非常に高くなっている。



(7) 男女共同参画の取組について

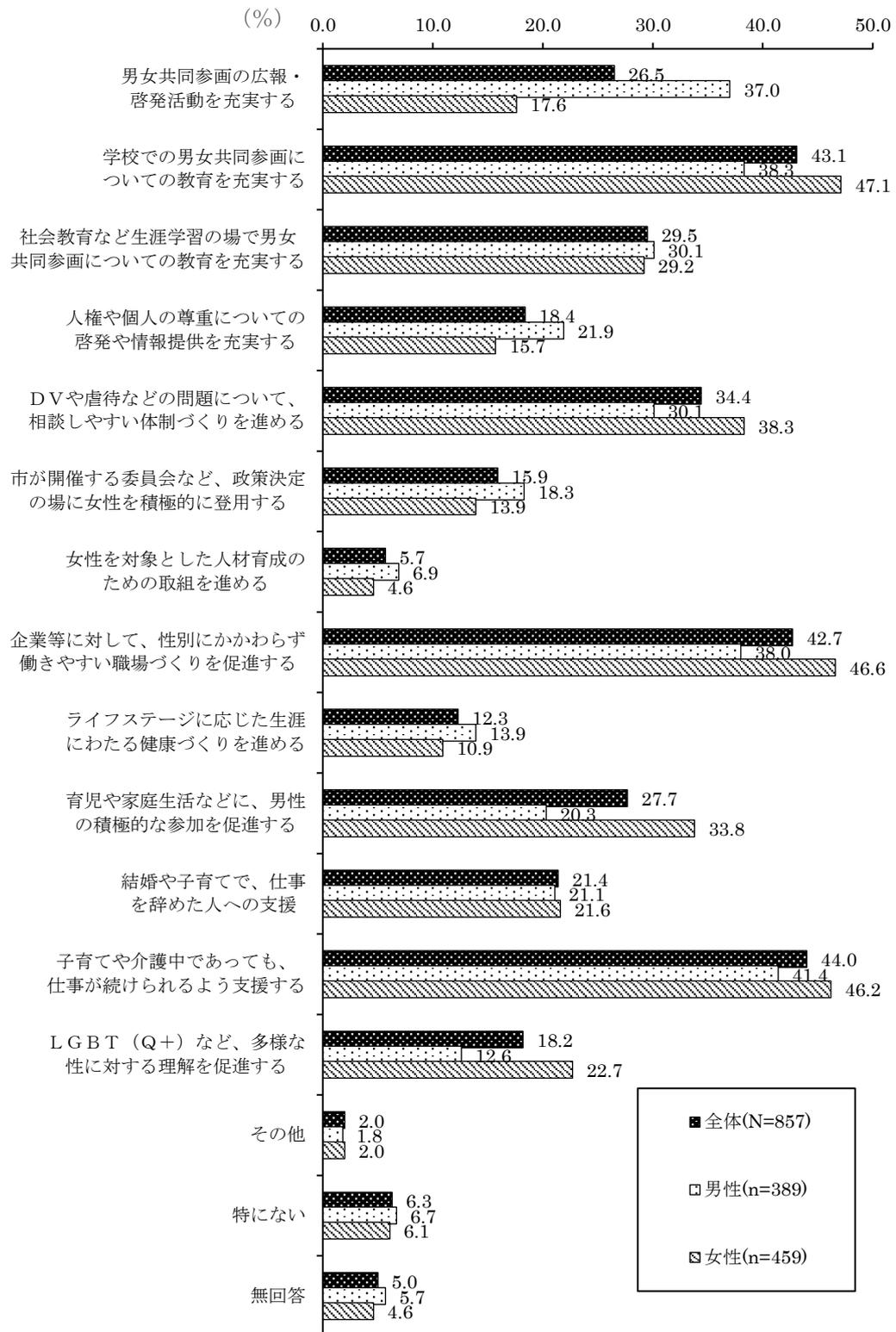
問 43 あなたは、男女共同参画を積極的に進めるために、行政はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は5つまで)

「男女共同参画を積極的に進めるために、行政が力を入れるべきこと」について、全体では、「子育てや介護中であっても、仕事が続けられるよう支援する」と回答した割合が44.0%と最も高くなっており、次いで「学校での男女共同参画についての教育を充実する」(43.1%)、「企業等に対して、性別にかかわらず働きやすい職場づくりを促進する」(42.7%)の順となっている。

性別では、男性は「子育てや介護中であっても、仕事が続けられるよう支援する」(41.4%)、「学校での男女共同参画についての教育を充実する」(38.3%)、「企業等に対して、性別にかかわらず働きやすい職場づくりを促進する」(38.0%)の順となっているが、女性は「学校での男女共同参画についての教育を充実する」(47.1%)、「企業等に対して、性別にかかわらず働きやすい職場づくりを促進する」(46.6%)、「子育てや介護中であっても、仕事が続けられるよう支援する」(46.2%)の順となっている。

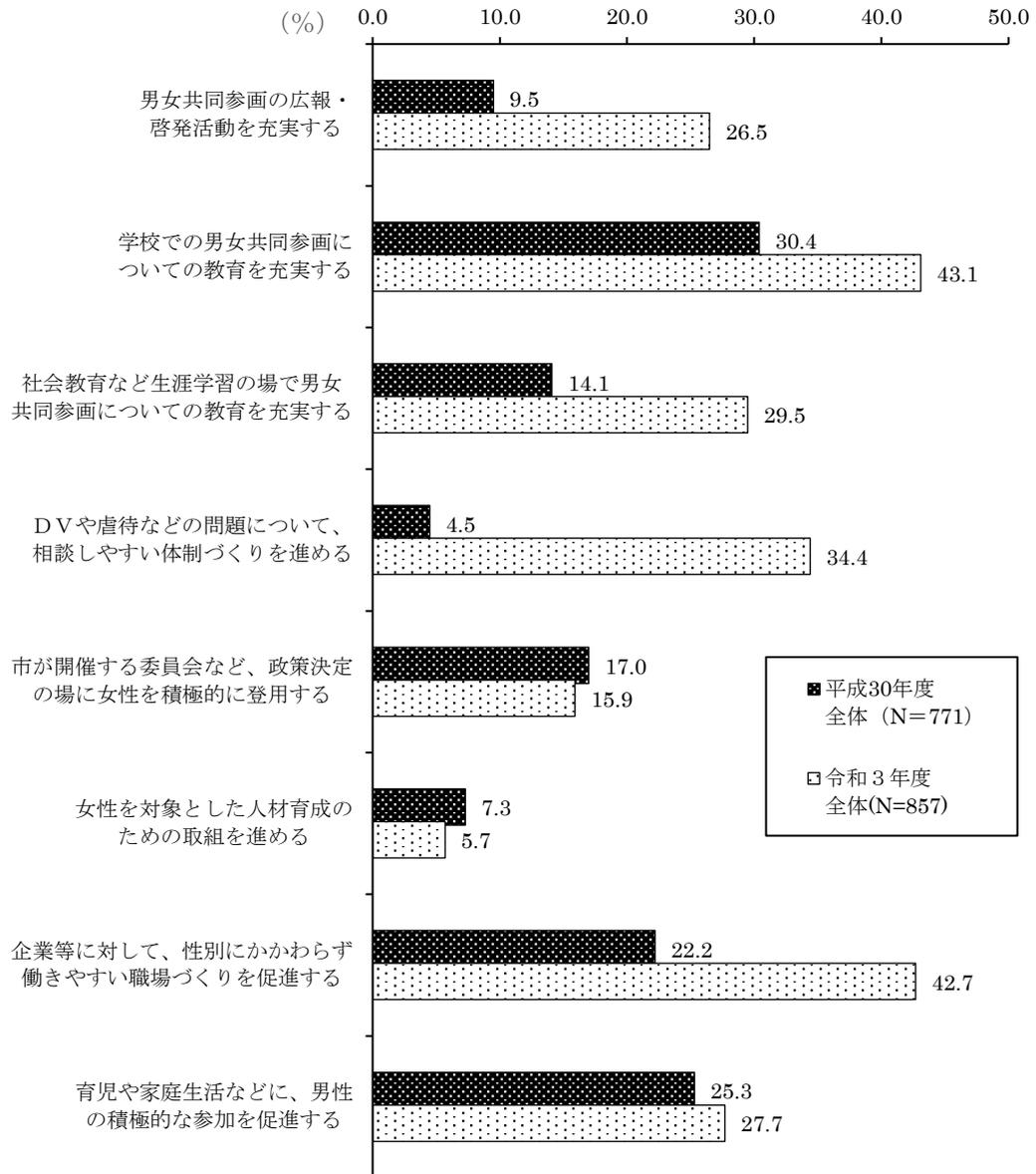
性・年齢別の男性では、50～59歳で「子育てや介護中であっても、仕事が続けられるよう支援する」(64.3%)、20～29歳で「学校での男女共同参画についての教育を充実する」(56.3%)、40～49歳で「子育てや介護中であっても、仕事が続けられるよう支援する」(55.6%)と回答した割合が高くなっている。

性・年齢別の女性では、50～59歳で「企業等に対して、性別にかかわらず働きやすい職場づくりを促進する」(62.1%)、「子育てや介護中であっても、仕事が続けられるよう支援する」(62.1%)、20～29歳で「企業等に対して、性別にかかわらず働きやすい職場づくりを促進する」(53.3%)と回答した割合が高くなっている。



	サンプル数	男女共同参画の広報・啓発活動を充実する	学校での男女共同参画に関する教育を充実する	社会教育など生涯学習の場での男女共同参画に関する教育を充実する	人権や個人の尊重についての啓発や情報提供を充実する	DVや虐待などの問題について、相談しやすくなる体制づくりを進める	性暴力被害者の救済や被害者支援の充実	市が主催する委員会など、政策的に活用する	女性の就業促進や人材育成のための取組を進める	女性を対象とした人材育成のための取組を進める	企業等に対して、性別にかかわらず働きやすい職場づくりを促進する	ライフステージに応じた生涯にわたる健康づくりを進める	育児や家庭生活などに、男性の積極的な参加を促進する	結婚や子育てで、仕事を辞めた人への支援	子育てや介護中であつても、仕事が続けられるよう支援する	理解を促進する	LGBT(Q+)など、多様な性に対する理解を促進する	その他	特になし	無回答
全体	100.0 857	26.5 227	43.1 369	29.5 253	18.4 158	34.4 295	15.9 136	5.7 49	42.7 366	12.3 105	27.7 237	21.4 183	44.0 377	18.2 156	2.0 17	6.3 54	5.0 43			
性別																				
男性	100.0 389	37.0 144	38.3 149	30.1 117	21.9 85	30.1 117	18.3 71	6.9 27	38.0 148	13.9 54	20.3 79	21.1 82	41.4 161	12.6 49	1.8 7	6.7 26	5.7 22			
女性	100.0 459	17.6 81	47.1 216	29.2 134	15.7 72	38.3 176	13.9 64	4.6 21	46.6 214	10.9 50	33.8 155	21.6 99	46.2 212	22.7 104	2.0 9	6.1 28	4.6 21			
性・年齢別																				
男性20～29歳	100.0 16	18.8 3	56.3 9	12.5 2	18.8 3	43.8 7	18.8 3	12.5 2	31.3 5	6.3 1	31.3 5	31.3 5	31.3 5	25.0 4	0.0 0	12.5 2	0.0 0			
男性30～39歳	100.0 36	25.0 9	33.3 12	19.4 7	16.7 6	27.8 10	13.9 5	8.3 3	30.6 11	13.9 5	33.3 12	30.6 11	47.2 17	11.1 4	0.0 0	2.8 1	0.0 0			
男性40～49歳	100.0 45	31.1 14	35.6 16	20.0 9	13.3 6	24.4 11	22.2 10	8.9 4	46.7 21	20.0 9	17.8 8	26.7 12	55.6 25	24.4 11	2.2 1	4.4 2	0.0 0			
男性50～59歳	100.0 56	25.0 14	33.9 19	19.6 11	14.3 8	39.3 22	16.1 9	7.1 4	33.9 19	26.8 15	14.3 8	28.6 16	64.3 36	17.9 10	3.6 2	5.4 3	0.0 0			
男性60～69歳	100.0 83	41.0 34	42.2 35	34.9 29	28.9 24	32.5 27	24.1 20	7.2 6	41.0 34	8.4 7	25.3 21	20.5 17	44.6 37	12.0 10	1.2 1	4.8 4	3.6 3			
男性70歳以上	100.0 153	45.8 70	37.9 58	38.6 59	24.8 38	26.1 40	15.7 24	5.2 8	37.9 58	11.1 17	16.3 25	13.7 21	26.8 41	6.5 10	2.0 3	9.2 14	12.4 19			
女性20～29歳	100.0 30	10.0 3	50.0 15	36.7 11	10.0 3	43.3 13	6.7 2	3.3 1	53.3 16	16.7 5	43.3 13	36.7 11	40.0 12	50.0 15	3.3 1	6.7 2	0.0 0			
女性30～39歳	100.0 47	12.8 6	48.9 23	14.9 7	10.6 5	29.8 14	14.9 7	10.6 5	40.4 19	2.1 1	44.7 21	46.8 22	46.8 22	31.9 15	6.4 3	4.3 2	2.1 1			
女性40～49歳	100.0 77	10.4 8	48.1 37	26.0 20	9.1 7	37.7 29	15.6 12	3.9 3	45.5 35	9.1 7	36.4 28	19.5 15	48.1 37	28.6 22	2.6 2	5.2 4	1.3 1			
女性50～59歳	100.0 58	15.5 9	43.1 25	20.7 12	27.6 16	36.2 21	10.3 6	3.4 2	62.1 36	8.6 5	36.2 21	20.7 12	62.1 36	25.9 15	0.0 0	5.2 3	1.7 1			
女性60～69歳	100.0 103	22.3 23	51.5 53	38.8 40	16.5 17	50.5 52	17.5 18	4.9 5	45.6 47	10.7 11	34.0 35	21.4 22	48.5 50	23.3 24	0.0 0	3.9 4	1.9 2			
女性70歳以上	100.0 144	22.2 32	43.8 63	30.6 44	16.7 24	32.6 47	13.2 19	3.5 5	42.4 61	14.6 21	25.7 37	11.8 17	38.2 55	9.0 13	2.1 3	9.0 13	11.1 16			

【時系列比較】



5 自由意見（抜粋）

あなたが、家庭や社会の中で感じている男女の役割や生活などについて男女共同参画の視点からご意見などご自由にお書きください。

（1）男女共同参画意識の浸透

- 「男女の役割」という言葉自体が区別されている。家庭のことはできる人がその仕事をしたら良いと思います。（男性、75歳以上）
- どちらかではなく、男女共に考え方を見直すべきだと思う。（女性、50～54歳）
- 私は昭和33年生まれです。私が生まれ育った時代は、男女共同参画には程遠く、男らしさ、女らしさを求められました。それが当たり前で時代であったように思います。長男は昭和61年生まれですが、中学生の時に男子も家庭科が必修科目となり、慣れないお料理やお裁縫に奮闘している姿を見て、時代も移り変わっていくのだなとしみじみ感じたものでした。あれから約20年。今や女性も社会に出て働くのが当たり前となりました。男女の能力差は、体力を除けば全くないと思います。個々の能力を存分に発揮して、安心して働くことのできる社会に成長して行ってもらいたいと願っております。（女性、60～64歳）
- 最近の女性は昔の女性に比べて、社会進出に積極的になってきているので、さほど心配していない。私のような高齢者がもっと理解を示していかなければならない。（男性、75歳以上）
- 男女共同参画推進の考え方は理解している。女性は妊娠、出産というところをやる事によって、男性と同じようにはできないことがある。できる人が、できる時に出来るだけの事を行う。経済的、時間的に余裕のある人が、他者に対して優しさが生まれ、ハラスメントもなくなり豊かな生活が送れると思う。（女性、50～54歳）
- 男性には男性の、女性には女性の役割が、得意・不得意があるのでお互いの得意なところを頑張って補えばいいと思います。男女差別をなくすと言うなら、力仕事なども女性には行なってもらいたい。（男性、30～34歳）
- 個人差はあるが、男性と女性には身体的な違いがあり、思考についても違いはあると思うので、優劣で考えるのではなく、違いとして男女が尊重し合える社会が望ましいと思う。（女性、40～44歳）

（2）男女共同参画の基本的な考え方を大切にした教育の推進・充実

- 男女に関係なく、お互いに必要としていることを小さい頃から学校で教育してほしい。（女性、75歳以上）
- 現状の価値観が変わるような、子どもの時からの教育。男女の違いを認め、尊重し合える意識を持てるような性教育。（女性、40～44歳）
- 制度があれば使えるというものではない。意識は簡単には変わらない。子どもの頃から男らしく、女らしくと育てられてきて、大人になって知識も経験もない人が急に家庭のことができないのは当たり前のことだと思います。子ども達には男女のしぼりなく、社会の中でも家庭の中でも、役割を持って働くことのやりがいや、楽しさを感じられる教育をしていただきたいと思います。（女性、40～44歳）
- DVやハラスメントなどは、男性社会の流れというよりも人間としての基本的な教育がなされていない結果ではないでしょうか。理想かもしれませんが、思いやる心、感謝する心、それを行動に移せる自立した強い心を学べるような教育こそDV及び差別のない、より良い社会になるのではないかと思います。（女性、55～59歳）

（3）働く場における男女共同参画の推進

- 同じ仕事をしていて、年齢によって給料に差があるのは納得いかない。（女性、70～74歳）
- 男女平等とは言いますが、職種などでは女性向きや男性向きはあると思います。（女性、55～59歳）
- 過去30年、賃金が欧米諸国に比べて上がっていないと言われている。現在の日本は技術立国でもない。家族や社会においては男女協力して生産性を上げない限り、世界から取り残されることになるであろう。（男性、65～69歳）
- 男女とも長時間労働の改善を進めることが大切だと思います。（女性、60～64歳）
- 私は一昨年、定年退職となり今は隠居生活をしております。風呂を掃除したり、部屋の掃除や食器洗

い、たまには食事の支度をしております。これまでの妻の苦勞を知りました。多くの男性はこのことはわかっている、知ろうとはしない人が多いのではないかと思います。会社や企業内で、このことを研修や勉強する事は大変難しいと思います。行政の中で研修日程を組み、企業の協力を得て勉強会を実施したらいかがでしょうか。(男性、60～64歳)

- 賃金においても男女間で差があることが理解できない。(男性、30～34歳)
- 能力が十分であれば、男性・女性に関係なく必要なポストを与えるべきと考える。(男性、30～34歳)

(4) ワーク・ライフ・バランスの推進

- 30年以上前、子育てと仕事の両立をしていた主婦です。当時は、家事のすべては主婦が行い、夫は仕事のみでした。私は正規職員で給料も夫より多かったので、家事全般やるのが当然だという考えで、現在とは全く違っていました。息子は仕事も家事も育児も積極的にやり、主婦の立場を理解しています。今後はこのような考え方が、当たり前の中になっていくと思います。(女性、65～69歳)
- 男女が精神的にも経済的にも自立し、共に協力し合って家庭を作っていくのが良いと思う。男の人は、女性がスーパーマンだと思っているのではないかと思います。家事も子育ても、自分の世話まで妻に任せっきりで、その上介護までやって当たり前。そして仕事もして、給料まで当てにされて女性はヘトヘトです。専業主婦でさえ大変なのに、今時は働くのが当たり前です。不公平だと思っています。(女性、70～74歳)
- 男性が仕事、女性が家事・育児を担当するという今までの考え方は、個人的には理想だと思います。他方で、男性が家事・育児に積極的に関われるように社会制度が充実されていけば選択肢が増えて、ワークライフバランスが達成しやすくなるのではないかと思います。そのためには、女性を管理職に積極的に登用し、発言力を高め活発な議論をしていただきたい。(男性、50～54歳)
- 日、祝日に仕事が休めないで、同じ会社勤めの夫婦には子どもを見てくれる人がいない。結局、どちらかが辞めるしかないで自然と母親が辞めるようになる。(女性、40～44歳)
- 結婚をして子どもを出産しても、育児や家事に忙殺されて男性と同じように働ける社会にはほど遠いと思います。(女性、60～64歳)

(5) 家庭や地域における男女共同参画の推進

- 自分の母親のように、主人に服従するのが当たり前として育ち、子どもが大きくなりだした頃、友人に「そこまでしなくていいんじゃない！」と助言を受け、少しずつ変えていきました。今では家事も手伝ってくれるようになりました。母親の後ろ姿が、子どもにどれだけ影響を与えるかをつくづく思いました。子育ては夫婦ふたりでするもので、男女関係なく相談していけるように女性の立場をもっと見直してほしいと思います。(女性、70～74歳)
- 町内会や自治会の役員は定年を決めて、定期的に入れ替えた方が新鮮味があって良いと思う。(女性、70～74歳)
- 人間形成に大切な15歳までは、母親が家庭にいて子どもを見守っていくのが大切だと思う。(女性、75歳以上)
- 男性には定年があります。女性の家庭内での仕事も終わりがあってほしい。自分の人生をもっともっと楽しみたい！(女性、70～74歳)
- 育児サークルで、お父さんが集まる場や、夫婦揃って集まる場があれば良いと思う。(女性、30～34歳)
- 家庭は大家族から核家族でコミュニティは減少し、生活環境も社会の流れとともに産業の発展を優先して、人々の生活は後回しになったような気がする。男女の立場も大きく変化したと思う。過去の男女のあり方を参考にし、共同参画の推進を図って欲しい。(男性、70～74歳)

(6) 方針決定過程への女性の参画の推進

- たとえマイノリティであっても、良いと感じる方向に行動している人は優遇されるべきであり、それなりに意見を採用すべき。(男性、60～64歳)
- 若い世代になればなるほど、男女差別やLGBTの理解は進んでいると思う。だけど社会のルールを決めているのは政治家であり、その多くは高齢者のため、若い世代が投票にいく仕組みづくりが大切だと思う。(男性、35～39歳)

(7) 生涯を通じた男女の健康と自立の支援

- 娘がLGBTだとカミングアウトされても驚きませんでした。みんな他人事だと思っているかもしれませんが、案外身近にあるものだと思います。(女性、65～69歳)
- LGBTのカミングアウトも勇気のいることでしょう。高齢者にはなかなか受け入れることはできないと思います。偏見を無くすことが大事です。(女性、55～59歳)
- たとえマイノリティであっても、良いと感じる方向に行動している人は優遇されるべきであり、それなりに意見を採用すべき。(男性、60～64歳)
- 男女共同参画の男女の定義は、多様な捉え方に変化していつているように感じる。男女というくくりで男女共同参画と考えて行くより、いろんな性を対象に考えるとしたら、誰にとっても置き去りにされない思いで生活していけるのではないかと思います。そういう意味でパートナーシップ宣誓制度は、希望につながると思います。また年齢を重ねることで今までできたことができなくなり、健常者とは異なる心がけで日常生活を送る事を考えると障害を持った人たちが暮らしやすい町になればいいと思います。(女性、40～44歳)
- 私は、男性・女性そしてLGBTQの三つのくくりで性を見ています。二つの性別よりも、三つの性別の方がお互いを、より理解できるし、見張れるからです。特にLGBTQの人達は、今からの社会にとっても必要な存在になると思います。なぜなら男女どちらの気持ちも分かるからです。ある意味、LGBTQの人たちは心が広く、受け入れる気持ちを持っています。だから彼らをのけ者にせず、廿日市市にたくさん受け入れることが、男女平等の大きな一歩だと考えます。(女性、20～24歳)
- 男性や女性があらゆる面において平等になるのは不可能だと思う。女性には出産があるし、更年期障害もある。これは男性は経験しようもない。なので男性は女性に対し、理解と配慮をしなければならぬ。体調が良くないのに精神論や根性論を押し付けたり、セクハラまがいの声をかけないようにしてほしい。(男性、30～34歳)

(8) 男女間の暴力の防止と被害者への支援の推進

- 若い頃DVを受けてとても傷つきました。悩みを聞いてくださった相談員の方の言葉がその時は信じられず、シェルターに行くことしかできませんでした。身近なところ、例えば心療内科などで相談できる場所があれば良いと思う。私はその後結婚し、普通の生活を送っています。(女性、50～54歳)
- 自分の時代は、何事も我慢するのが当然の時代だった。DVにおいても、今は相談するところがあり恵まれていると思う。男女平等や男女共同参画など、考えてもらえるだけでもありがたい世の中になったと思う。(女性、60～64歳)
- DVやハラスメントなどは、男性社会の流れというよりも人間としての基本的な教育がなされていない結果ではないでしょうか。理想かもしれませんが、思いやる心、感謝する心、それを行動に移せる自立した強い心を学べるような教育こそDV及び差別のない、より良い社会になるのではないかと思います。(女性、55～59歳)

廿日市市 男女共同参画に関する市民アンケート

～ご協力のお願い～

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

廿日市市では、平成27年に「第2次廿日市市男女共同参画プラン」を策定し、男女が互いの人権を尊重し、対等なパートナーとして協力し合い、あらゆる活動に自分の意思で参画することができる社会の実現をめざし、様々な施策を行っています。

この調査は、市内に在住する20歳以上の市民の皆様の中から無作為に抽出した2,000人の方々に、男女共同参画に関する意識や問題点を伺い、今後の男女共同参画施策に活かすことを目的として行います。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和4年1月

廿日市市長 松本 太郎

ご記入にあたってのお願い

- 1 封筒の宛名の本人がお答えください。病気や身体の不自由などの理由で記入が難しい場合は、家族や介護者の方などが、本人の意向を尊重して、無理のない範囲で代筆してください。
 - 2 回答は、あてはまると思う番号を○で囲んでください。また、各設問文にある(○は1つ)(○はいくつでも)などに注意して記入してください。
- ※ 回答は無記名であり、統計的に処理しますので、プライバシーの保護はもとより、本調査の目的以外に利用することはありません。

調査のお問い合わせ先

廿日市市 自治振興部 人権・男女共同推進課

〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号

電話：(0829) 30-9136 FAX：(0829) 32-1059

E-mail：jinken@city.hatsukaichi.lg.jp

この調査票は、**1月21日（金曜日）**までに、同封の返信用封筒に入れて、**返送してください（切手は不要です）**

1 あなたご自身（宛名のご本人）のことについておたずねします

問1 あなたの性別をお答えください。（自認する性別をお答えください。）（〇は1つ）

- | | | | |
|------|------|-------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 | 4 答えたくない |
|------|------|-------|----------|

問2 あなたの年齢をお答えください。（〇は1つ）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|------------|
| 1 20歳～24歳 | 4 35歳～39歳 | 7 50歳～54歳 | 10 65歳～69歳 |
| 2 25歳～29歳 | 5 40歳～44歳 | 8 55歳～59歳 | 11 70歳～75歳 |
| 3 30歳～34歳 | 6 45歳～49歳 | 9 60歳～64歳 | 12 75歳以上 |

問3 あなたは結婚をしていますか。（事実婚・パートナーを含む。）（〇は1つ）

- | | | |
|-------------------|---|------------|
| 1 結婚している | → | 問4へお進みください |
| 2 結婚していたが、離別・死別した | → | 問5へお進みください |
| 3 結婚していない | → | 問5へお進みください |

問4 【問3で「1」と答えた方のみにおたずねします。】

あなたと配偶者（パートナー）は、共働き（パート・アルバイト等を含む）ですか。
（〇は1つ）

- | | |
|----------|-----------|
| 1 共働きである | 2 共働きではない |
|----------|-----------|

問5 あなたの同居家族の構成をお答えください。（〇は1つ）

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1 独り暮らし（単身世帯） | 4 親と子と孫等（三世代以上同居） |
| 2 あなたと配偶者（パートナー）の二人暮らし | 5 その他（ ） |
| 3 親と子（二世帯世帯） | |

問6 あなたの同居家族の中に、次の方（あなた自身を含む）はいますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 小学校入学前の子ども | 3 介護・介助を必要とする方 |
| 2 小学生の子ども | 4 いずれもない |

問7 あなたのお住まいの地域をお答えください。（〇は1つ）

- | | | |
|---------|--------|--------|
| 1 廿日市地域 | 3 吉和地域 | 5 宮島地域 |
| 2 佐伯地域 | 4 大野地域 | |

問8 あなたの職場は廿日市市内ですか。（〇は1つ）

- | | |
|---------|---------|
| 1 廿日市市内 | 2 廿日市市外 |
|---------|---------|

問9 あなたの職業をお答えください。(〇は1つ)

自営業 (経営主又は共同経営者)	1 農林水産業 2 商工・サービス業 3 自由業(開業医・弁護士等)	
自営業 (家族従業者)	4 農林水産業 5 商工・サービス業 6 自由業(開業医・弁護士等)	
勤め人	7 正社員・正職員 8 公務員・団体職員 9 パート・アルバイト・派遣など	付問「7」「8」と答えた方 のみにおたずねします。 あなたは管理職ですか。 1 管理職である 2 管理職ではない
その他	10 内職・在宅就業 11 家事専業 12 学生 13 無職 14 その他()	

問10 あなたは、次にあげる用語の意味を知っていますか。(〇は1つずつ)

	よく知っている	内容(意味)を少しは知っている	言葉(名称)は知っている	全く知らない
① アンコンシャス・バイアス(固定的な性別役割分担意識)	1	2	3	4
② 女性活躍推進法(女性の職業生活における活躍の推進に関する法律)	1	2	3	4
③ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	1	2	3	4
④ デートDV(恋人同士などの中で起こるドメスティック・バイオレンス)	1	2	3	4
⑤ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)	1	2	3	4
⑥ 「LGBT(Q+)」(エルジービーティーキュープラス) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・L(レズビアン):女性の同性愛者 ・G(ゲイ):男性の同性愛者 ・B(バイセクシュアル):両性愛者 ・T(トランスジェンダー) :身体と心の性が一致しない人 ・Q(クエスチョニング、クィア) :自認する性が定まらない、わからない人などの総称 ・+:LGBTQ以外の性的マイノリティの人 </div>	1	2	3	4

問 11 「男女共同参画」という言葉を変えたほうがよいと思いますか。(○はひとつ)

- 1 変えたほうがよい -----> 問 12 へお進みください
- 2 変えないほうがよい -----> 問 13 へお進みください
- 3 どちらでもよい
- 4 わからない

問 12 【問 11 で「1」と答えた方のみにおたずねします。】

「男女共同参画」という言葉を変えたほうがよいと思う理由をおたずねします。

- 1 言葉から内容がわかりにくい
- 2 「男女」という言葉が時代の流れにそぐわない
- 3 多様性社会において「男女」とするのは限定的である
- 4 その他 ()

問 13 【問 11 で「2」と答えた方のみにおたずねします。】

「男女共同参画」という言葉を変えないほうがよいと思う理由をおたずねします。

- 1 言葉から内容がよくわかる
- 2 変えたら女性参画のイメージが薄れる
- 3 イメージが定着している
- 4 その他 ()

2 男女の役割分担と平等意識についておたずねします

問 14 あなたは、次の考え方について、どのように思いますか。(○は1つずつ)

	そう 思う	ど ちら か と い え ば そ う 思 う	ど ちら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
① 夫(男)は外で働き、妻(女)は家庭を守るのが望ましい (男は仕事、女は家庭(家事・育児など)という考え方)	1	2	3	4
② 「男は男らしく、女は女らしく」という価値観や考え方	1	2	3	4
③ 知的能力は、男女の差より個人差の方が大きい	1	2	3	4
④ 体力を使う仕事以外は、男女に大きな能力の差はない	1	2	3	4
⑤ 男性は女性より多く収入を得る必要がある	1	2	3	4
⑥ 男性の方が論理的である	1	2	3	4

問 15 あなたは、問 14 のような「男女の固定的な考え方」についてどう思いますか。

(○は 1 つ)

1 負担に思う	4 負担に思わない
2 どちらかといえば負担に思う	5 わからない
3 どちらかといえば負担に思わない	

問 16 あなたは、次の分野で、男女は平等になっていると思いますか。①から⑧までの項目について、それぞれお答えください。(○は 1 つずつ)

	女性の方がとても 優遇されている	どちらかといえば女性が 優遇されている	平等になっている	どちらかといえば男性が 優遇されている	男性の方がとても 優遇されている	わからない
① 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
② 自治会やPTAなどの地域活動の場では	1	2	3	4	5	6
③ 職場（仕事の場）では	1	2	3	4	5	6
④ 学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
⑤ 政治の場では	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念・慣習・しきたりなどでは	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体では	1	2	3	4	5	6

問 17 あなたは、子どもの育て方についてどのように思いますか。(○は 1 つずつ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
① 男女とも経済的自立ができるように育てる	1	2	3	4	5
② 男女とも家事ができるように育てる	1	2	3	4	5
③ 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる	1	2	3	4	5
④ 性別に関わらず子どもの個性を大切に育てる	1	2	3	4	5

3 家庭生活についておたずねします

問 18 あなたが家事（食事のしたくや掃除、洗濯など）、育児（子どもの食事・入浴の世話や送迎など）、介護（夫婦の親族の日常生活の世話など）に費やす時間の合計は、1日あたりどのくらいですか。（〇は1つずつ）

		1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～5時間未満	5時間以上	家事などには関わらない
平日	家事	1	2	3	4	5	6
	育児	1	2	3	4	5	6
	介護	1	2	3	4	5	6
休日	家事	1	2	3	4	5	6
	育児	1	2	3	4	5	6
	介護	1	2	3	4	5	6

問 19 あなたの家庭では、次にあげる家庭内の仕事を主にどなたがおこなっていますか。（〇は1つずつ）

	主に妻の役割である	主に夫の役割である	妻と夫で ほぼ半々である	家族全員で 分担している	特に決まっていない	その他
① 生活費を得る	1	2	3	4	5	()
② 日常の家事（食事のしたく・掃除・洗濯など）	1	2	3	4	5	()
③ 日常の家計の管理	1	2	3	4	5	()
④ 家族の介護や看護	1	2	3	4	5	()
⑤ 子育て（育児・しつけなど）	1	2	3	4	5	()
⑥ 自治会など地域活動への参加	1	2	3	4	5	()

問 20 【配偶者・パートナーのいる方のみにおたずねします。】

あなたは、家庭での家事・育児・介護の分担の満足度をどのように感じていますか。
(○は1つ)

- | |
|------------------|
| 1 満足している |
| 2 どちらかといえば満足している |
| 3 どちらかといえば不満である |
| 4 不満である |
| 5 その他 () |

問 21 今後、男性が女性と共に家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、
どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- | |
|---|
| 1 夫婦や家族間でよく話し合うこと |
| 2 職場の理解を促進すること |
| 3 「男は仕事、女は家庭」という意識を改めること |
| 4 男性が家事・育児等に参加することに対する抵抗感をなくすこと |
| 5 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての考え方を尊重すること |
| 6 社会の中で男性が家事、子育て、介護、地域活動の評価を高めること |
| 7 労働時間短縮や育児・介護等の休暇制度を普及すること |
| 8 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと |
| 9 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること |
| 10 男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間(ネットワーク)づくりを進めること |
| 11 家庭や地域活動と仕事の両立等について、男性が相談しやすい窓口を設けること |
| 12 その他 () |

問 22 新型コロナウイルス感染症の拡大による、あなたの生活への影響について、次にあげる項目
それぞれについてお答えください。(○は1つずつ)

	変化が あった	変化は なかった
① メンタルヘルス※(精神的、心理的な状態) ----- →	1	2

※ 「メンタルヘルス」とは「心の健康」という意味で、精神的、心理的な健康状態のこと。「心の健康」が不調になると、悩みやストレスを感じやすくなるとともに、放置しておくとうつ病などの精神疾患を引き起こしやすいと言われている。

	増えた	減った	変わらない
② 家族と過ごす時間 ----- →	1	2	3
③ 外出する頻度 ----- →	1	2	3
④ SNSなどでの交流頻度 ----- →	1	2	3
⑤ 収入(給料・ボーナスなど) ----- →	1	2	3

4 仕事・職場についておたずねします

問 23 あなたは現在、収入を得る仕事をしていますか。(学生のアルバイトは除く)

※病気や出産・育児、家族の介護などで一時休業している場合も、仕事をしていることに含みます。(〇は1つ)

- 1 現在、仕事をしています
- 2 以前、仕事をしていたが現在はしていない ---- → 問 25 へお進みください
- 3 今まで仕事をしたことがない ----- → 問 29 へお進みください

問 24 【問 23 で「1」と答えた方のみにおたずねします。】

あなたは生活する上で、何を優先したいですか。(〇は1つ)

- 1 仕事
- 2 家庭
- 3 地域活動
- 4 個人の生活(趣味など)

問 25 【問 23 で「1～2」と答えた方のみにおたずねします。】

あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、次のような男女間の格差がありますか(又は、ありましたか)。(〇はいくつでも)

- 1 募集や採用の面で男女に差がある
- 2 賃金や昇給(昇進)の面で男女に差がある
- 3 配属場所が限られている
- 4 女性の仕事は補助的業務や雑用が多い
- 5 職場での研修や研究の機会に男女の差がある
- 6 女性は結婚や出産を機に退職する慣習や雰囲気がある
- 7 男性は育児休業や介護休業を利用しにくい慣習や雰囲気がある
- 8 その他()
- 9 特にない

問 26 【問 25 で「1～8」と答えた方のみにおたずねします。】

あなたは、そのような男女間の格差があることに対して、どのように思いますか。(〇は1つ)

- 1 大いに不満であり、改善すべきである
- 2 やや不満であり、改善すべきである
- 3 現状に満足している
- 4 男女間に格差があるのは、仕方がないことである
- 5 その他()
- 6 特に何も感じない(何も感じなかった)

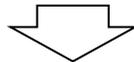
問 27 【問 23 で「1～2」と答えた方のみにおたずねします。】

あなたは、育児休業や介護休業を取得したことがありますか。(○は1つずつ)

① 育児休業※ ¹	1 取得したことがある 2 制度がなかったため、取得できなかった 3 制度はあったが、取得できなかった 4 これまでは取得する必要がなかったが、子どもが生まれたら取得したい 5 これまでも取得しておらず、今後も取得しようとは思わない
② 介護休業※ ²	1 取得したことがある 2 制度がなかったため、取得できなかった 3 制度はあったが、取得できなかった 4 これまでは取得する必要がなかったが、家族に介護が必要となれば取得したい 5 これまでも取得しておらず、今後も取得しようとは思わない

※1 原則として1歳に満たない子を養育するための休業制度

※2 2週間以上の期間、常時介護を必要とする状態にある家族を介護するための休業制度(通算93日まで)



問 27①育児休業で「3」又は②介護休業で「3」と答えた方は問 28へ、それ以外の方は問 29へお進みください

問 28 【問 27①育児休業で「3」又は②介護休業で「3」と答えた方のみにおたずねします。】

休業が、取得できなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 休業期間中の代替要員が確保できなかったから 2 休業を取得することで、まわりの人の業務負担が多くなるから 3 代替要員では自分の業務が務まらないから 4 制度を利用しやすい雰囲気ではなかったから 5 休業中の賃金が不安定だから 6 復職時に技術・能力が低下している不安があったから 7 昇給・昇格に影響があると思うから 8 その他()

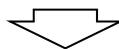
問 29 あなたは、男性が育児休業※¹や介護休業※²を取得することについて、どう思いますか。

(○は1つ)

1 積極的に取得した方がよい	4 取得しない方がよい
2 どちらかという取得した方がよい	5 わからない
3 どちらかという取得しない方がよい	6 その他()

※1 原則として1歳に満たない子を養育するための休業制度

※2 2週間以上の期間、常時介護を必要とする状態にある家族を介護するための休業制度(通算93日まで)



問 29で「3～4」と答えた方は問 30へ、それ以外の方は問 31へお進みください

問 30 【問 29 で「3～4」と答えた方のみにおたずねします。】

男性が、育児休業等を取得しない方がよいと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 家庭で育児や介護をしている女性に負担がかかるから
- 2 休業期間中の代替要員の確保が困難だから
- 3 休業を取得することで、まわりの人の業務負担が多くなるから
- 4 代替要員では業務が務まらないから
- 5 現在の社会では制度を利用しやすい雰囲気ではないから
- 6 休業中の賃金が不安定になるから
- 7 復職時に技術・能力が低下する不安があるから
- 8 昇給・昇格に影響があると思うから
- 9 その他 ()

問 31 あなたは、一般的に女性が仕事をする事について、どのように思いますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(〇は1つ)

- 1 結婚・出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい
- 2 子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をする方がよい
- 3 子どもができるまでは仕事をする方がよい
- 4 結婚するまでは仕事をする方がよい
- 5 女性は仕事をしない方がよい
- 6 個人の考え次第で判断すればよい
- 7 その他 ()
- 8 わからない

問 32 男女を問わず、結婚、育児、介護などにより仕事をやめた場合、再び仕事をしやすくなるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 再就職を支援するセミナーや職業訓練の機会の充実
- 2 企業が積極的に再就職しやすい職場風土をつくること
- 3 男女双方の長時間労働の改善
- 4 短時間勤務制度や在宅勤務制度の充実
- 5 家事・保育支援サービスの充実
- 6 介護サービスの充実
- 7 男女を問わずに全ての人が働くことへの家族や周囲の理解・協力
- 8 再就職を応援する社会全体の意識
- 9 趣味や家事スキルを生かせる仕事や創業に関するセミナーや情報の充実
- 10 同じ立場の方々の情報交換や交流の場があること
- 11 その他 ()

問 33 あなたは、最近3年ぐらいの間に、次の各種ハラスメント行為について経験したり、身近で見聞きしたりしたことがありますか。(〇はそれぞれいくつでも)

「用語の解説」もお読みください。	自分が被害を受けたことがある	自分のまわりに被害を受けた人がいる	被害について相談を受けたことがある	自分が被害を与えたことがある (与えたかもしれない)	被害を受けたり、与えたりしたことはない (見聞きしたことはない)
① セクシュアルハラスメント (セクハラ)	1	2	3	4	5
② パワーハラスメント (パワハラ)	1	2	3	4	5
③ マタニティハラスメント (マタハラ)	1	2	3	4	5

用語の解説

① セクシュアルハラスメント (セクハラ)

- 相手の望まない性的な言動のこと (性的嫌がらせ)。相手は異性に限らず、同性同士でも起こる場合があります。
- セクシュアルハラスメントは「男女雇用機会均等法 (雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律)」の規定により、企業等に対して、その防止措置が義務化されています。

② パワーハラスメント (パワハラ)

- 職場などにおいて、職務上の地位や人間関係などといった権力 (パワー) を利用して、精神的、身体的苦痛を与える行為や職場環境を悪化させる嫌がらせ行為のこと。ただし、業務上必要な指示や注意、指導などはパワハラにはあたりません。
- パワーハラスメントは「労働施策総合推進法 (労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律)」の規定により、企業等に対して、その防止措置が義務化されています。

③ マタニティハラスメント (マタハラ)

- 職場などにおいて、働く女性が妊娠や出産を理由に精神的、肉体的な苦痛を受ける嫌がらせ行為のこと。妊娠や出産を理由とした解雇、雇用契約の変更などもマタハラにあたります。
- マタニティハラスメントは「男女雇用機会均等法 (雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律)」の規定により、企業等に対して、その防止措置が義務化されています。

問 37 防災・災害復興対策においては、避難所での着替えや授乳の問題など、男女共同参画の視点が必要とされています。今後、どのような取組を強化すべきだと思いますか。

(〇は3つまで)

1	地域の自主防災組織等への女性の参画を増やす
2	市の防災会議や危機管理担当部署等への女性の参画を増やす
3	日頃から防災訓練や防災知識の習得の場などに男女が共に参加しやすくする
4	女性消防団員を確保、育成する
5	地域における女性の防災リーダーを増やす
6	避難所の運営に女性の参画を増やす
7	その他 ()
8	特になし

6 ドメスティック・バイオレンスについておたずねします

問 38 あなたは、配偶者や恋人の間で行われる、次のような行為をしたこと、されたことがありますか。(〇は1つずつ)

	したことがある	した・された 両方ある	されたことがある	経験はない
① 外出や人との付き合いを監視し又は、制限する	1	2	3	4
② なぐる振りをして、おどす	1	2	3	4
③ なぐる、蹴るなどの暴力を振るう	1	2	3	4
④ 命の危険を感じるほどの暴力を振るう	1	2	3	4
⑤ ののしる、大声でどなる	1	2	3	4
⑥ 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3	4
⑦ 相手が嫌がっているのに、性的な行為を要求する	1	2	3	4
⑧ 生活費を渡さない、外で働くことを妨害する	1	2	3	4

用語の解説

ドメスティック・バイオレンス (DV) とは

- ・夫婦や恋人などの親密な関係にある(あった)パートナーからふるわれる暴力のこと
- (1) 身体的暴力 (殴る、蹴る、首を絞める、髪を引っ張る など)
- (2) 精神的暴力 (大声でどなる、無視する、大切にしているものを壊す など)
- (3) 経済的暴力 (生活費を渡さない、外で働くことを邪魔する など)
- (4) 性的暴力 (性行為を強要する、避妊に協力しない、妊娠中絶を強要する など)
- (5) 社会的隔離 (勝手にメールなどを見る、家族や友人との付き合いを制限する など)
- (6) 子どもを巻き込んだ暴力 (子どもの前で暴力をふるう、ばかにする など)

問 41 あなたは、「パートナーシップ宣誓制度」を導入することについてどのように思いますか。
(○は1つ)

- 1 導入すべきと思う
- 2 どちらかといえば導入すべきと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば導入すべきではないと思う
- 5 導入すべきではないと思う
- 6 わからない

問 42 あなたの心の性と身体の性についておたずねします。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 一致している | 4 一致していない |
| 2 どちらかといえば一致している | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば一致していない | |

8 男女共同参画の取組についておたずねします

問 43 あなたは、男女共同参画を積極的に進めるために、行政はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○は5つまで)

- 1 男女共同参画の広報・啓発活動を充実する
- 2 学校での男女共同参画についての教育を充実する
- 3 社会教育など生涯学習の場で男女共同参画についての教育を充実する
- 4 人権や個人の尊重についての啓発や情報提供を充実する
- 5 DVや虐待などの問題について、相談しやすい体制づくりを進める
- 6 市が開催する委員会など、政策決定の場に女性を積極的に登用する
- 7 女性を対象とした人材育成のための取組を進める
- 8 企業等に対して、性別にかかわらず働きやすい職場づくりを促進する
- 9 ライフステージに応じた生涯にわたる健康づくりを進める
- 10 育児や家庭生活などに、男性の積極的な参加を促進する
- 11 結婚や子育てで、仕事を辞めた人への支援
- 12 子育てや介護中であっても、仕事が続けられるよう支援する
- 13 LGBT (Q+) など、多様な性に対する理解を促進する
- 14 その他 ()
- 15 特になし

令和3年度 男女共同参画に関するアンケート調査
報告書

発行年月：令和4（2022）年3月

発行：廿日市市 自治振興部 人権・男女共同参画推進課

〒738-8501 広島県廿日市市下平良1丁目11番1号

Tel (0829) 30-9136

E-mail jinken@city.hatsukaichi.lg.jp
